

琵琶湖博物館 年報

第 15 号

2010 年度

滋賀県立琵琶湖博物館 編

滋賀県立琵琶湖博物館

2011 年 8 月

---

## ごあいさつ

---

2010年度は、年度末3月11日に稀にみる大地震による東日本大震災とそれに伴う福島原発事故という二重の災害に見舞われました。瓦礫の街となった戦後すぐの日本の景色とだぶらせてしまう多くの人がありました。なかでも原子力発電の安全神話は完全に崩壊してしまい、生活や社会の新たな価値観を模索する必要があります。こうしたなかで博物館をめぐる社会的状況は東日本大震災以前でも必ずしも好ましいものではなく、むしろ厳しい状況でありましたが、この東日本大震災でさらに悪化していくことは避けがたいものになっていくだろうと思います。

この1年を振り返ってみると、琵琶湖博物館にとっても重大な年でありました。開館20年の年にリニューアルをめざすという決意を内外に示したことが最大のことであります。博物館をめぐる社会的状況が悪化するなかでのリニューアルをどのように成し遂げていくのか琵琶湖博物館の真価が試される事業であります。1年を振り返り、決意を新たにしていきたいと考えます。

2010年度には第18回企画展示「湖底探検—琵琶湖の底はどんな世界—」（7月17日～11月23日）を開催しました。琵琶湖の水がまったくない状態の模型をはじめ、意外に知られていない琵琶湖の陸水学的な世界や湖底などの生物世界などを表現する地味な展示でありましたが、琵琶湖博物館ならではのものだったと思います。この展示は滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、滋賀県水産試験場という二つの研究機関と共催し、三機関の研究成果や資料を活かした展示であり、三機関が協力できたこともまた成果でした。

第23回水族企画展示は「魚はなぜ田んぼにやってくるのか」と題して最近琵琶湖博物館が行っている水田の総合研究の成果の一端をわかりやすく展示しました。人と湖と田んぼと魚の深くておもしろい関係がわかり、身の回りに如何に重要なことがあるのかを示すことができました。

また2010年度ギャラリー展示はさまざまな研究会や団体が主体となった、5つのユニークな市民参加型展示を開催することができました。名称だけ列記しておきますと「鉱物・化石展2010 ぼくらは大地に夢を掘る」、「神秘の鍾乳洞 河内の風穴」、「近江のふるさと絵屏風と未来予想図」、「温故知新・近江の糸と織り」、「食事（くいじ）博—未来につなごう近江の食とくらし—」であります。タイトルだけでもバラエティに富んだものだとおわかりいただけると思います。

2008年度よりスタートした市民向け講座「新琵琶湖学入門セミナー」は、年度ごとに進化を遂げ2009年度は「新琵琶湖学専門セミナー」、今年度は「新琵琶湖学創造セミナー」と充実してきました。琵琶湖博物館では「湖と人間」を基本的なテーマとして、過去から現在にかけての湖と人間との関係を明らかにし、未来に向けてよりよい関係を考えていくために、調査研究をしてきています。琵琶湖やその集水域また淀川流域の自然、歴史、暮らしなどの研究もさらに深化してきています。この琵琶湖学のセミナーもさらに発展させていきたいと考えております。

また学術のさまざまな分野でご活躍しておられる研究者を招いての特別講演会も毎月1回開催することができました。琵琶湖博物館の社会的役割の重要性を示すものですが、市民の方々にとっても好評であり成功裏のうちに12回を無事終えることができました。この特別講演会は2010年度で一旦終了し、近い将来新しい形で復活したいと考えております。

琵琶湖博物館では文部科学省や環境省などの科学研究費申請などによる競争的研究経費の獲得を奨励してきました。新規および継続を含めて都道府県立博物館のなかでは採択数、採択率ともにトップクラスを維持しております。これは研究費獲得という経費的な側面だけではなく、琵琶湖博物館の研究水準が高いことが学術的に認められていることであり、引き続き努力していくつもりです。

2010年度を振り返って、主だった琵琶湖博物館の研究活動や業務活動またアウトリーチとしての社会的活動など述べてきました。こうした活動が可能なのは、さまざまな場や機会において琵琶湖博物館を積極的に支えてくださっているかたがたの存在があってこそだと思います。ここに厚くお礼申し上げますとともに、今後とも積極的なご意見・ご批判を含めてご支援をお願い申し上げます。

2011年8月15日

滋賀県立琵琶湖博物館  
館長 篠原 徹

# 目 次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| ごあいさつ                    | 1  |
| <b>I 博物館機能の強化</b>        |    |
| <b>1 資料が活用できる博物館</b>     |    |
| 資料整備活動                   |    |
| (1) 収蔵資料                 | 5  |
| (2) 寄贈者および提供者            | 8  |
| (3) 購入資料                 | 9  |
| (4) 水族繁殖生物               | 9  |
| (5) 資料情報の公開              | 11 |
| (6) 資料の活用                | 11 |
| (7) 資料保管                 | 16 |
| (8) 燻蒸・処理                | 16 |
| <b>2 研究を進めて活かせる博物館</b>   |    |
| 研究調査活動                   |    |
| (1) 総合研究                 | 18 |
| (2) 共同研究                 | 18 |
| (3) 専門研究                 | 18 |
| (4) 公表された主な研究業績          | 20 |
| (5) 研究助成を受けた研究           | 24 |
| (6) 新琵琶湖学創造セミナー          | 25 |
| (7) 琵琶湖博物館特別講演会          | 26 |
| (8) 特別研究セミナー             | 27 |
| (9) 研究セミナー               | 28 |
| (10) 研究員の受け入れ            | 29 |
| (11) 海外交流活動              | 30 |
| <b>3 新たな参加と発見ができる博物館</b> |    |
| 展示活動                     |    |
| (1) 常設展示の主な更新            | 31 |
| (2) 企画展示                 | 33 |
| (3) 水族企画展示               | 35 |
| (4) ギャラリー展示              | 36 |
| (5) トピックス展示              | 39 |
| (6) 集う・使う・創る 新空間         | 40 |
| (7) ディスカバリールームのイベント      | 40 |
| 展示交流事業                   |    |
| (1) 展示交流員と話そう            | 41 |
| <b>4 体験と交流を促す博物館</b>     |    |
| 一般利用者へのサービス事業            |    |
| (1) 観察会・見学会等             | 43 |
| (2) 講座                   | 43 |
| (3) 体験教室                 | 45 |
| 学校連携事業および体験学習            |    |
| (1) 学校団体の受け入れ            | 46 |
| (2) 教職員等研修               | 47 |
| (3) 学校団体向け体験学習           | 48 |
| (4) 一般団体向け体験学習           | 49 |

|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| (5) 「琵琶湖博物館わくわく探検隊（体験学習の日）」の活動 | 49  |
| (6) 学校サテライト博物館事業               | 50  |
| (7) ミュージアムスクールの運営              | 51  |
| (8) 職場体験実習                     | 53  |
| (9) 視察対応                       | 53  |
| (10) 博物館実習                     | 54  |
| 国際交流活動                         |     |
| (1) 「JICA 博物館学集中コース」の実施        | 55  |
| (2) 海外からの視察・研修                 | 56  |
| <b>5 対話と応援ができる博物館</b>          |     |
| 利用者主体の事業                       |     |
| (1) フィールドレポーター                 | 59  |
| (2) はしかけ制度                     | 60  |
| 地域交流活動への支援事業                   |     |
| (1) 地域活動の支援（博物館内対応）            | 73  |
| (2) 地域活動の支援（博物館外対応）            | 76  |
| (3) 質問コーナー・フロアトーク              | 80  |
| 琵琶湖博物館環境学習センター                 |     |
| (1) 環境学習に関する相談対応、情報提供          | 81  |
| (2) 環境学習の交流の場づくり               | 81  |
| 情報発信活動                         |     |
| (1) 通信網を利用した館外への情報提供           | 82  |
| (2) 通信網を利用した双方向の情報交換サービス       | 84  |
| (3) 印刷物                        | 84  |
| <b>II 環境の整備</b>                |     |
| <b>1 拠点としての施設整備</b>            |     |
| (1) 利用者用施設の整備                  | 86  |
| (2) 情報システムの整備                  | 86  |
| (3) 来館者アンケート調査結果               | 86  |
| <b>2 柔軟な運営組織</b>               |     |
| (1) 組織                         | 91  |
| (2) 職員                         | 92  |
| <b>3 社会的支援と新しい経営</b>           |     |
| (1) 利用状況（2010年度入館者数）           | 95  |
| (2) 新聞掲載記録                     | 97  |
| (3) 広告掲載一覧                     | 104 |
| (4) 雑誌等掲載記録                    | 105 |
| (5) テレビ放映・ラジオ放送記録              | 108 |
| (6) 予算                         | 110 |
| <b>4 存在基盤の確立</b>               |     |
| (1) 琵琶湖博物館協議会                  | 111 |
| (2) 企画・計画                      | 112 |
| <b>III 2010年度をふり返って</b>        |     |
| <b>1 研究部</b>                   | 113 |
| <b>2 事業部</b>                   | 113 |
| <b>3 総務部</b>                   | 115 |
| <b>IV 博物館利用のご案内</b>            | 117 |

# I 博物館機能の強化

## 1 資料が活用できる博物館

### 資料整備活動

琵琶湖博物館で資料整備の対象としているのは、「琵琶湖とその集水域および淀川流域」およびその全体的評価にかかわるもの、ならびに博物館のテーマ「湖と人間」に関係する日本、アジア、世界の湖沼とその周辺地域におよぶものである。自然、人文、社会科学等にかかわる過去から現在までの実物の資料、生魚などの水族資料、映像資料、図書資料および博物館業務に必要な資料について、収集・整理・保管および利用を図り、博物館活動の充実に努めている。

収蔵資料は、博物館職員による収集をはじめ、受贈、受託、交換、購入、製作、提供、参加型調査等によって受け入れられ、必要に応じて速やかに利用できるよう、各資料区分の体系にしたがって整理を行っている。

以下に2010年度の資料整備状況を示す。

### (1) 収蔵資料

収蔵資料は、地学標本、植物標本、動物標本、微生物標本、水族資料（生体）、考古資料、歴史資料、民俗資料、環境資料、図書資料、映像資料の11分野にわたる。

登録資料数とは、琵琶湖博物館情報システムの資料データベースに登録されているものの総数をいい、収蔵概数とは、登録資料数と未整理な資料を含めた収蔵全体数である。

2010年度末現在で、博物館登録資料は431,167で、収蔵概数は786,895となった。これらの収蔵資料は、保存に影響を与えない範囲で、展示、閲覧および貸出等に利用している。

### 【収蔵資料のまとめ】

2011年3月現在

|        | 登録資料数                 | 収蔵概数       | 2010年度登録数         | 2010年度受入総数        |
|--------|-----------------------|------------|-------------------|-------------------|
| 地学     | 34,718                | 46,950     | 238               | 17,082            |
| 植物     | 84,186                | 166,038    | 10                | 1                 |
| 動物     | 103,944               | 266,141    | 1,364             | 9,400             |
| 微生物    | 0                     | 63,867     | 0                 | 0                 |
| 水族（生体） | 16,574                | 16,574     | 25,360            | 25,360            |
| 考古     | 0                     | 1,348箱と343 | 0                 | 2箱と9              |
| 歴史     | 0                     | 204        | 0                 | 1                 |
| 民俗     | 6,721                 | 6,770      | 0                 | 2                 |
| 環境     | 0                     | 45箱と745    | 0                 | 0                 |
| 図書     | 106,518と<br>2,738タイトル | 117,404    | 6,835と<br>409タイトル | 5,562と<br>409タイトル |
| 映像     | 75,766                | 101,700    | 0                 | 2,450             |
| 合計     | 431,167               | 786,895    | 34,216            | 60,284            |

【各分野別の詳細】

| 地学標本   | 2010年度 |     |        |     |     |        |                | 累 積    |        |
|--------|--------|-----|--------|-----|-----|--------|----------------|--------|--------|
|        | 登録数    | 採集数 | 寄贈数    | 購入数 | 提供数 | 受入総数   | 整理状況・作業内容・公開など | 登録資料数  | 収蔵概数   |
| 化石     | 10     | 0   | 17,010 | 0   | 0   | 17,010 |                | 22,622 | 30,400 |
| 岩石・鉱物  | 69     | 0   | 0      | 0   | 56  | 56     |                | 8,343  | 11,500 |
| 堆積物    | 16     | 8   | 8      | 0   | 0   | 16     |                | 2,502  | 3,800  |
| プレパラート | 143    | 0   | 0      | 0   | 0   | 0      |                | 1,251  | 1,250  |
| 小 計    | 238    | 8   | 17,018 | 0   | 56  | 17,082 |                | 34,718 | 46,950 |

| 植物標本   | 2010年度 |     |     |     |     |      |                            | 累 積    |         |
|--------|--------|-----|-----|-----|-----|------|----------------------------|--------|---------|
|        | 登録数    | 採集数 | 寄贈数 | 購入数 | 提供数 | 受入総数 | 整理状況・作業内容・公開など             | 登録資料数  | 収蔵概数    |
| さく葉標本  | 10     | 0   | 1   | 0   | 0   | 1    | 標本受入・登録・ラベル貼付け・収蔵・管理、収蔵庫燻蒸 | 84,186 | 165,860 |
| 菌類乾燥標本 | 0      | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    |                            | 0      | 121     |
| 水草包埋標本 | 0      | 0   | 0   | 0   | 0   | 0    |                            | 0      | 57      |
| 小 計    | 10     | 0   | 1   | 0   | 0   | 1    |                            | 84,186 | 166,038 |

| 動物標本                     | 2010年度              |     |       |       |       |       |                                     | 累 積  |         |         |
|--------------------------|---------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------------------------------------|--|---------|---------|
|                          | 登録数                 | 採集数 | 寄贈数   | 購入数   | 提供数   | 受入総数  | 整理状況・作業内容・公開など                      | 登録資料数  | 収蔵概数    |         |
| 脊椎動物（魚類除く）               | 613                 | 34  | 14    | 0     | 84    | 132   |                                     | 1,982  | 2,312   |         |
| 内 訳                      | 哺乳類骨格標本             | 0   | 0     | 12    | 0     | 0     | 12                                  | 本剥製標本の提供1点、巣と卵殻標本の提供各1点、館での巣・卵殻採集各1点、仮剥製製作12点、本剥製製作・部分骨格標本製作各10点 | 195     | 208     |
|                          | 哺乳類剥製標本             | 0   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0                                   |  | 8       | 11      |
|                          | 哺乳類(その他)            | 2   | 0     | 2     | 0     | 0     | 2                                   |  | 494     | 839     |
|                          | 鳥類骨格標本              | 110 | 10    | 0     | 0     | 0     | 10                                  |  | 220     | 212     |
|                          | 鳥類乾燥標本(巣、卵、レプリカ等含む) | 263 | 24    | 0     | 0     | 3     | 27                                  |  | 576     | 553     |
|                          | 爬虫類骨格標本             | 0   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0                                   |  | 28      | 28      |
|                          | 爬虫類剥製標本             | 0   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0                                   |  | 3       | 3       |
|                          | 爬虫類液浸標本             | 20  | 0     | 0     | 0     | 3     | 3                                   |  | 43      | 43      |
|                          | 爬虫類(その他)            | 0   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0                                   |  | 44      | 44      |
|                          | 両生類骨格標本             | 0   | 0     | 0     | 0     | 0     | 0                                   |  | 6       | 6       |
| 両生類液浸標本                  | 204                 | 0   | 0     | 0     | 64    | 64    | 351                                 | 351  |         |         |
| 両生類(その他)                 | 14                  | 0   | 0     | 0     | 14    | 14    | 14                                  | 14   |         |         |
| 魚類（淡水魚類）                 | 504                 | 0   | 0     | 0     | 218   | 218   |                                     | 53,174   | 82,270  |         |
| 内 訳                      | 乾燥骨格標本              | 0   | 0     | 0     | 0     | 0     | 咽頭歯を含む乾燥骨格標本は登録しなかった                | 2,848  | 2,848   |         |
|                          | DNA分析用標本            | 0   | 0     | 0     | 0     | 0     | DNA分析標本は登録しなかった                     | 3,726  | 3,726   |         |
|                          | 液浸標本                | 504 | 0     | 0     | 0     | 218   | 218                                 | 前年度までの未登録標本、提供された標本を同定し、504件登録した                                 | 45,600  | 75,696  |
| 昆虫                       | 0                   | 87  | 1,923 | 0     | 6,566 | 8,576 |                                     | 34,610   | 154,832 |         |
| 内 訳                      | 昆虫液浸標本              | 0   | 2     | 0     | 0     | 12    | 14                                  | 新規採集や提供を受けた標本を固定し、データラベルを添付して登録できる状態にした                          | 12,495  | 31,060  |
|                          | 昆虫乾燥標本              | 0   | 85    | 1,923 | 0     | 6,554 | 8,562                               | 村山コレクション整理5,150  | 22,115  | 123,772 |
| 貝類                       | 247                 | 18  | 0     | 0     | 319   | 337   | 未整理標本および新規採集・提供寄贈標本を整理し、データベースに登録した | 14,178   | 15,516  |         |
| 昆虫と貝類以外の無脊椎動物（甲殻類、寄生虫など） | 0                   | 87  | 0     | 0     | 50    | 137   | 本年度は同定確定作業を中心に行った。（環形動物、甲殻類など）      | 0  | 11,211  |         |
| 小 計                      | 1,364               | 226 | 1,937 | 0     | 7,237 | 9,400 |                                     | 103,944  | 266,141 |         |

| 微生物標本             | 2010年度 |        |     |     |     |      |   | 累 積    |        |
|-------------------|--------|--------|-----|-----|-----|------|---|--------|--------|
|                   | 登録数    | 作成・撮影数 | 寄贈数 | 購入数 | 提供数 | 受入総数 | 整理状況・作業内容・公開など  | 登録資料数  | 収蔵概数   |
| 微小生物液浸標本          | 0      | 99     | 0   | 0   | 262 | 0    | 作成・撮影したプレパラートおよびデジタルファイルについては、選定した後に受入予定。(資料データは作成済み) | 0      | 3,547  |
| 微小生物プレパラート        | 0      | 124    | 0   | 0   | 0   | 0    |   | 0      | 155    |
| 珪藻プレパラート          | 0      | 130    | 0   | 0   | 0   | 0    |   | 0      | 1,517  |
| 珪藻顕微鏡写真フィルム       | 0      | 0      | 0   | 0   | 0   | 0    |   | 0      | 22,905 |
| 珪藻顕微鏡写真デジタルファイル   | 0      | 1,829  | 0   | 0   | 0   | 0    |   | 0      | 24,064 |
| 微小生物顕微鏡写真デジタルファイル | 0      | 2,304  | 0   | 0   | 0   | 0    |   | 0      | 8,595  |
| 微小生物動画ファイル        | 0      | 0      | 0   | 0   | 0   | 0    |   | 0      | 22     |
| 小 計               | 0      | 4,486  | 0   | 0   | 262 | 0    | 0   | 63,867 |        |

| 水族資料<br>(生体) | 2010年度 |        |     |        |        |        |                | 累 積    |        |
|--------------|--------|--------|-----|--------|--------|--------|----------------|--------|--------|
|              | 登録数    | 採集数    | 提供数 | 購入数    | 繁殖数    | 受入総数   | 整理状況・作業内容・公開など | 登録資料数  | 収蔵概数   |
| 脊椎動物         | 24,021 | 881    | 620 | 13,240 | 9,280  | 24,021 |                | 15,720 | 15,720 |
| 内<br>訳       | 魚類     | 24,018 | 880 | 618    | 13,240 | 9,280  | 24,018         | 15,679 | 15,679 |
|              | 両生類    | 0      | 0   | 0      | 0      | 0      | 0              | 9      | 9      |
|              | 爬虫類    | 3      | 1   | 2      | 0      | 0      | 3              | 25     | 25     |
|              | 鳥類     | 0      | 0   | 0      | 0      | 0      | 0              | 7      | 7      |
| 無脊椎動物        | 1,339  | 322    | 0   | 838    | 179    | 1,339  |                | 854    | 854    |
| 内<br>訳       | 昆虫類    | 179    | 0   | 0      | 0      | 179    | 179            | 215    | 215    |
|              | 貝類     | 307    | 0   | 0      | 307    | 0      | 307            | 352    | 352    |
|              | 甲殻類    | 853    | 322 | 0      | 531    | 0      | 853            | 287    | 287    |
|              | 環形動物   | 0      | 0   | 0      | 0      | 0      | 0              | 0      | 0      |
| 小 計          | 25,360 | 1,203  | 620 | 14,078 | 9,459  | 25,360 |                | 16,574 | 16,574 |

| 考古資料            | 2010年度 |       |                | 累 積   |            |
|-----------------|--------|-------|----------------|-------|------------|
|                 | 登録数    | 受入総数  | 整理状況・作業内容・公開など | 登録資料数 | 収蔵概数       |
| 遺跡遺物(舟、瓦を除く)    | 0      | 0     |                | 0     | 1,313箱と320 |
| 丸木船             | 0      | 0     |                | 0     | 5          |
| 瓦               | 0      | 0     |                | 0     | 22箱        |
| 灯籠              | 0      | 0     |                | 0     | 3          |
| 貝塚剥ぎ取り資料        | 0      | 0     |                | 0     | 6          |
| 展示関係(ガリラヤ湖関係含む) | 0      | 0     |                | 0     | 11箱        |
| 湖底遺跡移管資料        | 0      | 9点と2箱 | 滋賀県立大学より移管     | 0     | 2箱と9       |
| 小 計             | 0      | 9点と2箱 |                | 0     | 1,348箱と343 |

| 歴史資料                 | 2010年度 |     |     |     |      | 累 積                                       |       |      |
|----------------------|--------|-----|-----|-----|------|---|-------|------|
|                      | 登録数    | 購入数 | 寄贈数 | 提供数 | 受入総数 | 整理状況・作業内容・公開など                            | 登録資料数 | 収蔵概数 |
| 古文書、絵図、絵画等           | 0      | 0   | 0   | 0   | 0    | 居初家文書Ⅰ(147号)215点、<br>居初家文書Ⅱ(150号)77点、目録完成 | 0     | 161  |
| 二次資料<br>(レプリカ、模写、模造) | 0      | 1   | 0   | 0   | 1    |   | 0     | 36   |
| その他                  | 0      | 0   | 0   | 0   | 0    |   | 0     | 7    |
| 小 計                  | 0      | 1   | 0   | 0   | 1    |   | 0     | 204  |

| 民俗資料           | 2010年度 |     |      |                | 累 積   |       |
|----------------|--------|-----|------|----------------|-------|-------|
|                | 登録数    | 提供数 | 受入総数 | 整理状況・作業内容・公開など | 登録資料数 | 収蔵概数  |
| 生活生業用具         | 0      | 0   | 0    |                | 4,133 | 4,140 |
| 漁撈用具(船関係用具を含む) | 0      | 2   | 2    |                | 2,588 | 2,589 |
| 二次資料(木造船模型)    | 0      | 0   | 0    |                | 0     | 41    |
| 小 計            | 0      | 2   | 2    |                | 6,721 | 6,770 |

| 環境資料         | 2010年度 |     |      |                | 累 積   |         |
|--------------|--------|-----|------|----------------|-------|---------|
|              | 登録数    | 提供数 | 受入総数 | 整理状況・作業内容・公開など | 登録資料数 | 収蔵概数    |
| 水環境調査資料      | 0      | 0   | 0    |                | 0     | 72      |
| 生活用具類        | 0      | 0   | 0    |                | 0     | 25      |
| 民具類          | 0      | 0   | 0    |                | 0     | 22箱と619 |
| 二次資料(レプリカなど) | 0      | 0   | 0    |                | 0     | 23箱と25  |
| 海外の湖沼船       | 0      | 0   | 0    |                | 0     | 4       |
| 小 計          | 0      | 0   | 0    |                | 0     | 45箱と745 |

| 図書資料 | 2010年度        |           |               |               | 累 積  |                   |         |
|------|---------------|-----------|---------------|---------------|--|-------------------|---------|
|      | 登録数           | 購入数       | 寄贈・提供数        | 受入総数          | 整理状況・作業内容など  | 登録資料数             | 収蔵概数    |
| 書籍   | 3,790         | 68        | 2,446         | 2,517         | 開架図書9,620冊、雑誌260件の整備、書籍レファレンス、コピーサービス(有料)、蔵書点検48,000点、ニュースターの整理、図書装備3,800冊 | 65,247            | 73,833  |
| 文献   | 3,045         | 0         | 3,045         | 3,045         |  | 41,271            | 43,571  |
| 雑誌   | 409タイトル       | 57タイトル    | 352タイトル       | 409タイトル       |  | 2,738タイトル         |         |
| 小 計  | 6,835と409タイトル | 68と57タイトル | 5,491と352タイトル | 5,562と409タイトル |  | 106,518と2,738タイトル | 117,404 |

| 映像資料  | 2010年度 |       |     |     |     |       | 累 積                         |        |         |
|-------|--------|-------|-----|-----|-----|-------|-----------------------------|--------|---------|
|       | 登録数    | 撮影数   | 移管数 | 寄託数 | 提供数 | 受入総数  | 整理状況・作業内容・公開など              | 登録資料数  | 収蔵概数    |
| 静止画資料 | 0      | 0     | 0   | 0   | 470 | 470   | 大橋氏フィルム整理、スキャン              | 75,766 | 92,931  |
| 動画資料  | 0      | 1,980 | 0   | 0   | 0   | 1,980 | ニュース番組タイトル録画、DVD(デジタル化)編集作業 | 0      | 8,769   |
| 小 計   | 0      | 1,980 | 0   | 0   | 470 | 2,450 |                             | 75,766 | 101,700 |

## (2) 寄贈者および提供者一覧

敬称省略(点数)

### 【地学資料】

化石標本：谷口 徹(3) 西宮光一(45) 大西浩吉(1) 奥山君代(8,480) 松山千里(1)

岩石・鉱物標本：石田千佐登(6) 大西浩吉(2) 中沢和雄(53)

堆積物：市川信夫(8)

### 【植物標本】

さく葉標本：葛山博次(1)

### 【動物標本】

哺乳類骨格標本：岡村喜明(12)

脊椎動物：滋賀県自然保護課(1)

哺乳類標本：長浜市(1)

両生類標本：大津市(1)

鳥類乾燥標本：中野伸治(2)  
 魚類液浸標本：守山市営美崎公園(214) 愛知県警察(3)  
 昆虫液浸標本：吉川定一(1) 後藤宮子(7) NPO 法人びわこ豊穰の郷(4)  
 昆虫乾燥標本：窪田百合子(1,923) 柴栄康雄(3) 島根 茂(1) 武田 滋(135+80)  
 中川 優(20+420) 遠藤真樹(1) 田中ますみ(1,000) 高石清治(16)  
 細井正史(51+9) 桐村信行(127)  
 貝類標本：高見明宏(16)  
 貝類液浸標本：内藤順一(41) 八尋由佳ほか(13) 石田未基(4) 守山市営美崎公園(40)  
 瀬田町漁協(3) 高見明宏(19) 水資源機構(25+174)  
 昆虫と貝類以外の無脊椎動物標本(甲殻類・寄生虫など)：  
 広瀬雅人(3) 川那部浩哉(1) 石田未基(2) 守山市営美崎公園(20) 高石清治(1)  
 (独)水資源機構 琵琶湖開発総合管理所長(2,365) 三上孝雄(1) 中野隆文(4)  
 中川 優(37) 豊穰の郷(7)

【微生物標本】

微小生物液浸標本：一瀬 諭(11)

【水族資料】

脊椎動物(魚類)：神戸市立須磨海浜水族園(50)

【民俗資料】

生活・生業用具：杉元芳弘(1) 中村幸弘(1)

メコン川流域漁具：池口明子(13)

【図書資料】

書籍：野村しず一(1) 井狩知子(5) 近江八幡の女性史を拓く会(1) 矢野宏二(46) 浦部美佐子(1)  
 根来健一郎(28) 京都大学理学部大津臨湖実験所(1) 上総掘りを記録する会(1) VINZ(1)  
 滋賀県彦根市三津町自治会(1) 総本山長谷寺(1) 水田有夏志(1) 久保田暁一(1) たねや(1)  
 杉村光俊・野村彩恵(1) 河端政一(416) 吉川周作(56) 石田志朗(134) 岸本治二(1)  
 三浦泰蔵(18) 筈見時男(1) 杉立繁雄(5) 早川貞臣(1) 「村の日記」研究会(1) 渡辺仁治(6)  
 東近江市中野地区まちづくり協議会(1) 清水大吉郎(200) 横江孚彦(1) 亀井節夫(7)  
 向 敏男(2) 昭和堂(1) 田原傳三郎(1) 川端善二(1) 宮地伝三郎(16) 森下正明(292)  
 大阪ガスエネルギー文化研究会(1) 吉岡美佐子(2) 滋賀むしの会(13) 川那部浩哉(167)  
 DVD：岩槻邦男(1)

(3) 購入資料一覧

| 資料分野 | 資料名                 | 点数     | 資料形態          | 内容等 |
|------|---------------------|--------|---------------|-----|
| 歴史資料 | 「花園院宸記 巻27(第十九回配本)」 | 1件(1点) | 古文書<br>(レプリカ) |     |

(4) 水族繁殖生物

| 種名         | 学名                                 | 個体数 |
|------------|------------------------------------|-----|
| 日本産魚類      |                                    |     |
| <b>コイ科</b> |                                    |     |
| ウシモツゴ      | <i>Pseudorasbora pumila</i> subsp. | 245 |
| モツゴ        | <i>Pseudorasbora parva</i>         | 300 |
| シナイモツゴ     | <i>Pseudorasbora pumila pumila</i> | 220 |

| 種 名              | 学 名  | 個体数   |
|------------------|--|-------|
| タモロコ             | <i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>     | 424   |
| ホンモロコ            | <i>Gnathopogon caeruleus</i>               | 165   |
| スゴモロコ            | <i>Squalidus chankaensis biwae</i>         | 120   |
| デメモロコ            | <i>Squalidus japonicus japonicus</i>       | 204   |
| ヒナモロコ            | <i>Aphyocypris chinensis</i>               | 250   |
| ミヤコタナゴ           | <i>Tanakia tanago</i>                      | 100   |
| アカヒレタビラ          | <i>Acheilognathus tabira erythropterus</i> | 22    |
| イチモンジタナゴ         | <i>Acheilognathus cyanostigma</i>          | 310   |
| イタセンパラ           | <i>Acheilognathus longipinnis</i>          | 36    |
| ゼニタナゴ            | <i>Acheilognathus typus</i>                | 3     |
| キタノアカヒレタビラ       | <i>Acheilognathus tabira tohokuensis</i>   | 2     |
| タナゴ              | <i>Acheilognathus melanogaster</i>         | 95    |
| カゼトゲタナゴ          | <i>Rhodeus atremius atremius</i>           | 124   |
| ニッポンバラタナゴ        | <i>Rhodeus ocellatus kurumeus</i>          | 116   |
| <b>ドジョウ科</b>     |  |       |
| アユモドキ            | <i>Parabotia curta</i>                     | 117   |
| ホトケドジョウ          | <i>Lefua echigonia</i>                     | 120   |
| <b>メダカ科</b>      |  |       |
| メダカ              | <i>Oryzias latipes</i>                     | 230   |
| <b>トゲウオ科</b>     |  |       |
| ハリヨ              | <i>Gasterosteus microcephalus</i>          | 344   |
| ムサシトミヨ           | <i>Pungitius sp.</i>                       | 204   |
| <b>ハゼ科</b>       |  |       |
| アオバラヨシノボリ        | <i>Rhinogobius sp. BB</i>                  | 152   |
| <b>スズキ科</b>      |  |       |
| オヤニラミ            | <i>Coreoperca kawamebari</i>               | 66    |
| <b>サケ科</b>       |  |       |
| ビワマス             | <i>Oncorhynchus masou subsp.</i>           | 4,300 |
| <b>外国産魚類</b>     |  |       |
| <b>コイ科</b>       |  |       |
| ウエキゼニタナゴ         | <i>Rhodeus sinensis</i>                    | 240   |
| ローデウス・ファンギ       | <i>Rhodeus fangi</i>                       | 163   |
| オオタナゴ            | <i>Acheilognathus macropterus</i>          | 145   |
| アケイログナトウス属の一種    | <i>Acheilognathus sp.</i>                  | 5     |
| ヘミククター・レウキスクルス   | <i>Hemiculter leucisculus</i>              | 90    |
| <b>サンフィッシュ科</b>  |  |       |
| ロングイヤーサンフィッシュ    | <i>Lepomis megalotis</i>                   | 100   |
| パンプキンシード         | <i>Lepomis gibbosus</i>                    | 70    |
| <b>メダカ科</b>      |  |       |
| ランプリクティス・タンガニカヌス | <i>Lamprichthys tanganicanus</i>           | 143   |
| <b>カワスズメ科</b>    |  |       |
| ネオランプロログス・オケラータス | <i>Neolamprologus ocellatus</i>            | 31    |
| ジュリドクロミス・オルナータス  | <i>Julidochromis ornatus</i>               | 6     |
| クセノティラピア・フラビピンニス | <i>Xenotilapia flavipinnis</i>             | 9     |
| <b>昆虫類</b>       |  |       |
| タガメ              | <i>Lethocerus deyrollei</i>                | 114   |
| クロゲンゴロウ          | <i>Cybister brevis</i>                     | 20    |
| ゲンゴロウ            | <i>Cybister japonicus</i>                  | 45    |

## (5) 資料情報の公開

2010年度には電子図鑑・資料データベースの新規公開や追加はなかったが、2011年度の公開にむけて、電子図鑑「日本産環境指標ゴミムシ類データベース 里山のゴミムシ」、電子図鑑(仮)「博物館で展示された生き物たち」および資料目録「居初家文書」の公開準備作業を行った。

## (6) 資料の活用

### 1) 資料の貸出(研究依頼を含む)

| 月  | 日  | 貸出先                 | 資料内容  | 利用目的  |
|----|----|---------------------|---|---|
| 5  | 6  | 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課    | レプリカ3点:ふなずし、コイ筒煮、ハス煮つけ                                | COP10 関連事業巡回展示に出展するため 2010年5月6日～2011年3月31日          |
| 5  | 20 | 姫路市立水族館             | ミジンツボの一種(ミジンツボ科) 1個体                                  | 図鑑作成用の写真撮影のため                                       |
| 6  | 16 | 近畿大学農学部水産生物研究室      | 滋賀県産スジシマドジョウ大型種 20個体                                  | (研究) 化骨形成過程の観察のため                                   |
| 7  | 5  | 神戸市立須磨海浜水族園         | ミナミトミヨ乾燥標本3点  | 夏期特別展にて展示を行うため                                      |
| 8  | 6  | 日本第四紀学会(開催場所:同志社大学) | 烏丸地区深層ボーリングコア5資料                                      | 日本第四紀学会講習会にて、ボーリングコアの観察法について実習を行うため                 |
| 8  | 25 | 滋賀県埋蔵文化財センター        | 松原内湖遺跡出土資料 計7点  | 2010年度秋季ロビー展示「縄文のアートと文化」に出展するため                     |
| 8  | 29 | 彦根市民会館              | 大橋宇三郎ギャラリー展写真パネル 計53点                                 | 彦根市秋の文化祭協賛「彦根史談会秋の展示会」                              |
| 9  | 30 | 島根県立宍道湖自然館          | ゼニタナゴ20個体、ハス2個体                                       | ラムサール条約5周年記念に関する展示                                  |
| 10 | 10 | 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課    | ビワコオオナマズ剥製1、イケチョウガイ標本1、ササノハガイ標本5、セタシジミ標本10、タテボシガイ標本20 | COP10 関連事業に関するブース展示作成のため 2010年10月11日～11月3日 名古屋国際会議場 |
| 10 | 25 | 富山市科学博物館            | 等脚類液浸標本18点  | 総合研究「分類学」の一環として、当館所蔵等脚類標本の分類学的研究および論文作成のため          |
| 11 | 16 | 京都橘中学・高等学校          | ヤママユ2点  | 学校での授業に使用するため                                       |
| 11 | 17 | 長浜市湯田公民館            | 「明治42年姉川地震による被害」パネル資料53点                              | 第1回湯田フェスタに展示し、災害意識の向上を図るため                          |
| 12 | 1  | みなくち子どもの森自然観        | クマタカ♀(本剥製)1、オシドリ♂(本剥製)1、マガモ♂♀(本)剥製2、ハト組立骨格標本1 計5点     | 冬季特別展示「野鳥たちのひみつ」2010年12月22日～2011年3月13日に資料として展示するため  |
| 12 | 21 | 東近江市史編纂室            | 松原内湖遺跡出土北部九州型鍬1、瀬田唐橋遺跡橋脚遺構1 計2点                       | 『東近江市史 能登川の歴史』第1巻原始・古代編に掲載                          |
| 2  | 25 | 香美町役場               | 香美町香住区下浜産出奇蹄類足跡型(凸型二点セット)1点                           | レプリカ作製のため   |

## 2) 資料の譲与

<水族>

| 月  | 日  | 譲与先            | 資料内容  | 利用目的            |
|----|----|----------------|---|-----------------|
| 4  | 27 | 名古屋市東山動植物園     | ハリヨ（滋賀県産）10 個体、ニッポンバラタナゴ（大阪府産）20 個体                         | 飼育展示および繁殖・保存のため |
| 5  | 7  | 近畿大学農学部水産増殖学教室 | タモロコ（滋賀県産）10 個体、ホンモロコ（滋賀県産）10 個体                            | 飼育展示および繁殖・保存のため |
| 7  | 3  | 岐阜経済大学         | ハリヨ（犬上川産）20 個体  | 地域個体群系統関係の研究のため |
| 7  | 28 | 姫路市立水族館        | ロングノーズガー 1 個体   | リニューアル展示のため     |
| 10 | 22 | 国立環境研究所        | ナマズの組織片 3 標本、フナの組織片 4 標本、ビワコオオナマズの組織片 2 標本、イワトコナマズの組織片 2 標本 | 系統地理学的研究に供するため  |

## 3) 特別観覧

<映像資料>

| 月 | 日  | 貸出先                 | 資料内容                   | 使用目的   | 備考  |
|---|----|---------------------|------------------------|--|-----|
| 4 | 5  | 平野区役所区民企画担当（市民活動推進） | 琵琶湖お魚ネットワークマップ 1 点     | 平野区更生保護女性会広報誌に掲載                                 | 静止画 |
| 4 | 8  | （株）元気な事務所           | 魚類（ニゴロブナ・ビワマス）計 2 点    | NHK 大津 おうみ発 610 内にて環境メッセージで使用                    | 静止画 |
| 4 | 22 | 毎日放送 制作局 制作二部       | 魚類（ビワコオオナマズ・ビワマス）計 2 点 | 毎日放送「よみこ部」で生物解説のために使用                            | 静止画 |
| 4 | 30 | 社団法人 農山漁村文化協会       | 魚類（ニゴロブナ）1 点           | 『そだててあそぼう 95 コイ・フナの絵本』に掲載のため                     | 静止画 |
| 5 | 7  | （株）第一学習社            | 魚類（オオクチバス）1 点          | 文部科学省検定教科書『生物基礎』、『新生物基礎』に掲載                      | 静止画 |
| 5 | 13 | 共同通信社               | 魚類（イサザ）1 点             | 報道用  | 静止画 |
| 6 | 4  | 社団法人 農山漁村文化協会       | 魚類（マゴイ）1 点             | 『そだててあそぼう 95 コイ・フナの絵本』に掲載のため                     | 静止画 |
| 6 | 12 | 滋賀県広報課              | 魚類（メダカ・ナマズ・コイなど）9 点    | 滋賀県広報誌「滋賀プラスワン」に掲載                               | 静止画 |
| 6 | 16 | 栃木県なかがわ水遊園          | 魚類（クニマス・ミナミトミヨ）2 点     | 平成 22 年度 夏の特別展「幻の魚を追え！～伝説・事実・発見その真相に迫る～」パネル作成に使用 | 静止画 |
| 6 | 22 | よし笛サークル かいづぶり       | 魚類・昆虫類など 計 21 点        | よし笛定期演奏会オープニングスライドとして使用                          | 静止画 |
| 6 | 29 | 琵琶湖環境部環境政策課         | 魚類（ニゴロブナ）1 点           | 「滋賀の環境 2010」への掲載                                 | 静止画 |
| 6 | 30 | NHK 制作局             | 魚類（ワタカ・アブラヒガイなど）計 15 点 | 「ビワマス」を紹介するテレビ番組で使用                              | 静止画 |
| 6 | 30 | （株）新潮社 出版部          | 前野コレクション 計 11 点        | 2010 年 9 月 25 日刊行 白州正子著「かくれ里」に掲載                 | 静止画 |
| 7 | 6  | 文研出版児童図書            | 魚類・琵琶湖博物館外観 計 9 点      | 文研じゅべに「生きぬけ！琵琶湖」に掲載                              | 静止画 |
| 7 | 10 | 日本水環境学会関西支部         | 貝類（セタシジミ・マシジミ）計 2 点    | 日本水環境学会関西支部川部会で発行するリーフレット「瀬田川・宇治川」に掲載            | 静止画 |
| 7 | 10 | 須磨海浜水族園             | 魚類（希少種）計 20 点          | 夏期特別展にて展パネル展示、リーフレットに使用                          | 静止画 |

| 月  | 日  | 貸出先               | 資料内容                 | 使用目的  | 備考  |
|----|----|-------------------|----------------------|---|-----|
| 7  | 16 | 米原市政策秘書課          | 魚類・甲殻類・両生類・鳥類 計8点    | 市政情報誌および行政放送に使用                                   | 静止画 |
| 7  | 21 | 草津塾               | 魚類(カマツカ・カワムツなど) 計16点 | Biyo センターでの自然観察会(琵琶湖淀川流域圏連携交流会)資料として使用            | 静止画 |
| 7  | 22 | 大原貯水池土地改良区        | 魚類(ギンブナ・アブラボテ) 計13点  | 農業用水水源地域保全対策事業に伴う啓発活動のためのクリアファイル作成に使用             | 静止画 |
| 9  | 2  | 滋賀県企画調整課          | 大橋コレクション・風景 計10点     | 「琵琶湖の価値再発見・発信業務」における県ブランドフォーラムでのパネル展に使用           | 静止画 |
| 9  | 10 | (株)アーツファクトリー      | 植物(琵琶湖岸ヨシ群落) 1点      | (株)ベネッセコーポレーション刊「チャレンジ5年生」2月号に掲載                  | 静止画 |
| 9  | 16 | 滋賀県広報課            | 藤村コレクション 計4点         | JA総合研究所刊「生物多様性と農業」への滋賀県知事寄稿資料として掲載                | 静止画 |
| 9  | 16 | 滋賀県農政水産部水産課       | 魚類(アユ・ホンモロコほか) 計4点   | COP10でのパネル展示素材として利用                               | 静止画 |
| 9  | 16 | (株)新潮社 出版部        | 前野コレクション 1点          | (株)新潮社刊「白州正子 神と仏、そして祈り」に掲載                        | 静止画 |
| 9  | 18 | 毎日新聞大津支局          | 災害写真(室戸台風被害写真) 1点    | 新聞朝刊掲載  | 静止画 |
| 10 | 10 | 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課  | 魚類・貝類・料理ほか 計17点      | 滋賀県 COP10 関連事業に関するパネル、パンフレット、ブース展示作成に使用           | 静止画 |
| 10 | 12 | 滋賀県企画調整課          | 魚類(スゴモロコほか) 計18種     | 「琵琶湖の価値再発見・発信業務」における県ブランド推進フォーラムでのパネルに使用          | 静止画 |
| 10 | 17 | 公益社団法人 京都市児童館学童連盟 | 魚類(アブラボテ・ドンコほか) 計14点 | 10月23日(土)開催 京都やんちゃフェスタ 2010 で水生生物のパネル展示、リーフレットに使用 | 静止画 |
| 10 | 17 | 大津市科学館            | 魚類・貝類・鳥類 計188点       | 大津市科学館展示ホール生物閲覧システムの画像資料として使用                     | 静止画 |
| 10 | 22 | 産経新聞社             | 魚類(ホンモロコ・ニゴロブナ) 計2点  | 扶桑社出版「生き物異変」(平成20年1月~21年9月まで産経新聞社連載)に使用           | 静止画 |
| 10 | 28 | 群馬県農政部            | 魚類(カワヤツメ・アマゴほか) 計4点  | 魚類の観察資料(下敷き)作成に使用                                 | 静止画 |
| 10 | 29 | 株式会社 ベネッセコーポレーション | 藻類・貝類 計2点            | 通信教育教材の特集記事に掲載                                    | 静止画 |
| 10 | 29 | びわ湖フローティングスクール    | プランクトン・植物(水草) 計32点   | 平成23年度「学習のしおり」に掲載                                 | 静止画 |
| 10 | 30 | 彦根市役所 生活環境課       | 魚類・鳥類・ほ乳類 計6点        | 環境啓発パネル作成に使用                                      | 静止画 |
| 10 | 31 | 大津市科学館            | プランクトン・植物(水草) 計64点   | 大津市科学館展示ホール生物閲覧システムの画像資料として使用                     | 静止画 |
| 11 | 17 | 滋賀県総務部            | 藤村コレクション 1点          | 移住・交流推進機構(JOIN)交流会における知事基調講演資料として使用               | 静止画 |

| 月  | 日  | 貸出先              | 資料内容                   | 使用目的   | 備考  |
|----|----|------------------|------------------------|--|-----|
| 11 | 26 | 日本文教出版株式会社編集部    | 活動(琵琶湖の水質検査の様子) 1点     | 平成23年度版「3・4年の社会科学 わたしたちの東大阪」への掲載               | 静止画 |
| 11 | 26 | 群馬県農政部           | 魚類(カムルチーほか) 計2点        | 魚類観察資料(下敷き)作成に使用                               | 静止画 |
| 12 | 5  | なかがわ水遊園          | 魚類(イワトコナマズ) 計2点        | 平成22年冬の特別展パネル展示、リーフレットに使用                      | 静止画 |
| 12 | 14 | 琵琶湖環境部環境政策課      | 魚類・鳥類・漁具漁法 計56点        | 地方自治法施行60周年記念貨幣の図柄検討のため造幣局への写真提供用として使用         | 静止画 |
| 12 | 16 | 京都新聞社            | 活動(開館当時の様子) 計4点        | 新聞掲載   | 静止画 |
| 12 | 16 | 成安造形大学           | 魚類(ビワコオオナマズ) 1点        | 大学の授業において滋賀県のPRポスター作成に使用                       | 静止画 |
| 12 | 21 | 有限会社 海象社         | 桶風呂 1点                 | 「生き物歳時記」(仮題、全4巻)春の巻「来る鳥、帰る鳥(雁)」のページに掲載         | 静止画 |
| 12 | 28 | 高島土木事務所          | 鳥類(カワセミ・カワウほか) 計5点     | 公共事業評価監視委員会説明資料として使用                           | 静止画 |
| 1  | 5  | 滋賀県教育委員会学校教育課    | 魚類・鳥類・化石・プランクトン 計109点  | 「あおい琵琶湖」に掲載                                    | 静止画 |
| 1  | 7  | びわ湖フローティングスクール   | 水生植物・プランクトン 計8点        | 平成23年度「学習のしおり」に掲載                              | 静止画 |
| 1  | 14 | 大津土木事務所          | 魚類(ドンコ・ナマズ・メダカ) 計3点    | 滋賀県公共事業評価監視委員会の高橋川の審議で、高橋川の生物紹介に使用             | 静止画 |
| 1  | 19 | キッズプラザ大阪         | 魚類(コイ・オイカワほか) 計9点      | キッズプラザ内における展示に使用                               | 静止画 |
| 1  | 24 | 農政水産部水産課         | 魚類(ワカサギ・ヒウオほか) 計4点     | 湖魚の消費拡大のためのパンフレット作成に使用                         | 静止画 |
| 1  | 25 | (株)文化工房          | 前野コレクション 2点            | 環境省広報 Web 媒体「エコジン」4月号に掲載                       | 静止画 |
| 2  | 4  | みずのわ出版           | 民具(モトリ・マエカキ・ジョレン) 計3点  | 「海里山論Ⅰ-日本の里海里山の資源利用の歴史と文化」(仮題)に掲載              | 静止画 |
| 2  | 7  | 株式会社 六一書房        | 民具(カセカケ) 1点            | 「考古学からみた古代日本の紡織」(東村 純子 著)に掲載                   | 静止画 |
| 2  | 16 | 山崎グリーンマップ        | 魚類(マゴイ・ヤマトゴイ) 計2点      | 名古屋市山崎川の「生物図鑑」に掲載                              | 静止画 |
| 2  | 16 | 大津市都市計画部公園緑地課    | 魚類・貝類 計4点              | 堅田内湖公園に設置する堅田内湖を説明する案内板に使用                     | 静止画 |
| 3  | 9  | 滋賀県立大学環境科学部      | 藤村コレクション 1点            | 環境フィールドワーク・ブックレット第4巻の挿図                        | 静止画 |
| 3  | 15 | 琵琶湖環境部環境政策課      | 魚類(ビワコオオナマズ・ニゴロブナ) 計2点 | 地方自治法施行60周年記念貨幣(滋賀県分)の発行、販売、紹介、周知のためのメディア掲載に使用 | 静止画 |
| 3  | 16 | NHK エデュケーショナル語学部 | 魚類(イワナ) 1点             | NHK番組「ビギンジャパノロジー釣り」に使用                         | 静止画 |
| 3  | 18 | サンライズ出版株式会社      | 民具・藤村コレクション・魚類・化石 計17点 | 「12歳から学ぶ滋賀県の歴史改訂版」に掲載                          | 静止画 |

<館内閲覧・撮影>

| 月  | 日  | 利用者                   | 閲覧内容  | 閲覧目的                           |
|----|----|-----------------------|---|--------------------------------|
| 5  | 2  | 坂下 弘徳                 | 民俗資料（遊客名簿 17 点、簾 1 点、看板 2 点） 計 20 点の撮影      | 論文作成のため                        |
| 5  | 21 | 三重県生活文化部<br>文化振興室     | 歴史（大谷雅彦氏所蔵文書 春宮令旨案） 1 点                     | 『三重県史』資料編「古代・中世」編纂のため          |
| 8  | 18 | 牛島 積広                 | 昆虫乾燥標本（クビナガヨツボシゴミムシほか）計 3 点の写真撮影            | 西の湖に関する教育普及パンフレット作成のため         |
| 10 | 10 | 三重県生活文化部<br>新博物館整備推進室 | 化石標本（ミエゾウ安心院標本レプリカほか）計 17 点の撮影              | ミエゾウ全身骨格復元のための三次元データ収集のため      |
| 11 | 4  | 淀 太我<br>(三重大学生物資源)    | 魚類標本、佐藤官子氏寄贈、長良川の登り落ち漁で採捕された魚類標本全てについて熟覧と計測 | 大学院での研究のため                     |
| 1  | 28 | 吉成 暁                  | 内田臣一氏寄託カワゲラ液浸標本一式                           | 標本中のトウゴウカワゲラ属の閲覧、論文に載せる同定形質の確認 |
| 3  | 16 | 中田 政司<br>(富山中央植物園)    | 滋賀県産センノウ類 熟覧、計測、写真撮影                        | センノウ系統のデータベース化と品種改良            |
| 3  | 31 | 田中 正治郎                | 滋賀県産マイマイカブリ類乾燥標本 500 点                      | 長野県産マイマイカブリ類の比較研究              |

4) 資料の活用状況の公開

収集された資料は、琵琶湖博物館内だけでなく、県内外の博物館など他機関へも貸し出され、展示されている。他機関の展示への貸出状況についてはインターネットページにて順次公開しており、2009 年度までに、歴史資料、水族資料、環境資料、映像資料の 4 分野の公開を行っている。2010 年度には、映像資料 3 件の貸出状況の公開を行った。

| 資料分野 | 貸出先         | 資料内容      | 利用目的  |
|------|-------------|-----------|---|
| 映像資料 | キッズプラザ大阪    | 魚類写真 3 点  | 自然コーナー魚のパズル<br>2011 年 2 月 15 日(火)～2015 年 3 月 31 日(火)                      |
| 映像資料 | 栃木県なかがわ水遊園  | 魚類写真 2 点  | 2010 年夏の特別展「幻の魚を追い！ 伝説・事実・発見 その真相に迫る！」<br>2010 年 7 月 17 日(土)～9 月 5 日(日)   |
| 映像資料 | 神戸市立須磨海浜水族園 | 魚類写真 26 点 | 国際生物多様性年 特別企画 第一弾<br>「希少な淡水魚とおそろべき外来魚展」<br>2010 年 7 月 15 日(木)～9 月 30 日(木) |

5) 資料の利用による成果

さまざまな形で資料は利用されるが、そのことによって多岐にわたる成果があがる。2010 年度は、琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖およびその集水域の生物学的多様性の探査:分類学、形態と分子に基づく系統学(2006 年～2010 年)」(代表:マーク ジョセフ グライガー)で研究利用された資料について、下記の論文が公表された。

| 著者               | 年    | タイトル  | 雑誌名または出版物(編者を含む)                     | 巻  | 号 | 頁       | 種別 | 活用標本                 |
|------------------|------|---|--------------------------------------|----|---|---------|----|----------------------|
| Blakemore, R. J. | 2010 | Unravelling some Kinki earthworms (Annelida: Oligochaeta: Megadrili: Megascolecidae) - Part II. | <i>Opuscula Zoologica (Budapest)</i> | 42 | 2 | 191-206 | 論文 | 無脊椎動物標本 (環形動物新種 2 点) |

| 著者  | 年    | タイトル   | 雑誌名または<br>出版物(編者を含む)                                     | 巻  | 号 | 頁     | 種別 | 活用標本                               |
|---|------|--|--|----|---|-------|----|------------------------------------|
| Shimazu, T.,<br>Urabe, M. &<br>Grygier, M. J. | 2011 | Digeneans (Trematoda) parasitic in freshwater fishes (Osteichthyes) of the Lake Biwa basin in Shiga Prefecture, central Honshu, Japan. | <i>National Museum of Nature and Science Monographs,</i> | 43 |   | 1-105 | 論文 | 無脊椎動物標本<br>(二生吸虫 プレ<br>パラート 137 点) |
| Nunomura, N.                                  | 2011 | A new species of the terrestrial isopod genus <i>Spherillo</i> (Crustacea: Isopoda: Armadillidae) from Kii Peninsula, Japan.           | <i>Bulletin of the Toyama Science Museum</i>             | 34 |   | 67-71 | 論文 | 無脊椎動物標本<br>(甲殻類新種 1<br>点)          |

### (7) 資料保管

整理された資料を保管する際には、ガス燻蒸、冷凍処理および二酸化炭素処理など、防虫・防かび対策を行った後に収蔵庫へ収納している。また、収蔵資料が長期間にわたり安全で良好な状態が保てるよう、目視による資料チェックや保存液の補充などを行うほか、収蔵庫の適切な保存環境を維持するため、収蔵庫内の温湿度管理や定期的な清掃とトラップ調査など、総合的有害生物防除管理（IPM）を行っている。

2010年度は、収蔵庫空間においてカビ防御のため、扇風機や除湿器の設置や外気の遮断など空気環境の改善も行った。また害虫に関しては、トラックヤード周辺の清掃実施や、大型シャッター下部への隙間テープの貼り付けなどにより、侵入を防ぐ処置を行った。収蔵環境のモニタリングとしては、低経費の収蔵環境整備のため、きめ細かな空気環境の把握を行うための温湿度記録計・データロガー等の数量と配置場所の現状把握、精度の調整なども行った。また、全館規模の空調設備の更新工事にあわせて、上記のモニタリングも強化した。

|        |   |
|--------|---|
| 温湿度管理  | 各収蔵庫定点観測を実施<br>・ 時間ごとに計測し、全データを保存。<br>・ 温湿度の変化を年間通して把握し、環境の基準を設定する。   |
| 定期清掃   | ・ 収蔵庫の清掃：月1回原則として第1金曜日に実施<br>・ 収蔵庫前廊下の清掃：当番で割り振られた範囲を週1回実施  |
| 特別清掃   | 年4回の特別清掃の実施   |
| 生物環境調査 | 年3回の生物環境調査<br>・ 2010年6月25日～7月9日 昆虫トラップ調査 243カ所（設置・回収・分析）<br>・ 2010年10月29日～11月12日 昆虫トラップ調査 243カ所（設置・回収・分析）<br>・ 2011年2月25日～3月10日 昆虫トラップ調査 243カ所（設置・回収・分析）<br>* 当館のIPM基準値<br>・ 虫：非誘因性トラップで1日につき捕獲される指標種（チャタテムシ）の個体数（捕獲指数）が1 |

### (8) 燻蒸・処理

琵琶湖博物館では、資料を安全に長期間保管し活用していくために、収集した資料や活用後の資料については収蔵庫への搬入の前に、燻蒸庫での燻蒸を随時行っている。琵琶湖博物館には、大型・小型の2台の燻蒸庫があるが、大型燻蒸庫での経年劣化にともなう機器不備を補修し、あわせて温度管理等を簡易に行うた

めの改修を行った。大型燻蒸庫では、引き続き、炭酸ガスと酸化エチレン(エキヒューム S)へ燻蒸剤の変更工事を実施した。小型燻蒸庫では、炭酸ガスによる処理を行っている。その他、資料によっては冷凍庫による冷凍処理および脱酸素処理を実施している。

また、展示空間の一部では、液化炭酸ガス製剤(ブンガノン)を用いた殺虫処理を実施した。

○大型燻蒸庫燻蒸

実施回数：3回

内訳 エキヒュームS 1回、炭酸ガス 2回

○小型燻蒸庫燻蒸

## 2 研究を進めて活かせる博物館

### 研究調査活動

琵琶湖博物館の事業は、研究事業、交流サービス事業、情報事業、資料整備事業、展示事業という五つを総合的に行ない、特にその中でも研究活動が全ての博物館活動の基礎となる。すなわち、研究の成果の発信として、交流、情報、資料、展示が行なわれ、研究の成果とその発信が魅力的であれば有るほど、博物館の他の事業も魅力的なものとなる。

これまで琵琶湖博物館の研究事業では、「生命文化複合体」としての琵琶湖の「価値」を明らかにすることを目標に、学際的な総合研究やテーマをしばった共同研究、ならびに個々の学芸員の資質を高める専門研究に取り組んできた。総合研究と共同研究については、研究審査委員会に対して研究計画書を提出し、その審査を受けて、2010年度は、以下の研究課題が審査を通過して実施された。なお、専門研究については、申請金額の多い研究は申請専門研究として、同じく研究審査会での審査を受けた。また、それ以外の専門研究については、研究部代表者会議において審査を実施した。

#### (1) 総合研究

琵琶湖博物館の設立理念を実現することに直接結びつく研究として、総合研究を行った。総合研究のテーマは次の2件であった。

- ・琵琶湖およびその集水域の生物学的多様性の探査：分類学、形態と分子に基づく系統学  
代表者：マーク ジョセフ グライガー，研究期間：2006～2010年度
- ・湖に隣接する水田地帯の特性の解明—ニゴロブナを媒体として—  
代表者：前畑政善，研究期間：2007～2010年度

#### (2) 共同研究

琵琶湖博物館のテーマにしたがった研究として共同研究を以下のテーマで行った。

- ・琵琶湖周辺のボーリングコアから見た琵琶湖の成立  
代表者：里口保文，研究期間：2008～2010年度
- ・琵琶湖の過去5万年間の自然環境史解析  
代表者：高橋啓一，研究期間：2008～2010年度
- ・琵琶湖北西地域安曇川河床の化石林の古植生復元とその年代  
代表者：山川千代美，研究期間：2009～2010年度
- ・竹生島および鶴の山におけるカワウ営巣林の森林衰退—回復過程の解明  
代表者：亀田佳代子，研究期間：2010～2011年度

#### (3) 専門研究

各学芸職員が、自らの専門分野の研究をおこなった。専門研究は特別な経費を要求した申請専門研究と、通常の経費で研究をしたものに区別している。

<申請専門研究>

- ・日本中世における内水面の環境史研究—その環境と生業—（橋本道範）
- ・琵琶湖水系における古墳時代首長の領域と地域性（用田政晴）
- ・琵琶湖南湖のネジレモ分布範囲の現状調査（芳賀裕樹）
- ・滋賀県指定外来種スクミリンゴガイの防除方法の開発に関する予備的研究（中井克樹）

## < 専門研究 >

### 環境史研究担当

- ・奥山コレクションの整理と古生物学的意義付け（高橋啓一）
- ・鮮新—更新世境界付近の湿地林におけるメタセコイアとスイショウの関係（山川千代美）
- ・琵琶湖層群上部と東海層群上部の層序対比（里口保文）
- ・河道内の伐採竹におけるゼロエミッション型地域モデルの構築に関する研究（奥村浩匡）
- ・土地開発史の検討（宮本真二）
- ・農村地域における水と生業に関する環境社会学的研究（楊 平）
- ・民俗技術の保存・継承のための基礎的研究—桶風呂の製作技術の分析—（老 文子）

### 生態系研究担当

#### （基礎地域研究班）

- ・水田地帯、内湖の魚類の生態（前畑政善）
- ・里山林の保全と利用（寺尾尚純）
- ・博物館収蔵水族資料の遺伝的多様性保持に関する研究（松田征也）
- ・琵琶湖およびその集水域におけるゴミムシ類の分類学的研究（八尋克郎）
- ・鳥類による異地性流入が陸域の生態系に与える影響の検討（亀田佳代子）
- ・地域環境問題についての意思決定（牧野厚史）
- ・森林伐採後の硝酸形成に影響する環境条件の解明と斜面での硝酸流出過程の探求（草加伸吾）

#### （応用地域研究班）

- ・鯰脚類、顎脚類および等脚類（甲殻類）の分類学、形態学および個体発生学に関する研究  
(マーク ジョセフ グライガー)
- ・琵琶湖産魚類の遺伝的多様性と個体群構造の変化に関する基礎的研究（桑原雅之）
- ・琵琶湖地域の湿原で珪藻群落の分布を規定する環境要因の検討（大塚泰介）
- ・水田地帯における生態系保全・再生について（裕登志之）
- ・水生双翅目昆虫アシナガバエ属*Dolichopus*の分類学的研究（柘永一宏）
- ・滋賀県の化石のカイミジンコについての調査（ロビン ジェームス スミス）
- ・ニゴロブナ水田育成種苗の流下後の行動の追跡（磯田能年）

### 博物館学研究担当

- ・琵琶湖集水域における人や生き物の活動の映像記録（写真撮影、録音など）に関する研究ならびに博物館的表現・伝達方法・利用に関する研究（秋山廣光）
- ・琵琶湖博物館と学校とのよりよい連携について～富栄養化学習プログラムの開発～（大依久人）
- ・*Apocarchesium resettum*の増殖過程の解明（楠岡 泰）
- ・地球物理学を手がかりとする博物館学の展開（戸田 孝）
- ・イバラモのシュート成長と雌雄株の動態について（芦谷美奈子）
- ・「昔のくらし」をめぐる博物館資源の有機的活用とその社会的意義（中藤容子）
- ・琵琶湖博物館を活用した学習プログラムの開発（飯住達也）

## 琵琶湖博物館総合研究・共同研究審査委員会 委員

| 氏 名    | 現 職                           |
|--------|-------------------------------|
| 竹村恵二   | 京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設 教授・施設長 |
| 三田村緒佐武 | 滋賀県立大学環境科学部環境生態学科 教授          |
| 宮崎信之   | 元・東京大学海洋研究所海洋科学国際共同研究センター 教授  |
| 西川 朗   | 滋賀県教育委員会事務局学校教育課 指導主事         |
| 西 源二郎  | 元・東海大学海洋科学博物館長 名誉教授           |
| 濱崎一志   | 滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科 教授         |
| 遊磨正秀   | 龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科 教授       |
| 水本邦彦   | 長浜バイオ大学バイオサイエンス学部 教授          |
| 篠原 徹   | 滋賀県立琵琶湖博物館 館長                 |
| 阪口 榮   | 滋賀県立琵琶湖博物館 副館長                |

## (4) 公表された主な研究業績

学芸職員等が公表した研究に関する著作物のうち、学術雑誌や書籍などで公表されたオリジナルな論文あるいはそれと同等なものをあげた。研究業績全体については、琵琶湖博物館インターネットページ (<http://www.lbm.go.jp/active/kenkyu/>) に掲載した。

## &lt;原著論文&gt;

- 北川博道・高橋啓一 (2010) ナウマンゾウの第2, 第3大白歯の形態的特徴とそれに基づく白歯標本の再検討の例. *化石研究会会誌*, 43 (1) : 30-39.
- 南澤修・松本みどり・山川千代美・布谷知夫・寺田和雄 (2010) 鮮新統古琵琶湖層群上野層および伊賀層の材化石群集. *化石研究会会誌*, 43 (1) : 40-52.
- Masuda, F., Saitoh, Y. and Satoguchi, Y. (2010) Depositional environments and a paleogeographic position for the Pleistocene basal part of the Karasuma Deep Drilling Core from Lake Biwa, central Japan. *第四紀研究*, 49 (3) : 121-131.
- 里口保文 (2010) 琵琶湖堆積物の長時間スケール層序と構造運動の復元. *第四紀研究*, 49 (3) : 85-99.
- 里口保文 (2010) 鮮新-更新世境界付近の広域テフラとテフラ層序の分解能. *第四紀研究*, 49 (5) : 315-322.
- Miyamoto, S. and Ando, K. (2010) Buried Humus Soil Layers and Land Development in Central and Eastern Himarayas, *Agricultural Ecosystem and Sustainable Development in Brahmaputra Basin, Assam, India*. Sada Sarma, Gauhati, India : 56-61・94-95.
- 上中央子・大庭重信・宮本真二 (2010) 大阪市長原遺跡の畠状遺構における花粉・種実分析に基づく耕地利用評価. *第四紀研究*, 49 (4) : 191-200.
- Yang, Ping (2010) Regional maintenance infrastructure of “waterside” -Preservation of living environment by boat dwellers and farmers of Jiangnan riverside district in China-. *East Asian Socioplogy of the 21<sup>st</sup> Century*, Japan-China Sociological Society, 3 : 194-202.
- 前畑政善・大塚泰介・水野敏明・金尾滋史 (2010) 水田で育ったニゴロブナ幼魚の水田内残存と脱出場所の選択性. *農業農村工学会論文集*, 267 : 43-48.
- 水野敏明・大塚泰介・金尾滋史・小川雅広・舟尾俊範・前畑政善 (2010) 水田地帯へ遡上するニゴロブナの水路選択に関わる環境要因. *魚類学雑誌*, 57 (2) : 135-142.
- 水野敏明・大塚泰介・小川雅広・舟尾俊範・金尾滋史・前畑政善 (2010) 琵琶湖の水位変動とニゴロブナ *Carassius auratus glandoculis* の水田地帯への産卵遡上行動の誘発要因. *保全生態学研究 (Japanese Journal of*

*Conservation Ecology*), 15 : 211-217.

大塚泰介 (2010) 琵琶湖におけるヨシ付着藻類の群落構造—二次遷移と水質の影響に着目して—. Institute for Fermentation, Osaka, Research Communications, 24 : 223-232.

Fujikura, K., Lindsay, D., Kitazato, H., Nishida, S. and Shirayama, Y. (contributors:Grygier, M. J. を含む数十人) (2010) Marine Biodiversity in Japanese Waters. *PLoS ONE*, 5 (8) : e11836 :1-13.

裕 登志之 (2010) 魚のゆりかご水田プロジェクトにおける地域活動. *水土の知 (農業農村工学会誌)*, 78 (10) : 3-6.

Masunaga, K. and Saigusa, T. (2010) A revision of the Hawaiian and Wake Island species of the genus *Conchopus* Takagi (Diptera, Dolichopodidae). *Zootaxa*, 2729 : 1-35.

牧野厚史 (2010) 農山村の鳥獣被害に対する文化論的分析—村落研究からの提言. *年報村落社会研究*, 46 : 187-213.

楊 平・用田政晴 (2010) 名水百選認定と農村水環境の歴史的保全. *生活文化史*, 58 : 3-12.

#### <専門分野の著述>

高橋啓一 (2010) 長鼻類、アカシフゾウ、シカマシフゾウ、シフゾウ、ナウマンゾウ、マンモスゾウ、葛生動物群、明石動物群. *古生物学事典*, 朝倉書店.

高橋啓一 (2010) 滋賀県立琵琶湖博物館第17回企画展示「骨の記憶—あなたにきざまれた五億年の時—」. 展示学, 日本展示学会, 48 : 116.

Yamakawa, C. and Momohara, A. (2010) 1. Lake Biwa and its History ; 2. The Fossil Flora of the Kobiwako Group ; 3. Early Pleistocene Echigawa Fossil Forest Dominated by *Metasequoia* and *Glyptostrobus* ; 4. Latest Pliocene Fossil Forest in Yoshinaga, Konan. *A guidebook to the field excursion Neogene fossil sites and Chamaecyparis forest in central Japan—The 3<sup>rd</sup> International Metasequoia Symposium*, Osaka Museum of Natural History : 7-22.

藤岡悠一郎・宮本真二 (2010) ナミビア (NAM). 環境総合年表編集委員会 編, *環境総合年表—日本と世界—*, すいれん舎 : 500-501.

宮本真二 (2010) 遺跡の立地環境からみた琵琶湖周辺の環境史. *生老病死のエコロジー—チベット・ヒマラヤに生きる*, 昭和堂 : 94-97.

宮本真二・内田晴夫・安藤和雄・セリム ムハマッド (2010) ベンガル・デルタの微地形発達と土地開発史の対応関係の解明. *地学雑誌*, 119 (5) : 1-8.

宮本真二 (2010) 間接的な方法からみた土地開発史—アジア・モンスーン地域における民族移動と土地開発—. 文部科学省共同利用共同研究拠点東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究「社会開発分野におけるフィールドワークの技術的融合をめざして」公式および研究代表者 (長崎大学・増田研准教授) ホームページ <http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/projects/jrp/jrp175>, [http://lalombe.icurus.jp/yugo\\_ken/](http://lalombe.icurus.jp/yugo_ken/)

Miyamoto, S., Ando, K. and Bhagabati, A. K. (2010) Agricultural Land Formation Process and Deforestation in the Himalayas. Proceedings of the 14<sup>th</sup> International Conference of Historical Geographers Kyoto 2009 : 213.

宮本真二 (2010) Intensive Field Work at Muktapur Village. Newsletter Department of Geography Gauhati University, 6 : 3.

宮本真二 (2011) 遺跡の立地環境からみた琵琶湖周辺の環境史. *琵琶湖をめぐる環境史*, 岩田書店 : 1-13.

前畑政善 (2010) アブラヒガイほか魚類14種の解説. 改訂レッドリスト付属説明資料「汽水・淡水魚類」, 環境省自然環境局野生生物課 : 80.

渡辺勝敏・前畑政善 (2011) 淡水魚の保全と導入. 日本魚類学会 編, 絶体絶命の淡水魚イタセンパラ—希少

- 種と川の再生に向けて, 東海大学出版会 : 33-137.
- 松田征也・石田未基 (2010) 福井県若狭町の菅湖で確認されたミズゴマツボ. *ちりぼたん (日本貝類学会)*, 40 (3-4) : 134-137.
- 松田征也・石田未基 (2010) 福井県若狭町の水月湖と菅湖で確認されたカワグチツボ. *ちりぼたん (日本貝類学会)*, 40 (3-4) : 132-133.
- 八尋克郎 (2010) 森正人氏によって採集された滋賀県産ゴミムシ類. *Came虫 (滋賀むしの会会報)*, 158 : 6-9.
- 八尋克郎 (2010) 滋賀県新記録のハラグロオオテントウ. *Came虫 (滋賀むしの会会報)*, 158 : 10.
- 亀田佳代子・岩田靖宏・大友芳成 (2010) カワウの餌魚種選好性—胃内容物と魚類相の比較—. *日本水産学会誌*, 76 (4) : 710.
- 日野輝明・石田 朗・亀田佳代子・栗田 悟 (2010) カワウ被害軽減のための効果的なコロニーおよびねぐら管理手法の開発. *日本水産学会誌*, 76 (4) : 719.
- 鈴木まほろ・亀田佳代子・佐久間大輔・真鍋 徹 (2010) 博物館と生態学 (14) 地域の博物館が担う自然史研究の意義. *日本生態学会誌*, 60 (3) : 399-403.
- 金子有子・東 善広・辰巳 勝・佐々木 寧・栗林 実・石綿進一・井上栄壮・小林 貞・石川可奈子・芳賀裕樹・西野麻知子 (2010) 湖岸生態系の保全・修復および管理に関する政策課題研究—平成19~20年度 (2007~2008年度) 中間報告—. *滋賀県琵琶湖環境科学研究センター研究報告書*, 5 : 55-85.
- International Commission on Zoological Nomenclature (Grygier, M. J.) (2010) OPINION 2242 (Case 3398). (その一部), *AULACOSCELINAE* Chapuis, 1874 (Insecta, Coleoptera, ORSODACNIDAE or CHRYSOMELIDAE : name not conserved. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 67 (1) : 99-101.
- International Commission on Zoological Nomenclature (Grygier, M. J.) (2010) OPINION 2245 (Case 3407). (その一部), *Drosophila* Fallen, 1823 (Insecta, Diptera) : *Drosophila funebris* Fabricius, 1787 is maintained as the type species. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 67 (1) : 106-115.
- International Commission on Zoological Nomenclature (Grygier, M. J.) (2010) OPINION 2246 (Case 3461). (その一部), *ANCYLINI* Michener, 1944 (Insecta, Hymenoptera) : spelling emended to *ANCYLAINI* to remove homonymy with *ANCYLINI* Rafinesque, 1815 (Mollusca, Gastropoda) . *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 67 (1) : 116-117.
- International Commission on Zoological Nomenclature (Grygier, M. J.) (2010) OPINION 2251 (Case 3442). (その一部), *Columba norfolciensis* Latham, 1801 (Aves, COLUMBIDAE) : name suppressed. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 67 (1) : 99-101.
- International Commission on Zoological Nomenclature (Grygier, M. J.) (2010) OPINION 2249 (Case 3471). (その一部), *Heterolaophonte* Lang, 1948 (Crustacea, Copepoda, Harpacticoida) : name conserved by precedence over *Mesolaophonte* Nicholls, 1941 and *Monolaophonte* Nicholls, 1941. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 67 (2) : 188-189.
- International Commission on Zoological Nomenclature (Grygier, M. J.) (2010) OPINION 2248 (Case 3470). (その一部), *Halectinosoma* Vervoort, 1962 (Crustacea, Copepoda, Harpacticoida) : usage conserved. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 67 (2) : 185-187.
- International Commission on Zoological Nomenclature (Grygier, M. J.) (2010) OPINION 2256 (Case 3446) . (その一部), *Anolis chrysolepis* Duméril & Bibron, 1837 (Reptilia, Squamata) : precedence given over *Draconura nitens* Wagler, 1830. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 67 (3) : 266-268.
- International Commission on Zoological Nomenclature (Grygier, M. J.) (2010) OPINION 2253 (Case 3428) . (その一部), *Palaemon rosenbergii* De Man, 1879 (currently *Macrobrachium rosenbergii*; Crustacea, Decapoda) : usage conserved by designation of a neotype. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 67 (3) : 258-260.

- International Commission on Zoological Nomenclature (Grygier, M. J.) (2010) OPINION 2262 (Case 3468).  
 (その一部), *Clusiodes* Coquillet, 1904 (Insecta Diptera, CLUSIIDAE) : usage conserved by designation of *Heteroneura albimana* Meigen, 1830 as the type species. *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 67 (4) : 344-345.
- Timoshkin, O. A., Grygier, M. J., Wada, E., Nakai, K., Nishino, M., Genkal, S. I., Biserov, V. I., Gagarin, V. G., Semernoy, V. P., Jankowski, A. W., Stepanjants, S. D., Tsalolikhin, S. Ya., Starobogatov, Ya. I., Alexeev, V. R., Tuzovskij, P. V., Okuneva, G. L., Sheveleva, N. G., Pomazkova, G. I., Arov, I. V., Mazepova, G. F., Janz, H., Obolkina, L. A., Chernyshev, A. V., Morino, H., Matsuda, M., Ohtsuka, T., Kasakatsu, M., Maehata, M., Masuda, Y., Faubel, A., Yahiro, K., Hirasawa, R., Tuji, A., Kusuoka, Y., Kameda, K., Ishida, T., Itoh, T., Ichise, S., Wakabayashi, T., Okubo, I., Seki, Sh., Nagasawa, K., Ogawa, K., Masanaga, K., Gamo, J. (2011) Biodiversity of Lake Biwa: new discoveries and future potential, *Index of Animal Species Inhabiting Lake Baikal and its Catchment Area: in 2 Volume II. Basins and Channels in the South of East Siberia and North Mongolia. Book 2.* Nauka, Novosibirsk, 1439-1513, color plates 1-23.
- 松政正俊・倉田健悟・和田 哲・マーク J. グライガー (2010) 汽水域の生態プロセスを解く (1) . *日本ベントス学会誌*, 65 : 27.
- 桑原雅之 (2010) 水槽設備 照明. *新 飼育ハンドブック 水族館編*, 5 : 19-23.
- 中井大介・大塚泰介・北村美香 (2010) 環境学習プログラム「目指せ、珪藻マスター〜ケイソウゲットだぜ!〜」を実施して. *Diatom*, 26 : 51.
- 有田重彦・大塚泰介・戸田 孝 (2010) 珪藻の殻に現れたベルヌーイ螺旋. *数学セミナー*, 49 (12) : 54-57.
- Yang, P. and Zhu, W. (2010) The Environment Change and Landscape in Tai Lake, China. *Studies of Landscape history on the East Asian Inlands Sea*, NEOMAP Project Research institute for Humanity and Nature : 34-40.
- Yang, P. (2010) Regional maintenance infrastructure of “waterside” -Preservation of living environment by boat dwellers and farmers of Jiangnan riverside district in China-. *East Asian Sociology of the 21<sup>st</sup> Century*, Japan-China Sociological Society, 3 : 194-202.
- 楊 平・用田政晴 (2010) 水環境の歴史的保全を社会学から考える-泉神社湧水-. *米原市文化財ニュース 佐加太*, 32 : 2-3.
- 用田政晴 (2010) 第34回日本民具学会公開シンポジウム「民具の保存」. *民具研究*, 142 : 1-22.
- 戸田 孝 (2010) 地物教室の電子ネットワーク化. *集録：京大地球物理学研究の百年 (II)*, 京大地球物理の歴史を記録する会 : 117-119.
- 中藤容子 (2010) 展示批評 長浜市長浜城歴史博物館 平成21年度特別展「糸の世紀・織りの時代〜湖北・長浜をめぐる糸の文化史〜」. *民具研究* : 142.
- 中藤容子 (2011) 琵琶湖の水草利用と生活世界ー多様な既存資料と琵琶湖博物館の紹介から. *里海の自然と生活 海・湖資源の過去・現在・未来*, 愛知大学総合郷土研究所, みずのわ出版 : 245-274.
- 飯住達也 (2010) 安価に作製できるプランクトンネット. *滋賀科学'09*, 53 : 26-28.
- 飯住達也 (2010) 琵琶湖博物館サテライト博物館事業. *滋賀科学'10*, 54.
- 飯住達也 (2010) 世界のお祭りを調べよう. 平成22年度 国立民族学博物館 文化資源研究センター事業 博学連携ワークショップ「学校と博物館が学びあえる場の構築をめざして」事業報告, 人間文化研究機構国立民族学博物館文化資源研究センター : 30-31.
- 飯住達也 (2010) 外来生物問題の考え方ー琵琶湖を中心にー. 平成24年度用 中学校理科教師用指導書 近畿版, 東京書籍株式会社.
- 飯住達也 (2011) 琵琶湖の成り立ちと自然. *あおい琵琶湖 (中学校編) 六訂版*, 滋賀県.

## (5) 研究助成を受けた研究

学芸職員等が受けた外部研究助成のうち、主なものをあげた。

高橋啓一

- ・ 総合地球環境学研究所研究プロジェクト「日本列島における人間－自然相互関係の歴史的・文化的検討」プロジェクトメンバー（2006～2011年度）
- ・ 科学研究費補助金（基盤 C）「日本列島におけるヒト出現期の人間－環境系復元」研究代表者（2009～2011年度）
- ・ 科学研究費補助金（基盤 B）「地域住民による琵琶湖沿岸の<生命の脈わい>総合調査の方法論と具体的手法の確立」研究分担者（2010～2012年度）

橋本道範

- ・ 総合地球環境学研究所研究プロジェクト「東アジア内海の新石器化と現代化：景観の形成史」プロジェクトメンバー（2005～2011年度）
- ・ 科学研究費補助金（基盤 C）「日本中世における内水面の環境史的研究」研究代表者（2007～2010年度）

宮本真二

- ・ 総合地球環境学研究所研究プロジェクト「東アジア内海の新石器化と現代化：景観の形成史」プロジェクトメンバー（2005～2011年度）
- ・ 総合地球環境学研究所研究プロジェクト「人間の生老病死と高所環境－「高地文明」における医学生理・生態・文化適応」研究分担者（2005～2011年度）
- ・ 科学研究費補助金（若手 B）「アジア・モンスーン地域における民族移動に伴う「土地開発史」の再検討」研究代表者（2009～2012年度）

楊 平

- ・ 科学研究費補助金（基盤 C）「琵琶湖と中国・太湖における水環境比較民俗論と成果展示の企画」研究代表者（2010～2014年度）
- ・ 総合地球環境学研究所研究プロジェクト「東アジア内海の新石器化と現代化：景観の形成史」プロジェクトメンバー（2009～2011年度）

老 文子

- ・ 科学研究費補助金（若手 B）「複数絵図情報の統合による集落空間の民俗建築学的研究」研究代表者（2010～2013年度）
- ・ 科学研究費補助金（基盤 C）「琵琶湖地域民具資料を用いた考古民俗学的方法論の開発研究と展示への試み」研究分担者（2008～2011年度）

前畑政善

- ・ 科学研究費補助金（基盤 B）「地域住民による琵琶湖沿岸の<生命の脈わい>総合調査の方法論と具体的手法の確立」研究分担者（2010～2012年度）
- ・ 科学研究費補助金（研究成果公開発表 B）「公開シンポジウム 世界の古代湖 琵琶湖を未来につなぐー魚、漁業、食文化ー」（2010年11月27日）

マーク ジョセフ グライガー

- ・ 科学研究費補助金（基盤 B）「地域住民による琵琶湖沿岸の<生命の脈わい>総合調査 の方法論と具体的手法の確立」研究分担者（2010～2012年度）

ロビン ジェームス スミス

- ・ 科学研究費補助金（基盤 C）「巨大精子の形態と化石資料を用いた琵琶湖地域のキプリス上科カイミジンコ類進化の解明」研究代表者（2010～2012年度）
- ・ 科学研究費補助金（基盤 B 一般）「進化のゆりかご日本海－「緑海ポンプ効果」モデルの新たな展開」研究分担者（2009～2013年度）

八尋克郎

- ・ 科学研究費補助金（研究成果公開発表 データベース公開）「日本産環境指標ゴミムシ類データベース」研究代表者（2010年度）
- ・ 科学研究費補助金（基盤 B）「地域住民による琵琶湖沿岸の<生命の賑わい>総合調査の方法論と具体的手法の確立」研究分担者（2010～2012年度）

大塚泰介

- ・ 科学研究費補助金（基盤 C）「水田におけるニゴロブナ仔稚魚の成長と微小生物群集との相互作用の解明」研究代表者（2009～2011年度）

楠岡 泰

- ・ 科学研究費補助金（基盤 B）「わが国における原生動物の出現記録の整理と多様性保全のための分布基礎調査」研究分担者（2008～2011年度）

用田政晴

- ・ 科学研究費補助金（基盤 C）「琵琶湖地域民具資料を用いた考古民俗学的方法論の開発研究と展示への試み」研究代表者（2008～2011年度）
- ・ 科学研究費補助金（基盤 C）「琵琶湖と中国・太湖における水環境比較民俗論と成果展示の企画」研究分担者（2010～2014年度）
- ・ 科学研究費補助金（基盤 B）「地域住民による琵琶湖沿岸の<生命の賑わい>総合調査の方法論と具体的手法の確立」研究分担者（2010～2012年度）

芦谷美奈子

- ・ 科学研究費補助金（基盤 C）「学校標本の保存・整備を通じた博学連携促進に関する基礎的研究」研究分担者（2009～2011年度）

辻川智代

- ・ 科学研究費補助金（基盤 C）「琵琶湖地域民具資料を用いた考古民俗学的方法論の開発研究と展示への試み」研究分担者（2008～2011年度）
- ・ 科学研究費補助金（基盤 C）「内水面定置漁業の考古・民俗学的研究」研究分担者（2009～2013年度）

<研究調査業務受託>

- ・ 独立行政法人水産総合研究センター 農林水産省健全な内水面生態系復元等推進委託事業 外来魚抑制管理技術開発（2008～2011年度）<研究代表者：中井克樹>
- ・ 環境省所管環境研究総合推進費 水田地帯の生物多様性再生に向けた自然資本・社会資本の評価と再生シナリオの提案（2009～2011年度）<研究代表者：夏原由博（名古屋大学）>
- ・ （社）日本動物園水族館協会 「平成22年度 生息域外保全モデル事業（動物）」（2010年度）

## (6) 新琵琶湖学創造セミナー

琵琶湖博物館では、「湖と人間」をテーマに、過去から現在にかけて湖と人間との関係を明らかにし、未来に向けてよりよい関係を考えていくために、研究調査を進めている。近年、琵琶湖や人間社会をとりまく状況や情勢は著しく変化し、それに伴って私たちの生活や価値観は大きく変化してきている。このような変化の中、琵琶湖とその集水域および淀川流域の自然、歴史、暮らしなどに関する新たな知見も蓄積されている。2008年度に「新琵琶湖学入門セミナー」、2009年度に「新琵琶湖学専門セミナー」を開催し、2010年度はさらに未来への方向性を模索した「新琵琶湖学創造セミナー」を開催した。

本セミナーでは、当館学芸員を中心に、県内の研究機関等の協力を得て、それぞれの講師が琵琶湖とその集水域および淀川流域の自然、歴史、暮らし等について、これからの湖（自然）と人の関係を考えるための新しい研究の方向性や手法、展開や展望を紹介した。

各回ともに多くの参加者があり、延べ401名の参加者があった。

開講日 : 2011年1月22日・29日・2月5日・12日・26日・3月12日の土曜日 (計6日間)

開講時間 : 1日2講演 (13:30~14:30/14:45~15:45)

会場 : 琵琶湖博物館セミナー室

第1回 1月22日(土) 参加者 66名

開講式

「俳諧・俳句にあらわれた琵琶湖」

篠原 徹 (琵琶湖博物館 館長)

「伝承文化にみる古人 (いにしえびと) の知恵とところ」

野部博子 (滋賀県立大学 准教授)

第2回 1月29日(土) 参加者 74名

「地域環境と地球環境を記録してきた琵琶湖」

里口保文 (琵琶湖博物館 専門学芸員)

「地球環境と琵琶湖—知っておいて損をしない話」

熊谷道夫

(琵琶湖環境科学研究センター 環境情報統括員)

第3回 2月5日(土) 参加者 62名

「カバタのあるくらし—高島市針江の文化的景観—」

石川慎治 (滋賀県立大学 助教)

「水質ってなんだろう」

芳賀裕樹 (琵琶湖博物館 専門学芸員)

第4回 2月12日(土) 参加者 61名

「滋賀県内の魚と貝類—希少生物の現状と未来—」

松田征也 (琵琶湖博物館 専門学芸員)

「滋賀の食文化と発酵食品の魅力」

久保加織 (滋賀大学 教授)

第5回 2月26日(日) 参加者 68名

「森林と琵琶湖の水環境を考える」

小島永裕 (森林センター 専門員)

「森と湖を結ぶ鳥：鳥の機能からカワウとのつきあい方を考える」

亀田佳代子 (琵琶湖博物館 専門学芸員)

第6回 3月12日(土) 参加者 70名

「水産資源としてみたアユとビワマス」

田中秀具 (水産試験場 専門員)

「琵琶湖の淡水魚類の未来を考える」

前畑政善 (琵琶湖博物館 上席総括学芸員)

閉講式

## (7) 琵琶湖博物館特別講演会

2009年度から2010年度にかけて2年間、毎月1回「琵琶湖博物館特別講演会」を開催した。この講演会では、琵琶湖博物館が取り扱っていない分野を含めた多様な分野において第一人者として活躍されている方々を琵琶湖博物館に講師としてお招きし、専門的な内容をわかりやすく話していただいた。2年目となる2010年度は、以下の内容で講演会を開催した。講演会への一般参加者は計339人(のべ860人)で、そのうち全12回に参加された方が3人、11回参加、10回参加の方々がそれぞれ8人、10人を数えた。その一方で、一度だけの参加者が214人(63%)にのぼり、琵琶湖博物館にとって、博物館では普段扱っていない分野を含めて特定の分野に関心をお持ちの来聴者と新たな接点を持てた側面もあるが、そうした方々が講演会のリピーターにはなっていない点も反省材料ともいえよう。

2010年4月17日(土) 琵琶湖博物館セミナー室 参加者 68名

私たちの日常生活と人権のたて糸・よこ糸—びわ湖・日本・世界を視野に—

安藤仁介 (世界人権問題研究センター所長、京都大学・同志社大学名誉教授)

- 2010年5月15日（土） 琵琶湖博物館ホール 参加者 71名  
 シェイクスピア劇とシェイクスピア映画ー観客はシェイクスピアをどう見るかー  
 喜志哲雄（京都大学名誉教授）
- 2010年6月19日（土） 琵琶湖博物館ホール 参加者 93名  
 太陽黒点の活動と宇宙・地球環境への影響 黒河宏企（京都大学名誉教授）
- 2010年7月17日（土） 琵琶湖博物館ホール 参加者 68名  
 近江の俳画 石丸正運（彦根城博物館・滋賀県立近代美術館元館長）
- 2010年8月21日（土） 琵琶湖博物館ホール 参加者 74名  
 水と共生する文化とは 鳥越皓之（早稲田大学教授）
- 2010年9月18日（土） 草津アミカホール 参加者 55名  
 世間は狭いか？ー目に見えない人間関係のネットワークを推理するー  
 木下富雄（国際高等研究所フェロー、京都大学名誉教授）
- 2010年10月16日（土） 琵琶湖博物館セミナー室 参加者 47名  
 暮らしと歯 岩坪吟子（銀嶺会岩坪歯科医院院長、京都第一赤十字病院歯科元部長）
- 2010年11月20日（土） 琵琶湖博物館セミナー室 参加者 62名  
 共生共貧-21世紀の地獄に対して軟着陸するためにー  
 槌田 劭（使い捨て時代を考える会相談役・元代表、京都精華大学元教授）
- 2010年12月18日（土） 琵琶湖博物館セミナー室 参加者 51名  
 環境問題と感染症の世界的流行 古澤 巖（鳥取環境大学学長、京都大学名誉教授）
- 2011年1月15日（土） 琵琶湖博物館ホール 参加者85名  
 山から海までのつながりの中における琵琶湖  
 田中 克（マレーシア＝サバ大学客員教授、京都大学名誉教授）
- 2011年2月19日（土） 琵琶湖博物館ホール 参加者 103名  
 電子書籍のこれから 長尾 真（国立国会図書館館長、京都大学名誉教授・元総長）
- 2011年3月19日（土） 琵琶湖博物館ホール 参加者 83名  
 これからの川や湖との付き合いを考えるー水工七訓ー  
 中川博次（立命館大学客員教授、京都大学名誉教授）

## (8) 特別研究セミナー

- 第57回 2010年7月20日（火） 14:00～15:30 琵琶湖博物館 会議室  
 講演：フランチェスク・メスキータジョーンズ（Professor Francese Mesquita-Joans）  
 （スペイン・ヴァレンシア大学微生物学・生態学科 教授）  
 テーマ：The ecology of exotic invading species: what facilitates spreading success?  
 General overview and search for causes in exotic ostracod of the Iberian Peninsula  
 （何が外来種の拡大分散を容易にするか？～イベリア半島の非海産カイミジンコを例に）
- 第58回 2010年11月11日（木） 14:00～15:30 琵琶湖博物館 会議室  
 講演：Dr. Renate Matzke-Karasch（ドイツ・ミュンヘン Ludwig-Maximilian大学）  
 テーマ：Synchrotron Analyses of Micro-fauna-Exploring New Dimensions in (Palaeo-) Biology
- 第59回 2010年12月11日（土） 13:30～13:30 琵琶湖博物館 会議室  
 第1部 講演：瀬川拓郎（旭川市博物館副館長）  
 テーマ：考古資料を用いたアイヌ史研究の方法論と成果展示更新の軌跡  
 第2部 対談：石狩川におけるアイヌのヤナとエリをめぐって  
 ー琵琶湖との比較の中での定義ー

聞き手：植田文雄（琵琶湖博物館特別研究員）

第 60 回 2010年12月14日（火）13:30～15:00 琵琶湖博物館 会議室

講演：Qian Forrest Zhang（Singapore Management University 準教授）

テーマ：変革下における中国農業の新たな問題と課題

## (9) 研究セミナー

毎月第3金曜日13:15～15:15に以下の研究セミナーを開催した。（場所：琵琶湖博物館会議室）

- 第1回 2010年4月16日（金） 参加者 27名  
中井克樹 オオクチバスの抑制技術「人工産卵床」の問題点の克服  
中井大介 珪藻を用いた体験学習プログラム実施について  
宮本真二・安藤和雄・内田晴夫・アバニィ クマール バガバティ・ムハマッド セリム  
ブラマプトラ川流域の高所と低所における土地開発過程
- 第2回 2010年5月21日（金） 参加者 28名  
布谷知夫 成熟した時代に対応する博物館像  
芦谷美奈子 レイク・モンスターをどう展示するか？～アプローチと今後の展開～
- 第3回 2010年6月18日（金） 参加者 27名  
礪田能年 水田流下後のニゴロブナ稚魚の動態  
Mark J. Grygier 琵琶湖およびその集水域の外来寄生虫について  
里口保文 現在位置における琵琶湖の変遷
- 第4回 2010年7月16日（金） 参加者 24名  
榊永一宏 Aphrosylinae亜科の分子系統（双翅目：アシナガバエ科）  
Robin J. Smith 滋賀県の地下水に生息するカイミジンコ（甲殻類）  
牧野厚史 社会制度としての水田—琵琶湖湖岸域「有機稲作農業のむら」の出現に関する考察—
- 第5回 2010年8月20日（金） 参加者 27名  
中野正俊 小学校第4学年「人の体のつくりと運動」学習の実際  
—児童の理科離れに対応する博学連携—  
秋山廣光 写真はグリーンケアGriefcareとして活用できるか  
—物館における映像資料の収集と利用についての可能性—  
中藤容子 「昔くらし体験」をめぐる博物館資源の有機的活用とその社会的意義（1）  
—ミュージアム・リテラシーの観点から—
- 第6回 2010年9月17日（金） 参加者 23名  
桑原雅之 湖内にすむビワマスはなぜアマゴから遺伝子浸透を受けていないのか？  
用田政晴 前期小形前方後円墳の史的位置  
北村美香 博物館連携に向けての取り組み  
—「博物館による環境と科学のフェスティバル」を通じた考察—
- 第7回 2010年10月15日（金） 参加者 32名  
山川千代美 琵琶湖北西地域安曇川河床の化石林の古植生復元  
草加伸吾 モンゴル北部シベリアカラマツ林焼失地の再生促進  
：倒木遮蔽（しゃへい）更新仮説の提唱と2,3の考察  
飯住達也 琵琶湖博物館を利用した学習プログラムの開発
- 第8回 2010年11月19日（金） 参加者 32名  
黒岩啓子 展示企画過程と展示見学補助ツール開発のあり方について

高橋啓一 日本列島におけるヒト出現期の人間一境系復元

第9回 2010年12月17日(金)

参加者 30名

戸田 孝 博物館教員に関する実態調査計画

松田征也 希少淡水魚の野生復帰について

橋本道範 日本中世における魚介類消費と漁撈秩序—琵琶湖漁撈の変質—

第10回 2011年1月21日(金)

参加者 29名

芳賀裕樹 水中は可視化できたか?新しい魚群探知機による水中探査の試み

八尋克郎 九州における甲虫化石研究の進展

亀田佳代子 カワウを含む海鳥類が陸上の植物と土壌に与える影響

第11回 2011年2月18日(金)

参加者 25名

川那部浩哉 本を「読む」と言うこと1 生態系の概念とは何か(1)

大塚泰介 ヨシの茎上で付着珪藻がつくり出すバイオフィルムの構造とそのはたらき

寺尾尚純 滋賀県における薪生産・流通について

第12回 2011年3月18日(金)

参加者 32名

奥村浩匡 河道内の伐採竹におけるゼロエミッション型地域モデルの構築に関する研究

裕 登志之 野洲市におけるゆりかご水路の効果・検証について

大依久人 琵琶湖博物館と学校とのよりよい連携をめざして～新しい体験学習プログラムの開発～

#### (10) 研究員の受け入れ

・Andreu Escriva 2010年4月24日～2010年7月31日

テーマ: スペインおよび日本両方に生息する淡水のカイミジンコ種の生態学と分布を調査する

・Francesc Mezquita 2010年7月1日～2010年8月15日

テーマ: スペインおよび日本両方に生息する淡水のカイミジンコ種の生態学と分布を調査する

・閻 美芳 2010年1月15日～2011年1月14日

テーマ: 水田地帯の生物多様性再生に向けた自然資本・社会資本の評価と再生シナリオの提案

・柏尾珠紀 2010年2月20日～2011年2月19日, 2011年2月20日～2012年2月19日

テーマ: 琵琶湖周辺部農漁村におけるジェンダーの社会学的考察

・植田文雄 2008年1月10日～2011年3月31日

テーマ: 琵琶湖地域における内水面漁業の史的研究—考古資料と民俗資料の比較検討を中心に—

・鈴木誉士 2008年7月1日～2011年3月31日

テーマ: 琵琶湖産フナ属魚類仔稚魚期の遺伝的構造の解析とそれを利用した産卵集団構造の推定

・天野一葉 2010年4月1日～2011年3月31日

テーマ: 琵琶湖集水域における水鳥の分布と生息環境の関係

・川那部浩哉 2010年4月1日～2011年3月31日

テーマ: 博物館における生物と文化の多様性に関する研究・展示・普及

・水野敏明 2010年3月1日～2011年3月31日

テーマ: 水田地帯におけるニゴロブナの保全生態学

・中島経夫 2010年4月1日～2011年3月31日

テーマ: コイ科魚類の咽頭歯からみた湖と人の関わりについての研究

・布谷知夫 2010年4月1日～2011年3月31日

テーマ: 住民による公立博物館への期待とその社会的役割についての研究

・鈴木隆仁 2010年4月1日～2011年3月31日

テーマ: 琵琶湖、水田およびその周辺地域における淡水腹毛動物の分布調査

- ・中井大介 2009年5月1日～2010年4月30日, 2010年5月1日～2011年4月30日  
テーマ：河川における珪藻群落と水質の関係
- ・朱 偉 2010年9月1日～2011年8月31日  
テーマ：藍藻細胞群集化現象に基づくアオコ発生メカニズムの解明
- ・北村美香 2010年1月13日～2011年1月12日, 2011年1月13日～2012年1月12日  
テーマ：利用者から見た日本のミュージアム活用についての研究
- ・中野正俊 2009年5月1日～2012年3月31日  
テーマ：児童生徒の理科離れに対応した理科・環境学習モデルの構築と評価
- ・黒岩啓子 2010年4月1日～2012年3月31日  
テーマ：博物館におけるコミュニケーションと学びについて：もの、情報、人との相互関係に関する研究

## (11) 海外交流活動

### 1) 研究に関する国際用務

高橋啓一

2010年8月28日～9月7日, フランス共和国, 国際マンモス会議出席

2010年12月20日～12月25日, 中華人民共和国北京市, 中国科学院古人類・古脊椎動物研究所および中国科学院動物研究所, 骨格標本調査

宮本真二

2010年7月18日～8月14日, ラオス人民民主共和国・ミャンマー連邦共和国・バングラデシュ人民共和国, 現地調査

2010年8月28日～9月23日, インド共和国, 現地調査

2010年11月2日～11月23日, ブータン王国・インド共和国, 現地調査

2010年12月11日～12月23日, バングラデシュ人民共和国, 現地調査

2011年2月4日～2月18日, インド共和国, 現地調査

楊 平

2010年7月22日～7月31日, 中華人民共和国江蘇省, 水田調査

2010年9月6日～9月12日, フィリピン共和国レガスピ市, アジア農村社会学会参加

2010年9月25日～10月8日, 中華人民共和国太湖周辺, 資料収集および現地調査

2011年1月29日～2月5日, 中華人民共和国太湖周辺, 水田環境の利用実態についての現地調査

牧野厚史

2010年9月6日～9月12日, フィリピン共和国レガスピ市, アジア農村社会学会参加

用田政晴

2010年6月12日～6月17日, 中華人民共和国蘇州市および無錫市, 中国太湖における民具の博物館調査および現地資料実態調査

### 3 新たな参加と発見ができる博物館

#### 展示活動

##### (1) 常設展示の主な更新

##### 1) A 展示室

- ・地域の人々による展示コーナー（コレクションギャラリー内） 2010年6月18日更新  
内容：湖国もぐらの会の福井龍幸さんによる展示  
湖国の鉱物・鉱山、標本とパネルで紹介
- ・新着コーナー 2件  
石田二郎氏寄贈化石・鉱物  
長澤芳佑氏寄贈鉱物

##### 2) B 展示室

- ・収蔵資料展示「収蔵庫をのぞいてみよう！」  
博物館の収蔵庫で大切に保管している琵琶湖地域関連の古い文書や絵図などを、B 展示室奥の壁面展示ケースで順番に紹介している。

| 展示期間                      | テーマ                     | 展示資料名                  |
|---------------------------|-------------------------|------------------------|
| 2010年3月30日(火)<br>～5月9日(日) |                         | 新刊人国記 卷上之二             |
|                           |                         | 新街道図                   |
|                           |                         | 滋賀県多賀神社御祭礼之図           |
|                           |                         | 近江八景 三井晩鐘              |
|                           |                         | 淡海録 卷十二                |
| 5月11日(火)～<br>6月13日(日)     |                         | 農具便利論 卷上               |
|                           |                         | 途中越・伊香立越・仰木越道筋最寄村々凡龜絵図 |
|                           |                         | 瀬田川自普請組合村絵図            |
|                           |                         | 東海道 大津                 |
|                           |                         | 海道記 卷上                 |
| 6月15日(火)～<br>7月11日(日)     |                         | 日本山海名産図会 卷五            |
|                           |                         | 愛知郡第五区上蚊野村絵図           |
|                           |                         | 江州伊香郡・坂田郡・浅井郡其外浜廻り絵図   |
|                           |                         | 近江八景 唐崎夜雨              |
|                           |                         | 洪水志                    |
| 7月13日(火)～<br>8月8日(日)      | 古文書にみる琵琶湖の船             | 淡海志 卷二                 |
|                           |                         | 近江八景之内 矢橋帰帆            |
|                           |                         | 宇治・瀬田川・湖南図巻            |
|                           |                         | 琵琶湖蒸気船 二番丸             |
|                           |                         | 滋賀県管内犬上郡誌              |
| 8月10日(火)～<br>9月12日(日)     | 企画展示 関連企画<br>「湖底の魚と魚とり」 | 近江名所図会 卷之二             |
|                           |                         | 大和本草 卷之十三              |
|                           |                         | 和漢三才図会 卷之四十八           |
|                           |                         | 近江国琵琶湖淡水魚絵巻            |
|                           |                         | 琵琶湖棲息川魚図               |

| 展示期間                       | テーマ                     | 展示資料名                  |
|----------------------------|-------------------------|------------------------|
| 9月14日(火)～<br>10月17日(日)     | 企画展示 関連企画<br>「湖底の魚と魚とり」 | 淡海録 巻一                 |
|                            |                         | 滋賀県管下近江国六郡物産図説－滋賀郡・栗太郡 |
|                            |                         | 湊はん志やう画卷               |
|                            |                         | 和漢三才図会 卷之二十三           |
| 10月19日(火)～<br>11月21日(日)    | 堅田の風景                   | 琵琶湖定置網えり漁業細目及び漁業図      |
|                            |                         | 近江八景 堅田落雁              |
|                            |                         | 琵琶湖真景図                 |
|                            |                         | 滋賀県写真帖 上巻              |
|                            |                         | 滋賀県管内地理書               |
| 2011年3月15日(火)<br>～4月24日(日) |                         | 滋賀県近江国農商工便覧            |
|                            |                         | 近江八景 粟津晴嵐              |
|                            |                         | 小学校用 近江史談              |
|                            |                         | 江州坂田郡高番村御検地帳写          |
|                            |                         | 大津町絵図                  |
|                            |                         | 木曾路名所図会 卷之一            |

- ・水への取り組み 琵琶湖の水位変化のグラフを追記（2010年まで延長）  
水利用のパネルを更新

### 3) C 展示室

- ・農村の暮らしと自然 暮らしのエネルギーいまむかし パネル更新（データ追記）  
上下水道いまむかし パネル更新（データ追記）  
富江家 民具に名前パネルを設置
- ・世界の湖沼 日本の湖沼 琵琶湖の研究年表更新（データ追記）

### 4) 水族展示室

特になし

### 5) 屋外展示

特になし

### 6) ディスカバリールーム

- ・「ディスカバリー・カウンター」の展示：ディスカバリーボックス  
百鬼夜行すごろく (2010年8月14日～2011年3月31日)  
はしかけさんのつくったディスカバリーボックス  
(2011年2月9日～3月31日)
- ・「音の部屋」の展示  
南米の楽器 (2010年9月2日～2011年3月31日)
- ・「おばあちゃんの台所」の展示  
こどもの日 (2010年4月13日～6月1日)  
七夕 (2010年6月15日～7月7日)  
お正月 (2011年1月3日～1月10日)

|                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| 節分                | (2011年2月1日～2月3日)         |
| 雛祭                | (2011年2月13日～3月3日)        |
| ・生物、資料の展示：カウンターにて |                          |
| サカマキナミコキセルガイ      | (2010年4月28日～5月9日)        |
| 南極の氷              | (2010年4月29日～5月5日)        |
| メダカ               | (2010年5月7日～8月2日)         |
| ホタルの幼虫            | (2010年5月16日～6月22日)       |
| タカチホヘビ            | (2010年6月19日～8月1日)        |
| ヒラタクワガタ・カブトムシ     | (2010年7月2日～9月13日)        |
| カイコ               | (2010年8月5日～8月31日)        |
| ナマズ               | (2010年8月11日～2011年3月31日)  |
| ヒバカリ              | (2010年10月1日～2011年3月31日)  |
| ピンク色のクビキリギス       | (2010年10月28日～2011年3月31日) |

## (2) 企画展示

### 第18回企画展示「湖底探検 ―びわ湖の底はどんな世界?―」

#### 1) 概要

主催：琵琶湖博物館

共催：滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、滋賀県水産試験場

協力：浦 環（東京大学生産技術研究所）

川村貞夫（立命館大学理工学部ロボティクス学科）

日本海事科学振興財団、海と船の博物館ネットワーク

期間：2010年7月17日（土）～11月23日（火・祝）

場所：滋賀県立琵琶湖博物館 企画展示室

観覧料：大人200円（160円） 高校生・大学生160円（120円）

小・中学生100円（80円） （カッコ内は20人以上の団体料金）

観覧者数：54,013 人

展示担当スタッフ：芳賀裕樹・桑原雅之・磯田能年

展示協力：伊吹山文化資料館

展示施工：株式会社 日展

#### 2) 内容

琵琶湖の深層部（水温躍層以深：水深>30m）の環境や生物を紹介し、そこが琵琶湖の生態系において重要な場所であることを来場者に理解してもらう。湖底でおこっている問題を提示し、環境保全のために何をしたらよいかを考える機会を提供する。湖底という非日常的な空間の紹介にあたり、来場者が展示内容に親しみやすいよう、湖底を探検するような演出を行った。

#### 3) 展示項目

##### 1) プロローグ 湖底探検にでかけよう

湖底の調査用具／潜水ロボット4台／

2万分の1縮尺琵琶湖立体模型／湖沼図（琵琶湖全体を1枚にしたもの）／

102年前の湖沼図（実物、解説）／地形に関する解説／湖成鉄（実物と解説）

##### 2) 琵琶湖の底はこんな世界

- 湖底の温度（解説・温度体感装置）／光環境（解説と水中映像）／  
 水圧（解説と水中映像、小さくなったカップめん容器、血圧計）／  
 底質（解説、水中映像、底質標本）／湖底の流れ（解説、水中映像）
- 3) 琵琶湖の底の生き物たち
- 3-1. 湖底の小動物  
 湖底写真（床面展示）  
 ヨコエビ／ビワオオウズムシ／ミミズ（拡大模型、解説、水中映像など）  
 スジエビ／ユスリカ／カイミジンコ（標本、解説など）
- 3-2. 湖底を利用する魚たち  
 湖底で撮影された魚の写真／湖底のジオラマ（夏・冬）  
 イサザの生態に関する解説  
 ビワコオオナマズの生態 模型（既存）、解説  
 湖底の食物連鎖（めくりパネル）
- 4) 湖底の環境変化  
 淡探が撮影した湖底の写真  
 酸素環境の変化／湖底の生物相の変化（解説パネル）  
 漁師が感じる湖底の環境変化（パネル）／湖底のゴミ（実物）
- 5) エピローグ ～帰還～  
 もうひとつの湖底探検（湖底遺跡に関するパネル展示）  
 来場者が描く「私の湖底探検」（絵描きコーナーとメッセージボード）



#### 4) 関連事業

##### ①企画展関連シンポジウム

「湖底遺跡の探検 ～湖に沈んだ村を科学する～」

開催日時：2010年8月28日（土） 13時30分～16時

開催場所：滋賀県立琵琶湖博物館 ホール

参加無料（申込み不要、展示観覧は有料）

参加者数：117名

内容：琵琶湖には100個以上の湖底遺跡が知られ、考古学的な調査も行われてきたが、その成因は長い間、謎のままであった。しかし最近では、滋賀県立大学、京都大学、大阪市立大学における考古学、応用地質学、地質工学など人文科学、自然科学、工学の研究者が共同して研究調査を行い、一部の村の湖に沈んだ原因が解明されつつある。こうした分野をこえた共同研究の新しい成果をふまえて、「湖と人間」をテーマにした博物館において謎を解いていこうという試みを行った。

講演：「湖に沈んだ村を科学する」

林 博通 氏（滋賀県立大学人間文化学部教授・考古学）

釜井俊孝 氏（京都大学防災研究所教授・応用地質学）

原口 強 氏（大阪市立大学大学院理学研究科准教授・地質工学）

パネルディスカッション：「湖底遺跡の探検～人文科学・自然科学・工学の融合～」

パネラー 林 博通 氏

釜井俊孝 氏

原口 強 氏

芳賀裕樹（琵琶湖博物館専門学芸員・陸水学）

里口保文（琵琶湖博物館専門学芸員・層序学）

進行 用田政晴（琵琶湖博物館上席総括学芸員・考古学）



## ②体験プログラム

タイトル：「琵琶湖の模型をつくろう」

開催日時： 7月31日(土) (1)10:30～11:30 (2)13:30～14:30

8月21日(土) (1)10:00～10:30 (2)13:00～13:30

会場：琵琶湖博物館実習室2

内容：お湯でやわらかくなるプラスチック粘土で琵琶湖の湖底模型を作る。

定員：各回10組（小学6年生以下は保護者同伴）

参加者数：（4回合計） 96名



## (3) 水族企画展示

### 第23回水族企画展示「魚はなぜ田んぼにやってくるのか」

開催期間：2010年7月17日(土)～8月31日(火)

開催趣旨：一昔前、田植え時期に琵琶湖地域で降雨があると、コイ、フナ類、ナマズなどが大挙して水田に上って産卵していた。人々はこれをこぞって追いかけて、採った獲物は煮つけ、アライなどにして食べていた。現在では、生産効率を上げるための農地整備が行われた結果、魚が田んぼに入れなくなり、

また魚そのものが減ってしまったため、そうしたことは殆ど見られなくなった。しかし、近年では水田が、魚類をはじめさまざまな生き物の生息・繁殖空間として注目をあびており、滋賀県をはじめ、国内各地で水田に生き物呼び戻す取り組みが行われつつある。本企画展では、人と生き物が関わるもっとも顕著な場の一つである「田んぼ」と「生き物（魚類）」の関係に焦点をあて、両者の関係について紹介するなかで、私たちが今後、自然（生き物）といかに付き合っていくべきかを考えるための材料を提供した。

展示内容：

- 1) 田植え時期になぜ魚が水田地帯にやってくるのかを東アジアモンスーンと魚類の習性から詳しく解説（＝生き物が地域の環境とともに共進化していることを示す）。
- 2) 水田は、最近になるまで一時的水域で産卵する魚類（フナ、ナマズ、コイなど）のゆりかごとしての役割をもっていたが、圃場整備によって、今では魚類が水田から締め出されてしまっている現状を紹介（同時に、農地管理が容易になったことも紹介）。
- 3) 滋賀県では「魚のゆりかご水田」に代表されるような、水田に生き物だけでなく、人びと（子供たち）を呼び戻し、新たな田んぼと人のかかわりを取り戻すための取り組みが行われていることを紹介。
- 4) 水田地帯が魚類をはじめ、さまざまな生き物の生息・繁殖場となっていることを紹介し、自然・生き物との共生が叫ばれるなか、今後、平野部の生き物を保全していく上で水田がますます重要な場になることを解説。

展示生物（約20種130点）：

魚類：ニゴロブナ、ギンブナ、コイ、タモロコ、稚魚～未成魚（コイ科）、  
ドジョウ、ナマズ、メダカ、タナゴ類、カマツカなど。（約15種100点）  
甲殻類：アメリカザリガニ（1種5点）



#### (4) ギャラリー展示

##### 1) 鉱物・化石展2010 ぼくらは大地に夢を掘る

期間：2010年3月20日（土）～5月9日（日）

場所：企画展示室

主催：湖国もぐらの会・琵琶湖博物館

概要：滋賀県やその周辺で活動する鉱物、化石等の愛好家が集結して、企画展示室いっぱいに標本を自ら展示する第三弾。今回は採集標本の対象地域を全国に広げて展示した。

##### 2) 「神秘の鍾乳洞 河内の風穴」写真展

期間：2010年5月23日（日）～6月20日（日）

場所：企画展示室

主催：滋賀県立琵琶湖博物館 Audio-Visual Team VINZ

後援：多賀町立博物館

概要：滋賀県の天然記念物に指定されている「河内風穴」。Audio-Visual Team VINZ が撮影した河内風穴の非公開エリアを写真とビデオで紹介した。

関連イベント：

①上映会

日時：2010年6月20日（日）

場所：琵琶湖博物館ホール

入場者数：156名

概要：VINZが撮影した河内の風穴の非公開エリアの映像を上映した。見たことのない美しい世界を大きなスクリーンで見ることができ、驚きと感動を与えた。また、参加者からVINZメンバーへの質問などのコーナーもあり、楽しい時間をすごした。

3) 近江のふるさと絵屏風と未来予想絵図

期間：2010年12月19日（日）～2011年1月6日（木）

場所：企画展示室

主催：滋賀県立琵琶湖博物館

協力：びわこ大縁日の会・はしかけグループ「温故写新」

概要：昨年度、今年度と本館アトリウムで作成した滋賀の未来予想絵図と、県内の集落ごとにお年寄りの四季の五感の記憶を絵図に仕立てたふるさと絵屏風とを一堂に会した展示会を行った。

4) 温故知新・近江の糸と織り

期間：2011年1月23日（日）～2月16日（水）

場所：企画展示室

主催：滋賀県立琵琶湖博物館、近江・糸と織りネットワーク

概要：はしかけグループ「近江はたおり探検隊」が6年あまりの活動の中でつながった方々と「近江・糸と織りネットワーク」を結成し、それぞれの活動を「温故知新」をキーワードで紹介した。

5) 食事（くいじ）博—未来につなごう近江の食とくらし—

期間：2011年3月1日（火）～4月7日（木）

場所：企画展示室

主催：滋賀県立琵琶湖博物館・滋賀の食事文化研究会

概要：滋賀県には琵琶湖から田畑、山里で生み出された多彩な食材と、それらを加工し、保存し、組み合わせる知恵に富んだ伝統食、人々の暮らしにとけこんだ食文化が伝えられている。滋賀の食事文化研究会がメンバーの研究成果を持ち寄り、滋賀の伝統食や食の未来に関する展示を行った。

関連イベント：

①記念シンポジウム 「これからの滋賀の味・夢をかたる」

日時：2011年3月6日（日）10：30～12：30

場所：琵琶湖博物館ホール

基調講演：「滋賀の食は豊かな未来食」堀越昌子氏（滋賀大学）

パネルディスカッション

パネリスト 藤居鐵也氏〔藤居本家〕  
山本傳一氏〔(有)たねや〕  
齋藤利彦氏〔(株)鮎家〕  
夏原平和氏〔(株)平和堂〕

## ②イベント

日時：2011年3月5日(土)、6日(日) 9:30~16:30

内容：

- ・アメノイオご飯、エビ豆など滋賀の食文化財に選ばれた伝統食の試食
- ・滋賀県の食材が使われた伝統食 150品の再現展示
- ・琵琶湖の魚や伊吹大根にまつわるテーマを題材にした朗読劇の公演
- ・食育の取り組み紹介や子ども絵画の展示
- ・滋賀の食事文化調査研究成果の発表
- ・琵琶湖博物館のレストラン「におのうみ」と共同企画した「伝統食弁当」

## 6) 国際生物多様性年 流域連携企画「守ろう！琵琶湖・淀川水系の魚たち」

期間：2010年4月24日(土)~5月30日(日)

場所：水族企画展示室

主催：芥川緑地資料館（あくあびあ芥川）、大阪府環境農林水産総合研究所 水生生物センター、  
亀岡市文化資料館、滋賀県醒井養鱒場、滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課  
滋賀県立琵琶湖博物館、水道記念館

概要：愛知県・名古屋市での生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）の開催を機に、自然環境保全の重要性についての理解を深めてもらうことを目的として、琵琶湖・淀川に生息する生きものたちの多様性と固有性と、それらが置かれている危機的な状況を紹介した。また、琵琶湖・淀川水系に位置する6つの施設がそれぞれの取り組みを同時期に紹介する流域連携企画を開催した。

関連シンポジウム：

タイトル：国際生物多様性の日 記念シンポジウム

「いのちにぎわう琵琶湖&淀川~生物多様性とは!? その大切さを考えよう~」

主催：芥川緑地資料館（あくあびあ芥川）、大阪府環境農林水産総合研究所水生生物センター、  
亀岡市文化資料館、滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課、滋賀県立琵琶湖博物館、  
水道記念館、日本よし笛協会

日時：2010年5月22日（土）13:00~17:00

場所：琵琶湖博物館ホール

趣旨：2010年は「国際生物多様性年」であり、10月には日本を議長国として愛知県・名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催される。これに併せ、琵琶湖・淀川に生息する生きものたちについて、それぞれの研究者の立場から語り、水系全体からみた生物多様性の重要性について考えるための材料を提供する。

内容：演奏 ヨシ笛コンサート 日本よし笛協会

講演 1) 魚つかみは楽しい はしかけグループ「うおの会」

2) トンボの不思議 トンボ研究会 澤田弘行

3) 鳥の目からみた世界 アジア猛禽類ネットワーク 山崎 亨

4) 琵琶湖淀川水系の淡水魚 水生生物センター 上原一彦

5) 外来生物の脅威 琵琶湖博物館 中井克樹

パネルディスカッション

「なぜ、生物多様性は大切なのか？」

コーディネーター 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課 牧野厚史

## (5) トピックス展示

### 1) アトリウム

○お正月トピック展示 『ウサギ』展

期間：2011年1月3日(月)～2月6日(日)

内容：2011年の干支「ウサギ」にちなんだ展示会を開催した。約350万年前の古琵琶湖層群から発見されたウサギの化石標本をはじめ、ウサギの性質や様子を紹介する江戸時代の古文書、頭にウサギの耳のような羽毛を持ち、羽毛の生えた足がウサギの足に似ているミミズク（耳木菟）と呼ばれるフクロウ類、ウサギの名前や別名がつく貝類・植物など、当館が所蔵している資料や標本、写真を通して「ウサギ」にまつわる話題を提供した。

### 2) A 展示室

○新燃岳（霧島火山）の火山灰展示

担当者：里口保文

期間：2010年2月19日（土）～4月3日（日）

場所：A展示室コレクションギャラリーのカウンター前（移動型小展示ケース）

展示物：新燃岳の火山灰、滋賀県の火山灰（全部で5点）と説明パネル

### 3) B 展示室

○堅田の郷土 居初家の歴史

期間：2010年11月23日（火）～2011年3月13日（日）

担当者：齊藤慶一・橋本道範

内容：資料整理が完了した博物館所蔵の『居初家文書』を用いて、堅田の郷土、居初家の歴史を紹介した。

### 4) 水族展示

水族展示室内のふれあい体験室前に設置した小型展示水槽をつかって、生まれたばかりの稚魚や話題性のある魚など、常設展示では観察することの難しい水生生物を展示した。内容と期間は以下のとおりであった。

| 期 間                | 内 容                | 特記事項      |
|--------------------|--------------------|-----------|
| 3月30日(火)～5月9日(日)   | イサザ(ハゼ科)           | 琵琶湖固有種    |
| 5月11日(火)～5月30日(日)  | オヤニラミの稚魚           |           |
| 6月15日(火)～7月11日(日)  | 旬のさかなたち『田んぼに入る魚たち』 | 水族企画展導入   |
| 6月29日(火)～8月8日(日)   | イチモンジタナゴの稚魚        |           |
| 8月10日(火)～9月5日(日)   | タモロコの稚魚(コイ科)       |           |
| 9月14日(火)～10月3日(日)  | 天然記念物「アユモドキ」の幼魚    |           |
| 10月5日(火)～10月24日(日) | 「ムサシトミヨ」の稚魚        | 絶滅危惧 IA 類 |

| 期 間                         | 内 容                  | 特記事項      |
|-----------------------------|----------------------|-----------|
| 10月26日(火)～11月14日(日)         | 天然記念物「ミヤコタナゴ」の幼魚     | 天然記念物     |
| 11月2日(火)～12月12日(日)          | 旬のさかなたち『アメノウオ(ビワマス)』 | 琵琶湖固有種    |
| 11月16日(火)～12月5日(日)          | 産卵期を迎えたゼニタナゴ         | 絶滅危惧 IA 類 |
| 12月14日(火)～<br>2011年1月30日(日) | 旬のさかなたち『ヒウオ』         |           |

## (6) 集う・使う・創る 新空間

2010年度は11件の利用があった。

| 期 間                         | タイトル  | 主 催                                     |
|-----------------------------|---|---|
| 2010年<br>3月20日(土)～5月9日(日)   | 水石席飾り(鉱物・化石展2010「ぼくらは大地に夢を掘る」連動企画)                              | 湖国もぐらの会                                 |
| 5月11日(火)～5月30日(日)           | ホテルの学校～ふるさとの川を守る子どもたち～  | ホテルの学校                                  |
| 6月1日(火)～6月25日(金)            | 世界の湖沼保全と多様な生物と共生する未来を目指して! Many species. One Planet. One Future | 財団法人 国際湖沼環境委員会/国連環境計画 国際環境技術センター        |
| 7月3日(土)～8月29日(日)            | 石田道行森の写真展 行きずりの瞬間(とき)   | 石田道行/日本熊森協会滋賀県支部                        |
| 10月1日(金)～10月24日(日)          | ほっとけん! 淡海の生きもののにぎわい～COP10・国際生物多様性年 記念巡回展示～                      | 滋賀県自然環境保全課、滋賀県立琵琶湖博物館                   |
| 10月26日(火)～11月21日(日)         | 語り合おう! 「スローな衣食住 in 近江」  | 近江スローライフの会                              |
| 11月23日(火・祝)～12月12日(日)       | 滋賀ほんまもんの家づくり  | 滋賀らしい環境こだわり住宅 作り手ネットワークグループ             |
| 12月14日(火)～<br>2011年1月16日(日) | 「工房の田んぼ再発見」～昔の農作業と体験学習～   | 近江昔くらし倶楽部・琵琶湖博物館                        |
| 1月22日(土)～2月27日(日)           | 未来を育む「湖の国のかたち」  | 湖の国のかたちをつくる会 (NPO法人メイドインジャパンプロジェクト滋賀支部) |
| 3月1日(火)～3月18日(金)            | 「滋賀の食材」の魅力を発見!  | 滋賀県農業経営課                                |
| 3月19日(土)～4月3日(日)            | 110番動物園   | 有城寛                                     |

## (7) ディスカバリールームのイベント

「紙芝居：春みつけ」

(2010年4月11日)

「こどもの日企画：びわこいのぼり～琵琶湖のさかなに色をぬろう」

(2010年4月24日～2010年5月5日)

参加者 564名

「紙芝居：ゲンタのたんじょうものがたり～ゲンジボタルの一生」

(2010年8月25日)

「秋の実りイベント：おちゃめなカボチャ 2010」

(2010年8月26日～2010年8月30日・2010年9月11日～2010年9月17日)

参加者 159名

「大学生のお兄さん・お姉さんがつくったディスカバリーボックス」

(2010年11月23～2010年12月18日)

「はっばスタンプ」

(2010年12月4日～2010年12月23日の土日祝)

参加者 226名

「お正月だよ！風車をつくろう」

(2011年1月5日)

参加者 50名

「むかしの遊び お手玉をつくろう」

(2011年1月26日)

参加者 7名

「おばあちゃんの台所で、わらざるをつくろう」

(2011年2月11日)

参加者 10名

「びわこのヨシでペンホルダーをつくろう」

(2011年2月16日)

参加者 30名

「くるりん☆かざぐるま」

(2011年2月27日)

参加者 100名

## 展示交流事業

### (1) 展示交流員と話そう

展示交流員は、琵琶湖博物館の案内だけではなく、展示を通して来館者と交流し、来館者に身近な自然や生活へ目を向けていただく『かけはし』となっている。展示交流員は、普段から展示室での交流を行っているが、さらなる交流業務の充実をはかるため、昨年度に引き続き、『展示交流員と話そう』を実施した。

本事業を実施するに際しては、展示交流員が各自でテーマを設定し、担当学芸員のアドバイスを受けながら、知識の習得、交流方法の検討、資料作成等の準備を行った。

本事業は、普段の交流から『きっかけ』をつかみ、できるだけ自然なスタイルで臨めるよう努力した。展示交流員は各自のテーマに沿って、展示だけの交流ではなく、資料に触ってもらう・自作の資料を見てもらう等、来館者の興味を引き出す工夫も行った。

本事業の詳細は以下のとおりである。

1. 実施期間：2010年12月1日（火）～2011年2月28日（日）

(期間内で各自のシフトにより実施)

2. 実施人数：展示交流員 27名

3. 実施回数：「通常業務の延長線上に各々のテーマがある」という主旨のもとに実施した為、回数・人数等は確認せず

| 展示室 | 氏名     | 実施テーマ     | 実施場所        |
|-----|--------|-----------|-------------|
| A   | 二條 歆子  | 水晶        | コレクションギャラリー |
|     | 近藤 志津子 | 地層の調査     |             |
|     | 斉藤 文子  | 地中の宝物を掘る  | コレクションギャラリー |
|     | 齋藤 滋子  | 隕石        | コレクションギャラリー |
|     | 柳原 徳子  | 地球46億年の長さ | コレクションギャラリー |

| 展示室        | 氏名     | 実施テーマ                          | 実施場所         |
|------------|--------|--------------------------------|--------------|
| B          | 井出 範子  | 琵琶湖疏水を歩こう                      | 治水・利水への取り組み  |
|            | 田中 綾   | 瀬田の唐橋                          | 湖上交通の発達      |
|            | 吉田 宏美  | 湖底遺跡                           |              |
|            | 岩見 勉   | 輸送の主役 丸子船                      |              |
| C          | 芦田 弘美  | 見なおされる里山の暮らし                   | くらしとむすびついた自然 |
|            | 愛須 美由起 | 冬の琵琶湖のプランクトンをみてみませんか           |              |
|            | 本田 幸子  | 豊かな土壌づくりの主役 みみず（目見不）           | 水をはぐくむ森林     |
|            | 前川 桂子  | プランクトンの食生活                     |              |
|            | 木下 睦司  | 団塊世代この半世紀                      | 空からみた琵琶湖     |
|            | 林 克子   | 琵琶湖博物館のまわりで見られる鳥               | 生き物コレクション    |
|            | 荒井 紀子  | ホテル                            | ホテルのコーナー     |
| 水族         | 木村 美枝  | 山と森と木と                         | 水をはぐくむ森林     |
|            | 奥村 恵子  | 滋賀の食事文化                        | トンネル水槽       |
|            | 今泉 美保  | 神様のお使い?! ベンテンナマズ (黄色いビワコオオナマズ) | トンネル水槽       |
|            | 森 智美   | オオサンショウウオ                      | 川の上流の生き物     |
|            | 増馬 由佳  | カイツブリについて                      | 水辺の鳥         |
|            | 奥村 千尋  | ザリガニについて                       | ふれあい体験室      |
|            | 杉本 和子  | カイツブリとユリカモメ                    | 水辺の鳥         |
| ディスカバリールーム | 中江 美知子 | カイツブリ                          | 水辺の鳥         |
|            | 立本 奈穂  | アカハライモリ                        |              |
|            | 福井 明美  | 人形劇で遊ぼう                        |              |
|            | 北田 昌子  | ザリガニの紙フィギュアをつくろう               |              |

## 4 体験と交流を促す博物館

### 一般利用者へのサービス事業

#### (1) 観察会・見学会等

2010年度は、博物館周辺や県内各地で行う博物館観察会等13件の事業を企画した。ただ、2010年度は雨天の影響により1件中止せざるを得なくなり、12件の実施となったが、他団体と協働できた観察会・見学会は11件(92%)となり、昨年度と同等の協働率を確保することができた。

観察会・見学会に対する参加者の評判はおおむねよかった。各事業のタイトル、開催日、定員、参加者数等を下表に示した。

|    | 開催日 |    | 曜日 | 事業名                 | 定員<br>(名) | 参加者<br>(名) | 共催関係                           |
|----|-----|----|----|---------------------|-----------|------------|--------------------------------|
|    | 月   | 日  |    |                     |           |            |                                |
| 1  | 5   | 9  | 日  | 朽木で春を見つけよう          | 30        | 29         | 麻生里山センター                       |
| 2  | 5   | 22 | 土  | 希望ヶ丘、春の川辺を歩こう       | 25        | 25         | (財)滋賀県文化振興事業団<br>〈滋賀県希望ヶ丘文化公園〉 |
| 3  | 6   | 19 | 土  | 自然豊かな田んぼで生き物観察      | 20        | 54         | 朽木いきものふれあいの里                   |
| 4  | 6   | 26 | 土  | からすま半島でトンボを観察       | 30        | 雨天中止       | 澤田弘行(トンボ研究会)                   |
| 5  | 7   | 4  | 日  | 希望ヶ丘自然観察会(昆虫)       | 25        | 30         | (財)滋賀県文化振興事業団<br>〈滋賀県希望ヶ丘文化公園〉 |
| 6  | 7   | 17 | 土  | 漁船に乗ってビワマス漁をみてみよう   | 20        | 10         | 朝日漁業協同組合                       |
| 7  | 9   | 18 | 土  | アユの産卵用人工河川を見てみませんか  | 20        | 6          | (財)水産振興協会・水産課                  |
| 8  | 9   | 26 | 日  | 高島市の魚を調べてみよう        | 30        | 4          | はしかけグループ「うおの会」                 |
| 9  | 10  | 3  | 日  | 化石の観察会              | 30        | 31         | 湖国もぐらの会                        |
| 10 | 10  | 24 | 日  | ビワマスの採卵現場を見学してみませんか | 20        | 29         | 百瀬漁協、<br>滋賀県漁連高島事業場            |
| 11 | 11  | 13 | 土  | 秋の里山を歩こう            | 30        | 47         | カワセミ自然の会                       |
| 12 | 12  | 19 | 日  | からすま半島の水鳥を観察してみよう   | 30        | 35         | 日本野鳥の会滋賀支部、<br>びわたん            |
| 13 | 3   | 27 | 日  | 川虫探検                | 30        | 45         |                                |

#### (2) 講座

講座は、研究部が主体となって実施する講座(研究部の講座)、学芸員が専門テーマについて解説する講座(入門・専門講座)、教員や地域の指導者等を対象とした講座(指導者向け講座)、子どもたちを対象に行う夏休み自由研究講座等に区分できる。

2010年度に開催した講座の実績を以下に記した。

##### 1) 入門・専門講座

2010年度は、以下に示した4件の事業を実施した。

| 回 | 内 容                    | 開催日             | 曜日 | 募集数  | 参加者   | 講 師          |
|---|------------------------|-----------------|----|------|-------|--------------|
| 1 | 魚の寄生虫を調べよう！            | 5月15日           | 土  | 20   | 2     | マーク J. グライガー |
| 2 | 回転実験室で水槽実験を！           | 8月10日           | 火  | 20   | 42    | 戸田 孝         |
| 3 | 新琵琶湖学創造セミナー<br>「湖と人間Ⅲ」 | 1月22日～<br>3月12日 | 土  | 各回50 | のべ401 |              |
| 4 | 琵琶湖博物館特別講演会            | 4月17日～<br>3月19日 | 土  | なし   | のべ860 |              |

○魚の寄生虫を調べよう！

琵琶湖とその集水域にすむ魚に寄生している寄生虫について学習し、その標本を観察するとともに実際に魚を解剖して寄生虫を見つけた。あわせて、普段食べている海の魚介類を持ってきていただき、その魚介類に寄生している寄生虫についても観察した。

○回転実験室で水槽実験を！

本館C展示室の回転実験室で、準備に時間を要するため日常の展示室運営では実施できない、水槽を使った実験を行った。具体的には、水槽中央の排水口にできる渦が必ず実験室の回転の向きになることを確かめる実験と、水槽に牛乳などを垂らすとカーテン状になる実験（テラー柱の実験）を行った。

○新琵琶湖学創造セミナー「湖と人間Ⅲ」

詳細は研究調査活動(6)新琵琶湖学創造セミナー (p. 25) の項を参照

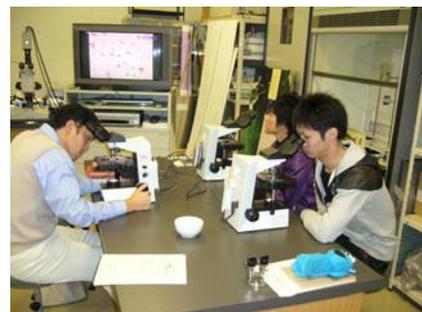
○琵琶湖博物館特別講演会

詳細は研究調査活動(7)琵琶湖博物館特別講演会 (p. 26) の項を参照

## 2) 指導者向け講座

2010年度は3件の指導者のための博物館活用講座を開催した。

| 開催日    | 内 容            | 受講者数 | 担当者            | 共催・後援       |
|--------|----------------|------|----------------|-------------|
| 8月5日   | 生き物飼い方講座       | 7    | 秋山・中井<br>大依・飯住 | 滋賀県総合教育センター |
| 11月11日 | 大地の成り立ちと変化     | 12   | 里口<br>大依・飯住    | 滋賀県総合教育センター |
| 11月18日 | 簡易プランクトンネットの作製 | 18   | 楠岡<br>大依・飯住    | 滋賀県総合教育センター |



### 3) 夏休み自由研究講座 (担当：上田康之・楊 平)

子どもたちを対象に、夏休みに入って間もない7月下旬に自由研究のテーマの決め方や研究の進め方、標本の作り方などについて指導する「夏休み自由研究講座」を開催した。本年度は初回から数えて9回目となった。本講座の日程、参加者数、講師等は下表のとおり、地学・化石コース、昆虫コースで定員を上回る応募者数の合計で136名の応募があり、抽選により92名の参加者を決定した。

| 開催日                     | コース名  | 定員  | 参加者 | 会場     | 講師                          |
|-------------------------|-------|-----|-----|--------|-----------------------------|
| 7月25日(日)<br>10:00~15:00 | 昆虫    | 各30 | 31  | 実習室Ⅰ   | 八尋・榊永・高橋和征<br>(武田 滋)・(南 尊演) |
|                         | 植物    |     | 30  | 生活実験工房 | 草加                          |
|                         | 地学・化石 |     | 31  | 実習室Ⅱ   | 高橋・里口・(中村豊美)                |

\* ( ) は外部講師



昆虫コース



植物コース



化石コース

### (3) 体験教室

2010 年度も、昨年同様に里山体験教室を開催した。

○里山体験教室(担当：寺尾尚純・裕 登志之)

「里山」という言葉は知っているが、行ったことがない。子どもの頃は野山で遊んだが、久しく行ったことがない。このような里山ビギナーの方々に、里山へ訪れるきっかけとして、里山体験教室を「はしかけ里山の会」の協力により開催している。

人里の外側に広がる田畑、草原、河辺林といった里山の空間的広がりを感じてもらうために、借地している林に留まらず、各回周辺を歩いて、季節による変化や時間の連続性を感じ、四季折々の里山の表情を楽しむため年4回実施している。

参加者は、家族単位での参加がほとんどで、子どもたちの体験の機会として応募されているが、熱心なのは保護者の方という場合も多い。

春は、里山を歩き、春の息吹が感じられるよう植物を中心に観察した。食べられる植物を紹介しながら、身近な草花への興味を促した。野草や木の芽のテン普拉を楽しんだ。また、伐採された丸太を伐り、ノコギ

リの使い方を学んだ。

夏は、夏の里山遊びの王道「虫とり」や草遊び、草笛づくりを午前中楽しんだ。午後は、里山の中でシートを利用した簡単お手軽「ハンモック」づくりをした。最後に、それぞれが作った草笛で合奏会をして夏の里山遊びの幕を引いた。

秋は、色カードや秋の七草シートなどを参考にして、林道を歩いて色々な秋さがしをした。秋と言えばキノコだろうということであったが、雨がほとんど降っていないためか期待するほどの量のキノコの収穫はなかったが、それでも多くのキノコを観察することができた。午後は里山整備として、枯れマツを引き倒し、伐採班と落ち葉かき班に分かれて里山の手入れをした。わずか1時間足らずであったが、お寺の庭のようにすっきりとした里山景観になった。

冬といえば、「たき火」。「はしかけ里山の会」のプロデュースにより、火を使った楽しみとして、火おこし、たき火陶芸、薪割りなどを楽しんだ。また、たき火料理として、イモ汁・ねじパン・焼きマシュマロ・焼きいも・木の実などを味わった。

| 回 | 開催日    | 内容           | 参加人数 | 担当者     |
|---|--------|--------------|------|---------|
| 1 | 4月18日  | 里山の春をさがそう    | 45   | 寺尾、裕、楠岡 |
| 2 | 7月18日  | 里山の夏を楽しもう    | 53   | 寺尾、裕、楠岡 |
| 3 | 10月17日 | 秋の彩りと里山林の手入れ | 29   | 寺尾、裕、楠岡 |
| 4 | 1月16日  | 里山の冬あそび      | 36   | 寺尾、裕、楠岡 |

#### 里山の四季



春：野草のテンπρα



夏：虫とり



秋：彩りの秋さがし



冬：たき火

#### 学校連携事業および体験学習

##### (1) 学校団体の受け入れ（担当：大依久人、飯住達也、上田康之、上西智之、今榮誓子）

団体扱いで入館した学校数・児童生徒数を以下にあげる。今年度は新学習指導要領への移行期にあたり、教科学習の時数確保が強く打ち出され、琵琶湖博物館に学校行事として校外学習で来館する学校が減り、入館児童生徒数は前年度比2.8%減となった。

来館する学校が充実した見学ができるよう、下見や電話での引率者との打ち合わせの中で博物館の利活用について説明している。

| 地域  | 校種     | 入館学校団体数 |        |     | 入館児童生徒数 |        |        |
|-----|--------|---------|--------|-----|---------|--------|--------|
|     |        | 2009年度  | 2010年度 | 増減  | 2009年度  | 2010年度 | 増減     |
| 県内  | 小学校    | 171     | 188    | 17  | 12,272  | 12,797 | 525    |
|     | 中学校    | 26      | 31     | 5   | 2,431   | 3,028  | 597    |
|     | 高等学校   | 26      | 25     | -1  | 1,432   | 1,147  | -285   |
|     | 特別支援学校 | 20      | 27     | 7   | 343     | 444    | 101    |
|     | 大学など   | 5       | 7      | 2   | 368     | 280    | -88    |
|     | 合計     | 248     | 278    | 30  | 16,846  | 17,696 | 850    |
| 県外  | 小学校    | 319     | 280    | -39 | 28,954  | 25,540 | -3,414 |
|     | 中学校    | 108     | 109    | 1   | 15,741  | 16,778 | 1,037  |
|     | 高等学校   | 34      | 31     | -3  | 3,455   | 3,115  | -340   |
|     | 特別支援学校 | 26      | 23     | -3  | 750     | 593    | -157   |
|     | 大学など   | 33      | 28     | -5  | 1,706   | 1,823  | 117    |
|     | 合計     | 520     | 471    | -49 | 50,606  | 47,849 | -2,757 |
| 総合計 |        | 768     | 749    | -19 | 67,452  | 65,545 | -1,907 |

## (2) 教職員等研修 (担当：大依久人、飯住達也、寺尾尚純)

博物館が主催した講座、館外への出前講座、県総合教育センターなどと連携した講座、各地の教育委員会や教育研究所からの依頼を受けた研修講座など多岐にわたった。結果として、786名の受講があった。引き続き、受講者である教員や地域で活躍する環境保全リーダーの求めるものと、学芸職員一人一人の専門性をつなぐ講座を実施していきたい。

| 実施日   | 曜日 | 講座名                           | 受講者数 | 共催・後援             |
|-------|----|-------------------------------|------|-------------------|
| 6月3日  | 木  | 県中理研究委員総会                     | 50   | 滋賀県中学校教育研究会理科部会   |
| 6月10日 | 木  | 初任者研修                         | 52   | 滋賀県総合教育センター       |
| 6月15日 | 火  | 初任者研修                         | 51   | 滋賀県総合教育センター       |
| 7月1日  | 木  | 自然調査ゼミナール研修                   | 3    | 滋賀県中学校教育研究会理科部会   |
| 7月27日 | 火  | 米原市教員研修                       | 15   | 米原市教育委員会          |
| 7月30日 | 金  | 自然調査ゼミナール研修                   | 15   | 滋賀県中学校教育研究会理科部会   |
| 8月2日  | 月  | 草津市教員研修                       | 28   | 草津市教育研究所          |
| 8月2日  | 月  | 守山市小中学校教員研修                   | 20   | 守山市小中学校教育研究会理科部会  |
| 8月3日  | 火  | 県小理研究委員総会                     | 27   | 滋賀県小学校教育研究会理科部会   |
| 8月4日  | 水  | 自然調査ゼミナール研修                   | 12   | 滋賀県中学校教育研究会理科部会   |
| 8月5日  | 木  | 三重県三泗小学校教員研修                  | 21   | 三重県三泗小学校理科教育研究協議会 |
| 8月9日  | 月  | 環境科学講座                        | 15   | 滋賀県総合教育センター       |
| 8月10日 | 火  | 環境教育研究協議会                     | 170  | 滋賀県教育委員会          |
| 8月17日 | 火  | 千代田高校教員研修                     | 8    | 千代田高等学校           |
| 8月19日 | 木  | やまのこ事業教員研修会                   | 50   | 滋賀県教育委員会          |
| 8月24日 | 火  | 甲賀市教職員研修「こうか学びの研修(理科講座)」(甲賀市) | 25   | 甲賀市教育委員会          |

| 実施日    | 曜日 | 講座名            | 受講者数 | 共催・後援           |
|--------|----|----------------|------|-----------------|
| 8月24日  | 水  | 自然調査ゼミナール研修    | 3    | 滋賀県中学校教育研究会理科部会 |
| 11月6日  | 土  | 滋賀の教師塾         | 168  | 滋賀県教育委員会        |
| 11月6日  | 土  | 三重生物教育会教員研修    | 19   | 三重生物教育会         |
| 11月15日 | 月  | 長浜市立永原小学校教員研修  | 10   | 長浜市立永原小学校       |
| 11月23日 | 火  | 京都府私立中学高等学校理科研 | 22   | 京都府理科研修会        |
| 12月16日 | 木  | 江田島市教育委員会教員研修  | 2    | 江田島市教育委員会       |
| 合計     |    |                | 786  |                 |



初任者研修のようす

### (3) 学校団体向け体験学習（担当：大依久人、飯住達也、上田康之、上西智之、今榮誓子）

博物館と学校とが連携を保ちながら活動を進めていくことができるよう、学校のカリキュラムに沿った見学への対応のほか、各種体験学習等の受け入れを行った。特に、体験学習として下記のような活動を実習室、セミナー室、生活実験工房等を利用して行った。

また、展示見学学習を支援する「サポートシート（22種類）」の利用を、教員研修や下見受付を通して、学校へ呼びかけた。

| 校種   | 主な活動内容  |
|------|---|
| 小学校  | 講義（琵琶湖と環境、琵琶湖の魚、琵琶湖の生き物、博物館の展示について等）、よし笛作り、化石のレプリカ、プランクトン採集と観察、昔のくらし体験（石臼、脱穀、手押しポンプ）、琵琶湖の富栄養化問題、魚の解剖、質問対応   |
| 中学校  | 講義（琵琶湖と環境、琵琶湖の魚、琵琶湖の生き物、博物館の展示について等）、よし笛作り、化石のレプリカ、水質検査、プランクトンの採集と観察、頭骨模型作り、わら細工、魚の採集（釣り）と解剖、外来魚の調理、野外観察（ヨシ群落）、野外植物観察、水の汚れの測定、貝の観察、火山灰の観察、大地のつくり、3D琵琶湖、琵琶湖の富栄養化問題、学芸員の仕事体験、質問対応 |
| 高等学校 | 講義（琵琶湖と環境、琵琶湖の魚類、博物館の展示について等）、プランクトンの採集と観察、プランクトンネットの作製、魚の採集（釣り）と解剖、水質調査、湖岸調査（地形、植生他）、昆虫の生態観察、火山灰の観察、野外植物観察、大地のつくり、展示利用学習、課題研究、質問対応   |



体験学習実施数

| 校 種    | 県 内 |       | 県 外 |       | 合 計 |       |
|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
|        | 学校数 | 児童生徒数 | 学校数 | 児童生徒数 | 学校数 | 児童生徒数 |
| 小学校    | 42  | 2,193 | 27  | 2,056 | 69  | 4,249 |
| 中学校    | 19  | 2,557 | 13  | 1,734 | 32  | 4,291 |
| 高等学校   | 21  | 652   | 4   | 463   | 25  | 1,115 |
| 特別支援学校 | 2   | 30    | 2   | 30    | 4   | 60    |
| 合 計    | 84  | 5,432 | 46  | 4,283 | 130 | 9,715 |

(4) 一般団体向け体験学習（担当：大依久人、飯住達也、上田康之、上西智之、今榮誓子）

子どもたちの自然や文化への興味関心を高めるとともに、地域連携のあり方を探るため、子ども会やスポーツ少年団、障害者団体などの一般団体に対して体験活動を行った。

| 実施数          | 内 容  |
|--------------|--|
| 10 団体（439 名） | 講義（琵琶湖と環境、琵琶湖の生き物）、ヨシ笛、外来魚調理、プランクトンの採集と観察、魚の解剖、昔の暮らし体験 等 |



(5) 「琵琶湖博物館わくわく探検隊（体験学習の日）」の活動

（担当：大依久人、飯住達也、大塚泰介、加藤 理、桑原雅之）

当館を訪れる小・中学生を対象に、自然・環境・歴史・民俗への興味や関心を高めるための体験活動を、「琵琶湖博物館わくわく探検隊」として実施した。子ども向けではあるが、広く来館者に体験学習を楽しんでもらうよう、保護者の付き添いのある幼児や大人のみでも参加可能にした。基本的には、第2・第4土曜日の午後1時より受付、プログラム実施は午後1時半～3時までとした。参加者からは毎回大変好評であった。年間606名の参加者があり、プログラムの内容上、定員オーバーで参加をお断りするものもあった。

| 回 | 月日    | 館内の事業                 | 参加者数 |
|---|-------|-----------------------|------|
| 1 | 4月10日 | 春の草花でしおりをつくろう         | 22   |
| 2 | 4月24日 | 春の草花でしおりをつくろう         | 19   |
| 3 | 5月8日  | 光とかげで写真をとろう ～水の中の植物編～ | 17   |
| 4 | 5月22日 | 光とかげで写真をとろう ～水の中の植物編～ | 8    |
| 5 | 6月12日 | コラージュ作品をつくろう          | 16   |
| 6 | 6月26日 | コラージュ作品をつくろう          | 30   |
| 7 | 9月11日 | プランクトンの模型を作ろう         | 44   |
| 8 | 9月25日 | プランクトンの模型を作ろう         | 22   |

| 回  | 月日     | 館内の事業                 | 参加者数 |
|----|--------|-----------------------|------|
| 9  | 10月9日  | 秋の色を探してみよう            | 12   |
| 10 | 10月23日 | 秋の色を探してみよう            | 12   |
| 11 | 11月13日 | 木の実で遊ぼう               | 9    |
| 12 | 11月27日 | 木の実で遊ぼう               | 30   |
| 13 | 12月11日 | 水鳥を観察しよう～色とりどりな冬の鳥たち～ | 13   |
| 14 | 1月8日   | 展示室ですごろくをしよう          | 46   |
| 15 | 1月22日  | 展示室ですごろくをしよう          | 49   |
| 16 | 2月12日  | 水晶のレプリカをつくろう          | 113  |
| 17 | 2月26日  | 水晶のレプリカをつくろう          | 78   |
| 18 | 3月12日  | くるくるキラキラ☆偏光スコープ       | 30   |
| 19 | 3月26日  | くるくるキラキラ☆偏光スコープ       | 36   |
|    |        | 合計                    | 606  |



(6) 学校サテライト博物館事業 (担当：大依久人、飯住達也、裕 登志之、大塚泰介、寺尾尚純、加藤 理、桑原雅之、楊 平、老 文子)

2007年度から始まった本事業では、次のことを目的に進められている。

- 1, 博物館機能の地域化
- 2, 学校余裕教室の有効活用
- 3, 標本、資料や展示物のリユース
- 4, 実物提示による学習の充実
- 5, 学校教員への研修機会提供
- 6, 地域住民への生涯学習機会提供
- 7, 児童や地域住民による学習発表の場の提供 (琵琶湖博物館での発表を含む)

これらは、中長期目標「地域だれでも・どこでも博物館」を具現化する方向と一致している。本年度は、昨年度からつづく高島市立青柳小学校での事業展開の継続に加え、甲賀市立佐山小学校から長浜市立永原小学校への移設を行った。

ただし、博物館側から提案しても、学校側にその活動を受け入れる時間的・人的な余裕が無くなっている。昨今の教育課題の多様化・複雑化に加え2011年度より完全実施される新しい学習指導要領への移行などさまざまな要因が挙げられるとともに、少人数学習や外国語学習の導入により、小学校での余裕教室を準備していただくことも困難になっている。このような現状を踏まえ、本事業を「学校」だけに限定することなく、地域の公民館など「学校以外の公共の施設」にも展開していくことを検討する必要がある。



学芸員の出前授業のようす（高島市立青柳小学校）



児童による展示見学のようす（長浜市立永原小学校）



学校教員向けの研修会（甲賀市立佐山小学校）



(7) ミュージアムスクールの運営（担当：大依久人、飯住達也、寺尾尚純、加藤 理、桑原雅之、楊 平、老 文子）

立命館守山中学校、立命館守山高等学校および滋賀県立石部高等学校の3校を受け入れた。

**立命館守山中学校**

1年生164名が参加し、13回にわたって展示見学や講義・体験学習の受講、グループ別課題研究に取り組んだ。課題研究では個々のグループに学芸員がアドバイスを与え、学習の成果を発表会で交流した。

①2010年6月5日（土）

- ・9:40～10:40 講義「琵琶湖の概要、琵琶湖博物館の概要」（飯住）：ホール
- ・10:45～11:45 常設展示見学

②2010年6月19日（土）

- ・9:40～10:40 講義「琵琶湖の生き物とその調査法」（中井）：ホール
- ・10:45～11:45 常設展示見学→自分が興味を持ったテーマや調べてみたい疑問点をワークシートに抽出

③2010年7月10日（土）

- ・9:40～10:40 講義「琵琶湖の生き立ちとその調査法」（山川）：ホール
- ・10:45～11:45 講義「水と人との暮らしとその調査法」（老）：ホール

④2010年9月4日（土）

- ・体験学習「化石レプリカ作り よし笛作り プランクトン観察」(交流担当)：実習室
- ・常設展示および企画展示(「湖底探検」)見学
- ⑤2010年9月25日(土)
  - ・9:40~10:40 講義「問題解決へのアプローチの方法」(高橋)：ホール
  - ・10:45~11:45 班ごとのテーマに合わせて展示見学
- 9月末までを目安に…調べ学習の班決定 → 班ごとのテーマ、担当教員決定 → 担当学芸員調整
- ⑥2010年10月23日(土)：学校で行う
  - ・班での調べ学習 学校図書室での資料検索
- ⑦2010年11月13日(土)：学校で行う
  - ・中間発表会 学級単位での発表会 学芸員への質問事項抽出
- ⑧2010年11月20日(土)：博物館で行う(学芸員対応)
  - ・班での調べ学習(質問事項に対する指導・助言・展示見学)：セミナー室他
- 各班の担当教員…12月11日までに担当学芸員と打ち合わせ
- ⑨2010年12月11日(土)：学校で行う
  - ・班での調べ学習 学校図書室での資料検索 学芸員への質問事項抽出
  - ・各班の担当教員…12月18日までに担当学芸員に必要な資料・準備物など連絡
- ⑩2010年12月18日(土)：博物館で行う(学芸員対応)
  - ・班での調べ学習(質問事項に対する指導・助言・展示見学)：セミナー室他
- ⑪2011年1月29日(土)：学校で行う
  - ・班での発表準備
- ⑫2011年2月5日(土)：学校で行う
  - ・発表学習リハーサル(立命館守山中学校メディアホール)
- ⑬2011年2月12日(土)
  - ・琵琶湖学習発表会(立命館守山中学校メディアホール) 審査・講評(桑原・中井・老・飯住)

### 立命館守山高等学校

2年生64名が参加し、前・後期で7回ずつ、計14回にわたって展示見学や講義を受講し、自分でテーマを設定して研究・調査を進め、学習の成果をスーパーサイエンスハイスクール研究発表会でポスター発表した。

| 前 半   |                   |     | 後 半    |                   |     |
|-------|-------------------|-----|--------|-------------------|-----|
| 月日    | 内容                | 講師  | 月日     | 内容                | 講師  |
| 4月17日 | 琵琶湖の成り立ちについて      | 里口  | 9月4日   | 琵琶湖の成り立ちについて      | 里口  |
| 4月24日 | 琵琶湖と人々との関わりについて   | 楊   | 9月18日  | 琵琶湖の水質と水産業について    | 学校で |
| 5月15日 | 琵琶湖の魚類について(外来魚含む) | 中井  | 10月2日  | 琵琶湖と人々との関わりについて   | 楊   |
| 5月22日 | 琵琶湖の水質と水産業について    | 学校で | 10月16日 | 琵琶湖の魚類について(外来魚含む) | 磯田  |
| 6月19日 | 琵琶湖の鳥類について(観察含む)  | 亀田  | 10月23日 | 琵琶湖の鳥類について(観察含む)  | 亀田  |
| 6月26日 | 琵琶湖の環境保全について      | 大塚  | 10月30日 | 琵琶湖の環境保全について      | 大塚  |
| 7月10日 | まとめ・ポスター作成        | 学校で | 11月6日  | まとめ・ポスター作成        | 学校で |



**滋賀県立石部高等学校**

3年生7名が参加し、5日間にわたって展示見学や講義・体験学習の受講、個別課題研究に取り組んだ。

①2010年7月21日(水)

- ・9:30~10:45 博物館のつくられ方(用田)
- ・10:45~12:00 展示見学
- ・13:00~14:10 琵琶湖の生い立ち(里口)
- ・14:20~15:30 生活と水の関わり(楊)

②2010年7月22日(木)

- ・9:30~12:00 琵琶湖の水質(芦谷)
- ・12:30~15:30 プランクトンの観察(大塚)

③2010年7月23日(金)

- ・9:30~15:30 外来魚の採集・解剖・調理(秋山)

④2010年7月27日(火)

- ・9:30~15:30 課題研究(芳賀)

⑤2010年7月28日(水)

- ・9:30~15:30 課題研究(秋山)



(8) 職場体験実習(担当:大依久人、飯住達也)

今年度の受け入れはなかった。

(9) 視察対応(担当:大依久人、飯住達也)

2010年度に受け入れた学校連携・教育普及活動に関する視察は、合計8件99名であった。

| 月 日    | 研 修                | 人数 |
|--------|--------------------|----|
| 8月24日  | ビジターズビューロー         | 27 |
| 9月4日   | ミュージアムリテラシー向上プログラム | 6  |
| 10月3日  | 訪日台湾高校生招致事業        | 10 |
| 10月21日 | 中国教職員招聘プログラム       | 30 |

| 月 日    | 研 修                       | 人数 |
|--------|---------------------------|----|
| 10月29日 | 国立歴史民俗博物館                 | 2  |
| 11月12日 | 平和祈念館（仮称）開設準備室            | 2  |
| 11月27日 | 天理市校園長会                   | 20 |
| 12月16日 | 広島県さとうみ科学館（江田島市教育委員会教員研修） | 2  |

(10) 博物館実習（期間：2010年8月1日（日）～8月8日（日）；ただし8月6日は休み）

大学生が学芸員の資格を取得するための実習を開催した。国内12大学、19名の学生を対象に、琵琶湖博物館の基本理念・活動方針と、それにもとづく交流、資料整備、展示などの活動について、講義および実習を行った。交流事業の体験では、中学生を対象とした自然調査ゼミナールへ実習スタッフとして参加したり、展示作業の体験として1週間を通してグループでディスカバリーボックスの計画および試作品の製作を行い、最終日にプランの発表を行った。発表会では博物館職員との意見交換も行われた。なお、7日以上の実習が必要な2名については、2、3日間の期間を延長して実習をおこなった。

| 月日(曜日)  | 内容(午前)   | 内容(午後)   |
|---------|--|--|
| 8月1日(日) | <ul style="list-style-type: none"> <li>全体オリエンテーション</li> <li>講義「琵琶湖博物館の概要」</li> <li>講義「琵琶湖博物館の研究活動」</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義「常設展示室の概要」</li> <li>実習「常設展示室の見学」</li> <li>実習「ディスカバリーボックスの製作ガイダンス」</li> <li>実習「ディスカバリールームの見学」</li> </ul> |
| 8月2日(月) | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習「ディスカバリーボックスの企画案作り」</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習「ディスカバリーボックスの企画案作り」</li> </ul>  |
| 8月3日(火) | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義「博物館の資料と整理(データベース)について」DVD視聴含む</li> <li>講義「IPMについて」</li> <li>見学「収蔵庫空間見学」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習 各資料に分かれて実習</li> </ul>  |
| 8月4日(水) | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義「交流事業の概要」</li> <li>講義「自然調査ゼミナールのガイダンス」</li> <li>実習「自然調査ゼミナール」にスタッフとして参加</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習「自然調査ゼミナール」にスタッフとして参加</li> </ul>  |
| 8月5日(木) | <ul style="list-style-type: none"> <li>講義「企画調整課の概要」</li> <li>講義「琵琶湖博物館の広報戦略」</li> <li>講義「琵琶湖博物館の電子情報」</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習「博物館への質問と回答作り」</li> </ul>   |
| 8月6日(金) | <休 み>  |  |
| 8月7日(土) | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習「ディスカバリーボックスの作成」</li> </ul>   |  |
| 8月8日(日) | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習「ディスカバリーボックス・プレゼンテーション準備」</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>実習成果発表会</li> <li>修了式</li> </ul>   |

実習生：12大学、19名（内訳）

| 所 属    | 人 数 | 所 属    | 人 数 |
|--------|-----|--------|-----|
| 成安造形大学 | 7   | 京都府立大学 | 1   |
| 京都精華大学 | 2   | 京都文教大学 | 1   |
| 北里大学   | 1   | 帝京科学大学 | 1   |
| 京都教育大学 | 1   | 奈良女子大学 | 1   |
| 京都女子大学 | 1   | 琉球大学   | 1   |
| 京都橘大学  | 1   | 龍谷大学   | 1   |

## 国際交流活動

### (1) 「JICA 博物館学集中コース」の実施

国際協力機構 (JICA) からの委託事業として、国立民族学博物館と共に、「博物館集中コース」を実施した。国立民族学博物館が事務局を持ち、琵琶湖博物館は運営委員 2 名を出して、全体の運営にかかわると共に、6 カ国 10 名の研修員を受け入れた。

なお、この JICA の研修は当初 10 年間にわたり国立民俗学博物館が「博物館技術コース」として行ってきたもので、琵琶湖博物館も研修生を受け入れて協力してきたが、2004 年度から名称と研修内容を変更し、琵琶湖博物館が共催して行っているものである。

#### 1) 研修員

- エジプト RASHED, Ahmed Abdullah El-sayed Abdalla (エジプト博物館)
- エジプト AHMED, Eltoukhy Kamel Eltoukhy Ali Sayed (大エジプト博物館)
- ヨルダン AL-DEEK, Ala'a Abdulrahman Ibrahim (ヨルダン博物館)
- モンゴル AVIRMED Yanjiv (モンゴル国立文化芸術大学)
- モンゴル JAMBALDORJ Myandas (モンゴル自然史博物館)
- ペルー GUEVARA TORRES, Evelyn Karin (レイメバンバ博物館)
- スリランカ JAYASINGHE, W A Mindini Upeksha (文化・国家遺産省国立博物館局)
- タイ SURIYATHAM, Kanokwalee (タイ銀行博物館)
- タイ SALEEKONGPRAYOON, Kamonwan (ローイエット博物館)
- タイ CHOMPPOO, Watcharee (チェンマイ博物館)

#### 2) スケジュール

- 2010 年 4 月 1 日 来日
- 4 月 14 日 開講式 (国立民族学博物館)
- 4 月 15 日 カントリーレポート (琵琶湖博物館)
- 7 月 16 日 閉講式
- 7 月 17 日 帰国

##### 琵琶湖博物館での研修

- 6 月 9 日 琵琶湖博物館の概要および設立経緯 (楠岡)  
展示見学 (楠岡、中井)
- 6 月 10 日 展示の計画および作製 (乃村工藝社 鮫島)  
教員研修見学 (飯住、大依)  
学校との連携 (飯住、大依)  
交流事業の考え方 (桑原)
- 6 月 11 日 資料整理と利用 (中藤)  
博物館と研究 (用田)  
ディスカバリールームの考え方と運営 (芦谷)  
各国博物館における教育プログラム (JICA 研修員)
- 6 月 12 日 フィールドレポーターおよびはしかけとの話し合い (楠岡)  
体験学習プログラム見学および体験 (飯住、大依、はしかけびわたん)
- 6 月 13 日 地域の子どもたちと環境調査 (楠岡)  
子どもたちとの意見交換 (楠岡)

琵琶湖博物館スタッフとの交流

6月14日 休

6月15日 地域博物館の運営（布谷）

展示評価（Learning Innovation Network 黒岩）

展示評価の実践（黒岩、布谷、楠岡、中井）

情報の利用とそのための施設（戸田）

琵琶湖博物館の学芸員とのディスカッション

### 3) 個別研修

選択の個別研修には、研修員10名のうち、7名が琵琶湖博物館で研修した。

個別研修期間 2010年6月28日～7月2日

参加研修員

AL-DEEK, Ala' a Abdulrahman Ibrahim (ヨルダン)

AVIRMED Yanjiv (モンゴル)

JAMBALDORJ Myandas (モンゴル)

GUEVARA TORRES, Evelyn Karin (ペルー)

JAYASINGHE, W A Mindini Upeksha (スリランカ)

SURIYATHAM, Kanokwalee (タイ)

CHOMPOO, Watcharee (タイ)

研修内容 (テーマ・地域と博物館)

6月28日 博物館と地域の交流 (布谷)

インターナショナルコーナーの案作り (芦谷、楠岡)

プランクトンの模型作り (楠岡、中井、北村)

6月29日 化石のレプリカ作り (大依、飯住)

フォトセラピーとはなにか (秋山)

6月30日 幼稚園生と漁港見学 (中藤、楠岡)

昔の暮らし体験 (中藤)

琵琶湖博物館スタッフとのディスカッション (楠岡、中井)

7月1日 古写真を使っての人生の振り返り (秋山、楠岡)

研修員によるインターナショナルコーナー案発表 (芦谷、山田、藤岡、楠岡)

ベトナムの高校生と共にプランクトンの観察 (楠岡)

7月2日 Miho ミュージアム見学 (楠岡、中井)

滋賀県立 陶芸の森見学 (楠岡、中井)

### (2) 海外からの視察・研修

| 月 | 日  | 団体名                                    | 依頼者                                 | 人数 | 担当    |
|---|----|--|-------------------------------------|----|-------|
| 4 | 13 | 韓国生態復元調査団                              | JT TOUR (韓国)                        | 9  | 前畑    |
| 4 | 21 | オーストラリア・グレンアイラ市副市長一行                   | 守山市政策調整部                            | 8  | 中井    |
| 4 | 22 | 韓国 Korea Rural Community & Cooperation | Korea Rural Community & Cooperation | 1  | 楠岡    |
| 5 | 22 | 無錫市視察団                                 | 無錫市 (中華人民共和国)                       | 15 | 楊     |
| 6 | 23 | ミシガン州立大学連合日本センター「環境学」研修                | ミシガン州立大学連合日本センター                    | 5  | グライガー |

| 月  | 日  | 団体名  | 依頼者                             | 人数  | 担当    |
|----|----|--|---------------------------------|-----|-------|
| 6  | 29 | JICA「環境中の有害汚染物質対策コース」見学                      | (公財) 地球環境センター                   | 11  | 中井    |
| 7  | 1  | ベトナム高校生訪日団                                   | (財) 日本国際協力センター                  | 22  | 戸田・楠岡 |
| 7  | 15 | 「国際青年育成交流事業(外国青年招聘)」地方プログラム                  | 滋賀県健康福祉子ども・青少年局                 | 50  | 前畑    |
| 7  | 27 | JICA「中華人民共和国・高度処理/効率的な污水处理施設整備コース」研修の見学      | (独) 国際協力機構                      | 23  | 芳賀    |
| 8  | 5  | (財) 北九州国際協力会                                 | 北九州国際協力事業団                      | 8   | 楊     |
| 8  | 5  | 中日次世代幹部交流訪問団                                 | 滋賀県                             | 100 | 楊     |
| 8  | 8  | ミシガン州高校生訪問団                                  | 滋賀県立短期大学                        | 27  | 前畑    |
| 8  | 11 | 大韓民国・群山市視察団                                  | 韓国群山市役所企画予算課国際交流係               | 10  | 中井    |
| 8  | 19 | 韓国農村建築学会日本の環境にやさしい水路研修団                      | JT TOUR (韓国)                    | 17  | 中井    |
| 9  | 1  | JICA 青年研修「都市環境管理コース」研修                       | (公財) 地球環境センター                   | 13  | 中井    |
| 9  | 10 | JICA 集団研修「水環境を主題とする環境教育コース」                  | (財) 国際湖沼環境委員会                   | 10  | 楠岡    |
| 9  | 14 | JICA 地域別研修「アジア水環境ガバナンス強化ワークショップ」             | (財) 地球環境戦略研究機関                  | 11  | 中井    |
| 10 | 3  | 台湾高校訪日団                                      | 滋賀県観光交流局                        | 10  | 前畑    |
| 10 | 14 | JICA 研修「沿岸域・内湾およびその集水域における統合的水環境管理研修」        | (財) 国際エメックスセンター                 | 9   | 中井    |
| 10 | 22 | 中国湖南省視察団                                     | 滋賀県                             | 10  | 楊     |
| 10 | 28 | タイ王国・スラナリー工科大学附属ラジュシマ・ウィッタヤライ高校研修旅行          | タイ王国・スラナリー工科大学附属ラジュシマ・ウィッタヤライ高校 | 41  | 楠岡    |
| 11 | 5  | JICA 研修「タイ国温室効果ガスの削減にかかる組織能力強化プロジェクト」        | 滋賀県環境政策課温暖化対策室                  | 18  | 中井    |
| 11 | 9  | JICA 青年研修ベトナム地方行政グループ                        | 滋賀県青年団体連合会                      | 22  | 中井    |
| 11 | 10 | 韓国観光課公務員視察団                                  | 日韓交流支援センター                      | 12  | 中井    |
| 11 | 12 | JICA 国別研修中国「節水型社会構築」                         | 水資源機構技術センター                     | 18  | 中井    |
| 11 | 16 | 京都インターナショナルスクール環境学習                          | 京都インターナショナルスクール                 | 24  | 楠岡    |
| 11 | 17 | JICA 研修「産業排水処理技術コース」                         | (財) 北九州国際技術協力協会                 | 9   | グライガー |
| 11 | 25 | JICA 国際技術研修「生活排水対策コース」                       | (財) 北九州国際技術協力協会                 | 10  | 中井    |
| 12 | 2  | 韓国コウノトリセンター                                  | 韓国コウノトリセンター                     | 5   | 碓・中井  |
| 12 | 3  | JICA 国別研修「インドネシア・水質管理」                       | 水資源機構国際グループ                     | 8   | 中井    |
| 12 | 4  | 韓国淳昌郡文化観光課ほか                                 | 韓国淳昌郡守                          | 6   | 桑原    |
| 12 | 16 | JICA 国別研修 中国・循環型経済推進プロジェクト「環境教育施設運営及び人材育成」研修 | 京エコロジーセンター                      |     | 楊・中井  |
| 12 | 19 | 中国湖北省環境保護庁研修団                                | 日中交流推進協会                        | 15  | 中井    |
| 12 | 22 | 中国雲南省「昆明市水環境改善研修」                            | (財) 北九州国際協力協会                   | 8   | 楊     |

| 月 | 日  | 団体名   | 依頼者              | 人数 | 担当    |
|---|----|---|------------------|----|-------|
| 1 | 22 | JICA 課題別研修「アジア地域上水道事業経営・人材育成セミナー」           | 横浜ウォーター（株）       | 15 | 奥村・中井 |
| 2 | 8  | ミシガン州立大学連合日本センター同窓会協会会長一行                   | 滋賀県商工観光労働部観光交流局  | 3  | 中井    |
| 2 | 18 | 台湾 MOOK 出版・香港 LA SERENE PUBLISHING CO. 信頼出版 | 京滋国際観光誘客推進委員会    | 5  | 楊     |
| 3 | 13 | 台湾雲林科技大学                                    | 台湾雲林科技大学         | 30 | 楊・榊永  |
| 3 | 15 | 中国旅行エージェント                                  | （社）びわこビジターズビューロー | 10 | 楊     |

## 5 対話と応援ができる博物館

### 利用者主体の事業

#### (1) フィールドレポーター

フィールドレポーター制度とは、身近な生き物や生活に関する情報を定期的に報告してもらい、得られた情報を博物館の資料として保存し、展示や交流の中でいかしていくとともに、情報のやりとりを通して博物館とレポーター同士をつなぐ制度である。活動としては、博物館とフィールドレポーターが相談してテーマを設定し、年数回行うアンケート型調査と、自由な内容で身近な情報を随時報告する自由交流型調査の2種類を実施している。調査の結果はフィールドレポータースタッフにより「フィールドレポーターだより」と「掲示板」でまとめ、フィールドレポーター交流会において発表している。また、必要に応じて勉強会や観察会を実施している。登録者数は95名（2010年度）である。

2010年度のアンケート型調査は、「イチョウウキゴケを探そう」・「お正月遊び」の2つのテーマで実施し、「フィールドレポーターだより」で調査結果をまとめた。また、自由交流型調査として、昨年と同じ時期の8月にびわこバレイ蓬莱山山頂でアキアカネのマーキングを行う「アカトンボのふるさと探し」調査を行い、その結果を「掲示板」の中でまとめた。「掲示板」は年4回発行している。そして、過去10年間に発行したすべての「掲示板」、「フィールドレポーターだより」をPDF版にし、インターネットページ上で見られるように整理をすすめている。また、2010年10月に名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）に関連する「いきものみつけシンポジウム」（名古屋市科学館）でフィールドレポーターの活動を発表したり、琵琶湖博物館C展示室での展示や展示更新など、館内外の活動にも積極的に参画している。

2010年5月15日に実施した交流会では、2009年度に実施した「テントウムシ調査」、「近江ことば いまむかし」の2つの調査報告を行った。テーマごとにレポーター、地域の方々及び報道関係者らにより、活発な意見交換が行われ有意義な交流となった。

フィールドレポーターの調査内容等一覧（2010年度）

| 内 容             | 実施期間   | 報告(件)         |
|-----------------|--------|---------------|
| 1) イチョウウキゴケを探そう | 5月～9月  | 210件（165調査地点） |
| 2) お正月遊び        | 12月～1月 | 132件          |
| 3) アカトンボのふるさと探し | 8月     | 現地調査          |
| 4) 自由形調査（掲示板）   | 通年     | 通巻59-62号      |



交流会のようす



いきものみつけシンポジウムでの発表

フィールドレポーターの活動記録（2010年度）

| 月 日    | 曜日 | 内 容                           |
|--------|----|-------------------------------|
| 4月4日   | 日  | 定例会：レポーターだよりの印刷・発送、調査内容の協議・検討 |
| 4月17日  | 土  | 定例会：調査項目、調査方法、C展示室のパネル更新      |
| 5月8日   | 土  | 定例会：調査内容、調査票作成、FR活動の再検討       |
| 5月15日  | 土  | 定例会：交流会の開催、調査結果の発表            |
| 6月5日   | 土  | 定例会：掲示板印刷・発送作業、アンケート調査の検討     |
| 6月12日  | 土  | JICA 交流会                      |
| 6月19日  | 土  | 定例会：調査推進の検討                   |
| 7月4日   | 日  | 定例会：現地調査に関連する準備               |
| 7月17日  | 土  | 定例会：調査票の作成・印刷・発送作業            |
| 8月7日   | 土  | びわこバレイ現地調査                    |
| 8月21日  | 土  | 定例会：調査結果の集計・まとめ               |
| 9月4日   | 土  | 定例会：掲示板の印刷と発送                 |
| 9月18日  | 土  | 定例会：調査方法・調査票作成等の検討            |
| 10月2日  | 土  | 定例会：調査内容・調査方向性の検討             |
| 10月16日 | 土  | 定例会：調査票の集計・まとめ                |
| 10月23日 | 土  | 「いきものみつけシンポジウム」参加             |
| 11月6日  | 土  | 定例会：調査に関連する作業・データ作成           |
| 11月20日 | 土  | 定例会：アンケート調査の再検討               |
| 12月4日  | 土  | 定例会：調査票作成・編集作業                |
| 12月18日 | 土  | 定例会：調査票の印刷、発送作業               |
| 1月15日  | 土  | 定例会：来年度調査目標の確認、資料提供           |
| 2月5日   | 土  | 定例会：お正月遊び調査の中間まとめ等            |
| 2月19日  | 土  | 定例会：アンケート調査内容の検討・作成           |
| 3月5日   | 土  | 定例会：掲示板の印刷作業、発送等              |
| 3月19日  | 土  | 定例会：調査活動に関する協議・検討             |

## (2) はしかけ制度

「はしかけ」制度は、展示の見学や交流イベントへの参加など、いわゆる受け身的な博物館の利用にとどまらず、博物館の事業や活動にさまざまな形で自主的にかかわりたいとする人たちに対し、そのきっかけの場、さらには新しい活動を発想・展開するための環境を提供するための参加型制度で、2000年8月に設置された。

「はしかけ」制度のもとでの活動は、年度単位で登録・更新の手続きをした会員が、個別のテーマをもつ「はしかけ」グループの活動に参加する形で主として行われる。それらのグループの活動は多岐にわたり、活動の場所や対象を博物館内やその周辺におくグループや県内の各地域へも活動範囲を広げているグループもある。このようにして、「はしかけ」会員には、琵琶湖博物館の中長期基本計画に掲げられている「地域だれでも・どこでも博物館」の実現に向けて、博物館と地域あるいは地域に住む人たちとの間の、文字通り「はしかけ」としての役割も期待されている。

「はしかけ」制度は、参加者の側が自主的に企画・提案を行い、博物館とともに活動を具体化していく形へと移行していくことが望まれる。それぞれのグループや会員が核となり、各地で新たな活動が生まれ、すでに活動しているグループとも連携をとりながら、博物館と連携した活動のネットワークが広がっていく方向へと発展していくことが、この制度の将来的な目標のひとつであり、「地域だれでも・どこでも博物館」構想を実現するひとつの有効な手段となりうるものと考えらる。

はしかけ会員になるうえでの受講が必修である登録講座を例年どおり7月、11月、2月の3回実施した。

2010年度の新規登録者は、54名にのぼり、会員数は300名であった。2010年度は、咽頭歯俱樂部が活動を休止していたため、実質の活動グループ数は15グループであった。2010年度末には、咽頭歯俱樂部と水はしかけが解散した。登録講座開催日にあわせ、はしかけ交流会、はしかけ発表会を開催し、会員同士の親睦をはかるとともに、新規登録希望者にグループごとに活動内容の紹介を行った。「はしかけ」発表会開催中に、来年度の更新アンケートとボランティア保険料も受け付けることで、更新手続きの円滑化を図った。また、来年度のはしかけ制度成立10周年記念事業の実施にむけて、この制度の現状についてアンケート調査などを行い、「はしかけ10周年記念事業」の実施計画の検討を行った。

|     | 開催日      | 会場          | 実施体制                                     | 参加者数 |
|-----|----------|-------------|--|------|
| 第1回 | 7月4日(日)  | 琵琶湖博物館セミナー室 | 全体進行：老<br>各グループの説明：はしかけグループ担当者やはしかけ会員による | 12人  |
| 第2回 | 11月7日(日) |             |  | 12人  |
| 第3回 | 2月27日(日) |             |  | 30人  |

### 各グループの活動

#### ○ザ！ディスカバはしかけ

担当：芦谷美奈子、藤岡千裕、山田陽子 会員数：4名

[設立の趣旨] 子どもからお年寄りまでディスカバリールームを訪れる方々に展示のメッセージがよりよく伝わるように分かりやすく楽しい空間を創ることをめざしている。

[活動の概要] 「ザ！ディスカバはしかけ」は2005年度の秋に発足したグループである。これまでは個人ごとの活動が中心となり、イラストや裁縫・人形劇など展示物の作製および補修を中心に活動した。そして、展示室のイベントで他のはしかけさんにも協力していただき、活動目的でもある“ディスカバリーをもっと楽しくするイベント”にも挑戦していきたい。

#### 「ザ！ディスカバはしかけ」のおもな活動

| 活動日           | 内容                           | 場所               |
|---------------|------------------------------|------------------|
| 4月11日         | イベント「春みつけ」紙芝居の上演             | 琵琶湖博物館ディスカバリールーム |
| 5月11日         | BOX「ケンケンけん玉」手作りけん玉の制作        | その他              |
| 6月9日          | おばあちゃんの台所「のれん」制作             | その他              |
| 8月14日         | BOX「百鬼夜行すごろく」制作              | その他              |
| 8月25日         | イベント「ゲンタの誕生物語」紙芝居の上演         | 琵琶湖博物館ディスカバリールーム |
| 9月28日         | 人形劇「クロナガオサムシ」パペットの修繕         | 琵琶湖博物館ディスカバリールーム |
| 10月14日        | BOX「カエルのなきごえ」リモコンカバーの制作      | 琵琶湖博物館ディスカバリールーム |
| 10月21日        | BOX「日本のおもちゃ」お手玉の制作           | 琵琶湖博物館ディスカバリールーム |
| 11月15日        | 第2回 ザ！ディスカバはしかけ交流会           | 琵琶湖博物館ディスカバリールーム |
| 11月18日        | 「ヨシのペンホルダー」制作                | その他              |
| 11月25日        | おばあちゃんの台所「座布団」制作             | 琵琶湖博物館ディスカバリールーム |
| 12月12日        | イベント「雪の結晶づくり」企画と表示制作         | その他              |
| 12月12日        | イベント「はっぱすたんぷ」運営の補助           | 琵琶湖博物館ディスカバリールーム |
| 12月12日        | 展示の飾りを制作                     | その他              |
| 12月19日        | おばあちゃんの台所「障子」張り替えの指導         | 琵琶湖博物館ディスカバリールーム |
| 2011年<br>1月5日 | イベント「お正月だよ！風車をつくろう」運営の補助     | 琵琶湖博物館ディスカバリールーム |
| 1月26日         | イベント「昔のあそび、お手玉をつくろう」お手玉の制作指導 | 琵琶湖博物館ディスカバリールーム |

| 活動日   | 内 容                   | 場 所              |
|-------|-----------------------|------------------|
| 2月17日 | おばあちゃんの台所「座布団カバー」制作   | その他              |
| 2月27日 | イベント「くるりん☆かざぐるま」運営の補助 | 琵琶湖博物館アトリウム      |
| 3月7日  | 第一回 ザ！ディスカバはしかけ総会     | 琵琶湖博物館ディスカバリールーム |

○近江昔くらし倶楽部

担当：中藤容子 会員数：15名

[設立の趣旨] 常設展示「農村のくらし」など近江の伝統的な暮らしぶりから学ぶ“小地域循環的な暮らし”を、実際に屋外展示の森・田畑・工房の中で実験的に創造していくことを目標にしている。ボランティア力をあわせて屋外展示空間を積極的に活用し創造する取り組みを行って行くため、2009年1月、グループ名を変更して刷新することとなった。

[活動の概要] 年間を通じ、「工房の田んぼ行事」への協力と屋外展示、生活実験工房を拠点とする昔くらし体験の活動を行っている。2010年度は、今まで行ってきた大学、養護学校や保育園との連携授業や古民家再生プロジェクトとの連携に加え、「雑穀の地産地消を考える会」との連携や「しが衣食住博 in 琵琶博」に関連する活動も数多く行った。

「近江昔くらし倶楽部」のおもな活動

| 活動日      | 内 容                                | 場 所                           |
|----------|------------------------------------|-------------------------------|
| 4月3～5日   | 昔くらし合宿 in 京北黒田                     | 黒田基幹集落センター<br>(京都市右京区)        |
| 4月13・14日 | 工房を楽しもう！（綿のポット苗種まき）                | 生活実験工房                        |
| 4月17日    | 工房の田んぼ行事（苗代づくり）                    | 生活実験工房                        |
| 4月17日    | つくってみよう・滋賀の味（第6回 筍ご飯、玉ねぎ酒粕づけ）      | 生活実験工房                        |
| 4月29日    | 古民家再生プロジェクト（木考塾の方と古民家調査）           | 古民家 Zutto（大津市）                |
| 5月11日    | 工房を楽しもう！（お茶つみ）                     | 生活実験工房                        |
| 5月16日    | 工房の田んぼ行事（田植え（シシクワズ・羽二重餅））          | 生活実験工房                        |
| 5月22日    | 古民家再生プロジェクト（夏野菜の苗植え）               | 古民家 Zutto（大津市）                |
| 5月25・26日 | 工房を楽しもう！（畑作業（シソ苗植え））               | 生活実験工房                        |
| 5月29・30日 | 古民家再生プロジェクト（トタン屋根のペンキ塗り）           | 古民家 Zutto（大津市）                |
| 5月30日    | 昔くらし探検（仰木里山暮らしの木工市参加）              | 大津市                           |
| 6月10日    | 古民家再生プロジェクト（細川城さがし）                | 古民家 Zutto（大津市）                |
| 6月19日    | つくってみよう・滋賀の味（第7回）                  | 生活実験工房                        |
| 6月22・23日 | 工房を楽しもう！（綿畑作業、苧麻の苧びき）              | 生活実験工房                        |
| 7月15日    | 古民家再生プロジェクト（打ち合わせ）                 | 子どもネットワーク天気村<br>(草津市)         |
| 7月18日    | 昔くらし探検（フナズシ講座（滋賀の食文化研究会））          | 生活実験工房                        |
| 8月3日     | 昔くらし探検（赤シソジュースづくり（比良里山クラブ））        | まほろばの里（大津市）                   |
| 8月21日    | 工房の田んぼ行事（かかし作り）                    | 生活実験工房                        |
| 8月21日    | つくってみよう・滋賀の味<br>（第8回 そうめん、地鶏のすきやき） | 生活実験工房                        |
| 9月9日     | 古民家再生プロジェクト（伝細川城の会の新聞取材）           | 古民家 Zutto（大津市）                |
| 9月26日    | 工房の田んぼ行事（稲刈り）                      | 生活実験工房                        |
| 9月26日    | 昔くらし探検（湖北・田舎暮らしフェスタ参加）             | 大門坂荘、板並ふれあいの里、<br>甲津原小学校（米原市） |

| 活動日              | 内 容                                       | 場 所                   |
|------------------|---|-----------------------|
| 10月7日            | 工房を楽しもう！（タカキビとアマランサスの脱穀）                  | 生活実験工房                |
| 10月14日           | 古民家再生プロジェクト（ログハウスの組み立て、細川カフェ話し合い）         | 古民家 Zutto（大津市）        |
| 10月16日           | つくってみよう・滋賀の味<br>（第9回 かまどご飯とみそ汁）           | 古民家 Zutto（大津市）        |
| 10月24日           | 工房の田んぼ行事（足踏み脱穀、唐箕掛け）                      | 生活実験工房                |
| 10月31日・<br>11月1日 | 近江スローライフの会発足イベント<br>（映画「降りてゆく生き方」上映会&交流会） | 大津市民会館、のぞみ荘（大津市）      |
| 11月11日           | 古民家再生プロジェクト（ミーティング（細川カフェ、ログハウスづくり））       | 古民家 Zutto（大津市）        |
| 11月12日           | 講習（草津養護学校の昔暮らし体験）                         | 生活実験工房                |
| 11月13日           | 昔暮らし探検（お蔵探検）（古着コレクション拝見）                  | 出雲さん宅（長浜市）            |
| 11月14日           | 工房の田んぼ行事（収穫祭）                             | 生活実験工房                |
| 11月17日           | 工房を楽しもう！（工房の掃除、綿繰り）                       | 生活実験工房                |
| 11月20日           | 特別講演会（槌田劭さん「共生共貧」講演会）                     | セミナー室                 |
| 11月28日           | 昔暮らし探検（仰木里山暮らしの木工市）                       | 大津市                   |
| 12月5～12日         | びわこ大縁日（出展）                                | 企画展示室                 |
| 12月7～10日         | びわこ大縁日（同じ釜の飯を食う会）                         | 生活実験工房                |
| 12月19日           | 工房の田んぼ行事（餅つき）                             | 生活実験工房                |
| 12月23日           | 工房の田んぼ行事（門松、しめ縄づくり）                       | 生活実験工房                |
| 1月29日            | ギャラリー展示関連イベント（収集家とともに古着の心を紐解くワークショップ）     | 企画展示室                 |
| 2月8～10日          | 工房を楽しもう！（綿からの糸紡ぎ、地機織り）                    | 企画展示室                 |
| 2月23日            | 工房を楽しもう！（こんにやく作り）                         | 生活実験工房                |
| 2月27日            | 出展（はしかけ活動発表会）                             | アトリウム                 |
| 3月12日            | 古民家再生プロジェクト（来年度の予定ミーティング）                 | 子どもネットワーク天気村<br>（草津市） |
| 3月19日            | つくってみよう・滋賀の味（第10回 アメノイオご飯と滋賀特産のカブ大根の漬物）   | 生活実験工房                |

#### ○近江はたおり探検隊

担当：中藤容子・辻川智代 記録・ホームページ担当：辻川智代 会員数：20名

[設立の趣旨] 2004年度、民俗資料展「糸を紡いで布を織る」での機織り体験講座がきっかけとなり、展示終了後、結成。「地域に残された人とモノから近江の機織り文化を探究し、現在、失われてしまった近江の良さを再発見し、地域の人々とともにその良さを伝えていく」ことを目的に活動している。

[活動の概要] 博物館に収蔵される機織り用具の調査を通じ、地域に残る機織りの技を再現することを目標とし、織姫の会、研究会、はたおり探検などの活動を行っている。平成18年度から「野良着部会」で琵琶湖南部特有の縞柄の藍染木綿の復元を進めている。

#### 「近江はたおり探検隊」のおもな活動

| 活動日         | 内 容                  | 場 所      |
|-------------|----------------------|----------|
| 2010年度（21回） | 織姫の会                 | 琵琶湖博物館   |
| 9月29日       | 藍染め                  | 湖南市・紺喜染織 |
| 1月23日～2月16日 | 「温故知新・近江の糸と織り」展参加    | 琵琶湖博物館   |
| 3月6日        | 「藍－生活のなかに息づくものたち」展見学 | 城陽市五里ごり館 |

○温故写新

代表連絡係：谷口雅之 担当：秋山廣光 会員数：約30名

[設立の趣旨] 写真とカメラを愛し、撮影を楽しむことを主旨とする。

生命の活動、人の生活や自然の移りゆく様を記録し後世に伝える。

感動的に、そして美しく。

時の流れと共に変化するこの世界の一瞬を切り取り、命や自然、人の営みを考察する一助とする。

[活動の概要] 撮影会と勉強会を開催。2010年度は、連絡係を交代して、心機一転をはかる。「古写真整理」班の活動を主体に、ギャラリー展示に協力した。

「温故写新」のおもな活動

| 活動日    | 内 容      | 場 所    |
|--------|----------|--------|
| 5月1日   | ミーティング   | 古写真整理  |
| 6月19日  | ミーティング   | 古写真整理  |
| 8月29日  | 総会、事務局交代 | 琵琶湖博物館 |
| 9月26日  | ミーティング   | 琵琶湖博物館 |
| 10月16日 | 現地撮影会    | 草津市渋川  |
| 11月7日  | 勉強会、整理実技 | 琵琶湖博物館 |
| 11月14日 | 現地撮影会    | 大津市南比良 |
| 1月6日   | 勉強会      | 琵琶湖博物館 |
| 2月20日  | 水鳥撮影会    | 烏丸半島   |
| 3月19日  | 勉強会      | 琵琶湖博物館 |

○湖（こ）をつなぐ会

代表：中山法子 担当：老 文子 会員数：8名

[設立の趣旨] 「うた」を通じて、琵琶湖の文化的・社会的価値を再発見することをめざしている。

[活動の概要] 今年度はメンバーが1名増え、非常に活動がしやすくなった。夏休み期間中の月曜開館の日に紙芝居を上演することができた。月曜開館日は入館者があまり多くなく、館内にいる子ども達が全員集まるような雰囲気の中でゆっくり紙芝居を見てもらうことができた。また、今年度は「生きている琵琶湖」の歌を子ども達に伝えることにより一層力を入れようと、子ども用歌詞カードをひらがなにしたり、カードの裏に琵琶湖の生き物たちの絵を入れて、興味をひきだせるような工夫をした。

「湖（こ）をつなぐ会」のおもな活動

| 活動日   | 内 容                        | 場 所         |
|-------|----------------------------|-------------|
| 4月18日 | 紙芝居「びわこの旅」上演               | 琵琶湖博物館アトリウム |
| 5月30日 | 紙芝居「びわこの旅」上演               | 琵琶湖博物館アトリウム |
| 7月26日 | 紙芝居「びわこの旅」上演               | 琵琶湖博物館アトリウム |
| 9月26日 | 紙芝居「びわこの旅」上演               | 琵琶湖博物館アトリウム |
| 11月8日 | はしかけ交流会に参加                 | 琵琶湖博物館セミナー室 |
| 12月5日 | 紙芝居「びわこの旅」上演               | 琵琶湖博物館アトリウム |
| 2月27日 | はしかけ発表会に参加<br>紙芝居「びわこの旅」上演 | 琵琶湖博物館      |

○ほねほねくらぶ

会長：山中裕子 広報担当：永野まやこ 担当学芸員：高橋啓一

会員数：大人15名 子ども6名 計21名

[設立の趣旨] 現生あるいは化石の骨に関係した活動を通じて、琵琶湖博物館の研究や交流活動の支援を行い、その楽しさを広く博物館外の人々に伝えることを目的としている。

[活動の概要] 2002年7月に発足。骨に魅せられた仲間が集まり、博物館に持ち込まれる哺乳類をはじめ鳥類や魚類などなど、さまざまな生き物の骨格標本を作っている。毎月1～2回の例会が活動の中心である。2010年度は、前半は、高橋学芸員による『サルの解剖勉強会』を行い、神経・血管・筋肉を観察しながらの解剖法を学んだ。また、琵琶湖博物館を飛び出して、林道近くでの骨拾いや洞窟から採取した土を洗って骨拾いなどもした。博物館で受け入れた駆除動物や巨大ワニガメの解剖は、貴重な経験となった。

「ほねほねくらぶ」のおもな活動

| 活動日   | 内 容   | 場 所    |
|-------|---|--------|
| 4月例会  | 17日 洞窟より採集した土洗いと骨拾い   | 琵琶湖博物館 |
| 5月例会  | 9日 洞窟の土から骨拾い  | 琵琶湖博物館 |
|       | 23日 サルの解剖勉強会Ⅰ（頭部、三叉神経を中心に）                                    |        |
| 6月例会  | 6日 水浸けタヌキの骨洗い、土から取り出した骨の同定（ネズミ・モグラ・コウモリ・サカナの歯や骨、ヘビ・カエルなどの骨多数） | 琵琶湖博物館 |
|       | 20日 サルの解剖勉強会Ⅱ（脊椎神経の枝を追いかけて）                                   |        |
| 7月例会  | 4日 サルの解剖勉強会Ⅲ（前肢の神経を追いながら）                                     | 琵琶湖博物館 |
|       | 17日 有害駆除のツキノワグマの解剖  |        |
| 8月例会  | 7日 ツキノワグマの解剖  | 琵琶湖博物館 |
|       | 26日 冷凍庫内の資料整理と資料の足型取り   |        |
| 9月例会  | 5日 ツキノワグマ、イタチ、モグラ除肉   | 琵琶湖博物館 |
|       | 23日 チンチラの皮剥ぎ、タヌキの組み立て   |        |
| 10月例会 | 7日 チンチラ除肉、タヌキ組み立て   | 琵琶湖博物館 |
|       | 11日 林道脇で骨拾い、博物館にて拾った骨洗い                                       | 滋賀県内   |
| 11月例会 | 13日 拾った骨を動物種、部位ごとに整理  | 琵琶湖博物館 |
|       | 23日 チンチラ除肉、ワニガメ計測、拾った骨整理                                      |        |
| 12月例会 | 11日 ワニガメ解剖（脂肪外し、前肢除肉）   | 琵琶湖博物館 |
| 1月例会  | 10日 水浸けシカの骨洗い   | 琵琶湖博物館 |
|       | 23日 チョッパー（ヤギ）の解剖  |        |
| 2月例会  | 6日 イタチ除肉、石膏足型展示づくり  | 琵琶湖博物館 |
|       | 11日 ワニガメ解剖（腹甲外し、内臓観察と後肢除肉）                                    |        |
|       | 27日 はしかけ交流会（展示と交流）  |        |
| 3月例会  | 21日 イタチ除肉、シカ骨並べ、資料記録整理  | 琵琶湖博物館 |
|       | 27日 ワニガメ除肉（手根・足根骨・寛骨の付き方を観察しながら）                              |        |

○たんさいぼうの会

会長：有田重彦 会長補佐：中井大介 担当：大塚泰介 会員数：約18名

[設立の趣旨] 珪藻を中心に、微小生物のハイ・アマチュア研究者の育成を目指す。

[活動の概要] 2002年5月に「珪藻の会」として発足し、研究対象の拡大をねらって「たんさいぼう（単細

胞)の会」と改名した。発足以来、珪藻など微小生物の調査・観察・研究を行い、学会発表や研究論文として成果を公表してきた。活動によって得られた標本および成果物は、琵琶湖博物館に寄贈される。

2010年は、ここ数年続いていた学術論文の発表はなかったものの、以下にあげる3編の学術記事を専門雑誌に掲載した。

有田重彦・大塚泰介・戸田 孝(2010)珪藻の殻に現れたベルヌーイ螺旋. 数学セミナー, 49(12): 54-57.

中井大介・大塚泰介・北村美香(2010)環境学習プログラム「目指せ、珪藻マスター～珪藻ゲットだぜ!～」を実施して. Diatom, 26: 51.

有田重彦(2010)70歳からの珪藻研究. Diatom, 26: 53.

2010年度も「たんさいぼうの小さな旅」などで新たに珪藻試料を採集するとともに、過去の旅で採集した珪藻試料の写真撮影と整理を進めた。また、2007年の油日湿地調査が発端となって、甲賀市内に点在する小規模ミズゴケ湿地の研究を、みなくち子どもの森、大阪市立大学などと共同で始めた。

「たんさいぼうの会」のおもな活動

| 活動日    | 内 容  | 場 所              | 担当者・参加者                        |
|--------|--|------------------|--------------------------------|
| 4月11日  | 第26回総会   | 琵琶湖博物館           | 担当：杉本昌隆<br>参加者：15名             |
| 4月11日  | Yahoo!グループにたんさいぼうの会情報共有ボックスが設立される                |                  | 担当：吉野彰一                        |
| 5月8日   | 日本珪藻学会第31回大会および公開シンポジウム「珪藻と教育」で発表                | 東京学芸大学<br>(小金井市) | 発表者：有田重彦<br>芝崎美世子・中井大介         |
| 5月16日  | たんさいぼうの小さな旅 XI 荒神山                               | 曾根沼・野田沼<br>(彦根市) | 担当：津田久美子<br>参加者：11名            |
| 7月4日   | 第27回総会   | 琵琶湖博物館           | 担当：津田久美子<br>参加者：11名            |
| 7月19日  | 第3回珪藻入門講座<br>「はじめてのたんさいぼう」                       | 琵琶湖博物館           | 担当：中井大介/大塚泰介<br>参加者：8名         |
| 7月25日  | 第4回「環境と科学のフェスティバル」に参加                            | ビバシティ彦根<br>(彦根市) | 担当：大塚泰介<br>参加者：4名              |
| 9月20日  | 油日湿地の追加調査  | 油日湿地(甲賀市)        | 担当：片山慈敏<br>参加者：2名              |
| 10月14日 | 甲賀市内のミズゴケ湿地で予備調査<br>(みなくち子どもの森と共同)               | 甲賀市水口町一帯         | 担当：片山慈敏<br>参加者：2名              |
| 10月31日 | 第28回総会   | 琵琶湖博物館           | 担当：有田重彦<br>参加者：10名             |
| 11月7日  | はしかけ交流会で活動紹介                                     | 琵琶湖博物館           | 担当：大塚泰介                        |
| 11月12日 | 数学セミナーに「珪藻の殻に現れたベルヌーイ螺旋」を発表、新聞、ウェブニュースで取り上げられ話題に |                  | 主著者：有田重彦                       |
| 12月5日  | たんさいぼうの小さな旅 XII 田上里のミズゴケ湿地<br>「社研の窓」取材陣も同行       | 大津市田上里のミズゴケ湿地    | 案内人：北澤太郎氏<br>(洛星中・高)<br>参加者：5名 |
| 12月15日 | 甲賀市内のミズゴケ湿地で予備調査<br>(みなくち子どもの森と共同)               | 甲賀市信楽町一帯         | 担当：片山慈敏<br>参加者：2名              |
| 12月25日 | 日本珪藻学会誌 Diatom に2本の記事が掲載される                      |                  | 主著者：中井大介・有田重彦                  |
| 1月16日  | 第29回総会が大雪で流会                                     | 琵琶湖博物館           | 担当：木原康郎<br>参加者：6名              |
| 1月30日  | 第29回総会(やりなおし)                                    | 琵琶湖博物館           | 担当：有田重彦<br>参加者：6名              |

| 活動日   | 内 容                                       | 場 所           | 担当者・参加者           |
|-------|---|---------------|-------------------|
| 2月27日 | はしかけ発表会で発表                                | 琵琶湖博物館        | 担当：大塚泰介<br>参加者：2名 |
| 3月29日 | 甲賀市内のミズゴケ湿地で予備調査<br>(みなくち子どもの森・大阪市立大学と共同) | 甲賀市油町・<br>信楽町 | 担当：片山慈敏<br>参加者：3名 |

\*他団体との共同行事への参加者数は、たんさいぼうの会会員のみを示し、共同実施団体の参加者数を含んでいない。

### ○植物観察の会

代表：不在 担当：芦谷美奈子 会員数：名簿なし

[設立の趣旨] 2004年度に行った企画展示「のびる・ひらく・ひろがる」を準備している時期に、一つには植物の情報を収集し、植物を好きになる人を増やすのを目標にしている。また、はしかけ中の多くのグループにとって、植物に関する情報は必要である。はしかけ会員全員向けに植物についての研修会を開く場として位置づけている。

[活動の概要] ニューズレターの発行に合わせて、野外での植物観察会を継続してきた。博物館での主催行事とは異なり、集合場所と解散場所を決めるだけで、かなり気ままに里山を歩き、目についた植物について観察をするという形式で行った。

#### 「植物観察の会」のおもな活動

| 活動日    | 内 容        | 場 所      | 参加者  |
|--------|------------|----------|------|
| 4月11日  | 観察会 (タンポポ) | 甲良町      | 雨天中止 |
| 7月19日  | 観察会        | 比叡山      | 10名  |
| 9月26日  | 観察会 (水草など) | 琵琶湖博物館周辺 | 12名  |
| 11月14日 | 観察会        | 大津市上田上桐生 | 9名   |
| 1月23日  | 観察会        | 大津市長居公園  | 9名   |

### ○里山の会

世話役：飯田俊宏、前田博美、柳原徳子、桑垣 瑞、吉井 隆 担当：楠岡 泰、寺尾尚純、碓 登志之

[設立の趣旨] 交流事業「里山体験教室」の卒業生が中心となり、2001年から活動している。里山体験教室のホスト役を通して里山をより深め、会独自に現代における里山の「利用法」と「楽しみ方」を模索している。

[活動の概要] 里山体験教室の活動フィールドが、昨年度より野洲市大篠原になった。当初このフィールドは、林縁部がマント群落に覆われ、枯アカマツが点在し、亜高木のソヨゴやヒサカキに埋め尽くされた暗い林であったが、3年にわたり、小径木、灌木を伐採し、落ち葉をかくことで、少しずつ明るさを取り戻し、林床には芽生えが確認されるようになった。伐採した木々は、里山の燃料として利用され、参加者は里山の燃料を使うことから里山の恵みを感じることができた。この冬の体験教室は昨年と同様に、里山の会のプロデュースによって実施された。

#### 「里山の会」のおもな活動

| 活動日   | 内 容                    | 場 所                |
|-------|------------------------|--------------------|
| 4月10日 | 山菜の会                   | 湖南市岩根              |
| 4月11日 | 里山体験教室 (春) 下見          | 野洲市大篠原             |
| 4月18日 | 里山体験教室 (春) 「里山の春をさがそう」 | 野洲市大篠原             |
| 5月22日 | 永源寺新緑探索と川遊び<br>石塔寺見学   | 東近江市君ヶ畑<br>東近江市石塔町 |
| 6月5日  | ホテルの森コンサート参加           | 守山市ほたるの森資料館        |

| 活動日    | 内 容                                   | 場 所               |
|--------|---------------------------------------|-------------------|
| 7月10日  | 里山体験教室（夏）下見                           | 野洲市大篠原            |
| 7月10日  | 金勝里山楽校見学<br>田上山不動寺見学                  | 栗東市御園<br>大津市田上森町  |
| 7月18日  | 里山体験教室（夏）「里山の夏を楽しもう」                  | 野洲市大篠原            |
| 8月9日   | 棚田、シシ垣見学<br>葛川古民家泊体験                  | 高島市鶴川<br>大津市葛川細川町 |
| 8月10日  | 鯖街道散策                                 | 大津市葛川貫井町          |
| 10月10日 | 里山体験教室（秋）下見                           | 野洲市大篠原            |
| 10月17日 | 里山体験教室（秋）「秋の彩りと里山林の手入れ」               | 野洲市大篠原            |
| 11月3日  | 里山観察会 下見                              | 高島市マキノ町           |
| 11月13日 | 里山観察会 本番                              | 高島市マキノ町           |
| 12月12日 | ドングリ料理とソバ打ち                           | 琵琶湖博物館生活実験工房      |
| 1月9日   | 里山体験教室（冬）下見                           | 野洲市大篠原            |
| 1月16日  | 里山体験教室（冬）「里山の冬あそび」<br>（里山の会によるプロデュース） | 野洲市大篠原            |
| 2月5日   | 味噌造りと紙すき 準備                           | 琵琶湖博物館生活実験工房      |
| 2月6日   | 味噌造りと紙すき 本番                           | 琵琶湖博物館生活実験工房      |
| 2月27日  | はしかけ登録講座・交流会参加                        | 琵琶湖博物館            |
| 3月21日  | 里山の会総会、染色、キノコの植菌                      | 琵琶湖博物館生活実験工房      |

○田んぼの生き物調査グループ

担当：楠岡 泰、マーク J. グライガー 会員数：20名

[設立の趣旨] 滋賀県に住む人にとって最も身近な水環境である水田に目を向けて、その生物の分布や生態を調査する。

[活動の概要] 当グループは、フィールドレポーター制度で行った田んぼの生き物調査に興味を持った有志で結成された。水田に生息する生物、特に大型鰓脚類（カブトエビやハウネンエビ、カイエビなど）の分布および生活史を明らかにすることが現在の研究テーマである。大型鰓脚類の出現状況を県内各地の水田で調べ、分布マップを作成するとともに、分布の違いを生み出す要因を明らかにするため、水温や水質、冬期の土壌水分量などのデータの比較を行っている。はしかけそれぞれが自分のペースで自宅近くの定点観察および広域分布調査を行っている。2010年度は合同調査として夏に長浜市周辺で水田エビ類調査を実施し、冬の雪が多い時期に同じ田の土壌水分含有量調査を行った。

「田んぼの生き物調査グループ」のおもな活動

| 活動日    | 内 容                | 場 所    | 参加者数      |
|--------|--------------------|--------|-----------|
| 4月25日  | 2010年度田んぼの生き物調査研修会 | 琵琶湖博物館 | 10名       |
| 5月28日  | 第1回田んぼの生き物合同調査     | 長浜市周辺  | 3名        |
| 6月6日   | 第2回田んぼの生き物合同調査     | 長浜市周辺  | 9名        |
| 9月12日  | 同定会および長浜調査結果発表会    | 琵琶湖博物館 | 7名        |
| 1月31日  | 冬の田んぼ土壌合同調査        | 長浜市周辺  | 5名        |
| 通 年    | 田んぼの生き物調査          | 滋賀県周辺  | それぞれが随時調査 |
| 12月～2月 | 冬季田んぼの状態調査         | 滋賀県周辺  | それぞれが随時調査 |

○うおの会

会長：村上靖昭 担当：松田征也 会員数：80名

[設立の趣旨] 「魚を愛し、魚採りを楽しもう。魚とその棲息環境を将来にのこそう。魚とその棲息環境の現状を調査し、その姿を証拠として記録しておこう」という目標をたて、魚とりが大好きな人々が集まって、魚つかみを楽しみながら、共に調査を実施し、身近な環境を見つめなおすことを目的にしている。2000年の発足から、お魚とりが大好きな会員に、博物館を利用した活動の場を提供しながら、調査によって得られた成果を活用し、身近な環境に棲息している魚たちの情報を21世紀初頭の記録として貴重な博物館資料とすることを目指している。

[活動の概要] 2000年の発足から2004年5月までは、滋賀県内の魚類分布調査や、法竜川での定点調査などの調査と分析を行ってきた（成果報告は、琵琶湖博物館研究調査報告第23号「みんなで楽しんだうおの会－身近な環境の魚たち」にまとめられている）。

2005年度より、琵琶湖流域を対象に、NPO、団体、機関、学校、企業や個人をつなぐ「琵琶湖お魚ネットワーク」の活動を展開、流域各地で分布調査や地域の観察会で指導を行ってきた。2007年2月には、その成果として「琵琶湖お魚ネットワーク報告書」を発行した。地域に活動の拠点が構築されたことから、琵琶湖お魚ネットワークの活動を終え、2008年度から「だれでも・どこでも琵琶湖お魚調査隊」の活動を展開している。この活動では、会員外に広く呼びかけ、琵琶湖淀川流域の魚の分布調査を行っている。会員の調査活動として、会員同士の交流やスキルアップのための月1回の定例調査を琵琶湖流域各地で開催するとともに、各会員が日常的に調査活動を実施している。うおの会では、このように魚つかみを楽しみながら、得られたデータをもとにして環境の保全に役立てたいと願っている。

この他、個別調査や琵琶湖外来魚駆除の日、守山湖岸振興会外来魚駆除大会、環境ほっとカフェ、みずすまし推進事業などへの参加・協賛を行ってきた。

「うおの会」のおもな活動

| 活動日    | 内 容                            | 参加者数 |
|--------|--------------------------------|------|
| 4月3日   | 運営会議                           | 14名  |
| 4月18日  | 第69回うおの会定例調査 大同川・伊庭内湖周辺調査      | 24名  |
| 5月15日  | 第70回うおの会定例調査 守山市下之郷遺跡・石田川周辺調査  | 35名  |
| 5月16日  | 運営会議                           | 10名  |
| 6月20日  | 第71回うおの会定例調査 湖北方面調査            | 18名  |
| 7月4日   | はしかけ登録講座にてグループ紹介               | 1名   |
| 7月4日   | 運営会議                           | 11名  |
| 9月5日   | 運営会議                           | 8名   |
| 9月26日  | 第72回うおの会定例調査 琵琶湖博物館観察会協力 高島市青柳 | 23名  |
| 10月3日  | 運営会議                           | 6名   |
| 10月17日 | 第73回うおの会定例調査 法竜川定点調査・報告会       | 12名  |
| 11月7日  | 運営会議                           | 8名   |
| 11月21日 | 第74回うおの会定例調査 旧湖東町周辺            | 22名  |
| 12月19日 | 第75回うおの会定例調査 野洲市周辺調査           | 24名  |
| 12月19日 | 運営会議                           | 7名   |
| 1月16日  | 勉強会 淡水生貝類・主要な魚種の見分け方           | 23名  |
| 1月16日  | 運営会議                           | 9名   |
| 2月6日   | 運営会議                           | 12名  |

| 活動日   | 内 容                   | 参加者数 |
|-------|-----------------------|------|
| 2月20日 | 勉強会 淡水性エビ類・水生植物の見分け方  | 31名  |
| 2月27日 | はしかけ登録講座にてグループ紹介      | 1名   |
| 2月27日 | はしかけ発表会への参加           | 2名   |
| 3月13日 | 運営会議                  | 8名   |
| 3月27日 | 第75回うおの会定例調査 南湖東岸周辺調査 | 23名  |
| 3月27日 | うおの会総会                | 25名  |

#### ○咽頭歯倶楽部

会長：村上靖昭 担当：中島経夫 会員数3名

2010年度は活動を休止し、2011年3月をもって解散した。

#### ○びわたん

担当：飯住達也、大依久人 会員数：26名

[設立の趣旨] 「琵琶湖博物館わくわく探検隊」事業を博物館職員とともに運営する。博物館の設置理念である「フィールドへの誘い」をめざし、利用者の視点から、参加者に、展示室をより深く理解してもらうことを目的にしている。

[活動の概要] 「琵琶湖博物館わくわく探検隊」事業は、概ね第2、4土曜日の午後に行われている。この事業は、来館者に滋賀県の人々の暮らしや身のまわりの自然に対する興味・関心を深めてもらうことをねらいに行っている。「びわたん」のメンバーは、この事業におけるプログラム開発や事業当日の参加者との交流などに主体的に関わっている。また、それぞれの興味・関心に応じて、他の博物館や学校、地域に出かけて体験学習を行うほか、スキルアップのための自己研修も行っている。

2011年2月10日には、財団法人河川環境管理財団による河川整備基金助成事業において、琵琶湖博物館で活動しているはしかけグループびわたん（代表：北村美香さん）の「琵琶湖わくわく探検隊」事業における琵琶湖を中心とした環境学習プログラムの開発と実施」の成果が認められ、優秀成果に選定されました。本事業は、琵琶湖博物館などを拠点として、プランクトンや魚類、水草などの生物の生態に触れる体験型プログラムを提供し、身近な湖沼や河川への意識を持ってもらうことを目的として行われた。同時に、博物館の学芸員の知識を活用して、質の高い体験学習を構築していくことを目指すとともに、実践を重ねることで活動の主体的な担い手を育成することもねらいとしている。

「びわたん」のおもな活動

「琵琶湖博物館わくわく探検隊」事業（館内）

| 活動日   | 内 容                   | 担 当      |
|-------|-----------------------|----------|
| 4月10日 | 春の草花でしおりをつくろう         | 企画・運営・実施 |
| 4月24日 | 春の草花でしおりをつくろう         | 企画・運営・実施 |
| 5月8日  | 光とかげで写真をとろう ～水の中の植物編～ | 企画・運営・実施 |
| 5月22日 | 光とかげで写真をとろう ～水の中の植物編～ | 企画・運営・実施 |
| 6月12日 | コラージュ作品をつくろう          | 企画・運営・実施 |
| 6月26日 | コラージュ作品をつくろう          | 企画・運営・実施 |
| 9月11日 | プランクトンの模型を作ろう         | 企画・運営・実施 |
| 9月25日 | プランクトンの模型を作ろう         | 企画・運営・実施 |
| 10月9日 | 秋の色を探してみよう            | 企画・運営・実施 |

| 活動日    | 内 容                  | 担 当      |
|--------|----------------------|----------|
| 10月23日 | 秋の色を探してみよう           | 企画・運営・実施 |
| 11月13日 | 木の実で遊ぼう              | 企画・運営・実施 |
| 11月27日 | 木の実で遊ぼう              | 企画・運営・実施 |
| 12月11日 | 水鳥を観察しよう～色とりどりの冬鳥たち～ | 企画・運営・実施 |
| 1月8日   | 展示室ですごろくをしよう         | 企画・運営・実施 |
| 1月22日  | 展示室ですごろくをしよう         | 企画・運営・実施 |
| 2月12日  | 水晶のレプリカをつくろう         | 企画・運営・実施 |
| 2月26日  | 水晶のレプリカをつくろう         | 企画・運営・実施 |
| 3月12日  | くるくるキラキラ☆偏光スコープ      | 企画・運営・実施 |
| 3月26日  | くるくるキラキラ☆偏光スコープ      | 企画・運営・実施 |

館外・博物館イベント

| 活動日    | 内 容                                | 場 所               | 担 当               |
|--------|------------------------------------|-------------------|-------------------|
| 4月8日   | 活動紹介                               | 滋賀大学教育学部          | 実施                |
| 4月10日  | 企画展「湖底探検」<br>探検手帳作成打合せ             | 琵琶湖博物館            | 企画                |
| 4月11日  | ギャラリー展関連イベント<br>鉱物のカラフルレプリカつくっちゃお～ | 琵琶湖博物館            | 企画・運営・実施          |
| 4月14日  | 活動紹介                               | 滋賀大学教育学部          | 実施                |
| 6月10日  | 活動紹介                               | 滋賀大学教育学部          | 実施                |
| 6月12日  | JICA 博物館学集中コース                     | 琵琶湖博物館            | 講師                |
| 7月4日   | はしかけ登録講座 グループ概要説明                  | 琵琶湖博物館            | 実施                |
| 7月25日  | 環境と科学のフェスティバル<br>「ヨシ笛を作ろう」         | 彦根ビバシティ           | 実行委員会<br>企画・運営・実施 |
| 7月31日  | 企画展関連イベント<br>「琵琶湖の模型を作ろう」          | 琵琶湖博物館            | 企画・運営・実施          |
| 8月11日  | 「ヨシ笛を作ろう」                          | 大津プリンスホテル         | 企画・運営・実施          |
| 8月21日  | 企画展関連イベント<br>「琵琶湖の模型を作ろう」          | 琵琶湖博物館            | 企画・運営・実施          |
| 10月18日 | 環境と科学のフェスティバル活動紹介                  | COP10 名古屋         | 実施                |
| 11月7日  | はしかけ登録講座 グループ概要説明                  | 琵琶湖博物館            | 実施                |
| 11月20日 | サポートスタッフ研修                         | 三重県立博物館           | 講師                |
| 12月19日 | 琵琶湖博物館観察会<br>「からすま半島の水鳥を観察してみよう」   | 琵琶湖博物館            | 企画・運営・実施          |
| 2月15日  | 「ヨシ笛を作ろう」                          | 滋賀大学教育学部<br>附属小学校 | 企画・運営・実施          |
| 2月16日  | 社会教育を通じた人づくり<br>活動紹介               | ピアザ淡海             | 実施                |
| 2月27日  | はしかけ登録講座 グループ概要説明<br>はしかけ交流会       | 琵琶湖博物館            | 実施                |
| 3月7日   | 博物館技のレッドカーペット                      | 大津公会堂             | 実施                |

### ○水はしかけ

担当：里口保文、芳賀裕樹 会員数：12人

[設立の趣旨] 琵琶湖淀川水系の、特に水質について、実際に自分たちで採取をしたりすることで、その現状を調査することを目的にしている。

[活動の概要] 2010年までは、大阪市立自然史博物館が開催しているプロジェクトY・淀川水系調査グループの水質班と合流して、琵琶湖～淀川水系の調査を行った。この調査は2009年の8月で定期調査を終え、その結果は、大阪市立自然史博物館の特別展で公開された。水はしかけグループの何人かで見学に行き、自然史博物館の水質班担当の学芸員に案内をしてもらった。その後、何度かのミーティングで今後の方針などを話し合い、水に関係するはしかけを別に立ち上げることになり、水はしかけは今年度をもって解散となった。

#### 「水はしかけ」のおもな活動

| 活動日    | 内 容             | 場 所        | 参加者 |
|--------|-----------------|------------|-----|
| 8月25日  | 大阪市立自然史博物館特別展見学 | 大阪市立自然史博物館 | 6名  |
| 11月14日 | ミーティング          | 琵琶湖博物館会議室  | 6名  |
| 1月23日  | ミーティング          | 琵琶湖博物館実習室  | 3名  |

### ○緑のくすり箱

世話役：長澤京子 担当学芸員：草加伸吾 会員数：12名

[設立の趣旨] 琵琶湖博物館にある伊吹山の植物などの資料から得られる知識を活かし、植物を衣・食・住の様々な面で活用し、健康生活の維持を図ることを目的に作られたグループである。身近にある植物を生活の中に手軽に取り入れられるよう、情報交換した。実践を通じて得た内容を分析・研究し、地域の昔の知恵を掘り起こし、博物館利用者、県民に広く発信して行く。

[活動の概要] グループ設立2年目を迎え、前半は高島市「くつきの森」などに出掛けて、活発に活動した。しかし、後半は、2ヶ月に一回の活動にしたにもかかわらず、秋以降、折り悪く行事が重なったり、メンバーそれぞれが忙しかったこともあり、予定していたイベントの中止となるなど、十分な活動ができなかった。新年度に向けて、年度末に反省会を開き、イベントばかりでなく、テーマを絞って研究活動をしようとして、話し合った。

#### 「緑のくすり箱」のおもな活動

| 活動日   | 内 容                   | 場 所        |
|-------|-----------------------|------------|
| 5月9日  | 植物観察会とアミガサタケを使った調理    | 高島市「くつきの森」 |
| 7月4日  | ドクダミ化粧水作り             | 琵琶湖博物館     |
| 11月7日 | ハーブティーのブレンド講習会        | 琵琶湖博物館     |
| 3月19日 | 反省会と新年度の活動計画を立てる打ち合わせ | 琵琶湖博物館     |

### ○からすま通信局

担当：芳賀裕樹 会員数：3人

[設立の趣旨] 博物館の展示・研究などについて、利用者目線での情報提供をする事により、来場者の理解を深め、博物館での新しい楽しみ方を模索する事を目的としてグループを設立した。

[活動の概要] 展示室ごとにパンフレットを作成した。「博物館のひとびと」のインタビュー記事の作成に取り組み、その記事は「はしかけニューズレター」にて連載を開始した。

「からすま通信局」のおもな活動

| 活動日   | 内 容              | 場 所    |
|-------|------------------|--------|
| 4月17日 | 第1回編集会議          | 琵琶湖博物館 |
| 5月15日 | 第2回編集会議          | 琵琶湖博物館 |
| 6月13日 | パンフレット作成         | 琵琶湖博物館 |
| 7月18日 | パンフレット作成         | 琵琶湖博物館 |
| 9月25日 | パンフレット作成         | 琵琶湖博物館 |
| 11月7日 | パンフレット作成         | 琵琶湖博物館 |
| 12月4日 | 「博物館のひとびと」インタビュー | 琵琶湖博物館 |



登録講座のようす



発表会の交流のようす

地域交流活動への支援事業

(1) 地域活動の支援（博物館内対応：講座・実習・ワークショップ・博物館ガイダンス・視察対応など）

合計 2,862 名

| 月 | 日  | 曜日 | 団体名                     | 参加者数 | タイトル・内容                 | 対応者         |
|---|----|----|-------------------------|------|-------------------------|-------------|
| 4 | 21 | 水  | 大阪教育大学                  | 120  | 外来種と在来種について             | 秋山          |
| 4 | 22 | 木  | (株)パスコ・滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課 | 20   | エイリアンウォッチャーズ事業調査員研修     | 中井          |
| 5 | 8  | 土  | 滋賀県立大学                  | 20   | 環琵琶湖文化論実習               | 中藤          |
| 5 | 8  | 土  | 玉置薫                     | 31   | 博物館の概要説明ほか              | 前畑          |
| 5 | 9  | 日  | 京都造形芸術大学                | 6    | 琵琶湖博物館の概要、収蔵庫見学         | 用田          |
| 5 | 18 | 火  | M32 同窓会                 | 16   | 博物館の概要説明                | 前畑          |
| 5 | 30 | 日  | 京都造形芸術大学                | 27   | 琵琶湖博物館の概要、収蔵庫見学         | 用田          |
| 6 | 3  | 木  | ベテルホーム保育園               | 25   | 昔の暮らし体験                 | 中藤          |
| 6 | 3  | 木  | 平石老人クラブ                 | 30   | 琵琶湖博物館の概要、歴史            | 用田          |
| 6 | 17 | 木  | 北日本新聞                   | 8    | 博物館の概要説明                | 前畑          |
| 6 | 18 | 金  | 千葉県千葉市教頭会               | 16   | 琵琶湖の魚の歴史                | 中島特別<br>研究員 |
| 6 | 18 | 金  | 西宮市名塩婦人会                | 52   | 博物館の概要説明                | 前畑          |
| 6 | 20 | 日  | 財団法人 益富地学会館             | 30   | 地学収蔵庫の見学説明              | 里口          |
| 6 | 20 | 日  | サークルすばる                 | 15   | 琵琶湖の魚について               | 秋山          |
| 6 | 22 | 火  | 昭和二六会                   | 26   | 博物館概要説明                 | 中藤          |
| 6 | 30 | 水  | 若鮎保育園                   | 28   | 昔暮らし体験                  | 中藤          |
| 7 | 3  | 土  | 桃山学院大学                  | 4    | 博物館概要、収蔵庫見学案内、琵琶湖の外来魚説明 | 前畑          |
| 7 | 3  | 土  | 草津市生涯学習スポーツ課            | 30   | 琵琶湖の外来魚                 | 前畑          |

| 月  | 日  | 曜日 | 団体名                  | 参加者数 | タイトル・内容                    | 対応者                    |
|----|----|----|----------------------|------|----------------------------|------------------------|
| 7  | 13 | 火  | 日本写真学会西部支部           | 20   | 琵琶湖博物館での静止画資料の整理と保存・活用について | 秋山                     |
| 7  | 15 | 木  | 滋賀県健康福祉部子ども青少年局      | 50   | 琵琶湖の環境教育                   | 前畑                     |
| 7  | 15 | 木  | JR西日本ジパング倶楽部         | 40   | 琵琶湖の環境保全について               | 前畑                     |
| 7  | 21 | 水  | JR西日本ジパング倶楽部         | 35   | 博物館概要説明                    | 前畑                     |
| 7  | 24 | 土  | 日野川流域土地改良区(探検隊)      | 82   | プランクトン観察                   | 楠岡                     |
| 7  | 28 | 水  | JR西日本ジパング倶楽部         | 36   | 博物館概要説明                    | 前畑                     |
| 7  | 29 | 木  | 環境・総合事務所長連絡会議        | 15   | 博物館について                    | 篠原館長                   |
| 7  | 30 | 金  | 茶道資料館 友の会            | 38   | 博物館概要説明                    | 前畑                     |
| 7  | 31 | 土  | 亀岡市文化資料館             | 30   | 大堰川のアユモドキについて              | 松田                     |
| 8  | 1  | 日  | イオン西大津チアーズクラブ        | 33   | 外来魚を釣って、解剖して、食べてみよう        | 中井<br>加藤               |
| 8  | 1  | 日  | 朽木生きものふれあいの里         | 113  | バックヤード案内                   | 布谷環境学習<br>センター長・<br>前畑 |
| 8  | 2  | 月  | 関西大学博物館              | 75   | 設立経緯、展示コンセプト説明             | 前畑                     |
| 8  | 7  | 土  | 近江八幡市環境少年団           | 26   | 琵琶湖の環境問題について               | 加藤                     |
| 8  | 18 | 木  | 滋賀県水産課               | 16   | 夏休み親子水草と魚学習会               | 磯田                     |
| 8  | 19 | 木  | 滋賀県水産課               | 20   | 夏休み親子水草と魚学習会               | 磯田                     |
| 8  | 19 | 木  | ホテルの学校               | 25   | プランクトンの採集と観察               | 楠岡                     |
| 8  | 19 | 木  | 伊川を愛する会              | 45   | 琵琶湖の状況などについて               | 加藤                     |
| 8  | 24 | 火  | 近畿日本ツーリスト教育旅行担当社員研修  | 10   | 館内案内・概略説明                  | 山川                     |
| 8  | 25 | 水  | 東北学院大学               | 70   | 琵琶湖博物館の交流活動                | 大塚                     |
| 8  | 25 | 水  | 日本水処理生物学会            | 9    | 繊毛虫の同定の基礎                  | 楠岡                     |
| 8  | 26 | 水  | 日本水処理生物学会            | 9    | 繊毛虫の同定の基礎                  | 楠岡                     |
| 9  | 4  | 土  | 滋賀経済同友会「企業と生物多様性研究会」 | 12   | ミニ討論会「現状と企業の可能性」、講義        | 中井                     |
| 9  | 14 | 火  | 南山大学                 | 25   | 琵琶湖博物館の運営と現状、課題について        | 前畑                     |
| 9  | 22 | 水  | 聖泉大学                 | 28   | 博物館の概要                     | 高橋                     |
| 9  | 26 | 日  | 京都女子大学               | 30   | 琵琶湖博物館とその理念、事業             | 前畑                     |
| 10 | 9  | 土  | 水郷水都全国会議滋賀大会         | 20   | 現地見学会                      | 中藤                     |
| 10 | 13 | 水  | 京都府県境計量証明事業協会        | 18   | 展示概要と琵琶湖の環境                | 前畑                     |
| 10 | 16 | 土  | 信州大学理学部              | 26   | 能動的学習意欲を持つ理数学生の発掘と育成プログラム  | 山川                     |
| 10 | 22 | 金  | ITC 琵琶湖クラブ           | 15   | 博物館概要説明                    | 前畑                     |
| 10 | 23 | 土  | 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課     | 25   | COP10 エクスカーション：展示解説        | 中井                     |
| 10 | 26 | 火  | 伊予市                  | 6    | 博物館概要説明                    | 前畑                     |
| 10 | 31 | 日  | 京都府獣医師会山城支部          | 15   | 博物館概要説明                    | 前畑                     |
| 11 | 11 | 木  | シニア自然大学              | 55   | 琵琶湖の環境の変化について              | 芳賀                     |
| 11 | 16 | 火  | 滋賀グリーン購入ネットワーク       | 42   | 琵琶湖の水と生物の現状                | 芳賀                     |
| 11 | 20 | 土  | 長浜バイオ大学              | 40   | 博物館の概要                     | 橋本                     |

| 月  | 日  | 曜日 | 団体名                                    | 参加者数 | タイトル・内容                             | 対応者            |
|----|----|----|--|------|-------------------------------------|----------------|
| 11 | 20 | 土  | 特定非営利法人自然と緑「シニア自然大学」                   | 60   | 琵琶湖実習(琵琶湖のヨシ帯の生態系・外来魚問題)            | 布谷環境学習センター長・中井 |
| 11 | 26 | 金  | 全国漁港漁場整備技術研究会                          | 62   | 博物館の概要説明                            | 磯田             |
| 11 | 26 | 金  | 名古屋市地域福祉交流会                            | 210  | 琵琶湖の魚と環境概要と館内ガイド                    | 前畑             |
| 11 | 26 | 金  | 西尾市平原源氏蛸保存会                            | 70   | ホタルについて                             | 梶永             |
| 11 | 26 | 金  | ASC20 期生                               | 41   | 琵琶湖の魚と環境概要と館内ガイド                    | 前畑             |
| 11 | 26 | 金  | 自治大学                                   | 2    | 中長期基本計画                             | 八尋             |
| 12 | 2  | 木  | 国土交通省中部地方精微局設楽ダム工事事務所／(財)ダム水源地環境整備センター | 3    | 博物館の案内                              | 前畑             |
| 12 | 4  | 土  | (株)DBC                                 | 11   | 博物館概要説明                             | 前畑             |
| 12 | 4  | 土  | 聖徳学院大学                                 | 40   | 学芸員の仕事                              | 前畑             |
| 12 | 7  | 火  | JA 北びわこ農協 夢クラブ                         | 23   | 湖北の昔の暮らしの知恵を活かそう！                   | 中藤             |
| 12 | 7  | 火  | 愛知学院大学                                 | 27   | 博物館実習                               | 八尋             |
| 12 | 8  | 木  | 中日新聞社                                  | 1    | 博物館の案内                              | 中井             |
| 12 | 11 | 土  | 京都府立大学                                 | 4    | 環境微生物学                              | 楠岡             |
| 12 | 12 | 日  | 三重県化学・環境技師会                            | 27   | 博物館の概要                              | 布谷環境学習センター長    |
| 12 | 14 | 火  | 滋賀県平和記念館開設準備室                          | 10   | 収蔵庫空間の案内                            | 秋山             |
| 12 | 18 | 土  | 京都府立大学                                 | 3    | 環境微生物学                              | 大塚             |
| 1  | 25 | 火  | 日本自然保護協会                               | 2    | 「食」から考える地域の自然保護                     | 碓              |
| 1  | 26 | 水  | すいたシニア環境大学                             | 27   | 琵琶湖の環境                              | 前畑             |
| 1  | 27 | 木  | 箕面シニア塾                                 | 45   | 博物館の概要                              | 桑原             |
| 2  | 6  | 日  | 琵琶湖ラムサール条約連絡協議会・(財)淡海環境保全財団            | 43   | 「ラムサール条約と水鳥からみた琵琶湖」(第18回びわ湖一斉水鳥観察会) | 亀田             |
| 2  | 10 | 木  | 飯田市役所地球温暖化対策課                          | 11   | 視察対応                                | 芳賀             |
| 2  | 20 | 日  | 甲南大学                                   | 11   | 琵琶湖博物館と水環境の研究                       | 楊              |
| 2  | 27 | 日  | びわ湖レイクサイドマラソン                          | 4    | 展示案内                                | 梶永             |
| 2  | 27 | 日  | 東京ガスエネルギー館                             | 4    | 視察対応                                | 芳賀             |
| 3  | 8  | 火  | エコアグリカルチャーパートナーズ他共同研究チーム               | 10   | 視察対応                                | 碓              |
| 3  | 18 | 金  | 愛知県農業総合試験場                             | 2    | ゆりかご水路と堰上げ型水路の効果と特性                 | 碓<br>大塚        |
| 3  | 19 | 土  | 滋賀県レクリエーション協会                          | 20   | 博物館ガイドンス                            | 老              |
| 3  | 21 | 月  | 矢田中連合町会                                | 162  | 琵琶湖の自然と魚                            | 前畑             |
| 3  | 27 | 日  | 姫路市立水族館                                | 1    | 滋賀県における魚のゆりかご水田について                 | 碓              |
| 3  | 30 | 水  | 阿倍野区つどいの広場                             | 10   | 子ども達に博物館をより楽しく見学してもらおう              | 前畑<br>戸田       |

## (2) 地域活動の支援 (博物館外対応: 講座、実習、ワークショップ、一般向け講義など)

合計 約 8,500 名

| 月 | 日  | 曜日 | 団体名                            | 参加者数 | タイトル・内容                         | 場所                   | 対応者  |
|---|----|----|--------------------------------|------|---------------------------------|----------------------|------|
| 4 | 11 | 日  | ぼてじゃこトラスト                      | 16   | 定例会・ビオトープ整備の指導                  | ウォーターステーション琵琶        | 秋山   |
| 4 | 17 | 土  | 城陽環境パートナーシップ会議                 | 10   | 運営委員研修会と現地視察                    | 城陽市役所および市内           | 中井   |
| 4 | 22 | 水  | 滋賀県経済同友会湖南支部                   | 12   | 湖南企業生きもの応援団勉強会                  | 日本ガラクトロニクス(株)および狼川流域 | 中井   |
| 5 | 1  | 土  | 琵琶湖ホール                         | 50   | 「ぼくの、わたしの稲づくり」趣旨説明              | びわ湖ホール               | 中藤   |
| 5 | 10 | 月  | ぼてじゃこトラスト                      | 45   | 学校ビオトープでイチモンジタナゴ増殖実験            | 上田上小学校・逢坂小学校         | 秋山   |
| 5 | 15 | 土  | 米原市伊吹山文化資料館                    | 40   | 油里川探検隊                          | 春照・高番 油里川周辺          | 大依秋山 |
| 5 | 16 | 日  | ぼてじゃこトラスト                      | 66   | 総会兼講演会・南湖の水草問題、魚と水辺の生き物         | ウォーターステーション琵琶        | 芳賀秋山 |
| 5 | 18 | 火  | 滋賀経済同友会湖南支部                    | 20   | 湖南企業生きもの応援団第1回調査会               | 日本ガラクトロニクス(株)および狼川流域 | 中井   |
| 5 | 22 | 土  | ホテルの学校                         | 31   | 川の中の生きものしらべ                     | 南郷市民センター・千丈川         | 榊永   |
| 5 | 29 | 土  | 国立民族学博物館・滋賀県立琵琶湖博物館・国際協力機構     | 70   | 公開フォーラム「世界の博物館2010」、総括・閉会の辞     | 国立民族学博物館             | 中井   |
| 5 | 30 | 日  | 滋賀県ほか                          | 951  | 外来魚駆除釣り大会、パネル発表「外来魚を食べる」        | からすま半島芝生広場           | 中井   |
| 6 | 2  | 水  | 竜田川環境浄化推進協議会                   | 5    | 平群町立平群北小学校観察会準備会                | 竜田川および平群北小学校         | 中井   |
| 6 | 5  | 土  | 大津市真野北公民館                      | 80   | まのきたっ子ワクワク広場・ほたるの観察             | 大津市神社とその周辺           | 八尋   |
| 6 | 6  | 日  | ぼてじゃこトラスト                      | 80   | 親子体験教室・田んぼの生き物&なまずの稚魚探し         | ウォーターステーション琵琶        | 秋山   |
| 6 | 6  | 日  | ホテルの学校                         | 100  | ホテルのタベ                          | 南郷市民センター、千丈川         | 榊永   |
| 6 | 9  | 水  | サークルすばる                        | 15   | 琵琶湖の魚と外来生物                      | 大阪梅田東生涯学習センター        | 秋山   |
| 6 | 11 | 金  | 田原市土地改良区                       | 30   | カワヒバリガイ駆除対策計画現地視察               | 豊川用水小塩津池             | 中井   |
| 6 | 15 | 火  | 高島町立青柳小学校                      | 40   | 水の環境学習                          | 高島市安曇川町              | 楊    |
| 6 | 19 | 土  | 須原ゆりかご水田協議会、福利厚生倶楽部            | 150  | 魚の観察会                           | 須原蓮池の里公園駐車場          | 裕    |
| 6 | 20 | 日  | 京都YMCAワイルドベリー・チーム              | 30   | カタツムリ観察会                        | 能勢妙見山                | 中井   |
| 6 | 23 | 水  | 大阪市立環境学習センター(生き生き地球館)          | 120  | 地球環境シンポジウム「生物多様性を考えるー私たちでできること」 | 鶴見緑地生き生き地球館陳列館ホール    | 中井   |
| 6 | 27 | 日  | NPO 子どもネットワークセンター天気村・こんぺいとうクラブ | 20   | 昔暮らし体験活動および食文化体験実習              | 天気村古民家 zutto         | 中藤   |
| 6 | 27 | 日  | 農業体験活動実行委員会                    | 150  | 田んぼの生きもの紹介とプランクトン観察             | 水土里ふれあい農園            | 大塚裕  |
| 7 | 1  | 木  | 農村環境整備センター                     | 50   | 平成22年度農村環境技術研修「生態系保全(基礎)コース」    | 国立オリンピック記念青少年総合センター  | 中井   |

| 月 | 日  | 曜日 | 団体名                  | 参加者数 | タイトル・内容                              | 場所                    | 対応者  |
|---|----|----|----------------------|------|--------------------------------------|-----------------------|------|
| 7 | 3  | 土  | 愛知生協・田淵農場            | 60   | たんぼの生き物観察会                           | 北山田農事集会場              | 大塚   |
| 7 | 5  | 月  | 大津市立瀬田南小学校           | 130  | 校内研修会「人生の先輩のお話を聞いて、自分の生き方を見つけよう」     | 大津市立瀬田南小学校            | 中井   |
| 7 | 6  | 火  | 商工観光労働部              | 3    | ビオトープ内での生息に適した魚類について                 | 日本電産株式会社滋賀技術開発センター    | 桑原   |
| 7 | 6  | 火  | 秀明自然農法ネットワーク         | 50   | たんぼの小さな生きもの観察会                       | 秀明自然農法「信楽の里」          | 大塚   |
| 7 | 9  | 金  | 人間文化研究機構             | 400  | 人間文化研究の現代的意義                         | 有楽町朝日ホール              | 篠原館長 |
| 7 | 10 | 土  | 國學院大學                | 32   | 昔話・伝説と民俗                             | 國學院大學渋谷キャンパス          | 篠原館長 |
| 7 | 17 | 土  | ウォーターステーション琵琶の会      | 37   | 「水辺の匠」イベント・魚や水辺の生き物の解説               | ウォーターステーション琵琶         | 秋山   |
| 7 | 18 | 日  | ウォーターステーション琵琶の会      | 50   | 「水辺の匠」イベント・魚や水辺の生き物の解説               | ウォーターステーション琵琶         | 秋山   |
| 7 | 19 | 月  | 日本青年会議所滋賀ブロック協議会     | 50   | 琵琶湖の概要と滋賀県の取組                        | 美崎公園                  | 加藤   |
| 7 | 19 | 火  | NPO法人 シニア自然大学        | 60   | 淡水魚入門講座Ⅰ                             | 大阪NPOプラザ              | 前畑   |
| 7 | 20 | 火  | 滋賀経済同友会湖南支部          | 20   | 湖南企業いきもの応援団第2回調査会                    | 日本ガラクトロニクス(株) および狼川流域 | 中井   |
| 7 | 20 | 水  | NPO法人 シニア自然大学        | 60   | 淡水魚入門講座Ⅱ                             | 大阪NPOプラザ(大阪市)         | 前畑   |
| 7 | 22 | 木  | NPO法人 シニア自然大学        | 45   | 淡水魚入門講座Ⅲ                             | 大阪NPOプラザ(大阪市)         | 前畑   |
| 7 | 23 | 金  | 草津市市民環境部環境課          | 50   | おおかみ川探検～川の生き物観察                      | 狼川                    | 榊永   |
| 7 | 25 | 日  | 環境と科学のフェスティバル        | 1000 | 日光写真で影絵を作ろう                          | ビバシティ彦根               | 秋山   |
| 7 | 25 | 日  | 動物植物生態三学会合同鹿児島例会     | 30   | シンポジウム「招かれざる客達～鹿児島における外来種問題を知る・考える～」 | 鹿児島大学                 | 中井   |
| 7 | 26 | 月  | 滋賀県立大学人間文化学部         | 200  | 民俗、博物館、そしてフィールドワーク                   | 滋賀県立大学交流センターホール       | 篠原館長 |
| 7 | 26 | 月  | NPO法人 シニア自然大学        | 60   | 野外実習Ⅰ                                | 大戸川                   | 前畑   |
| 7 | 28 | 水  | NPO法人 シニア自然大学        | 60   | 野外実習Ⅱ                                | 大戸川                   | 前畑   |
| 7 | 28 | 水  | 鹿児島市松元土地改良区          | 10   | 松元ダム外来魚駆除活動体験学習                      | 松元ダム管理事務所             | 中井   |
| 7 | 29 | 木  | NPO法人 シニア自然大学        | 45   | 野外実習Ⅲ                                | 大戸川                   | 前畑   |
| 7 | 31 | 土  | ニックフレート株式会社滋賀営業所     | 22   | 琵琶湖の自然と環境・講義                         | ダイニック滋賀工場             | 加藤   |
| 7 | 31 | 土  | 福井ライフ・アカデミー本部        | 18   | 滋賀県における「魚のゆりかご水田」と地域活動               | 福井県立若狭図書学習センター        | 裕    |
| 7 | 31 | 土  | 竜法師農地・水・環境を守る会       | 15   | 滋賀県の魚と貝の話                            | 竜法師公民館                | 松田   |
| 8 | 2  | 月  | NPO 子どもネットワークセンター天気村 | 20   | 昔暮らし体験活動および食文化体験実習                   | 天気村古民家 zutto          | 中藤   |

| 月  | 日  | 曜日 | 団体名                               | 参加者数 | タイトル・内容   | 場所                   | 対応者            |
|----|----|----|-----------------------------------|------|---|----------------------|----------------|
| 8  | 3  | 月  | NPO 子どもネットワークセンター天気村              | 20   | 昔暮らし体験活動および食文化体験実習                              | 天気村古民家 zutto         | 中藤             |
| 8  | 7  | 土  | 大津市環境学習活動実行委員会                    | 70   | 親子・家族で自然を楽しむ「川」の日・講師                            | 田上羽栗町の水路             | 秋山             |
| 8  | 7  | 土  | KODOMOバイオダイバシティ実行委員会              | 90   | KODOMOバイオダイバシティ国際湿地交流 in 琵琶湖 2010「KODOMO生きもの会議」 | びわ湖こどもの国             | 中井             |
| 8  | 9  | 月  | 滋賀県総合教育センター                       | 17   | 環境科学講座第2回、講義                                    | 滋賀大学教育学部自然環境教育施設     | 中井             |
| 8  | 16 | 月  | 木川若草子供会                           | 25   | お魚観察会・解説と指導                                     | 木川町山寺川               | 秋山             |
| 8  | 21 | 土  | 日本国際民間協力会(NICCO)                  | 15   | たんぼの生き物観察会                                      | 岡屋地区の冬期湛水水田          | 大塚             |
| 8  | 22 | 日  | ぼてじゃこトラスト                         | 82   | 親子雑魚釣り体験教室                                      | 田上大戸川周辺              | 秋山             |
| 8  | 24 | 火  | 伊豆沼・内沼自然再生協議会                     | 1    | 沈水植物繁茂状況の視察                                     | 琵琶湖南湖                | 芳賀             |
| 8  | 28 | 土  | 大津っ子・びわ湖体験!! (社)大津青年会議所           | 300  | 琵琶湖の魚や貝の話                                       | びわ湖大津館               | 松田             |
| 8  | 29 | 日  | 名古屋ため池生物多様性保全協議会                  | 50   | シンポジウム「市民が守る名古屋の生物多様性」                          | 伏見ライフプラザ鯉城ホール        | 中井             |
| 8  | 31 | 火  | 滋賀北部森林組合                          | 15   | 指導員および関係者向け自然観察会                                | 高山キャンプ場～滝谷林道         | 布谷環境学習センター長・楠岡 |
| 9  | 4  | 土  | 自然に学び、自然を楽しむ「びわ湖漁の日」大津環境活動実行委員会   | 200  | 地曳網で漁獲された魚について                                  | 北小松水泳場               | 松田             |
| 9  | 6  | 月  | 平群町立平群北小学校・竜田川環境浄化推進協議会           | 80   | 5年生環境学習「竜田川生物観察」                                | 竜田川                  | 中井             |
| 9  | 12 | 日  | ぼてじゃこトラスト                         | 30   | 秋の虫探し&魚&水生昆虫勉強会                                 | みなくち子どもの森とその周辺       | 秋山             |
| 9  | 14 | 火  | 大津ロータリークラブ                        | 50   | 琵琶湖の魚   | 琵琶湖ホテル               | 桑原             |
| 9  | 19 | 日  | 環境省環境研究総合推進費D-0906・名古屋大学大学院環境学研究科 | 90   | 誰も知らなかった(?)水田の藻類・プランクトン                         | 名古屋大学シンポジオン          | 大塚             |
| 9  | 23 | 水  | 湖族の郷資料館                           | 40   | 芭蕉の詠んだ自然  | 十六夜公園                | 篠原館長           |
| 9  | 27 | 土  | ホテルの学校                            | 32   | 川の生きものしらべ                                       | 南郷市民センター、千丈川         | 榊永             |
| 10 | 2  | 土  | 城陽環境パートナーシップ会議                    | 12   | 自然学習会&観察会「カタツムリの仲間を見つけよう」                       | ぱれっとJOYOおよび城陽市内      | 中井             |
| 10 | 3  | 日  | ぼてじゃこトラスト                         | 50   | メダカ釣り&サツマイモ掘り&大戸川調査                             | ぼてじゃこビオトープ池・大戸川      | 秋山             |
| 10 | 6  | 水  | 滋賀県政策研修センター                       | 203  | 琵琶湖から見る京都と滋賀                                    | 県民交流センター             | 篠原館長           |
| 10 | 9  | 土  | 財団法人ハートランド推進財団                    | 120  | 中国少数民族地帯における生業多様性と生物多様性                         | 近江八幡市総合福祉センター        | 篠原館長           |
| 10 | 9  | 土  | 鳥取県                               | 25   | 外来魚問題対策セミナー、講演「外来生物問題の考え方～在来生物の方がなぜ大切なのか～」      | 鳥取県漁業協同組合研修室         | 中井             |
| 10 | 13 | 水  | 滋賀経済同友会湖南支部                       | 25   | 湖南企業いきもの応援団第3回調査会                               | 日本ガラクトロニクス(株)および狼川流域 | 中井             |

| 月  | 日  | 曜日 | 団体名                          | 参加者数 | タイトル・内容                                 | 場所                          | 対応者            |
|----|----|----|------------------------------|------|---|-----------------------------|----------------|
| 10 | 16 | 土  | 須原魚のゆりかご水田協議会、福利厚生倶楽部        | 150  | ゆりかご水田収穫祭                               | ちゅうずドリームファーム                | 裕              |
| 10 | 17 | 日  | びわ湖エコアイデア倶楽部                 | 112  | 地曳網で捕れた魚類について                           | 北小松地先湖岸                     | 前畑             |
| 10 | 23 | 土  | 環境省生物多様性センター                 | 200  | いきものみつけシンポジウム・フィールドレポーター担当              | 名古屋市科学館                     | 楊              |
| 10 | 23 | 土  | 環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室         | 110  | COP10 正式サイドイベント「見て、聞いて、考えよう！外来種ワークショップ」 | COP10 生物多様性交流フェア白鳥会場日本政府テント | 中井             |
| 10 | 23 | 土  | 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課             | 25   | COP10エクスカーション：往路ガイド                     | 名古屋からのバス車内                  | 中井             |
| 10 | 24 | 日  | 草津市立常盤小学校                    | 70   | 常盤小学校区ふれあい祭りふれあい活動「琵琶湖の魚と外来生物」          | 草津市立常盤小学校                   | 秋山             |
| 10 | 24 | 日  | 若葉台自治会、土地改良区                 | 10   | 池の干し揚げによる外来魚駆除、助言                       | 穴虫池                         | 中井             |
| 11 | 4  | 土  | 大津市子育て総合支援センター               | 40   | 自然探索と遊び                                 | 皇子が丘公園                      | 寺尾             |
| 11 | 5  | 金  | 大津市子育て総合支援センター               | 40   | 自然探索と遊び                                 | 皇子が丘公園                      | 寺尾             |
| 11 | 6  | 土  | 瀬戸内自然エネルギー研究会                | 100  | アジアの自然を活用する伝統生活                         | 岡山理科大学                      | 篠原館長           |
| 11 | 7  | 日  | 愛知・川の会                       | 60   | 愛知・川の会「水辺生態系と外来種駆除を考えるシンポ」、基調講演         | ウインクあいち                     | 中井             |
| 11 | 12 | 金  | 大阪府水道部                       | 55   | 大阪府市町村水道水質協同検査講演会                       | ドーンセンター                     | 中井             |
| 11 | 14 | 日  | 阿寒湖のマリモ保全対策協議会・釧路市・釧路市教育委員会  | 50   | ウチダザリガニ市民フォーラム                          | 釧路プリンスホテル                   | 中井             |
| 11 | 15 | 月  | 立命館大学                        | 28   | 琵琶湖の魅力と保全の課題ー琵琶湖博物館へのFWの招待              | 立命館大学びわこ・くさつキャンパス           | 楊              |
| 11 | 17 | 木  | 湖南省菩提寺老人クラブ連合会               | 50   | 教養講座 琵琶湖の自然について                         | 菩提寺まちづくりセンター                | 秋山             |
| 11 | 20 | 土  | 聖泉大学学びのフリーマーケット              | 10   | 足下のなりたちと琵琶湖の生い立ち                        | 聖泉大学                        | 里口             |
| 11 | 27 | 土  | 城陽環境パートナーシップ会議               | 80   | 第9回城陽市環境フォーラム「次世代につなぐ環境」                | 文化パーク城陽ふれあいホール              | 中井             |
| 11 | 28 | 日  | ぼてじゃこトラスト                    | 30   | 田上堂町ため池調査                               | 田上堂町のため池                    | 秋山<br>松田<br>中井 |
| 11 | 28 | 日  | 対話でつなごう滋賀の会                  | 20   | 近江は俳諧・俳句の原郷であるー琵琶湖の文化的価値ー               | コミュニティセンターやす                | 篠原館長           |
| 11 | 29 | 月  | 「マキノのメタセコイア並木を守り育てる会」設立準備委員会 | 30   | 歴史を語る街路樹ー生きた化石・メタセコイア                   | マキノピックランド                   | 山川             |
| 12 | 10 | 金  | 須原ゆりかご水田協議会                  | 9    | H22 年須原魚のゆりかご水田調査結果とゆりかご水路について          | 須原いこいの家                     | 裕              |
| 12 | 12 | 日  | NPO 法人 瀬田川リバプレ隊              | 50   | 湖上セミナー、コメント                             | 琵琶湖上                        | 中井             |

| 月  | 日  | 曜日 | 団体名                                 | 参加者数 | タイトル・内容   | 場所                          | 対応者     |
|----|----|----|-------------------------------------|------|---|-----------------------------|---------|
| 12 | 17 | 木  | 環境省                                 | 100  | セミナー「外来種とCOP10～みんなで進める外来種対策～」                   | 国連大学エリザベスローズ会議場             | 中井      |
| 1  | 11 | 火  | 滋賀県友弘済会                             | 60   | 俳諧・俳句の原郷としての近江                                  | 琵琶湖ホテル                      | 篠原館長    |
| 1  | 22 | 土  | ぼてじゃこトラスト                           | 20   | 大戸川調査、水生昆虫勉強会                                   | ウォーターステーション琵琶・大戸川           | 秋山      |
| 1  | 26 | 水  | 環境省近畿地方環境事務所                        | 50   | 生物多様性アフターCOP10セミナー～生物多様性のこれから～                  | 毎日新聞ビルハートンホール               | 中井      |
| 1  | 27 | 木  | 滋賀経済同友会湖南支部                         | 25   | 湖南企業いきもの応援団第4回調査会                               | 日本ガラクトロニクス(株)および狼川流域        | 中井      |
| 1  | 30 | 日  | NPO法人瀬田川リバブレ隊                       | 30   | 琵琶湖の生物について                                      | 滋賀県立水環境科学館                  | 松田      |
| 2  | 11 | 金  | NPO法人瀬田川リバブレ隊                       | 20   | ヨシの勉強会  | 瀬田川漁業協同組合                   | 大塚      |
| 2  | 12 | 土  | 竹生島カワウ対策事業推進協議会                     | 60   | カワウについて(竹生島カワウ対策学習会～緑豊かな竹生島の再生に向けて～)            | リユートプラザ                     | 亀田      |
| 2  | 16 | 水  | 滋賀県社会教育研究会                          | 150  | 学びを通じた人づくり                                      | 滋賀県県民交流センター                 | 北村特別研究員 |
| 2  | 27 | 日  | 滋賀自然環境研究会                           | 50   | 設立35周年記念事業公開特別講演会、講演「琵琶湖と伊吹山～滋賀の非海産貝類の多様性とその現状」 | 滋賀県婦人会館                     | 中井      |
| 3  | 5  | 土  | あめのうお倶楽部                            | 53   | 手作りフナズシ品評会                                      | 源八                          | 篠原館長    |
| 3  | 15 | 火  | みずすましネットワーク                         | 40   | ふゆみずたんぼの生物多様性における役割                             | 葛巻町公民館                      | 大塚      |
| 3  | 15 | 火  | 田原市土地改良区・豊川総合揚水土地改良区・水資源機構豊川用水総合事業部 | 20   | カワヒバリガイ野外実験検証会における助言                            | 豊川用水小塩津池・広畑揚水機場・田原市土地改良区事務所 | 中井      |
| 3  | 17 | 木  | 湖南地域みずすまし推進協議会                      | 30   | 堰上げ型排水路の特性とゆりかご水路について                           | 南部合同庁舎                      | 裕       |
| 3  | 19 | 土  | 縄文巨木プロジェクト                          | 100  | 大木の民俗   | 京都大学総合博物館理学部セミナーハウス         | 篠原館長    |

### (3) 質問コーナー・フロアトーク

当館では“学芸員の顔が見える博物館”を目指している。その一環として情報センターの一角に「質問コーナー」を設置し、学芸職員が日替わりで担当し質問を受け付けるとともに、当日の来館者に展示室での「フロアトーク」を実施している。当コーナーでは、利用者が自分で調べることを応援することに重点をおいている。質問には、その日の担当学芸職員がその場で対応するようにしているが、専門的な内容を含む質問等の場合は、それぞれ専門の学芸職員に回答を依頼したり、後日、回答したりすることもある。当コーナーでは、図書室入り口の壁に、担当学芸職員の予定を掲示している。担当者の予定を示すことにより、専門分野の担当者がある日に質問に来てもらえるよう配慮したものである。

## 質問コーナーにおける質問内容

|      |                      |      |
|------|----------------------|------|
| 期 間  | 2010年4月1日～2011年3月31日 |      |
| 総質問数 | 916件                 |      |
| 質問形態 | 来訪による質問              | 755件 |
|      | 電話での質問               | 84件  |
| 対応方法 | 専門の学芸職員に依頼           | 74件  |
|      | その他                  | 3件   |

## 琵琶湖博物館環境学習センター（担当：布谷知夫、加藤 理、南村多津恵）

### (1) 環境学習に関する相談対応、情報提供

学校や市町、企業や自治会などから相談を受け、環境学習・活動に関する活動団体や講師の紹介、研修場所や企画内容等について情報提供を行うほか、ホームページやメールマガジンなどにより発信を行い、環境学習の活動の場づくりを応援した。

#### ①環境学習に関する相談対応等

相談件数 179 件                      教材貸出件数 193 件

#### ②環境学習情報のホームページ「エコロシーが」の運用                      アクセス数 276,849 件 (新規追加登録)

学習プログラム 31 件、教えてくれる人 10 名、学べる場所 2 件、図書・DVD 等 83 件  
(更新修正事項)

お知らせ 50 件、学習プログラム 97 件、取材記録 2 件、教えてくれる人 159 件

#### ③環境学習情報メールマガジン「そよかぜ」の発行

発行回数 計 19 回                      登録者数 486 人

#### ④ブース出展

2010 年 7 月 17・18 日 「第 3 回水辺の匠交流会」

参加者のべ 849 名                      於：ウォーターステーション琵琶

2011 年 2 月 5 日 「第 10 回草津市こども環境会議」

80 団体 約 400 名参加                      於：草津市役所

2011 年 2 月 12 日 「学校支援メニューフェア」

61 団体 約 220 名参加                      於：ピアザ淡海

2011 年 3 月 12 日 「第 2 回こなん水環境フォーラム」

52 団体 276 名参加                      於：守山市生涯学習・教育センター

### (2) 環境学習の交流の場づくり

#### ①環境・ほっと・カフェ

関係団体等と協力して、環境活動を促進していくための情報交換等を行うネットワークカフェの場を設けた。

2010 年 12 月 9 日 「ソーシャルビジネスの魅力と可能性～社会貢献活動とよい商い～」

参加者 28 名                      於：琵琶湖博物館

2011 年 3 月 7 日 「博物館、技のレッドカーペット」

参加者 30 名                      於：大津旧公会堂

#### ②環境と科学のフェスティバル

県内の自然系博物館等と共同して、体験・工作・観察コーナー、展示、講演会などを開催し、環境や自然科学について関心を高める機会を設けた。

2010年7月25日 「博物館による環境と科学のフェスティバル」

参加者 925名

於：ビバシティ彦根

### ③ びわこ大縁日

県立大学や企業、NPO等と協力して、活動のパネル展示、未来予想絵図づくり、体験教室の開催など、環境学習等に取り組む団体等の交流の促進の場として開催した。

2010年12月5日～12月12日

参加団体 63団体

交流イベント参加者 1,890名 於：琵琶湖博物館

### ④ こどもエコクラブ事業

地域における子どもたちの自主的な環境学習や環境保全活動の取組である「こどもエコクラブ」の活動を、市町と連携して応援した。（県内会員数 132クラブ 計 5,962人）

2010年12月5日 「淡海こどもエコクラブ活動交流会」

8クラブ、140名参加

於：琵琶湖博物館

2011年3月26日 「こどもエコクラブ全国フェスティバル2011」（※東日本大震災により中止）



淡海こどもエコクラブ活動交流会



環境と科学のフェスティバル



比良里山クラブ赤しそ摘み  
(エコローが新規登録先)



こなん水環境フォーラム

## 情報発信活動

### (1) 通信網を利用した館外への情報提供

来館者や遠隔地の利用者に対する電子的な情報提供手段については、開館以前から種々実践しながら検討を進めてきたが、2004年度までにwww（いわゆる「ホームページ」）を利用したシステムに一本化された。このシステムでは、インターネットを経由して博物館のページに接続することにより、展示案内・行事案内・交通案内などの情報を利用したり、博物館資料のデータベースや各種の学術情報を検索利用することができる。実際の運用は、データベースや電子交流システムなどの利用者からの反応に応じて異なる情報を提供する「動的サーバ」と、それ以外の一般的な情報を提供する「静的サーバ」の2台で分担しており、アクセス状況に関する統計も独立に計上されている。2010年度における各サーバのアクセス件数は下表のとおりであった。

インターネットページ（静的サーバ）へのアクセス件数

|     | 総ヒット数      | ページヒット数   | 連続アクセス    | 表紙アクセス  | 表紙開始アクセス |
|-----|------------|-----------|-----------|---------|----------|
| 4月  | 1,874,590  | 338,245   | 73,472    | 18,584  | 13,040   |
| 5月  | 2,410,065  | 423,208   | 96,864    | 20,258  | 12,400   |
| 6月  | 2,380,235  | 465,422   | 94,169    | 18,091  | 11,373   |
| 7月  | 2,582,674  | 372,307   | 104,495   | 23,501  | 14,499   |
| 8月  | 3,139,894  | 473,498   | 112,523   | 26,697  | 16,651   |
| 9月  | 2,309,470  | 343,732   | 91,270    | 18,873  | 12,123   |
| 10月 | 2,542,347  | 401,184   | 134,447   | 17,539  | 10,725   |
| 11月 | 1,781,486  | 294,151   | 72,400    | 14,746  | 8,504    |
| 12月 | 1,468,734  | 259,040   | 62,455    | 12,374  | 7,387    |
| 1月  | 1,817,007  | 362,548   | 81,272    | 13,305  | 7,714    |
| 2月  | 1,819,663  | 270,890   | 61,300    | 14,110  | 8,144    |
| 3月  | 1,653,785  | 261,200   | 64,956    | 14,921  | 8,634    |
| 合計  | 25,779,950 | 4,265,425 | 1,049,623 | 212,999 | 131,194  |

総ヒット数：サーバに対するすべての種類のデータ要求の総数（但し、博物館内部からの要求は除外）

各ページの定義ファイルはもちろん、ページを構成する画像ファイルの要求も含まれる

ページヒット数：「総ヒット数」のうち、各ページの定義ファイルに対する要求の件数

連続アクセス：同一利用者が概ね1時間以内に再度アクセスしたと思われるものは

合わせて1件と数えた場合のアクセス件数（博物館内部からのアクセスは除外）

表紙アクセス：「連続アクセス」のうち、ウェルカムページ（表紙ページ）を経由したアクセスの件数（「表紙から入った」と「表紙へ戻った」との合計）

表紙開始アクセス：「表紙アクセス」のうち、最初にウェルカムページにアクセスした件数

「エリアキャッシュ」を利用して利用者側の組織内で情報を再使用している場合は、合わせて1件しか計数されない

インターネットページ（動的サーバ）へのアクセス件数

|         | 4月    | 5月    | 6月    | 7月     | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 合計     |
|---------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| セッション数  | 512   | 685   | 597   | 593    | 654   | 476   | 517   | 423   | 357   | 449   | 568   | 380   | 6,211  |
| 絞込検索回数  | 103   | 148   | 122   | 133    | 210   | 155   | 166   | 517   | 126   | 180   | 1,019 | 130   | 3,009  |
| データ閲覧件数 | 5,553 | 6,435 | 5,966 | 18,821 | 7,690 | 5,775 | 6,230 | 3,686 | 5,875 | 3,377 | 6,874 | 2,900 | 79,182 |

セッション：サーバ側が絞込検索を実現するため認識している「同一ユーザーにより連続しら」アクセスの集合

\*博物館内部からのアクセスは計数していない

《インターネットページの更新》

当館のwwwページは、2002年度、2005年度、2008年度の3回にわたり、情報提供の目的となる本来の情報は保持しながらリンク（目的の情報へ行き着くための誘導情報）の構造を見直して、「広報媒体」としての機能を強化する大規模更新を行ってきた。今年度はこれらの成果を踏まえた内容の更新を継続するとともに、一部情報の組み直しを行った。具体的には、これまで活動紹介情報を各活動分野ごと個別かつ段階的に充実させてきた結果、全体として不統一となって見通しが悪くなっていたため、活動紹介全体を整理再構築する作業を行った。

なお、昨年度までに引き続き、更新業務のうちレイアウトデザインに関わる部分は、保守管理業務の一部として委託請負業務によって実施した。即ち、発信情報の内容に責任を負う担当者が完全な内容を揃え、それを委託業者に引き渡してレイアウトデザインを完成させ、館内からのみ閲覧できるテストサーバで担当者が確認したうえで公開するという方法を原則とした。緊急を要する事例に関しては、情報発信全体の統括を担当する学芸員がレイアウトデザインに影響しない範囲で直接更新することとしたが、この方法を実際に実施したのは年間十数例程度である。一部事業で事業担当者が忙殺されて必要な発信情報が迅速に提供されな

い事例が見られたが、全体としては概ね適切に運用できた。

## (2) 通信網を利用した双方向の情報交換サービス

博物館側からの一方的な情報発信だけでなく、来館者や遠隔地の人からの情報を受ける活動も含めた双方向の情報交換を実現するためのサービスを、電子メールを利用して展開している。

開館以来、質問、感想、要望などを受け付ける専用の電子メールアドレス（query@lbn.go.jp）を設け、受付担当者が受け付けた電子メールを内容に応じて専門の学芸職員に割り振って回答するサービスを行っている。2010年度は全部で136件（ウィルスメール・スパムメール・一方的な情報提供を除く）のメールがあり、その内容は以下のようなものであった（2009年度152件）。琵琶湖博物館の特徴として魚などの水生生物に関する質問が多く、歴史・民族に関する質問が少ない。

|  |     |
|--|-----|
| 専門的内容を含む質問   | 72  |
| 地学（3）・生物（植物を除く）（49）・植物（13）<br>歴史・民俗（2）・環境：人と自然の関わりも含む（5） |     |
| 施設利用・行事などの問い合わせや依頼                                       | 20  |
| 報掲載依頼（リンク許可・サイト登録を含む）                                    | 6   |
| 資料の提供・利用、収蔵資料についての問い合わせ                                  | 10  |
| 館の運営についての意見  | 6   |
| 館の運営についての問い合わせや依頼  | 5   |
| 館の案内資料の請求  | 6   |
| 博物館に関する企画・設備等の売り込み                                       | 3   |
| その他  | 8   |
| 合 計  | 136 |

回答に応答しての追加質問など、継続したやりとりは、合わせて1件とした。

担当者を特定して問い合わせ等を行うために設定した電子メールアドレスへのメールは計数していない。具体的には、一般利用者に公表されているメールアドレスとしては以下のものがある。

photo@lbn.go.jp 画像データベースに関する問い合わせ・要望・情報提供

db-admin@lbn.go.jp データベースに関する連絡

dantai@lbn.go.jp 団体利用に関する問い合わせ・打ち合わせ

meteo@lbn.go.jp 気象情報提供に関する各種連絡

jisshu@lbn.go.jp 学芸員実習に関する問い合わせ

hashi-adm@lbn.go.jp はしかけ制度に関する問い合わせ

press@lbn.go.jp 記者発表や報道資料提供に関する問合せ先

## (3) 印刷物

| 品 名                           | サイズ | ページ数 | 発行部数   |
|-------------------------------|-----|------|--------|
| 研究調査報告書第26号                   | A4  | 176  | 800    |
| 企画展示「湖底探検」展示解説書               | B5  | 71   | 1,500  |
| 企画展示「湖底探検」ポスター                | A1  |      | 1,000  |
| 企画展示「湖底探検」チラシ                 | A4  |      | 25,000 |
| 企画展示 探検手帳                     | A6  | 8    | 20,000 |
| 企画展示 探検手帳 増刷分                 | A6  | 8    | 20,000 |
| 企画展示シンポジウムポスター                | A2  |      | 600    |
| 企画展示シンポジウムチラシ                 | A4  |      | 20,000 |
| 水族企画展示「魚はなぜ田んぼにやってくるのか」リーフレット | A4  | 8    | 15,000 |

| 品名                               | サイズ | ページ数 | 発行部数    |
|----------------------------------|-----|------|---------|
| ギャラリー展示「化石が語る 350 万年前の生きものたち」チラシ | A4  |      | 8,000   |
| 小中学生無料宣伝チラシ                      | A4  |      | 149,000 |
| 琵琶湖博物館のもよおしもの チラシ秋冬号             | A4  |      | 10,000  |
| 琵琶湖博物館のもよおしもの チラシ 2011 春夏号       | A4  |      | 10,000  |
| びわ博だより 創刊号                       | A4  |      | 10,000  |
| びわ博だより 第 2 号                     | A4  |      | 10,000  |
| びわ博だより 第 3 号                     | A4  |      | 10,000  |
| びわ博だより 第 4 号                     | A4  |      | 10,000  |
| 広報用「琵琶湖&川の魚」カレンダーポスター            | A1  |      | 2,000   |
| 広報用「琵琶湖の鳥」カレンダーポスター              | A1  |      | 1,000   |
| 広報用「琵琶湖&川の魚」チラシ                  | A4  |      | 150,000 |
| 英語館内案内パンフレット                     | A4  | 16   | 3,000   |
| 広報用「琵琶湖&川の魚」チラシ 2010 年度追加分       | A1  |      | 30,000  |
| 広報用「琵琶湖の鳥」チラシ 2010 年度追加分         | A1  |      | 30,000  |
| 体験学習のご案内                         | A1  | 4    | 3,000   |

## Ⅱ 環境の整備

### 1 拠点としての施設整備

#### (1) 利用者用施設の整備

CCFL 照明という新しい方式の照明器具を寄付していただくこととなり、「集う・使う・創る新空間」において整備を行った。他には予算の制約の中で新規、追加的な整備については実施できなかったが、来館者の安全のための施設設備の補修について重点的に行った。

#### (2) 情報システムの整備

2010 年度は以下のような更新、追加整備等を行った。

##### 1) 機器の更新

館内の情報機器の多くは5年間のリース契約により配備されているが、リース機器の更新を行わないという県の方針が継続されているため、その対策としてリースを修了した機器を返却廃棄せず、継続使用することにした。

##### 2) ソフトウェアの追加開発

予算が確保されなかったため、ソフトウェアの追加開発を実施しなかった。

##### 3) セキュリティ強化のための措置

情報システムのセキュリティを確保するため、セキュリティ対策のための各種ソフトウェアについて、最新の情勢に応じたバージョンアップを継続的に行った。

#### (3) 来館者アンケート調査結果

##### 1) 目的

博物館利用者のニーズや満足度を的確に把握しながら、今後の博物館運営や展示の企画、広報活動のあり方などを考え、利用しやすい博物館づくりを進めるため、来館者アンケートを年3回実施している。

##### 2) 実施時期と方法

アンケートを実施する日程は原則として平日と休日を含んで連続する3日間とし、アンケート用紙は来館者への券売時に毎日1,000枚を限度として手渡しで配布し、アンケート協力をお願いをしている。アンケート記入台はアトリウムに1箇所、玄関横に1箇所、計2箇所設置し、券売時に配布したものは別にアンケート用紙を置いている。2010年度の実施内容は以下のとおりである。

|     |                       |      |      |
|-----|-----------------------|------|------|
| 第1回 | 2010年8月20日(金)～22日(日)  | 回答者数 | 153名 |
| 第2回 | 2010年11月12日(金)～14日(日) | 回答者数 | 135名 |
| 第3回 | 2011年3月19日(金)～21日(日)  | 回答者数 | 221名 |

##### 3) 調査内容

来館回数、博物館来館のきっかけ、滞在時間、満足度、および記入者自身のおよその年齢、性別、住居地域は、毎回共通の調査項目となっている。2010年度は基本的に2009年度調査と同じ調査項目で調査を実施した。

#### 4) 傾向

3回の調査ともほぼ2009年度と同じ時期（8月、11月、3月の20日前後の金土日）に実施した。

##### ①リピーター

全体として「はじめて」来館された方は減少傾向にあり、「4回以上」来られている方は微増している。特に3月の調査では「4回以上」の方が40.3%とはじめて40%を超えた。

##### ②情報源

来館のきっかけとなった情報源は例年と同じく、友人・知人、家族・親戚による口コミが多かった。2010年3月は湖南地域にチラシを全戸配布した直後のためか、ポスター・チラシおよび県・市町村広報を見て来館された方が倍増したが、2011年3月はチラシ配布を行わなかったためか半減した。チラシ配布の効果が再度確認された。

##### ③満足度

「琵琶湖博物館中長期基本計画」第二段階の数値目標として、来館者アンケートの満足度調査（博物館を訪ねて「非常に満足した」と「満足した」をあわせた満足度）で「年3回平均目標値80%」達成することがあげられている。2010年度の満足度の平均は81.2%と目標値を上回っているが、2008年度85.2%、2009年度82.1%と減少傾向にある。「やや不満である」「不満である」の合計の年平均値は1.5%と低く、高く評価できよう。

##### ④不満

観覧料金に対する不満が平均9.1%と最も高く、駐車場（8.5%）、昼食場所（7.0%）、交通の便（6.9%）と続いた。観覧料金に対する不満は大人料金を600円から750円に値上げした影響が続いているものと思われる。駐車場に関しては博物館までの距離が長いのではないかと考えられる。

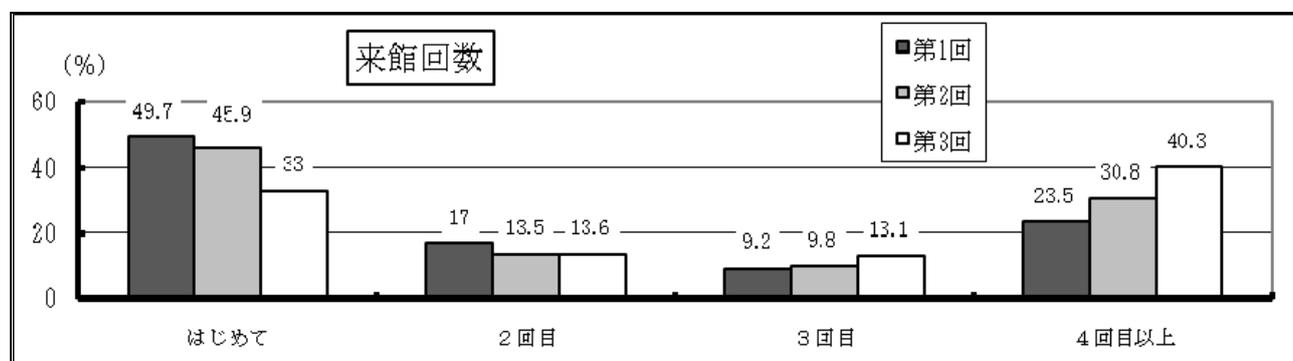
##### ⑤来館目的

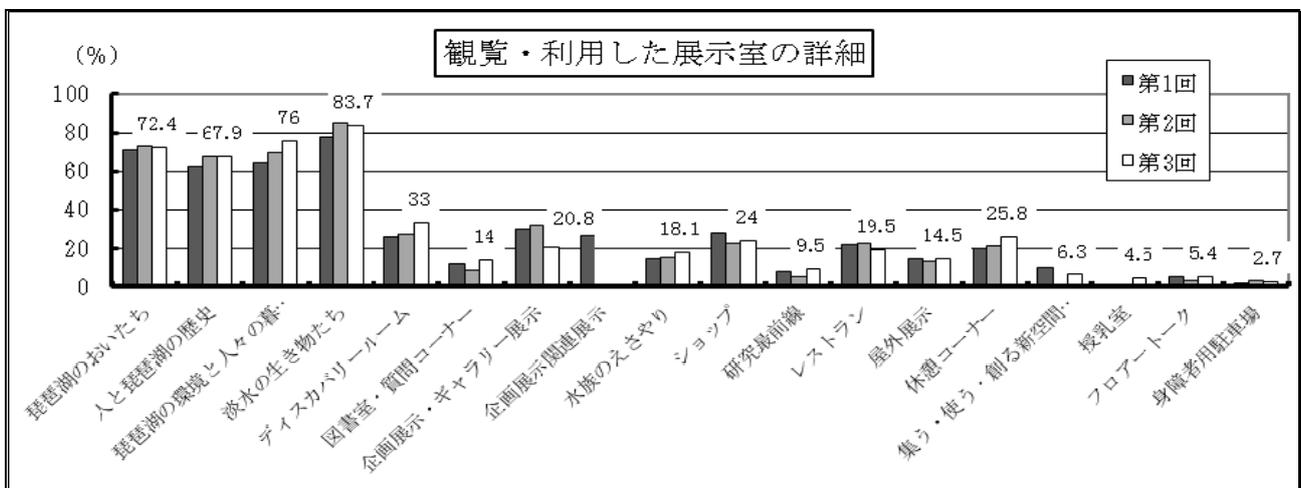
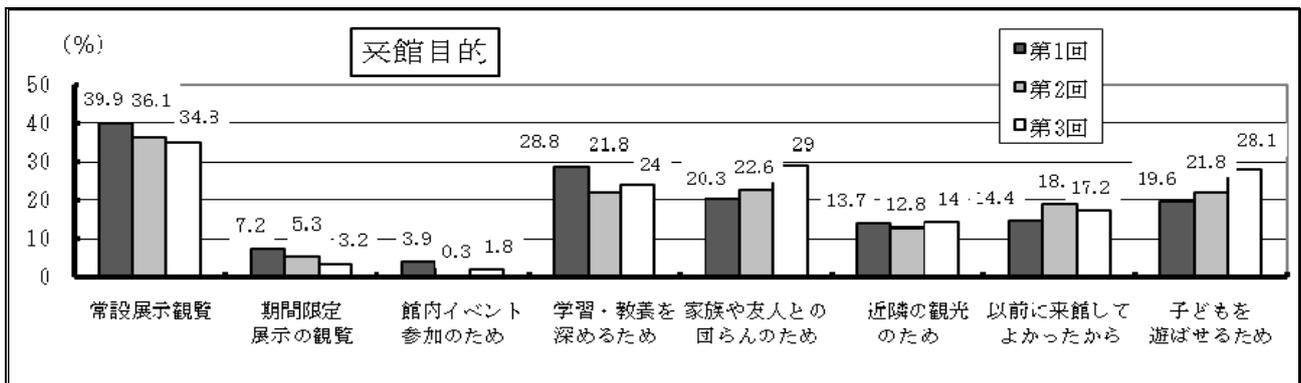
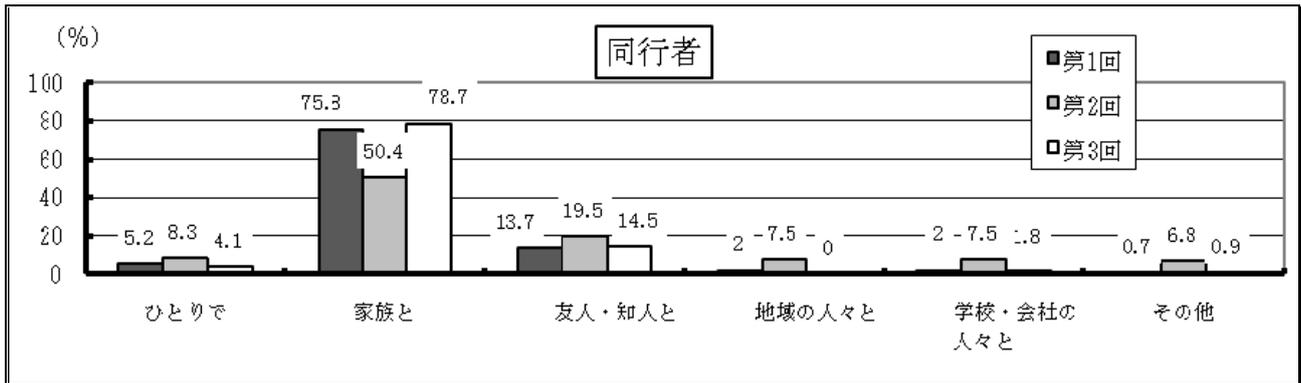
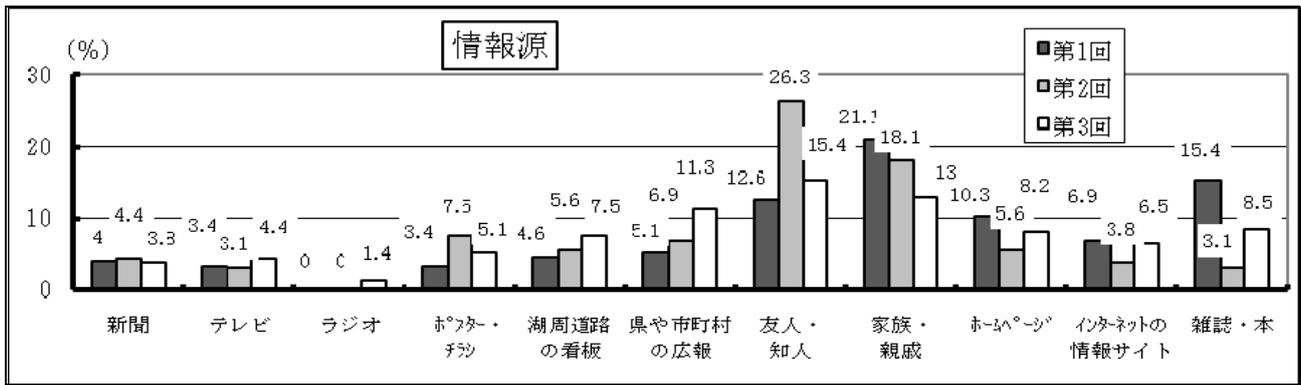
「常設展示観覧」を目的にしている方は相変わらず高く、34.8～39.9%であった。これは他の博物館と比べて琵琶湖博物館の特徴である。「家族や友人との団らん」が減少傾向にあり、「学習・教養を深めるため」が少し増加傾向にある。これは琵琶湖博物館の利用形態が団らんから何かを学ぶ場へ変わってきた可能性がある。

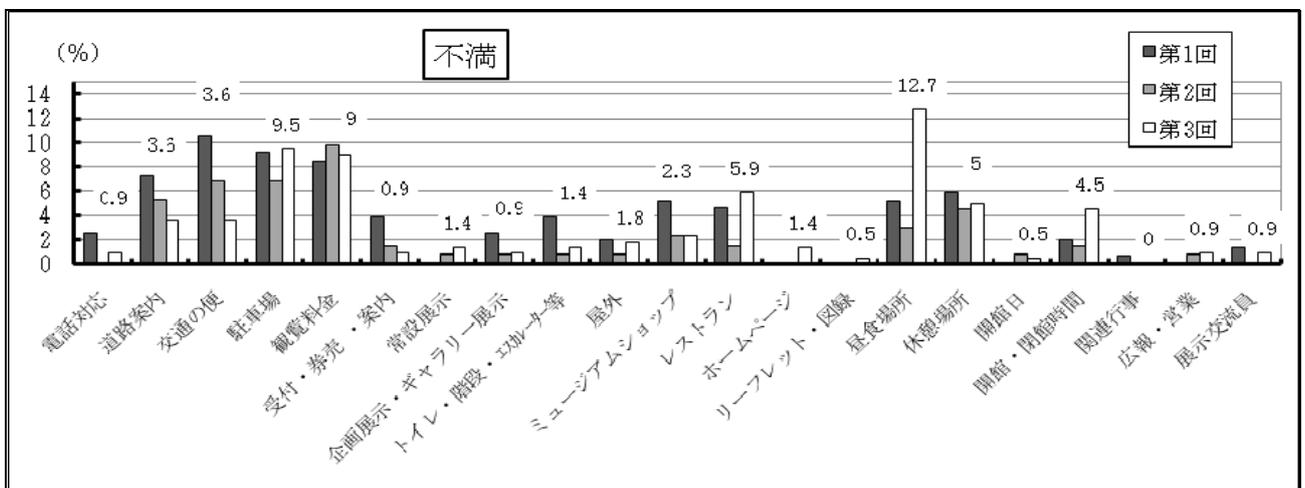
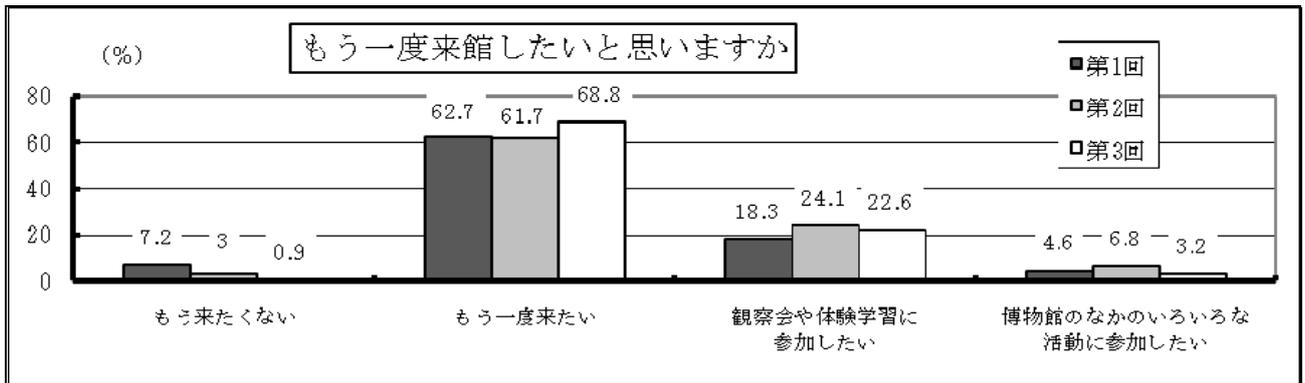
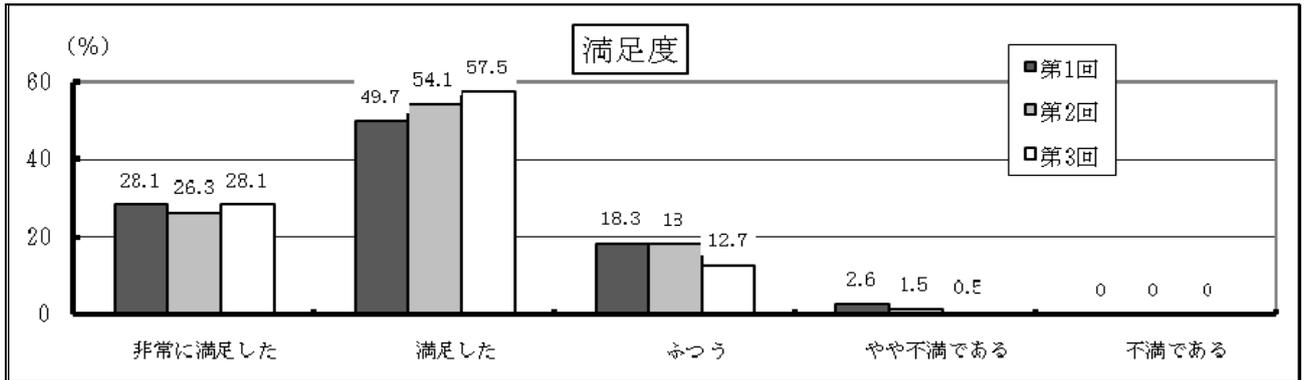
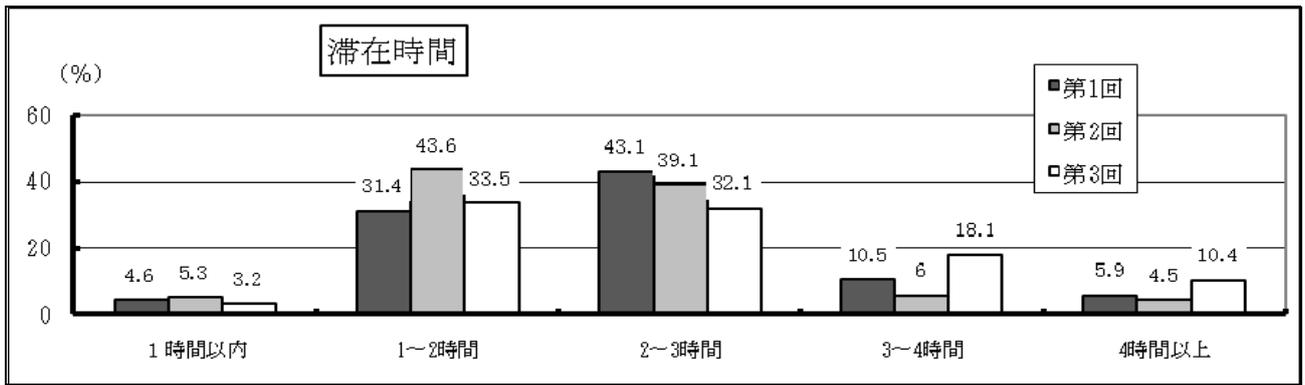
##### ⑤来館者

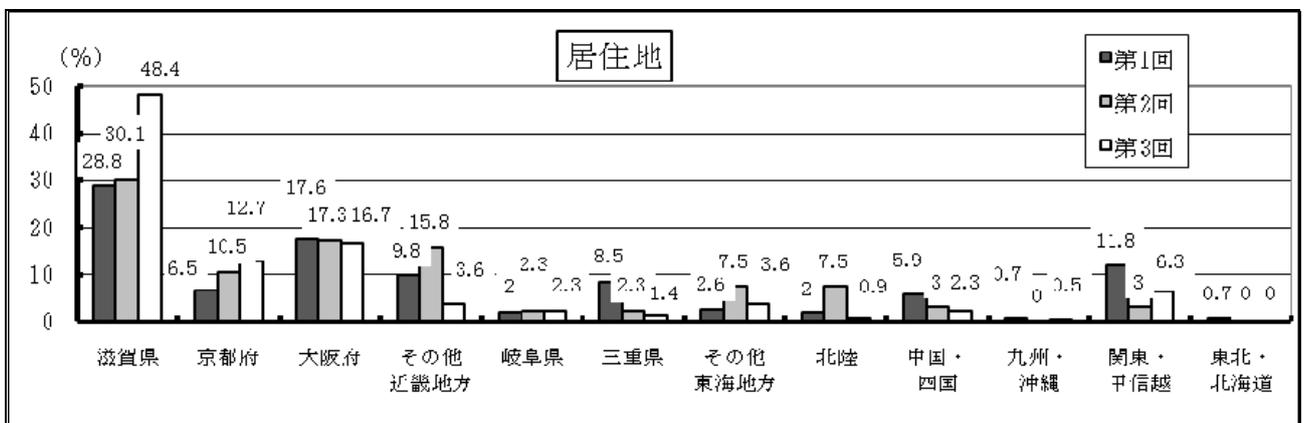
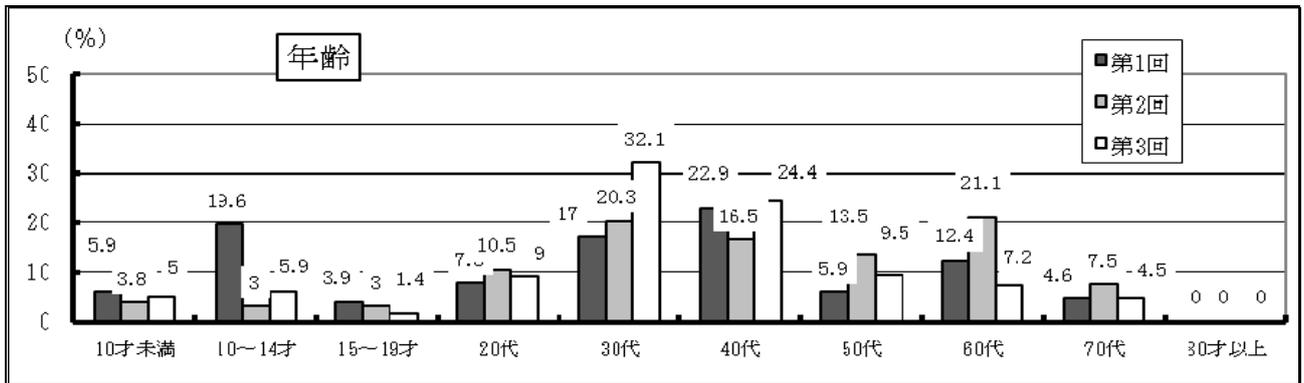
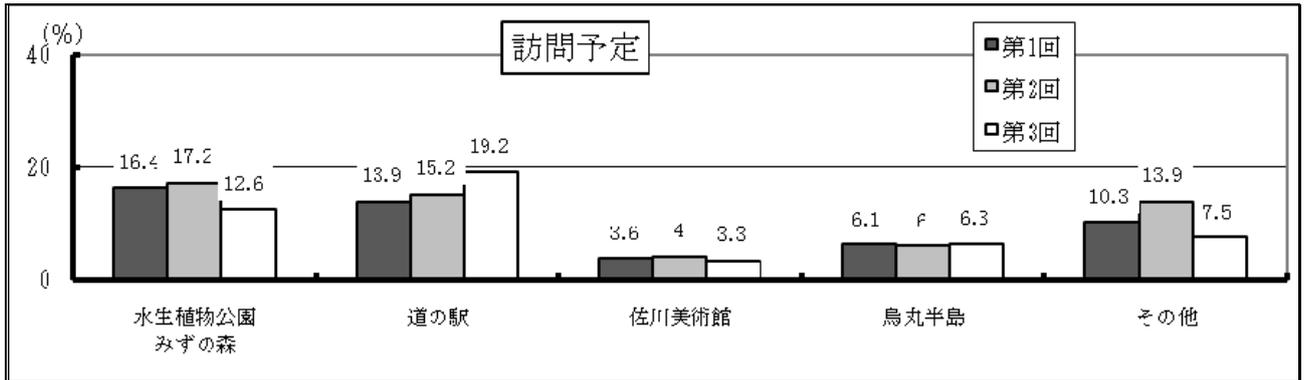
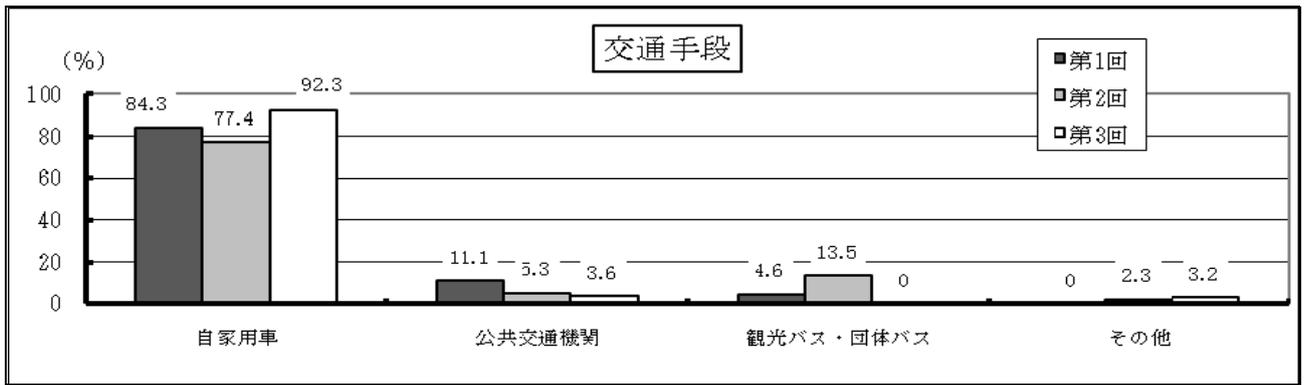
年齢別では、これまでと同様、30～40歳代が来館者の中心となっている。同行者も年平均68.3%が家族となっており、家族・親子で何かを学びに来館する方が多いことを物語っている。

来館者の居住地をみると、2009年度と比較すると滋賀県内在住の方が各月とも減少している。特に3月は57.9%から48.4%に減少した。ただ、これは先に述べたように昨年度は直前に湖南地域全戸にチラシを配布しており、チラシ配布の効果を裏付けたものと考えられる。



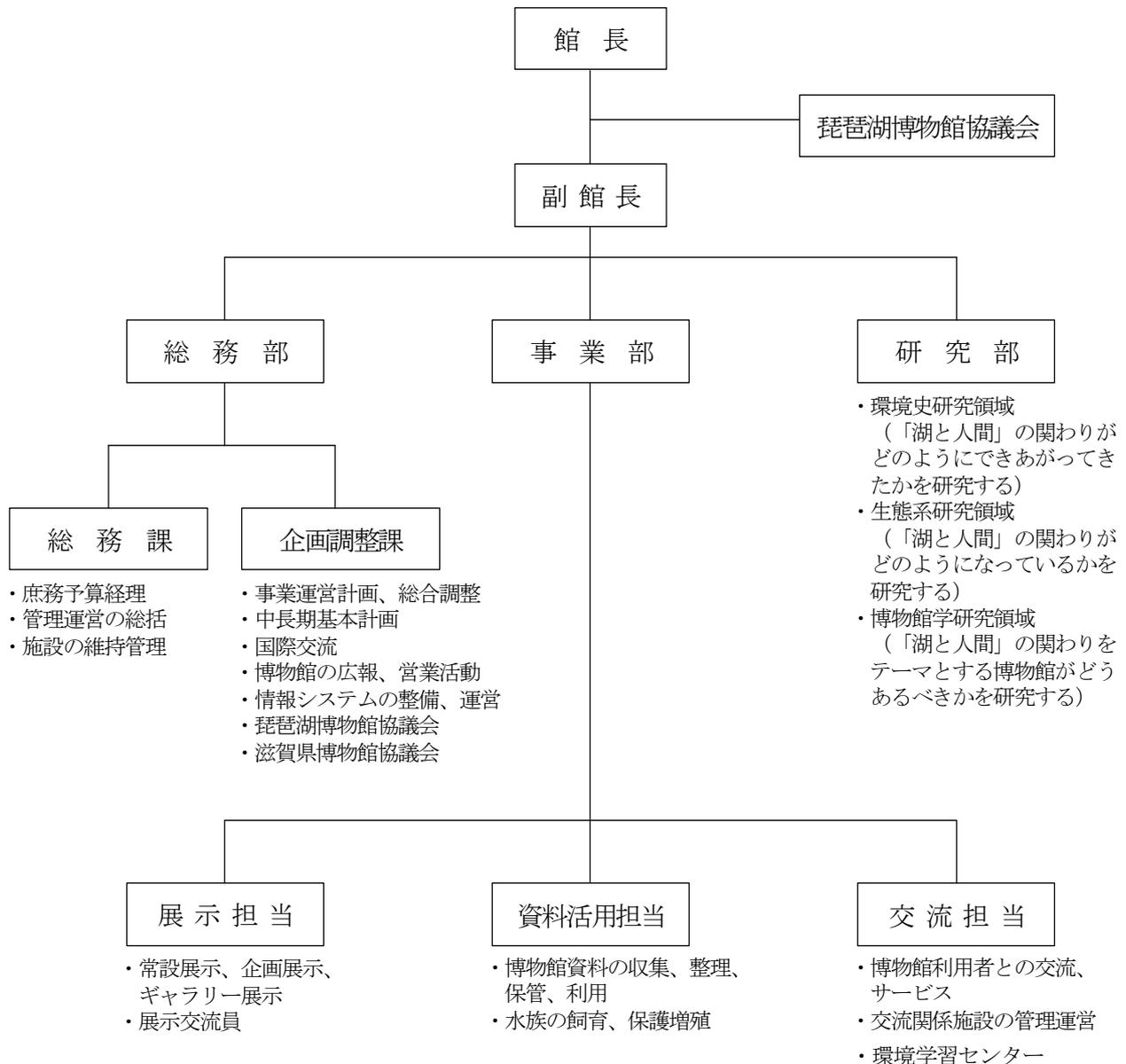






## 2 柔軟な運営組織

### (1) 組織



職員構成（2010年4月1日現在）

| 区分    | 館長(非常勤) | 行政職 | 研究職 | 教育職 | 小計 | 嘱託等 | 合計 |
|-------|---------|-----|-----|-----|----|-----|----|
| 人数(名) | 1       | 12  | 27  | 2   | 42 | 16※ | 58 |

※環境学習センター所長を含む

(2) 職員

(2010年4月1日現在)

- 館長 篠原 徹
- 副館長 阪口 榮
- 上席総括学芸員 前畑 政善
- 上席総括学芸員 用田 政晴
- 上席総括学芸員 高橋 啓一
- 上席総括学芸員 マーク ジョセフ グライガー

総務部

○部長 阪口 榮

◇ 総務課

- 課長
- 課長補佐 (兼)
- 副主幹
- 同
- 同
- 主査
- 主査

- 楠 重康
- 村井 洋一
- 佐藤 育生
- 竹嶋 伸年
- 高岡 日幸司
- 細矢 智美
- 山元 恵子

◇ 企画調整課

- 課長 (兼)
- 課長補佐
- (兼)
- (兼)
- (兼)
- (兼)
- (兼)

- 八尋 克郎
- 村井 洋一
- 里口 保文
- 草加 伸吾
- 楠岡 泰
- 中井 克樹
- 戸田 孝
- 榊永 一宏

事業部

○部長 (兼) 高橋 啓一

◇ 展示担当

- G. L. (兼)
- (兼)
- (兼)
- (兼)
- (兼)
- (兼)
- (兼)

- 芳賀 裕樹
- 松田 征也
- 亀田佳代子
- 牧野 厚史
- 奥村 浩匡
- 芦谷美奈子
- ロビン ジェームス スミス
- 磯田 能年

◇ 交流担当

- G. L. (兼)
- 主査 (併任)
- 主任主事 (併任)
- (兼)
- (兼)
- (兼)
- (兼)
- (兼)

- 桑原 雅之
- 大依 久人
- 飯住 達也
- 寺尾 尚純
- 大塚 泰介
- 碓 登志之
- 楊 平
- 老 文子

◇ 資料活用担当

- G. L. (兼)
- (兼)
- (兼)
- (兼)
- (兼)

- 山川千代美
- 秋山 廣光
- 橋本 道範
- 宮本 真二
- 中藤 容子

研究部

○部長 (兼) 用田 政晴

◇ 環境史研究担当

- G. L. 専門学芸員
- 専門学芸員
- 主査
- 主任学芸員
- 同
- 学芸技師
- 学芸員

- 里口 保文
- 山川千代美
- 奥村 浩匡
- 橋本 道範
- 宮本 真二
- 楊 平
- 老 文子

◇ 生態系研究担当

G. L. 上席総括学芸員 (兼)

- マーク ジョセフ グライガー
- 専門員
- 専門学芸員
- 同
- 同
- 同
- 同
- 同
- 同
- 主任主査 (兼)
- 主任学芸員
- 同
- 同
- 同
- 主任技師

- 寺尾 尚純
- 松田 征也
- 桑原 雅之
- 八尋 克郎
- 亀田佳代子
- 牧野 厚史
- 芳賀 裕樹
- 大塚 泰介
- 碓 登志之
- 草加 伸吾
- 中井 克樹
- 榊永 一宏
- ロビン ジェームス スミス
- 磯田 能年

注) G. L. はグループリーダー

嘱託員・臨時的任用職員

|       |              |       |                               |
|-------|--------------|-------|-------------------------------|
| 布谷 知夫 | 環境学習センター所長   | 辻川 智代 | 歴史民俗資料整理                      |
| 中島 経夫 | ふれあい体験室運営    | 上田 康之 | 実習補助・団体利用受付                   |
| 樋口 文子 | 館長秘書         | 野間 孝男 | 屋外展示運営                        |
| 山田 陽子 | ディスカバリールーム運営 | 上西 智之 | 交流事業                          |
| 藤岡 千裕 | ディスカバリールーム運営 | 夏原 浩子 | 図書資料整理                        |
| 福森 弘二 | 広報・集客        | 南村多津恵 | 環境学習センター運営                    |
| 木田 幹夫 | 展示物の製作・維持補修  | 今榮 誓子 | 交流事業 ( ~2010. 12)             |
| 井狩 知子 | 微小生物標本整理     | 谷村美弥子 | 環境学習センター<br>(2010. 8~2011. 3) |
| 高橋 和征 | 昆虫資料標本整理     | 大石 和彦 | 交流事業 (2010. 11~2011. 3)       |
| 齊藤 慶一 | 歴史民俗資料整理     |       |                               |

特別研究員

Andreu Escriba Francesc Mezquita 閻 美芳 柏尾 珠紀 植田 文雄 鈴木 誉士 天野 一葉  
 川那部浩哉 水野 敏明 中島 経夫 布谷 知夫 鈴木 隆仁 中井 大介 朱 偉 北村 美香  
 中野 正俊 黒岩 啓子

フィールドレポーター・はしかけ登録者 (掲載承諾者のみ)

◇フィールドレポーター

青山 善博 浅井 良英 飯尾 富子 井野 勝行 乾 明美 岩西紗江子 内堀甚一郎 江 竜 昭  
 遠阪 聡子 大住 光男 大橋 義孝 岡田 幹夫 奥村恵津子 小倉 市子 角井 俊明 加固 啓英  
 勝見 政之 角尾千寿子 椛島 昭紘 北側 忠次 北川 尚弘 桐江 利雄 京 美季男 久保 和友  
 熊谷 直孝 口分田政博 小林 隆夫 小林 光子 笹井まち子 澤島 篤 柴田恵里花 白井 幸子  
 杉江ミサ子 杉野 由佳 杉本 康子 多胡 好武 田中 昭一 谷村 啓子 津田 國史 土田 正文  
 寺田 誠 中川 徳司 中島いづみ 中西 健 中村 公一 西崎嘉代子 西村 忠雄 端 久雄  
 橋本 利衛 筈井美智子 東野 重信 平井 政一 平原 園子 古谷 善彦 保科 秀行 堀 英輔  
 前田 雅子 松浦すみ江 松原 孝治 松本 勉 水相 修躬 水戸 基博 村上 靖昭 村野 やえ  
 森 淳 森 擴之 安井加奈恵 山川 栄樹 山崎 千晶 山本 篤 山元 祐人 渡辺 克彦

◇はしかけ

長濱 脩 玉藤 典一 片山 慈敏 三村 武士 金山 雅幸 北村 美香 福森 弘二 野間 孝男  
 村上 靖昭 山川 侑夏 山川 美和 山川 栄樹 山川 茜 山川佳奈子 片山 康夫 前田 雅子  
 田中 治男 河崎 凱三 佐瀬 章男 岩西紗江子 貫名 安子 貫名 康之 後藤 真吾 杉山 晃規  
 大富 信一 橋本 昭也 山本 恭一 和田 至博 澤田 佳奈 澤田 一弥 澤田 知之 石井 利和  
 中島美智代 津田 國史 勝矢 大希 勝矢由希子 久保 玲子 長澤 京子 柳田 英代 山本 道子  
 酒井 啓子 和田めぐみ 武田 広志 渡辺圭一郎 小坂 育子 中山 法子 嶋村のぞみ 畠山 寿枝  
 八尋 由佳 大崎 淳子 上原由喜美 大橋 洋 竹内 朝之 岡田 文夫 石橋 昂大 石橋 要一  
 石橋 英洋 増田 織人 増田 佳晴 永野麻也子 所 邦彦 安井加奈恵 山本 徹 香月 利明  
 柴田 利彦 河田 航路 宮本 直興 肥土マサ子 前田 博美 吉井 隆 竹谷 満弘 後長シマ子  
 桑垣 瑞 芦田 弘美 廣瀬 範香 吉田 達矢 肥山 陽子 山田 徳恵 門間 正憲 田村 隆一  
 笹生 正則 小野 悠斗 人見 和代 人見 竜樹 人見 幸恵 谷口 貴也 川田 裕元 桂 雅之  
 前川 英喜 星野 賢史 星野 英史 田邊 穰 北川 幸一 廣田 昌昭 西村 義隆 三村 鎮雄  
 瀬尾 好英 今枝 直樹 椛島 昭紘 松本 勉 平尾 武 小原 寿子 松浦 孝訓 高田 正一

|       |       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 青山 喜博 | 今井 洋  | 竹内 正吾 | 武田 繁  | 板倉 孝史 | 清水 華子 | 本田 英樹 | 中西 寛子 |
| 中村 公一 | 佐々木幹朗 | 佐々木則子 | 佐々木満保 | 佐々木信幸 | 谷口 雅之 | 西村 有巧 | 齊藤 眞琴 |
| 齊藤眞由美 | 菅原 和博 | 後藤 和弥 | 大橋 正敏 | 日田 琥珀 | 日田 みか | 納屋内高史 | 山中 裕子 |
| 松田 道一 | 粟津 義  | 福永 和馬 | 新玉 拓也 | 鈴木 規慈 | 中尾 博行 | 手良村知央 | 手良村知功 |
| 手良村昭子 | 高田 昌彦 | 奈良 翔平 | 竹元 冴矢 | 水戸 基博 | 水戸 涼介 | 水戸 涼乃 | 川瀬 成吾 |
| 木村 美枝 | 荒井 紀子 | 高山 博好 | 津田久美子 | 芝崎美世子 | 木原 靖郎 | 吉野 彰一 | 石川 雅量 |
| 杉本 昌隆 | 有田 重彦 | 佐橋 保司 | 大川 聡  | 石井 千津 | 川口 健一 | 黒川 薫  | 小川 雅広 |
| 辻川 智代 | 浜地トミ子 | 木村 恵子 | 木下多津江 | 柳原 徳子 | 綺田万紀子 | 富田久仁枝 | 鈴木 直子 |
| 國分 政子 | 松川 郁子 | 西川 美喜 | 遠藤 吉三 | 日影 一正 | 大岡 紀彦 | 穴蔵 雅彦 | 片岡 庄一 |
| 藤野美由紀 | 藤野あぐり | 藤野 未音 | 倉田 英恵 | 倉田 忠彦 | 上田 修三 | 辻 喜久子 | 南 和美  |
| 中園 健治 | 木村 絵美 | 森 擴之  | 服部 彩乃 | 服部 隆義 | 佐藤 義信 | 吉野千栄子 | 藤井 優香 |
| 藤井 晴美 | 奥村 麻未 | 角藤 将翔 | 山田 陽子 | 前原 溪佑 | 小林 隆夫 | 渡邊 康子 | 渡邊 一郎 |
| 小谷 幸丈 | 小谷 伊吹 | 小谷 秋穂 | 小谷 朝日 | 小谷 菜々 | 堀井 大輔 | 山崎 千晶 | 宇尾 数行 |

### 3 社会的支援と新しい経営

#### (1) 利用状況 (2010年度入館者数)

##### 1) 総入館者数

期 間：2010年4月1日～2011年3月31日

合 計：360,736人

開館日数：309日

一日平均：1,167人

月 平均：30,061人

#### 入館者区分別内訳

| 区分      | 個人(人)   | 団体(人)   | 合計(人)   | 構成比(%) |
|---------|---------|---------|---------|--------|
| 未就学児    | 38,070  | 12,946  | 51,016  | 14.1   |
| 小学生・中学生 | 40,220  | 59,815  | 100,035 | 27.7   |
| 高校生・大学生 | 5,707   | 6,784   | 12,491  | 3.5    |
| 一般      | 160,513 | 36,681  | 197,194 | 54.7   |
| 合計      | 244,510 | 116,226 | 360,736 | 100.0  |

| 年月     | 開館日数 | 有料入館(人) |        |           |         | 無料入館(人) |       |            |      |         |        |           |        |         | 総計(人)   | 1日当たり平均(人) |
|--------|------|---------|--------|-----------|---------|---------|-------|------------|------|---------|--------|-----------|--------|---------|---------|------------|
|        |      | 一般      | 高大学生   | 小中学生(企画展) | 有料計     | 65歳以上   | 障害者   | サンデー家族ふれあい | 体験学習 | 1,190の日 | 学校行事   | 小中学生(常設展) | その他    | 無料計     |         |            |
| 4      | 27   | 10,739  | 2,232  | 0         | 12,971  | 430     | 608   | 772        | 1    | 0       | 120    | 6,556     | 5,328  | 13,815  | 26,786  | 992        |
| 5      | 27   | 18,023  | 1,001  | 0         | 19,024  | 703     | 1,016 | 592        | 2    | 428     | 374    | 15,767    | 7,213  | 26,095  | 45,119  | 1,671      |
| 6      | 26   | 11,700  | 678    | 0         | 12,378  | 703     | 945   | 785        | 2    | 0       | 390    | 9,864     | 4,805  | 17,494  | 29,872  | 1,149      |
| 7      | 29   | 18,519  | 822    | 1,689     | 21,030  | 467     | 901   | 675        | 0    | 0       | 225    | 5,894     | 7,240  | 15,042  | 36,432  | 1,256      |
| 8      | 30   | 30,509  | 1,823  | 5,260     | 37,592  | 1,010   | 992   | 554        | 3    | 0       | 522    | 8,499     | 9,620  | 21,200  | 58,792  | 1,960      |
| 9      | 23   | 12,932  | 798    | 1,206     | 14,936  | 339     | 1,074 | 771        | 1    | 0       | 1,944  | 3,309     | 4,477  | 11,915  | 26,851  | 1,167      |
| 10     | 28   | 13,278  | 1,140  | 4,122     | 18,540  | 562     | 1,078 | 650        | 2    | 0       | 6,854  | 8,269     | 5,489  | 22,904  | 41,444  | 1,480      |
| 11     | 25   | 10,197  | 915    | 1,442     | 12,554  | 456     | 631   | 0          | 0    | 0       | 1,825  | 4,357     | 7,045  | 14,314  | 26,868  | 1,075      |
| 12     | 20   | 3,975   | 438    | 0         | 4,413   | 140     | 283   | 328        | 2    | 0       | 42     | 1,801     | 5,018  | 7,614   | 12,027  | 601        |
| 2011.1 | 21   | 6,522   | 209    | 0         | 6,731   | 256     | 315   | 276        | 13   | 0       | 43     | 2,303     | 4,675  | 7,881   | 14,612  | 696        |
| 2      | 24   | 7,235   | 345    | 0         | 7,580   | 277     | 514   | 661        | 5    | 0       | 59     | 3,247     | 4,597  | 9,360   | 16,940  | 706        |
| 3      | 29   | 10,297  | 835    | 0         | 11,132  | 493     | 791   | 1,033      | 0    | 0       | 73     | 4,179     | 7,292  | 13,861  | 24,993  | 862        |
| 計      | 309  | 153,926 | 11,236 | 13,719    | 178,881 | 5,836   | 9,148 | 7,097      | 31   | 428     | 12,471 | 74,045    | 72,799 | 181,855 | 360,736 | 1,167      |

2) 学校等入館者数

| 年 月     |     | 小学校 |        | 中学校 |        | 高等学校 |       | 特別支援学校 |       | 大学など |       | 総 計 |        |
|---------|-----|-----|--------|-----|--------|------|-------|--------|-------|------|-------|-----|--------|
|         |     | 学校数 | 人数     | 学校数 | 人数     | 学校数  | 人数    | 学校数    | 人数    | 学校数  | 人数    | 学校数 | 人数     |
| 4       | 全 体 | 28  | 2,370  | 14  | 1,549  | 7    | 1,617 | 1      | 25    | 3    | 441   | 53  | 6,002  |
|         | 県 内 | 8   | 230    | 1   | 66     | 2    | 70    | 1      | 25    | 1    | 81    | 13  | 472    |
| 5       | 全 体 | 47  | 4,099  | 43  | 8,155  | 10   | 714   | 7      | 191   | 2    | 50    | 109 | 13,209 |
|         | 県 内 | 5   | 252    | 0   | 0      | 2    | 338   | 1      | 40    | 1    | 20    | 9   | 650    |
| 6       | 全 体 | 49  | 3,869  | 35  | 4,336  | 5    | 305   | 2      | 101   | 2    | 68    | 93  | 8,679  |
|         | 県 内 | 18  | 971    | 12  | 661    | 2    | 70    | 1      | 5     | 0    | 0     | 33  | 1,707  |
| 7       | 全 体 | 9   | 708    | 12  | 1,229  | 11   | 400   | 1      | 24    | 2    | 108   | 35  | 2,469  |
|         | 県 内 | 0   | 0      | 2   | 341    | 7    | 147   | 0      | 0     | 0    | 0     | 9   | 488    |
| 8       | 全 体 | 4   | 160    | 3   | 203    | 3    | 93    | 1      | 12    | 3    | 172   | 14  | 640    |
|         | 県 内 | 4   | 160    | 2   | 47     | 0    | 0     | 1      | 12    | 0    | 0     | 7   | 219    |
| 9       | 全 体 | 38  | 3,208  | 4   | 490    | 5    | 286   | 7      | 130   | 5    | 180   | 59  | 4,294  |
|         | 県 内 | 17  | 1,383  | 4   | 490    | 5    | 286   | 3      | 65    | 2    | 44    | 31  | 2,268  |
| 10      | 全 体 | 190 | 15,578 | 10  | 1,235  | 7    | 347   | 9      | 189   | 9    | 564   | 225 | 17,913 |
|         | 県 内 | 90  | 6,476  | 3   | 518    | 5    | 178   | 3      | 50    | 0    | 0     | 101 | 7,222  |
| 11      | 全 体 | 58  | 4,876  | 16  | 2,118  | 4    | 317   | 8      | 83    | 3    | 208   | 89  | 7,602  |
|         | 県 内 | 27  | 1,967  | 5   | 647    | 1    | 40    | 7      | 62    | 2    | 108   | 42  | 2,824  |
| 12      | 全 体 | 5   | 547    | 2   | 407    | 3    | 76    | 1      | 21    | 3    | 205   | 14  | 1,256  |
|         | 県 内 | 0   | 0      | 1   | 174    | 1    | 18    | 1      | 21    | 0    | 0     | 3   | 213    |
| 2011. 1 | 全 体 | 10  | 742    | 0   | 0      | 0    | 0     | 1      | 9     | 1    | 27    | 12  | 778    |
|         | 県 内 | 7   | 554    | 0   | 0      | 0    | 0     | 1      | 9     | 1    | 27    | 9   | 590    |
| 2       | 全 体 | 23  | 1,666  | 0   | 0      | 0    | 0     | 5      | 139   | 1    | 40    | 29  | 1,845  |
|         | 県 内 | 10  | 633    | 0   | 0      | 0    | 0     | 3      | 65    | 0    | 0     | 13  | 698    |
| 3       | 全 体 | 7   | 514    | 1   | 84     | 1    | 107   | 7      | 113   | 1    | 40    | 17  | 858    |
|         | 県 内 | 2   | 171    | 1   | 84     | 0    | 0     | 5      | 90    | 0    | 0     | 8   | 345    |
| 合計      | 全 体 | 468 | 38,337 | 140 | 19,806 | 56   | 4,262 | 50     | 1,037 | 35   | 2,103 | 749 | 65,545 |
|         | 県 内 | 188 | 12,797 | 31  | 3,028  | 25   | 1,147 | 27     | 444   | 7    | 280   | 278 | 17,696 |

3) 月別・曜日別入館者数

| 年月      | 日曜・祝祭日  | 土曜日(祝日除く) | その他     | 計       |
|---------|---------|-----------|---------|---------|
| 4       | 9,012   | 4,541     | 13,233  | 26,786  |
| 5       | 22,496  | 6,779     | 15,844  | 45,119  |
| 6       | 9,563   | 5,729     | 14,580  | 29,872  |
| 7       | 13,775  | 8,793     | 13,864  | 36,432  |
| 8       | 15,912  | 8,939     | 33,941  | 58,792  |
| 9       | 13,658  | 5,618     | 7,575   | 26,851  |
| 10      | 11,478  | 5,491     | 24,475  | 41,444  |
| 11      | 9,802   | 4,458     | 12,608  | 26,868  |
| 12      | 6,046   | 2,519     | 3,462   | 12,027  |
| 2011. 1 | 5,748   | 3,031     | 5,833   | 14,612  |
| 2       | 7,735   | 4,193     | 5,012   | 16,940  |
| 3       | 10,593  | 4,438     | 9,962   | 24,993  |
| 計       | 135,818 | 64,529    | 160,389 | 360,736 |
| 構成割合    | 37.7%   | 17.9      | 44.5    | 100.0   |

## (2) 新聞掲載記録

| 月  | 日   | 記事テーマ   | 掲載新聞社名        |
|----|---|---|---------------|
| 4  | 2   | 琵琶湖博物館の篠原館長が抱負「先進的役割果たす」 / [遊・You・友]「里山体験教室」開催案内                      | 朝日新聞          |
|    | 2   | 琵琶湖の特徴生かす 篠原博物館長が就任会見   | 産経新聞          |
|    | 2   | 「より発展させたい」 篠原琵琶湖博物館長が就任会見   | 中日新聞          |
|    | 2   | 琵琶湖博物館篠原新館長が会見「若い世代取り込む」 / [紙面から きょうの顔] 琵琶湖の存在軸に取り組み進めたい 篠原徹さん        | 京都新聞          |
|    | 3   | [湖岸より]<52> 環境に良いこと悪いこと 亀田佳代子専門学芸員                                     | 中日新聞          |
|    | 4   | 県の環境対策、高評価 首相琵琶湖博物館など県内視察   | 朝日新聞          |
|    | 4   | 「滋賀の意気込み感じた」 鳩山首相来県、環境団体と意見交換 嘉田知事の案内で琵琶湖博物館の展示見学                     | 毎日新聞          |
|    | 4   | 首相が県内視察 琵琶湖博物館では嘉田知事が琵琶湖の生態系や県が進める地球温暖化対策について説明                       | 読売新聞          |
|    | 4   | 首相初の湖国入り 幼稚園、琵琶湖博物館、京セラなどを視察  | 京都新聞          |
|    | 4   | 鳩山首相が県内訪問 嘉田知事の案内で琵琶湖博物館へ 環境団体と意見交換                                   | 中日新聞          |
|    | 10  | [湖岸より]<53> 蕪村の食い意地背景に 篠原徹館長   | 中日新聞          |
|    | 11  | [ひと]「新博物の時代」を担う博物館に 篠原徹琵琶湖博物館館長 / 滋賀の文化プレイガイド 鉱物化石展 2010「ぼくらは大地に夢を掘る」 | 滋賀民報          |
|    | 13  | 「新たな教養の場に」篠原徹新館長会見  | 毎日新聞          |
|    | 13  | 水中に潜む昆虫の世界 琵琶湖博物館主催「川虫探検」   | 読売新聞 (しが県民情報) |
|    | 14  | 県立琵琶湖博物館「研究交流の場に」 篠原新館長が抱負  | 読売新聞          |
|    | 14  | 西日本タンポポの乱 19 府県で調査、分布地図作りへ 県内のまとめ役県立琵琶湖博物館 布谷知夫環境学習センター長のコメント         | 毎日新聞          |
|    | 16  | [遊・You・友]講演会「私たちの日常生活と人権のたて糸・よこ糸」開催案内                                 | 朝日新聞          |
|    | 17  | [湖岸より]<54> 近江ことば いまむかし 用田政晴研究部長                                       | 中日新聞          |
|    | 18  | 他者認める共生が重要 人権センター所長が講演 琵琶湖博物館特別講演会                                    | 京都新聞          |
|    | 18  | 生物多様性条約第 10 回締約国会議にむけて、公開座談会参加募る 県立琵琶湖博物館ホールで開催                       | 中日新聞          |
|    | 19  | ブラックバス、高級料理に 仕入れ、養殖タイより高値 琵琶湖博物館のレストラン「にほのうみ」のバス天井                    | 朝日新聞          |
|    | 20  | タンポポ 外来と在来分布調査 琵琶湖博物館参加呼び掛け   | 中日新聞          |
|    | 21  | [A+1 美術館・博物館]琵琶湖博物館催し物案内(「鉱物・化石展ぼくらは大地に夢を掘る」)                         | 朝日新聞          |
|    | 22  | [この人]琵琶湖博物館の新館長に就任 篠原徹さん  | 中日新聞          |
|    | 24  | [湖国の人たち]疑問発見型の展示を 誰もが楽しい場所に 琵琶湖博物館館長 篠原徹さん                            | 毎日新聞          |
|    | 24  | [湖岸より]<55> 記録用紙の役目も持つ琵琶湖 高橋啓一事業部長                                     | 中日新聞          |
|    | 24  | [マンガを語ろう]「サルでも描けるまんが教室」 下品ギャグに鋭い分析力 大塚泰介専門学芸員                         | 毎日新聞          |
|    | 25  | 継ぐ命はぐくむ湖 生態系今こそ修復 琵琶湖博物館で開催の「いきもの地球会議」 第三回地域座談会                       | 中日新聞          |
|    | 25  | 琵琶湖や淀川の魚を守ろう 琵琶湖博物館で絶滅危惧種など 16 種展示「守ろう!琵琶湖・淀川水系の魚たち」                  | 京都新聞          |
|    | 28  | 陸産逆巻き貝京都で発見琵琶湖博物館 発見した中井克樹主任学芸員のコメント                                  | 読売新聞          |
| 28 | ナミコギセルガイ突然変異さぁどっち? 中井克樹主任学芸員が京都で発見                    | 毎日新聞  |               |
| 28 | 右巻きキセルガイ 9 日まで琵琶湖博物館で一般展示 発見した中井克樹主任学芸員のコメント          | 中日新聞  |               |
| 28 | 逆巻きのキセルガイ発見 国内 200 種すべて左巻き 遺伝解明貴重な資料 中井克樹主任学芸員のコメント   | 京都新聞  |               |
| 29 | どうして私、右巻きなの… キセルガイ突然変異? 見つかる 中井克樹主任学芸員のコメント           | 朝日新聞  |               |
| 29 | 身近にいろんな生物いるよ 大津の環境保全市民団体が琵琶湖博物館の学芸員などの協力で図鑑を作り、小学校に寄贈 | 中日新聞  |               |
| 30 | 県内のタンポポ分布調査参加募る 琵琶湖博物館                                | 京都新聞  |               |
| 5  | 1   | [湖岸より]<56> 春の使者 モンシロチョウ 八尋克郎専門学芸員                                     | 中日新聞          |
|    | 2   | あれっ逆!!右巻き貝 琵琶湖博物館「突然変異」 中井克樹主任学芸員のコメント                                | 産経新聞          |
|    | 4   | こどもの日入館無料に 琵琶湖博物館など   | 京都新聞          |
|    | 5   | びわこいのぼり子どもら楽しむ 琵琶湖博物館   | 読売新聞          |

| 月  | 日                                    | 記事テーマ   | 掲載新聞社名                               |      |
|----|--------------------------------------|---|--------------------------------------|------|
| 5  | 7                                    | [遊・You・友]「守ろう！琵琶湖・淀川水系の魚たち」開催案内   | 朝日新聞                                 |      |
|    | 8                                    | [湖岸より]<57> 生物と食べ物の関係 亀田佳代子専門学芸員   | 中日新聞                                 |      |
|    | 9                                    | 魚の消費で中世分析 琵琶湖博物館報告書を出版 橋本道範主任学芸員のコメント   | 京都新聞                                 |      |
|    | 9                                    | 琵琶湖の水草青写真できた 琵琶湖博物館で体験イベント  | 中日新聞                                 |      |
|    | 11                                   | ナミテントウ「二紋型」が6割 琵琶湖博物館がテントウムシ初の全県調査 「重要な基礎データに」 八尋克郎専門学芸員のコメント / 琵琶湖底に高濃度ヒ素大量死のイサザから検出 『イサザ』写真資料提供 | 毎日新聞                                 |      |
|    | 11                                   | 親子で水晶の形を再現 琵琶湖博物館で鉱物のレプリカ作り   | 読売新聞 (しが県民情報)                        |      |
|    | 14                                   | テントウムシ湖国で12種類確認、琵琶湖博物館が調査   | 京都新聞                                 |      |
|    | 14                                   | [遊・You・友]特別講演会「シェイクスピア劇とシェイクスピア映画」開催案内  | 朝日新聞                                 |      |
|    | 15                                   | [湖岸より]<58> 常識や文化の違いが連携の壁に 戸田孝主任学芸員  | 中日新聞                                 |      |
|    | 16                                   | 交流会で研究成果発表 琵琶湖博物館調査グループ   | 読売新聞                                 |      |
|    | 19                                   | 琵琶湖固有魚種守ろう「守ろう！琵琶湖・淀川水系の魚たち」琵琶博で開催  | 読売新聞                                 |      |
|    | 19                                   | 琵琶湖底蓄積「重金属問題 広報必要」 知事が琵琶湖博物館などで啓発に努める意向を示す  | 毎日新聞                                 |      |
|    | 20                                   | 琵琶湖博物館わくわく探検隊「光とかげで写真をとろう」開催案内  | 毎日新聞 (オー！ミー)                         |      |
|    | 21                                   | 琵琶湖博物館がテントウムシの生息調査 希少種など12種確認 八尋克郎専門学芸員のコメント  | 朝日新聞                                 |      |
|    | 21                                   | 淀川水系環境保全訴え 琵琶湖博物館で希少な淡水魚16種展示   | 中日新聞                                 |      |
|    | 21                                   | 滋賀らしい献立追求 琵琶湖博物館レストラン「にほのうみ」  | 読売新聞 (しが県民情報)                        |      |
|    | 22                                   | [湖岸より]<59> よみがえれ！ぼてじゃこ 松田征也専門学芸員  | 中日新聞                                 |      |
|    | 23                                   | 生物の多様性考える よし笛演奏も 琵琶湖博物館で専門家らシンポ   | 毎日新聞                                 |      |
|    | 23                                   | 生物多様性大切さ知って 琵琶湖と淀川水系環境保全を考えるシンポ琵琶湖博物館で開催  | 中日新聞                                 |      |
|    | 25                                   | 生物多様性保護調査団体が訴え 琵琶湖博物館でシンポ   | 朝日新聞                                 |      |
|    | 25                                   | 絶滅危機の淡水魚知って 琵琶湖博物館で展示 松田征也専門学芸員のコメント  | 産経新聞                                 |      |
|    | 26                                   | 180万年前に生息ワニの歯の化石 多賀町の親子化石教室で小2が発見 高橋啓一上席総括学芸員のコメント  | 中日新聞                                 |      |
|    | 27                                   | [語り掛けるナウマン 忠類の化石発掘40周年上]高橋啓一上席総括学芸員再調査で一転「初老ゾウ」   | 十勝毎日新聞                               |      |
|    | 28                                   | [遊・You・友]琵琶湖博物館協議会委員公募  | 朝日新聞                                 |      |
|    | 29                                   | [湖岸より]<60> 積極的な広報が必要 山川千代美専門学芸員   | 中日新聞                                 |      |
|    | 29                                   | [語り掛けるナウマン 忠類の化石発掘40周年下]忠類の「研究的、価値、古代解明の材料眠る宝庫 高橋啓一上席総括学芸員のコメント                                   | 十勝毎日新聞                               |      |
|    | 6                                    | 1   | 「河内の風穴」造形美 琵琶湖博物館でギャラリー展             | 読売新聞 |
|    |                                      | 2   | 滋賀・多賀町「河内の風穴」 琵琶湖博物館写真と映像で 神秘の鍾乳洞を紹介 | 産経新聞 |
| 5  |                                      | [湖岸より]<61> 水辺の景色と暮らし 楊平学芸技師   | 中日新聞                                 |      |
| 9  |                                      | [A+1 美術館・博物館]琵琶湖博物館催し物案内(「神秘の鍾乳洞 河内の風穴」)  | 朝日新聞                                 |      |
| 10 |                                      | 琵琶博・環境月間でパネル展 湖沼の生き物紹介  | 京都新聞                                 |      |
| 12 |                                      | [湖岸より]<62> 芭蕉が詠んだ湖の風景 篠原徹館長   | 中日新聞                                 |      |
| 16 |                                      | 河内の風穴 神秘とらえる 琵琶湖博物館で非公開部の写真展示   | 京都新聞                                 |      |
| 19 |                                      | [湖岸より]<63> 「堺川」の歴史をたどる 用田政晴研究部長   | 中日新聞                                 |      |
| 20 |                                      | 太陽の恵みと怖さ 京大名誉教授語る 琵琶湖博物館で講演会  | 京都新聞                                 |      |
| 24 |                                      | [未来人]カシミジンコ研究に情熱 主任学芸員ロビン・スミスさん / [紙面からきょうの顔]古代琵琶湖の姿生物で明らかに ロビン・スミスさん / [まちかど] コラージュ作品をつくろう 開催案内  | 京都新聞                                 |      |
| 26 | [湖岸より]<64> 「雨に想う」気にはなる!? 高橋啓一上席総括学芸員 | 中日新聞  |                                      |      |
| 26 | 琵琶湖博物館で繁殖した淡水魚 産みやすい環境 成功の鍵          | 京都新聞  |                                      |      |
| 29 | ニゴロブナ水路に放流 大塚泰介専門学芸員が田んぼの生き物を説明      | 中日新聞  |                                      |      |
| 7  | 3                                    | 昆虫・植物・隕石 来て見て触ろう 「博物館による環境と科学のフェスティバル」琵琶湖博物館など10館とボランティアグループが参加                                   | 朝日新聞                                 |      |
|    | 3                                    | [湖岸より]<65> 生物多様性 身近な昆虫から 八尋克郎専門学芸員  | 中日新聞                                 |      |
|    | 5                                    | 自然林の写真通し保全訴え 琵琶湖博物館で石田さん個展  | 読売新聞                                 |      |
|    | 5                                    | 学芸員と研究魅力を紹介 草津で登録講座   | 京都新聞                                 |      |
|    | 10                                   | [湖岸より]<66> 七夕に思う新暦と旧暦 戸田孝主任学芸員  | 中日新聞                                 |      |
|    | 16                                   | [遊・You・友]「湖底探検〜びわ湖の底はどんな世界？」開催案内  | 朝日新聞                                 |      |

| 月  | 日                             | 記事テーマ  | 掲載新聞社名          |
|----|-------------------------------|--|-----------------|
| 7  | 16                            | モリゾーとキッコロ 18日、親善大使でPR 琵琶湖博物館   | 中日新聞            |
|    | 17                            | [湖岸より]<67> 五感に訴える表現力 亀田佳代子専門学芸員  | 中日新聞            |
|    | 18                            | 水族館を楽しむ 琵琶湖を究める 滋賀県立琵琶湖博物館   | 東京新聞            |
|    | 19                            | 生物多様性 大切さ訴え 琵琶湖博物館 COP10 使節訪問  | 京都新聞            |
|    | 20                            | 今秋にCOP10 愛知から琵琶湖博物館にPR 隊   | 毎日新聞            |
|    | 24                            | [湖岸より]<68> 外来のシジミが定着 松田征也専門学芸員   | 中日新聞            |
|    | 25                            | 潜水ロボ「淡探」引退危機 県財政難で草津の企画展で披露最後?   | 読売新聞            |
|    | 27                            | 「どこが未解明か博物館は示せ」 県立大公開講座 琵琶湖館長が力説   | 京都新聞            |
|    | 28                            | 赤とんぼ移動範囲どこまで? 調査協力募る   | 京都新聞            |
|    | 29                            | 自由研究はおもしろふしぎ世界! 自由研究おすすめスポット   | 朝日新聞            |
|    | 29                            | 琵琶湖の不思議 滋賀県立琵琶湖博物館「湖底探検〜びわ湖の底はどんな世界?〜展から   | 朝日小学生新聞         |
|    | 30                            | [遊・You・友]「魚はなぜ田んぼにやってくるのか」開催案内   | 朝日新聞            |
|    | 31                            | [湖岸より]<69> メタセコイア・シンポにわくわく 山川千代美専門学芸員 / 赤とんぼ移動調査参加を 県立琵琶湖博物館 大津で7日に開催  | 中日新聞            |
| 8  | 1                             | 50万分の1湖底模型作る 児童ら地形図見て粘土で 琵琶湖博物館  | 読売新聞            |
|    | 1                             | 赤とんぼの古里は? 琵琶湖博物館羽に印つけ調査  | 毎日新聞            |
|    | 1                             | 湖底の世界探検しよう ロボット、写真通し 琵琶博で企画展   | 京都新聞            |
|    | 1                             | 琵琶湖の深さ立体的に 琵琶湖博物館で親子らが模型作り   | 中日新聞            |
|    | 3                             | 水田の魚 生態紹介 琵琶博で企画展 14種、パネル添え  | 京都新聞            |
|    | 4                             | [A+1 美術館・博物館]琵琶湖博物館催し物案内(「魚はなぜ田んぼにやってくるのか」)  | 朝日新聞            |
|    | 7                             | よし笛にうっとり 琵琶湖博物館  | 読売新聞            |
|    | 7                             | [湖岸より]<70> 湧水保存へ住民尽力 楊平学芸技師 / [虹]ネコギギ`箱舟`に守られて 琵琶湖博物館から譲り受けた個体を飼育、繁殖に取り組む施設 碧南海浜水族館 / 中国政府の視察団、県の環境政策学ぶ 琵琶湖博物館など視察 | 中日新聞            |
|    | 8                             | 夏休みミュージアムへ行こう 湖の自然とくらしよく分かるね 琵琶湖博物館  | 京都新聞            |
|    | 10                            | 湖底を探検しよう 琵琶湖博物館で企画展 研究成果や再現模型  | 毎日新聞            |
|    | 14                            | [湖岸より]<71> 鉄道沿線の景観も変化 篠原徹館長  | 中日新聞            |
|    | 20                            | [遊・You・友]講演会「湖底遺跡の探検〜湖に沈んだ村を科学する」開催案内  | 朝日新聞            |
|    | 20                            | 情報提供を 田やため池、湖岸で 準絶滅危惧種イチョウウキゴケ 琵琶湖博物館が調査   | 毎日新聞            |
|    | 20                            | テレビ番組表 ワイドキャッチ `夏休み宿題追い込み中!`、琵琶湖博物館などで宿題に取り組む子どもたち   | 京都新聞            |
|    | 21                            | [湖岸より]<72> 28日に「湖底遺跡シンポ」 用田政晴研究部長  | 中日新聞            |
|    | 27                            | [おもしろ探検]「近畿の水ガメ」の大切さ学ぶ 琵琶湖博物館  | 京都新聞(トマト&テレビ京都) |
|    | 28                            | [湖岸より]<73> 琵琶湖の湖底`探検`を 高橋啓一上席総括学芸員   | 中日新聞            |
| 31 | 神秘的な湖底を紹介 県立琵琶湖博物館で企画展        | 産経新聞   |                 |
| 9  | 2                             | 琵琶湖の底の、不思議を体感! 県立琵琶湖博物館  | 毎日新聞(オー!ミー)     |
|    | 4                             | [湖岸より]<74> トンボ飛ぶ水田 日本の原風景 八尋克郎専門学芸員  | 中日新聞            |
|    | 5                             | [こどもタイムズ]琵琶湖の底、謎だらけ 生き物増えて酸素が減少 湖底探検 芳賀裕樹専門学芸員のコメント  | 中日新聞            |
|    | 6                             | 「淡探」の実物も展示 琵琶湖博物館 企画展「湖底探検」  | 中日新聞            |
|    | 7                             | 隣接する琵琶湖博物館と併せて、湖沼研究の成果を発信する拠点と位置付けてきた ILEC 事務所廃止へ  | 京都新聞            |
|    | 8                             | [A+1 美術館・博物館]琵琶湖博物館催し物案内(「湖底探検」)   | 朝日新聞            |
|    | 10                            | 白黒まだらウナギ、琵琶湖博物館に引き取られる。  | 朝日新聞            |
|    | 10                            | 生物多様性から水族館を考える 京でシンポ 川那部浩哉前館長のコメント   | 京都新聞            |
|    | 11                            | [湖岸より]<75> ヨシ原はツバメのねぐら 亀田佳代子専門学芸員  | 中日新聞            |
|    | 18                            | アサヒビール主催の環境保全活動に関する体験学習で、琵琶湖博物館を見学   | 朝日新聞            |
|    | 18                            | [湖岸より]<76> 遺跡の疑問 古地図で水解 戸田孝主任学芸員   | 中日新聞            |
|    | 19                            | 草津の加藤さんが母校の山田小学校で室戸台風の体験を語る(倒壊した山田尋常高等小学校の校舎の写真提供)   | 毎日新聞            |
| 21 | 絶滅危惧種アユモドキの幼魚 草津の琵琶湖博物館が繁殖・展示 | 中日新聞   |                 |
| 24 | [まちかど]特別講演会「暮らしと歯」の案内         | 京都新聞   |                 |

| 月  | 日   | 記事テーマ   | 掲載新聞社名        |
|----|---|---|---------------|
| 9  | 25  | コクチバス生息確認 湖へ流入懸念 琵琶湖博物館のコメント  | 朝日新聞          |
|    | 25  | コクチバス生息を確認 3か所目、野洲川ダム貯水池 琵琶湖博物館のコメント  | 読売新聞          |
|    | 25  | [湖岸より]<77> 化石からみた実りの秋 山川千代美専門学芸員 / コクチバスが定着 琵琶湖侵入を懸念 琵琶湖博物館中井克樹主任学芸員が県立大学の大学院生らと調査、確認 | 中日新聞          |
|    | 25  | 京都まなびの系譜<1> 動物に魅せられ 川那部浩哉前琵琶湖博物館長の研究 / コクチバス定着確認 中井克樹主任学芸員の話                          | 京都新聞          |
|    | 25  | コクチバス繁殖確認 琵琶湖博物館が発表、琵琶湖流入の危険性も  | 産経新聞          |
|    | 26  | コクチバス生息 琵琶湖博物館確認 在来魚捕食、流出懸念   | 毎日新聞          |
|    | 26  | [まちかど]天然記念物「アユモドキ」の幼魚展示   | 京都新聞          |
| 29 | [A+1 美術館・博物館]琵琶湖博物館催し物案内（「湖底探検」）          | 朝日新聞  |               |
| 10 | 3   | [湖岸より]<78> 秋に産卵する魚「カネヒラ」 松田征也専門学芸員  | 中日新聞          |
|    | 6   | 台風の季節、今年も水草は押し寄せる？ 芳賀裕樹専門学芸員の話  | 毎日新聞          |
|    | 8   | 外来魚駆除後 また幼魚 高山のため池 中井克樹主任学芸員の話  | 中日新聞          |
|    | 9   | ひびき紀行 琵琶湖博物館の紹介   | 朝日新聞（夕刊）      |
|    | 9   | [湖岸より]<79> 重要なフィールドレポーター 楊平学芸技師 / COP10 巡回展（会場：琵琶湖博物館）でトキのはく製公開 中井克樹主任学芸員のコメント        | 中日新聞          |
|    | 10  | [環境]近江八幡で西の湖シンポで琵琶湖博物館篠原徹館長が基調講演  | 朝日新聞          |
|    | 10  | 京都水族館の目的、独自性をあきらかに 川那部浩哉前琵琶湖博物館長が語る   | 京都民報          |
|    | 11  | [環境]水郷水都会議 琵琶湖博物館で現地説明会   | 朝日新聞          |
|    | 13  | [環境]いのちの調和知って 琵琶湖博物館で「生物多様性」展示 秋山廣光専門学芸員のコメント   | 朝日新聞          |
|    | 14  | [種の興亡 at 滋賀]① トンボたち帰ってこい 「蜻蛉研究会」と琵琶湖博物館が1993～97年に実態調査                                 | 朝日新聞          |
|    | 14  | [ここだけの湖の話～琵琶湖博物館の研究室から～]<1> 縄文の食生活“発掘” 用田政晴上席総括学芸員                                    | 毎日新聞          |
|    | 14  | 長浜市の永原小学校で琵琶湖博物館がサテライト博物館開館   | 京都新聞          |
|    | 14  | 琵琶湖博物館サテライト館 永原小にオープン   | 中日新聞          |
|    | 15  | [種の興亡 at 滋賀]② 水草除去 続いたちごっこ 芦谷美奈子主任学芸員の警告  | 朝日新聞          |
|    | 16  | [湖岸より]<80> 湖全体が地域博物館 篠原徹館長  | 中日新聞          |
|    | 17  | 雑記帳 国連生物多様性条約第10回締結国会議で琵琶湖博物館レストランが限定販売している「ブラックバスバーガー」を提供                            | 毎日新聞          |
|    | 17  | 桶風呂のわら製のふた発見 老文字学芸員の話   | 京都新聞          |
|    | 18  | 国連地球生きもの会議で琵琶湖博物館内のレストラン「にほのうみ」で販売しているブラックバスバーガーを無料配布                                 | 朝日新聞（夕刊）      |
|    | 19  | COP10で世界デビュー 琵琶湖博物館レストラン「にほのうみ」のメニューバスバーガー 琵琶湖博物館職員コメント                               | 朝日新聞          |
|    | 19  | 環境省が外来種対策 生きもの会議の会合に無料配布バスバーガーを食べて考えて 琵琶湖博物館レストラン「にほのうみ」写真提供                          | 朝日小学生新聞       |
|    | 19  | 「予想外においしい」白身魚 琵琶湖博物館レストラン「にほのうみ」のバス天井   | 毎日新聞          |
|    | 19  | 川那部浩哉前館長に仏勲章  | 読売新聞（夕刊）      |
|    | 20  | [A+1 美術館・博物館]琵琶湖博物館催し物案内（「湖底探検」）  | 朝日新聞          |
|    | 20  | 川那部浩哉前館長が仏国家勲章受章  | 毎日・読売・京都・中日新聞 |
|    | 20  | 月下美人が白い大輪を開花 布谷知夫環境学習センター長の話  | 中日新聞          |
|    | 21  | COP10から 琵琶湖バスバーガー食べながら対策学習 冒頭、中井克樹主任学芸員が外来種に関する実態を説明                                  | 読売新聞          |
|    | 21  | 琵琶湖保全活動 COP10で紹介 外来魚のバーガー試食、琵琶湖博物館が材料の提供と調理法の指導                                       | 京都新聞          |
|    | 21  | 地球生きもの会議 外来魚バーガーで一考 中井克樹主任学芸員が狙いを説明   | 中日新聞          |
| 22 | 川那部浩哉初代館長が仏勲章受章 / やめて外来魚放流 中井克樹主任学芸員のコメント | 朝日新聞  |               |
| 22 | 山梨県立博物館の検証 琵琶湖博物館の「県民参加型」を参考に             | 山梨日日新聞  |               |
| 23 | [湖岸より]<81> 近江に共通する「墳丘併葬」 用田政晴研究部長         | 中日新聞  |               |
| 24 | COP10参加者 琵琶湖博物館を見学                        | 朝日新聞  |               |
| 24 | COP10 湖国のヨシ群落・琵琶湖博物館視察                    | 京都新聞  |               |
| 24 | 地球生きもの会議 12カ国の参加者 県を訪問 琵琶湖博物館など知事が説明      | 中日新聞  |               |

| 月  | 日                                 | 記事テーマ   | 掲載新聞社名     |
|----|-----------------------------------|---|------------|
| 10 | 26                                | 親子らピワマスの採卵 琵琶湖博物館の見学会   | 毎日新聞       |
|    | 28                                | だんだん茶色に ピンク?キリギリス 琵琶湖博物館に引き渡される                                   | 朝日新聞       |
|    | 28                                | [ここだけの湖の話～琵琶湖博物館の研究室から～]〈2〉 化石が語る環境変化<br>高橋啓一上席総括学芸員              | 毎日新聞       |
|    | 28                                | 「河内の風穴」に新種微小甲殻類 マーク・グライガー上席総括学芸員の話                                | 京都新聞       |
|    | 29                                | 身近な環境を観察 琵琶湖博物館でブルーギルの解剖体験  | 中日新聞       |
|    | 30                                | [湖岸より]〈82〉 ネットワークをつくる国際会議 高橋啓一上席総括学芸員                             | 中日新聞       |
| 11 | 1                                 | 美しいミクロの世界(ヨシ群落) ブライアン・ウィリアム氏の作品に琵琶湖博物館の学芸員の助言                     | 京都新聞       |
|    | 3                                 | [消えゆくタブの木]⑤カワウ被害の竹生島から 県境なき空飛び回る、広域対策足並みそろわず 亀田佳代子専門学芸員の話         | 中日新聞       |
|    | 5                                 | ピンクの婚姻色鮮やか 産卵期のピワマス琵琶湖博物館で展示                                      | 京都新聞       |
|    | 6                                 | [湖岸より]〈83〉 湖底にすむ絶滅危惧の不思議な虫 八尋克郎専門学芸員                              | 中日新聞       |
|    | 6                                 | 身近な環境に関心を 琵琶湖博物館で「びわこ大縁日」開催                                       | 毎日新聞       |
|    | 8                                 | オタマジャクシ 川底「ジャック」 中井克樹主任学芸員の話                                      | 京都新聞       |
|    | 8                                 | 湖沼流域行政や課題などを報告 琵琶湖博物館で国際シンポジウム                                    | 中日新聞       |
|    | 9                                 | 川那部浩哉前館長 県文化賞受賞   | 朝日・京都・中日新聞 |
|    | 11                                | 県文化賞に川那部浩哉前館長   | 読売新聞       |
|    | 11                                | 里山写真選手権 13日に琵琶湖博物館で公開審査   | 毎日新聞       |
|    | 12                                | [遊・You・友]天然記念物「ミヤコタナゴ」展示案内  | 朝日新聞       |
|    | 12                                | ケイソウ模様は法則 数学で「解く」、生物美 琵琶湖博物館「はしかけ・たんさいぼうの会」と大塚泰介、戸田孝両学芸員が発見       | 京都新聞       |
|    | 13                                | 教室が琵琶湖の博物館 琵琶湖博物館が永原小学校に「サテライト博物館」をオープン                           | 毎日新聞       |
|    | 13                                | [湖岸より]〈84〉 鳥の性質生かし保全、対策を 亀田佳代子専門学芸員 / 地球の尊さ感じて 琵琶湖博物館で天体イベント開催    | 中日新聞       |
|    | 18                                | [ここだけの湖の話～琵琶湖博物館の研究室から～]〈3〉 捕食者から卵守る知恵<br>イトコナマズの繁殖戦略 前畑政善上席総括学芸員 | 毎日新聞       |
|    | 19                                | [遊・You・友]小学生のための自然体験クラブ 琵琶湖博物館のバックヤード見学会案内                        | 朝日新聞       |
|    | 20                                | [湖岸より]〈85〉 数式にもある「美しさ」 戸田孝主任学芸員                                   | 中日新聞       |
|    | 22                                | 農業や資源開発改革説く講演会 琵琶湖博物館で開催  | 中日新聞       |
|    | 24                                | 琵琶湖周囲の魚や食文化の研究報告 琵琶湖博物館でシンポジウム開催 川那部浩哉名誉学芸員が講演                    | 京都新聞       |
|    | 26                                | [遊・You・友]公開シンポジウム「琵琶湖を未来につなぐ」開催案内 / 琵琶湖博物館「公共の色彩賞—環境色彩10選」に選ばれる   | 朝日新聞       |
|    | 26                                | [遊覧選]公開シンポジウム「琵琶湖を未来につなぐ」開催案内                                     | 中日新聞       |
|    | 27                                | 公開シンポジウム「琵琶湖を未来につなぐ」 琵琶湖博物館で開催 川那部浩哉前館長が基調講演                      | 毎日新聞       |
|    | 27                                | [湖岸より]〈86〉 遺伝的系統重視し保護増殖 松田征也専門学芸員                                 | 中日新聞       |
|    | 28                                | 琵琶湖博物館で開催の公開シンポジウム「琵琶湖を未来につなぐ」の130人参加<br>川那部浩哉前館長が基調講演            | 朝日新聞       |
|    | 28                                | 琵琶湖の未来論じ合う 公開シンポジウム「琵琶湖を未来につなぐ」 琵琶湖博物館で開催                         | 京都・中日新聞    |
|    | 28                                | [滋賀プラス1]新聞版 催し・講座案内   | 各紙         |
|    | 30                                | 「マキノのメタセコイア」まもり育てる会発足 山川千代美専門学芸員の話 / 堅田の郷土・居初氏紹介 琵琶湖博物館で特別展開催     | 京都新聞       |
| 12 | 2                                 | [ここだけの湖の話～琵琶湖博物館の研究室から～]〈4〉 「オナラ虫」と三井寺の奇縁 八尋克郎専門学芸員               | 毎日新聞       |
|    | 3                                 | [遊・You・友]特別研究セミナー「石狩川におけるアイヌのヤナとエリをめぐる」開催案内                       | 朝日新聞       |
|    | 3                                 | 国産材の魅力知って! 特徴伝える紙芝居を制作、琵琶湖博物館の「びわこ大縁日」で披露                         | 中日新聞       |
|    | 4                                 | [湖岸より]〈87〉 「湖と人間」未来を模索 山川千代美専門学芸員                                 | 中日新聞       |
|    | 6                                 | 身近な環境に関心を 琵琶湖博物館で「大縁日」  | 毎日新聞       |
|    | 10                                | 国内最大級ハラゴロオオテントウ 守山で県内初小3虫博士見つけた 琵琶湖博物館で標本を展示、八尋克郎専門学芸員のコメント       | 読売新聞       |
| 10 | 国内最大級見つけた 県内初ハラゴロオオテントウ 琵琶湖博物館で展示 | 毎日新聞  |            |

| 月  | 日                           | 記事テーマ   | 掲載新聞社名  |        |
|----|-----------------------------|---|---|--------|
| 12 | 10                          | バス天井看板メニュー 琵琶湖博物館内レストラン / 日本最大級のテントウムシ「ハラグロオオテントウ」県内初の発見 琵琶湖博物館で標本を展示 八尋克郎専門学芸員のコメント  | 産経新聞  |        |
|    | 10                          | [凛談◆未来に架けるメッセージ127]自然を創る 文化を創る 滋賀県立琵琶湖博物館館長 篠原徹 / [まちかど]特別研究セミナー「考古資料を用いたアイヌ史研究の方法論と成果展示更新の軌跡」、フォーラム「住民参加型の生物調査とは何だったのかーその成果、意味と課題」開催案内 | 京都新聞  |        |
|    | 11                          | [湖岸より]<88> 水辺の生活の知恵「カワヤ」 楊平学芸技師   | 中日新聞  |        |
|    | 14                          | イメージアップに課題 外来生物各地で食材化 琵琶湖博物館内レストラン「にはほのうみ」では『バス天井』 中井克樹主任学芸員のコメント   | 読売新聞  |        |
|    | 14                          | どうする？福祉、環境 琵琶湖博物館で地域フォーラム   | 中日新聞  |        |
|    | 14                          | 生息域限定の大型テントウムシ 小3 虫博士湖国初確認 八尋克郎専門学芸員のコメント「重要な発見」  | 京都新聞  |        |
|    | 15                          | [全国のギャラリー紹介]近江のふるさと絵屏風と未来予想絵図   | 帝国芸術新聞  |        |
|    | 16                          | 国内最大級+県内未確認のテントウムシ 「虫博士」がを見つけ 琵琶湖博物館で標本公開 八尋克郎専門学芸員のコメント  | 朝日新聞  |        |
|    | 18                          | 湖のある田んぼ生きもの研究会 あす琵琶湖博物館で開催  | 朝日新聞  |        |
|    | 18                          | [湖岸より]<89> 歴史的に奥深い奥琵琶湖 篠原徹館長  | 中日新聞  |        |
|    | 18                          | [湖国の人たち]手仕事の復興今こそ 人のつながり大切に 中藤容子主任学芸員   | 毎日新聞  |        |
|    | 19                          | 琵琶湖博物館で淡水魚類学の学芸員を募集   | 中日新聞  |        |
|    | 19                          | [あの日あの時 時代の証言]琵琶湖博物館開館① 京都や奈良にない文化へ 初代館長 川那部浩哉  | 京都新聞  |        |
|    | 20                          | 記憶の中の湖国絵屏風に 琵琶湖博物館高齢者に聞き書き6点  | 読売新聞  |        |
|    | 20                          | [あの日あの時 時代の証言]琵琶湖博物館開館② 答え示さず議論促す展示 初代館長 川那部浩哉 / 田んぼの生物育成環境探る 琵琶湖博物館で研究発表   | 京都新聞  |        |
|    | 21                          | [あの日あの時 時代の証言]琵琶湖博物館開館③ 来館者の学びお手伝い 初代館長 川那部浩哉 / 冬限定の美しさ ヒウオ琵琶湖博物館で展示  | 京都新聞  |        |
|    | 22                          | [記者たちの2010年]カワウ駆除道半ば 人間との共生模索を 亀田佳代子専門学芸員のコメント  | 中日新聞  |        |
|    | 22                          | [あの日あの時 時代の証言]琵琶湖博物館開館④ 仏協定を機に国際的評価 初代館長 川那部浩哉  | 京都新聞  |        |
|    | 23                          | [ここだけの湖の話～琵琶湖博物館の研究室から～]<5> フナズシ5・6・8月が贈答のピーク 中世でも「子持ち」が人気 橋本道範主任学芸員  | 毎日新聞  |        |
|    | 23                          | 新琵琶湖学セミナー 来月22日から開講 琵琶湖博物館参加者募る   | 京都新聞  |        |
|    | 23                          | [遊・You・友]旬のさかなたち「ヒウオ」展示案内   | 朝日新聞  |        |
|    | 23                          | [あの日あの時 時代の証言]琵琶湖博物館開館⑤ 「湖と人間」ずっと大切に 初代館長 川那部浩哉   | 京都新聞  |        |
|    | 25                          | [湖岸より]<90> 電子辞書に考古学の古典 用田政晴研究部長 / 利用率低い県文化施設過去1年間の県民訪問調査 最大のびわ湖ホールに続き琵琶湖博物館19.8%  | 中日新聞  |        |
|    | 1                           | 1   | 西の湖「賢明な活用」へ 西の湖シンポジウムで篠原徹館長ら学識経験者や活動家らによるパネルディスカッションで熱い議論 | 滋賀報知新聞 |
|    |                             | 2   | 新春インタビュー “琵琶湖を深く理解すること” 篠原徹琵琶湖博物館館長                       | 滋賀民報   |
| 4  |                             | [おうみ再発見]3 湖上に「丸子船」復活の夢、松井光照さん 用田政晴上席総括学芸員のコメント  | 読売新聞  |        |
| 4  |                             | 住民による地域調査学ぶ 琵琶湖博物館で講演会「“生命(いのち)の脈(にぎ)わい”をみんなで調査する方法を考える」開催  | 京都新聞  |        |
| 4  |                             | ふるさとの昔と未来描く 「近江のふるさと絵屏風と未来予想絵図」が琵琶湖博物館で開催   | 中日新聞  |        |
| 6  |                             | 正月遊び調査参加者を募集 琵琶湖博物館   | 読売新聞  |        |
| 6  |                             | [ここだけの湖の話～琵琶湖博物館の研究室から～]<6> 繁殖で緑減る竹生島モノを運ぶ鳥の働き 環境に良しあし 亀田佳代子専門学芸員   | 毎日新聞  |        |
| 7  |                             | [遊・You・友]「ウサギ」展、「生命の脈わい」をみんなで調査する方法を考える開催案内   | 朝日新聞  |        |
| 8  |                             | 「ウサギ」あれこれ集合 化石や鳥、貝も展示 琵琶湖博物館  | 京都新聞  |        |
| 8  |                             | [湖岸より]<91> 街道は野外博物館だ 高橋啓一上席総括学芸員  | 中日新聞  |        |
| 10 | 正月遊び、何をした 琵琶湖博物館で世代間の変遷探る調査 | 京都新聞  |   |        |

| 月  | 日  | 記事テーマ  | 掲載新聞社名            |
|----|--|--|-------------------|
| 1  | 14   | [遊・You・友]新琵琶湖学創造セミナー「湖と人間Ⅲ～これからの関係を考える」開催案内  | 朝日新聞              |
|    | 15   | [湖岸より]<92> 干支にちなんだ「ウサギ展」 八尋克郎専門学芸員   | 中日新聞              |
|    | 15   | [全国のギャラリー紹介]「ウサギ」展   | 帝国芸術新聞            |
|    | 16   | ビワマス稚魚見てね 琵琶博、ふ化直前の卵も展示  | 京都新聞              |
|    | 20   | [ここだけの湖の話～琵琶湖博物館の研究室から～]<7> 人間は生活用品に利用 火山灰 400 万年前から降り続く 里口保文専門学芸員   | 毎日新聞              |
|    | 22   | [湖岸より]<93> 「ウサギに似た」ミミズク 亀田佳代子専門学芸員   | 中日新聞              |
|    | 28   | ちりめんや上布 近江の織物紹介 琵琶湖博物館   | 京都新聞              |
|    | 29   | [湖岸より]<94> 節分と旧暦元日ことは一致 戸田孝主任学芸員   | 中日新聞              |
| 30 | [滋賀プラス1]新聞版 催し・講座案内  | 各紙   |                   |
| 2  | 2  | 地域伝統の布作り紹介 琵琶湖博物館で「近江の糸と織り」展開催   | 中日新聞              |
|    | 3  | [ここだけの湖の話～琵琶湖博物館の研究室から～]<8> ゆらぐ従来の説明 固有種はどこから?鍵は「東海湖」 大塚泰介専門学芸員  | 毎日新聞              |
|    | 5  | [湖岸より]<95> 屋外展示で楽しい世界を 松田征也専門学芸員   | 中日新聞              |
|    | 7  | 湖岸7会場で水鳥観察会 200人がラムサール条約など琵琶湖博物館の職員らから学ぶ   | 読売新聞              |
|    | 8  | [環境]■遡上阻む新たな「壁」、■川の姿、利水、森…、繁殖に改善必要 桑原雅之専門学芸員のコメント  | 京都新聞              |
|    | 11   | [遊・You・友]おばあちゃんの台所で「わらざうり」をつくろう! の案内   | 朝日新聞              |
|    | 12   | [湖岸より]<96> 寒さ忘れ化石掘りに没頭 山川千代美専門学芸員  | 中日新聞              |
|    | 16   | 国立国会図書館長尾さん、19日に琵琶湖博物館で講演会   | 中日新聞              |
|    | 17   | [ここだけの湖の話～琵琶湖博物館の研究室から～]<9> 人の手で生態系激変 姿消すミノムシ中国での実験 飛び火? 榎永一宏主任学芸員   | 毎日新聞              |
|    | 19   | [湖岸より]<97> 中国・太湖と琵琶湖の「家船」 楊平学芸技師   | 中日新聞              |
| 19 | 水晶レプリカ作り 琵琶湖博物館で親子50組が挑戦   | 読売新聞   |                   |
| 26 | [湖岸より]<98> 文化の伝播者 近江商人 篠原徹館長   | 中日新聞   |                   |
| 28 | 琵琶湖の歩み紙芝居で紹介 琵琶湖博物館に登録し、学芸員と研究活動などを行うボランティアグループ「はしかけ」が活動発表会          | 京都新聞   |                   |
| 3  | 1  | 琵琶湖博物館希少淡水魚センターを秋篠宮さまが視察   | 毎日新聞              |
|    | 1  | 琵琶湖博物館淡水魚育成施設を秋篠宮さま視察  | 読売新聞              |
|    | 1  | 秋篠宮さま、琵琶湖博物館で希少種繁殖視察   | 京都新聞              |
|    | 1  | 秋篠宮さま、琵琶湖博物館で希少な淡水魚の飼育現場を視察  | 中日新聞              |
|    | 1  | 琵琶湖博物館の淡水魚飼育センターを秋篠宮さまがご見学   | 産経新聞              |
|    | 3  | [ここだけの湖の話～琵琶湖博物館の研究室から～]<10> 自然と人間の関係探る 環境史今後、研究の中心の一つに 館長 篠原徹さん   | 毎日新聞              |
|    | 3  | 新燃岳噴火 火山灰見て触って、草津琵琶博に展示コーナー  | 京都新聞              |
|    | 3  | 滋賀の食事文化研究会 20周年記念「食事博」   | 毎日新聞 (オー!ミー)      |
|    | 5  | [湖岸より]<99> 人を和ませる近江ことば 用田政晴研究部長 / なれずしや日野菜を紹介 琵琶湖博物館で 地元の食の展示会   | 中日新聞              |
|    | 5  | 琵琶湖博物館で「食事博」 伝統の食材や料理パネルで紹介  | 京都新聞              |
|    | 8  | 世界最小の多細胞生物 イタチムシ4新種?鈴木隆仁特別研究員が発見、コメント  | 京都新聞              |
|    | 10   | 伝えたい!滋賀の郷土料理 滋賀の食事文化研究会事務局堀越昌子さん、琵琶湖博物館で「食事博」開催 期間中、レストラン「におのうみ」と共同企画した「伝統食弁当」を提供 / 琵琶湖博物館わくわく探検隊「くるくるキラキラ☆偏光スコープ」開催案内 | 毎日新聞 (オー!ミー)      |
|    | 11   | [遊・You・友]講演会「これからの川や湖との付き合いを考える」開催案内   | 朝日新聞              |
|    | 12   | [湖岸より]<100> 琵琶湖の価値 再発見を 高橋啓一上席総括学芸員  | 中日新聞              |
|    | 15   | 琵琶湖博物館で新燃岳の火山灰展示 里口保文専門学芸員のコメント  | 読売新聞              |
|    | 16   | 高額美術品眠ったまま 県監査委が琵琶博など調査  | 京都新聞              |
|    | 18   | 湖のギャングが華麗に変身 琵琶湖博物館内レストランにほのうみの「バス天井」の紹介   | 京都新聞 (トマト&テレビ 京都) |
| 18 | 美術工芸品 10年以上展示なし 県の監査で指摘 「保管も役目」琵琶湖博物館のコメント                           | 毎日新聞   |                   |
| 19 | [湖岸より]<101> 少年が県内初の発見 八尋克郎専門学芸員                                      | 中日新聞   |                   |
| 24 | [ここだけの湖の話～琵琶湖博物館の研究室から～]<11> 卵食いの主役 外来種に琵琶湖の主、ビワコオオナマズの敵 前畑政善上席総括学芸員 | 毎日新聞   |                   |

| 月 | 日  | 記事テーマ   | 掲載新聞社名 |
|---|----|---|--------|
| 3 | 26 | 環境、さらに配慮湖上交通新時代 琵琶湖博物館に展示されている丸子船（写真資料提供）、用田政晴研究部長のコメント | 京都新聞   |
|   | 27 | [湖岸より] <102> 人のつながり、温かさ実感 亀田佳代子専門学芸員                    | 中日新聞   |
|   | 27 | [滋賀プラス1]新聞版 催し・講座案内                                     | 各紙     |

### (3) 広告掲載一覧 (有料分)

| 掲載時期             | 掲載誌                                    | サイズ      | スペース         | 地域              | 発行部数      |
|------------------|--|----------|--------------|-----------------|-----------|
| 4月               | るるぶナビ<br>「関西・中国四国ドライブ」                 | A4変形     | 1/6          | 関西・中国・四国・北陸     | 5万5千部     |
| 4月～<br>2011年3月   | るるぶ.com                                |          | 滋賀トップ        | 全国              | 総PV800万/月 |
| 4月20日～<br>5月20日  | モダンタイムス                                | B4タブロイド版 | 12.5cm×7.5cm | 関西地域            | 6～8万部     |
| 6月20日            | 夏休みファミリーレジャーガイド～名古屋東海版                 | A4変形     | 1/4          | 東海地域            | 20万部      |
| 6月下旬             | 関西ファミリーウォーカー                           | A4       | 1/4          | 関西地域            | 5万部       |
| 6月               | るるぶ こどもとあそぼ！<br>夏休み（るるぶ.comとYahoo!に連動） | AB       | 1/3          | 首都圏             | 10万部      |
| 7月下旬             | 関西修学旅行・レク情報                            | AB       | 1P           | 近畿の小中高および全国の学校等 | 5万部       |
| 8月中旬             | 関東レク情報・秋号                              | AB       | 1P           | 関東の小中高および全国の学校等 | 5万部       |
| 6月20日～<br>8月20日  | Gocli（ゴクリ）                             | B4タブロイド版 | 12.5cm×5.5cm | 関西地域            | 6～8万部＋増刷  |
| 7月15日            | ぴあ関西版別冊<br>「関西花火大会特集」                  | A4変形     | 1P（裏表紙）      | 関西地域            | 4万5千部     |
| 10月～<br>2011年3月  | るるぶ特別編集号<br>「京都・奈良・びわ湖」                | AB       | 1/6          | 全国              | 15万2千部    |
| 7月31日～<br>8月30日  | C・Work<br>（大阪市営地下鉄情報誌）                 | B5       | 1/4          | 大阪市営地下鉄全駅       | 151,600部  |
| 9月30日～<br>10月30日 | クラブナゴヤ<br>（名古屋市地下鉄情報誌）                 | A4       | 60cm×45cm    | 名古屋市地下鉄全駅       | 30万部      |
| 2011年1月～12月      | るるぶ 近江びわ湖滋賀                            | AB       | 1/6          | 全国              | 11万7千部    |

(4) 雑誌等掲載記録

| 月 | 記事テーマ  | 掲載雑誌社名  |
|---|--|---|
| 4 | 琵琶湖博物館のギャラリー展示案内 / 催し物案内<br>琵琶湖博物館のギャラリー展示案内<br>県博協研修会の概要報告 琵琶湖博物館 老学芸員<br>琵琶湖博物館のギャラリー展示案内 / 催し物案内<br>水族館へ行ってみよう 減りつつある琵琶湖の魚たち 琵琶湖博物館の紹介<br>琵琶湖博物館の催し物案内<br>琵琶湖博物館の紹介<br>人と自然、環境を学ぶ 琵琶湖博物館の紹介<br>レジャー施設入込みデータ (2009.10~2010.1)<br>琵琶湖博物館の催し物案内<br>博物館だけじゃない、生きた淡水魚もいっぱい！琵琶湖博物館の紹介<br>琵琶湖博物館の紹介<br>琵琶湖博物館の紹介   | 博物館研究 4月号<br>子供の科学 4月号<br>しが 県博協だより 第22号<br>れいかる<春号>(湖国文化情報) vol.56<br>ナショナルジオグラフィック日本版4月号<br><br>にゅーすもりやま No.492<br>2010 観光便覧(京都・滋賀・奈良・大阪)<br>中部の産業観光体験ガイド<br>エンターメントビジネス 4月号 別冊<br>ばどナビマガジン vol.026<br>まっぷる 家族でおでかけ日帰り京阪神<br>水族館ぴあ ハンディ BOOK(全国版)<br>ゆこゆこ 4・5月号 関西版   |
| 5 | 琵琶湖博物館の催し物案内<br><br>琵琶湖博物館のギャラリー展示案内<br>琵琶湖博物館の紹介<br><br>琵琶湖博物館の紹介<br>琵琶湖博物館の紹介 / ギャラリー展示案内<br>琵琶湖博物館を視察研修   | 滋賀プラス1(県広報誌) 5・6月号<br>vol.125<br>子供の科学 5月号<br>びわこ周辺観光MAP(三井アウトレットパーク滋賀竜王)<br>Leaf 通巻176号<br>関西ファミリーWalker 5月号<br>京博連 だより Vol.46   |
| 6 | 琵琶湖博物館のギャラリー展示案内<br>琵琶湖博物館のギャラリー展示案内<br>琵琶湖博物館のギャラリー展示案内<br>琵琶湖博物館の企画展示案内 / 催し物案内<br>琵琶湖博物館の企画展示案内 / 催し物案内<br>琵琶湖博物館の催し物案内<br>琵琶湖博物館の催し物案内<br>伊吹山の植物観察 草加主任学芸員の話<br>琵琶湖博物館の催し物案内   | 博物館研究 6月号<br>子供の科学 6月号<br>日経サイエンス 6月号<br>れいかる(湖国文化情報)6月号 vol.57<br>広報くさつ No.1022<br>大人組 kansai 6月号<br>びいめーる vol.74<br>リビング滋賀 1313号<br>にゅーすもりやま No.497   |
| 7 | 琵琶湖博物館の催し物案内 / うおーたんのドキドキ調査隊 大塚泰介専門学芸員の話<br>琵琶湖博物館の企画展示・水族企画展示案内<br>琵琶湖博物館のギャラリー展示案内<br>琵琶湖博物館の催し物案内<br>琵琶湖博物館の紹介<br><br>琵琶湖博物館の紹介<br>琵琶湖博物館の水族企画展示紹介<br>琵琶湖博物館の紹介<br><br>琵琶湖博物館の企画展示紹介<br>カイクツ☆ゼットが行く！で琵琶湖博物館の紹介<br>自由研究 NAVI 琵琶湖博物館の紹介<br><br>篠原徹琵琶湖博物館長が近江の俳句について語る<br>琵琶湖博物館の催し物案内<br>学びの施設スポット情報!! 琵琶湖博物館の紹介<br><br>夏休みポケモンスタンプラリー2010 学びの施設スポットとして琵琶湖博物館の紹介<br>日帰りで行ける避暑地として琵琶湖博物館紹介 | 滋賀プラス1(県広報誌) 7・8月号<br>vol.126<br>博物館研究 7月号<br>子供の科学 7月号<br>しがこども体験学校<br>びわこ周遊観光MAP<br>(三井アウトレットパーク滋賀竜王)<br>伊丹友の会 SUMMER 第40号<br>フィッシュマガジン 7月号<br>湖都時(大津プリンスホテル周辺散策ナビ)<br>SUMMER<br>電車&ウォーク<br>ZTV 番組ガイド(7/29~8/1)<br>Honda まっぷる 近畿・中四国版 夏<br>vol.14<br>鄙美(ひなび) vol.1<br>自然保護 No.516 7・8月号<br>ポケモンスタンプラリー(7/17~8/31) 夏<br>休み<br>リビング 1318号<br><br>いずみ No.366 7・8月号 |

| 月  | 記事テーマ  | 掲載雑誌社名  |
|----|--|---|
| 8  | 琵琶湖博物館の企画展示・水族企画展示案内<br>琵琶湖博物館の企画展示案内<br>琵琶湖博物館の企画展示案内 / 催し物案内<br>琵琶湖博物館ホールで滋賀県芸術文化際オープニング事業開催案内<br>琵琶湖博物館ホールでよし笛コンサート開催案内<br>夏休みの宿題もうできた？琵琶湖博物館の催し物案内   | 博物館研究 8月号<br>子供の科学 8月号<br>れいかる (湖国文化情報) 8月号 vol. 58<br>びいめーる vol. 75<br>リビング滋賀 1319号 盛夏号<br>リビング滋賀 1320号  |
| 9  | 琵琶湖博物館の企画展示案内<br>琵琶湖博物館の企画展示案内<br>琵琶湖博物館の企画展示紹介<br>琵琶湖博物館の紹介<br>琵琶湖博物館の特別講演会案内<br>琵琶湖博物館の催し物案内<br>琵琶湖博物館の企画展示案内<br>琵琶湖博物館の催し物案内  | 博物館研究 9月号<br>子供の科学 9月号<br>電車&ウォーク<br>JR 西日本 車内つり下げ広告<br>にゅーすもりやま No. 501<br>ばどnavi vol. 031 9月号<br>全科協ニュース vol. 40 No. 5<br>近江の歴史見聞学  |
| 10 | 琵琶湖博物館の企画展示案内<br>琵琶湖博物館の企画展示案内<br>琵琶湖博物館の企画展示案内<br>琵琶湖博物館の企画展示案内 / 催し物案内<br>琵琶湖を遊ぶ 琵琶湖博物館の紹介 篠原徹館長の話<br>琵琶湖水中雑談 「湖底を歩く？」 用田政晴 上席総括学芸員<br>琵琶湖博物館の企画展示紹介<br>レジャー・集客施設 2010年夏の動向レポート<br><br>琵琶湖博物館のレストラン紹介<br>琵琶湖博物館の催し物案内<br>琵琶湖博物館の催し物案内 / 特別講演会案内<br>琵琶湖博物館の紹介 | 博物館研究 10月号<br>子供の科学 10月号<br>日経サイエンス 10月号<br>れいかる (湖国文化情報) 10月号 vol. 59<br>大人組 kansai 10月号<br>おりづる 第76号<br>電車&ウォーク<br>エンターテインメントビジネス autumn<br>No. 28<br>SPA! スパ (10月26日号)<br>ばどnavi vol. 032 10月号<br>びいめーる vol. 76<br>くれよん (月刊生活タウン情報誌 vol. 124 |
| 11 | 琵琶湖博物館の催し物案内<br><br>琵琶湖博物館の企画展示案内<br>琵琶湖博物館の企画展示案内<br>琵琶湖博物館の紹介<br>琵琶湖博物館の紹介<br>神秘の水槽 琵琶湖博物館<br>琵琶湖博物館のオサムシに関する活動と研究調査報告書と本の紹介<br>琵琶湖博物館の催し物案内<br>琵琶湖博物館への研修旅行の紹介<br>琵琶湖博物館の特別講演会案内<br>琵琶湖博物館の来館時の感想<br>琵琶湖博物館の催し物案内   | 滋賀プラス1 (県広報誌) 11・12月号<br>vol. 128<br>博物館研究 11月号<br>子供の科学 11月号<br>ピースマム滋賀 (別冊保存版)<br>じゃらん (関西・中国・四国) 11月号<br>週刊新潮<br>月間むし No. 477 11月号<br>でんごんぼん準備号<br>茶道資料館友の会会報 12号<br>にゅーすもりやま No. 506<br>らぶパチ 11月号<br>自然保護 No. 518 11・12月号                   |
| 12 | 琵琶湖博物館の企画展示案内 / 催し物案内<br>琵琶湖博物館のギャラリー展示案内<br>琵琶湖博物館の企画展示案内<br>琵琶湖博物館の催し物案内<br>琵琶湖博物館の催し物案内<br>琵琶湖博物館の紹介<br>琵琶湖博物館の催し物案内 / 特別講演会案内  | れいかる (湖国文化情報) 12月号 vol. 60<br>博物館研究 12月号<br>子供の科学 12月号<br>にゅーすもりやま No. 507<br>滋賀リビング<br>Hotori vol. 2 (創刊準備号)<br>びいめーる vol. 77  |
| 1  | 琵琶湖博物館のギャラリー展示案内 / 特別講演会案内 / 催し物案内<br>琵琶湖博物館のギャラリー展示案内 / 新琵琶湖学創造セミナー案内<br><br>琵琶湖博物館のギャラリー展示案内<br>琵琶湖博物館のギャラリー展示案内<br>琵琶湖博物館の企画展示案内  | 滋賀プラス1 (県広報誌) 1・2月号<br>vol. 129<br>博物館研究 1月号<br><br>子供の科学 1月号<br>日経サイエンス 1月号<br>全科協ニュース vol. 41 No. 1   |

| 月 | 記事テーマ  | 掲載雑誌社名   |
|---|--|--|
| 1 | <p>おでかけ情報 琵琶湖博物館の紹介<br/>         琵琶湖博物館の催し物案内<br/>         琵琶湖博物館の紹介<br/>         琵琶湖博物館の紹介<br/>         琵琶湖博物館の紹介</p> <p>琵琶湖博物館の催し物案内<br/>         琵琶湖博物館の紹介<br/>         琵琶湖博物館の紹介</p>   | <p>(草津・守山・栗東市) タウンガイド<br/>         でんごんぼん 1号<br/>         旅鶴 春号<br/>         世界 (no. 812)<br/>         SELECTED 100 MUSEUMS IN JAPAN<br/>         (日本の博物館紹介 (英文版))<br/>         自然保護 No. 519 1・2月号<br/>         全国観光・運輸 2011年版総合カタログ<br/>         湖南地域! ええとこクイズラリー</p> |
| 2 | <p>琵琶湖博物館の催し物案内<br/>         新琵琶湖学創造セミナー案内 / ギャラリー展示の案内<br/>         琵琶湖博物館の催し物案内<br/>         琵琶湖博物館の催し物案内<br/>         琵琶湖博物館の紹介<br/>         琵琶湖博物館の催し物案内</p>   | <p>子供の科学 2月号<br/>         博物館研究 2月号<br/>         れいかる (湖国文化情報) 2月号 vol. 61<br/>         びいめーる vol. 78<br/>         出光カードニュース 2月<br/>         チェキポン Vol. 48</p>   |
| 3 | <p>琵琶湖博物館の特別講演会案内 / 新琵琶湖学創造セミナーの案内<br/>         / 催し物案内<br/>         新琵琶湖学創造セミナー案内 / ギャラリー展示の案内 / 特別講演会案内<br/>         ギャラリー展示の案内 / 特別講演会案内<br/>         ギャラリー展示の案内<br/>         魚のゆりかご水田 碓登志之主任主査の話 / 琵琶湖博物館の催し物案内<br/>         琵琶湖博物館の催し物案内<br/>         レジャー・集客施設 2010年春の動向レポート</p> | <p>滋賀プラス1 (県広報誌) 3・4月号<br/>         vol. 130<br/>         博物館研究 2月号</p> <p>でんごんぼん 2号<br/>         リビング滋賀 3/5号<br/>         自然保護 No. 520 3・4月号</p> <p>にゅーすもりやま No. 513<br/>         エンターテインメントビジネス spring<br/>         No. 29</p>                                       |

## (5) テレビ放映・ラジオ放送記録

| 放送日 | 番組名      | 内 容                    | 媒 体                                  | 担当者                |                    |
|-----|----------|------------------------|--------------------------------------|--------------------|--------------------|
| 4   | 2        | 滋賀プラスワンインフォメーション       | ギャラリー展示「鉱物・化石展 2010」                 | FM 滋賀              | 里口専門学芸員            |
| 4   | 22       | おうみ発 610<br>週刊ガッコウ通信   | ギャラリー展「鉱物・化石展 2010」を展示している堅田高校理科部の紹介 | NHK 大津             | 里口専門学芸員            |
| 4   | 27       | よみこ部                   | 琵琶湖の生物調査                             | 毎日放送               | 桑原専門学芸員            |
| 5   | 4        | よみこ部                   | 琵琶湖の生物調査                             | 毎日放送               | 桑原専門学芸員            |
| 5   | 6        | おうみ発 610               | 逆巻きキセルガイ                             | NHK 大津             | 松田専門学芸員            |
| 4   | 27       | おうみ発 610               | 流域連携企画「守ろう！琵琶湖淀川水系の魚たち」              | NHK 大津             | 松田専門学芸員            |
| 5   | 8        | ニュース関西                 | たんぼぼ調査                               | NHK 大津             |                    |
| 5   | 18       | よみこ部                   | 琵琶湖の生物調査                             | 毎日放送               | 桑原専門学芸員            |
| 5   | 25       | よみこ部                   | 琵琶湖の生物調査                             | 毎日放送               | 桑原専門学芸員            |
| 6   | 29       | おうみ発 610               | 固有種 15 種類 写真資料提供                     | NHK 大津             | 榎永主任学芸員            |
| 7   |          | River Monsters         | ビワコオオナマズ                             | アニマルプラネット TV(イギリス) | 榎永主任学芸員            |
| 7   | 3        | 滋賀プラスワン 琵琶湖再生          | C 展示室 (富江家)                          | びわ湖放送              | 榎永主任学芸員            |
| 7   | 6        | よみこ部                   | 琵琶湖での生物調査 ビワコオオナマズ                   | 毎日放送               | 桑原専門学芸員            |
| 7   | 10       | 週刊プラスワン 生物多様性って何？      | オオクチバス、ブルーギル、タンポポ                    | びわ湖放送              | 布谷名誉学芸員<br>中井主任学芸員 |
| 7   | 13       | よみこ部                   | 琵琶湖での生物調査 ビワコオオナマズ                   | 毎日放送               | 桑原専門学芸員            |
| 7   | 13       | こどもニュース                | 琵琶湖博物館の紹介                            | ZTV 滋賀             | 榎永主任学芸員            |
| 7   | 18       | 真相報道バンキシャ              | バス井                                  | 日本テレビ              | 榎永主任学芸員            |
| 7   | 21       | ぬのたに博士のおもしろクイズ         | 子ども向け夏休みの特別番組                        | ケーブルテレビ            | 布谷名誉学芸員            |
| 7   | 27       | おうみ発 610<br>びわ湖クローズアップ | 知られざる‘湖底の世界’                         | NHK 大津             | 芳賀専門学芸員            |
| 7   | 27       | おうみ発 610 QP ハートプラザ     | 生き物のにぎわいをよし笛で                        | NHK 大津             | 八尋専門学芸員            |
| 7   | 27       | よみこ部                   | ビワコオオナマズ                             | 毎日放送               | 中井主任学芸員            |
| 7   | 29       | カイクツ☆ゼットが行く！           | 施設見学                                 | ZTV 滋賀             | 榎永主任学芸員            |
| 8   | 1        |                        |                                      |                    |                    |
| 8   | 5        | 1 億人の大質問！？わらってコラえて！    | バスパーガー紹介                             | 日本テレビ              | 榎永主任学芸員            |
| 8   | 6        | 滋賀プラスワンインフォメーション       | 企画展示「湖底探検」                           | FM 滋賀              | 芳賀専門学芸員            |
| 8   | 10       | おうみ発 610               | 企画展示「湖底探検」                           | びわ湖放送              | 戸田主任学芸員            |
| 8   | 11       | 魁！音楽番付 Eight           | TM 西川さん食事 (バス井)                      | フジテレビ (関東ローカル)     | 楠総務課長              |
| 8   | 15<br>31 | 三関王                    | 水族展示                                 | ケーブルテレビ            | 秋山専門学芸員            |
| 8   | 20       | ニュースワイドキャッチ            | 夏休みの質問コーナーの利用について、ディスカバリールーム         | びわ湖放送              | 高橋上席総括学芸員          |
| 8   | 21       | エコスタイル                 | ハリヨの撮影                               | びわ湖放送              | 榎永主任学芸員            |
| 9   | 20       | おでかけ MAP               | 施設見学                                 | ZTV 滋賀             | 榎永主任学芸員            |

| 放送日 | 番組名 | 内容                              | 媒体                             | 担当者                |                    |
|-----|-----|---------------------------------|--------------------------------|--------------------|--------------------|
| 10  |     | 走遍亜洲（アジア探訪）                     | 滋賀県を含む中部圏の観光地・施設を紹介            | CCTV（中華人民共和国 国営放送） | 楊学芸技師              |
| 10  | 11  | サイエンスニュース                       | 企画展示「湖底探検」<br>水族展示             | ネット配信              | 芳賀専門学芸員<br>磯田主任技師  |
| 10  | 11  | NHK 環境特集番組<br>「SAVE THE FUTURE」 | ビワコオオナマズの撮影                    | NHK                | 榊永主任学芸員            |
| 12  | 3   | ぐるっと関西おひるまえ                     | びわこ大緑日                         | NHK 大阪             | 加藤主幹               |
| 12  | 7   | おうみ発 610<br>映像スケッチ              | 琵琶湖の水鳥                         | NHK 大津             | 亀田専門学芸員            |
| 12  | 10  | 社会教育情報番組<br>社研の窓                | 地域をつくる学び～琵琶湖博物館「人ネットワーク事業」～    | ネット配信              | 桑原専門学芸員<br>大塚専門学芸員 |
| 12  | 17  | 滋賀プラスワンインフォメーション                | ギャラリー展示「近江のふるさと<br>絵屏風と未来予想絵図」 | FM 滋賀              | 中藤主任学芸員            |
| 12  | 20  | カイケツ☆ゼットが行く！                    | 年末ダイジェスト<br>（過去の放送の再放送）        | ZTV 滋賀             | 榊永主任学芸員            |
| 12  | 30  | いきなり！黄金伝説                       | 黄色いビワコオオナマズ 写真資料提供             | テレビ朝日              | 榊永主任学芸員            |
| 1   |     | BS 特番                           | 琵琶湖における外来種による生態と影響             | BS Japan           | 中井主任学芸員            |
| 1   |     |                                 | フナズシの取材でニゴロブナの撮影               | 中国放送               | 榊永主任学芸員            |
| 1   | 9   | ロックバンド UVER world の見た夢          |                                | NHK 総合             | 八尋専門学芸員            |
| 2   | 4   | 滋賀プラスワンインフォメーション                | ギャラリー展示「温故知新・近江の糸と織り」          | FM 滋賀              | 中藤主任学芸員            |
| 2   | 12  | 県政プラスワン                         | 新空間の CCFL 照明                   | びわ湖放送              | 佐藤副主幹              |
| 2   | 15  | おうみ発 610<br>びわ湖クローズアップ          | 淡水魚の食文化を探る                     | NHK 大津             | 橋本主任学芸員            |
| 2   |     | 「淀川水系」特番 『水の街道』                 | 琵琶湖の固有種<br>幻の魚「ビワマス・サツキマス」     | k-cat eo 光テレビ      | 松田専門学芸員            |
| 2   | 17  | おはよう朝日                          | カイツブリ 写真資料提供                   | 朝日放送               | 榊永主任学芸員            |
| 2   | 18  | 滋賀プラスワンインフォメーション                | 特別講演会「電子書籍のこれから」               | FM 滋賀              | 中井主任学芸員            |
| 2   | 20  | 4d（よん de）                       | 家族 de おでかけ DATA                | 毎日放送               | 榊永主任学芸員            |
| 3   | 1   | おうみ発 610 QP ハートプラザ              | 食事博                            | NHK 大津             |                    |
| 3   | 5   | 手話タイム・プラスワン                     | ギャラリー展示「食事博」                   | びわ湖放送              | 榊永主任学芸員            |
| 3   | 13  | 週刊プラスワン<br>食は文化だ！①              | ギャラリー展示「食事博」<br>近江の風土が生んだ伝統料理  | びわ湖放送              |                    |
| 3   | 19  | 週刊プラスワン<br>食は文化だ！②              | ギャラリー展示「食事博」<br>未来へつなぐ近江の食文化   | びわ湖放送              |                    |

(6) 予算

2010 年度歳入状況 (円)

| 科 目      | 決 算 額       |
|----------|-------------|
| 使用料及び手数料 | 136,220,762 |
| 財 産 収 入  | 716,960     |
| 諸 収 入    | 22,967,637  |
| 合 計      | 159,905,359 |

2010 年度歳出状況 (円)

| 事 業 名     | 事 業 内 容                                   | 決 算 額       |
|-----------|---|-------------|
| 管理運営費     | 施設維持費、烏丸半島整備費、事務費                         | 302,386,253 |
| 調査資料収集事業費 | 研究費、研究備品、資料収集製作、資料整理保管、<br>水族飼育           | 123,228,904 |
| 展示事業費     | 企画展示、常設展示、展示維持管理、展示用印刷物                   | 88,303,027  |
| 情報交流事業費   | 情報システム管理、データ入力、図書整備、交流事業開催、<br>フィールドレポーター | 29,984,140  |
| 環境学習推進費   | 環境学習センターの運営                               | 5,125,183   |
|           | 合 計                                       | 549,027,507 |

## 4 存在基盤の確立

### (1) 琵琶湖博物館協議会

#### 第1回

- 開催日時 2010年6月3日（木） 13:30～16:00  
 場 所 琵琶湖博物館セミナー室  
 議 題 ①琵琶湖博物館の運営状況について  
 ②中長期基本計画2010年度行動計画について

#### 第2回

- 開催日時 2011年3月15日（火） 13:30～16:00  
 場 所 琵琶湖博物館セミナー室  
 議 題 ①会長・副会長の選出について  
 ②琵琶湖博物館の運営状況について  
 ③中長期基本計画第三段階活動計画（案）ならびに2010年度行動計画の実績・評価および2011年度行動計画（案）について

#### 第7期委員

（任期：2008年9月1日～2010年8月31日）

| 氏 名              | 区分   | 現 職（2010年3月現在）                    |
|------------------|------|-----------------------------------|
| 野村 喜代子           | 学校教育 | 草津市立志津小学校 校長                      |
| 河上 哲昭            | 学校教育 | 守山市立明富中学校 校長                      |
| 津屋 結唱子           | 社会教育 | しが文化芸術学習支援センター トータルコーディネーター       |
| 青木 繁             | 社会教育 | (有)グリーンウォーカークラブ・ネイチャーガイド 研究所代表取締役 |
| 伴 修平             | 学識者  | 滋賀県立大学環境科学部 教授                    |
| 西 源二郎            | 学識者  | 東海大学海洋科学博物館館長                     |
| 村井 良子            | 学識者  | (有)プランニング・ラボ代表取締役                 |
| 森田 輝夫            | 学識者  | 時事通信社大津支局長                        |
| 筒井 のり子           | 学識者  | 龍谷大学社会学部地域福祉学科 教授                 |
| 伊達 仁美            | 学識者  | 京都造形芸術大学芸術学部 准教授                  |
| 木上 秀保            | 学識者  | 滋賀県脊髄損傷者協会 副会長                    |
| りゅう<br>劉 えい<br>顥 | 学識者  | 翻訳者・中国語講師                         |
| 中村 恵子            | 学識者  | 公募委員                              |
| 坂田 久子            | 学識者  | 公募委員                              |

#### 第8期委員

（任期：2010年9月1日～2012年8月31日）

| 氏 名    | 区分   | 現 職（2011年3月現在）                    |
|--------|------|-----------------------------------|
| 大川 すみ子 | 学校教育 | 草津市立草津第二小学校 校長                    |
| 河上 哲昭  | 学校教育 | 守山市立明富中学校 校長                      |
| 津屋 結唱子 | 社会教育 | しが文化芸術学習支援センター トータルコーディネーター       |
| 青木 繁   | 社会教育 | (有)グリーンウォーカークラブ・ネイチャーガイド 研究所代表取締役 |
| 伴 修平   | 学識者  | 滋賀県立大学環境科学部 教授                    |
| 西川 輝昭  | 学識者  | 東邦大学理学部 教授                        |

| 氏 名    | 区分  | 現 職 (2011年3月現在)          |
|--------|-----|--------------------------|
| 西 源二郎  | 学識者 | 東海大学海洋学部 非常勤講師           |
| 村井 良子  | 学識者 | (有)プランニング・ラボ代表取締役        |
| 松江 仁   | 学識者 | 京都放送 (KBS京都) 滋賀支社長       |
| 沢田 康彦  | 学識者 | パナソニック (株) ホームプライアンス社 参事 |
| 筒井 のり子 | 学識者 | 龍谷大学社会学部 教授              |
| 伊達 仁美  | 学識者 | 京都造形芸術大学芸術学部 教授          |
| 山本 尚三郎 | 学識者 | 滋賀県脊髄損傷者協会 副理事長          |
| 吉井 隆   | 学識者 | 公募委員                     |
| 長束 すが子 | 学識者 | 公募委員                     |

## (2) 企画・計画

### 1) 第二段階 (2006 年度～2010 年度) 活動計画

2002 年12 月に策定した琵琶湖博物館中長期目標『地域だれでも・どこでも博物館』の実現をめざし、博物館の運営方針としての具体的な取り組み方策および必要な環境の整備について明らかにするため、2005年3月に琵琶湖博物館中長期基本計画が策定された。2010 年度は計画の第二段階の最終年度であることから、第二段階の活動の評価と今後の課題を踏まえて第三段階 (2011 年度～2015 年度) の活動計画を策定した。また、第二段階における2010年度の行動計画の実績・評価および第三段階における2011年度の行動計画を作成した。今後は第三段階に沿った活動の推進が必要である。

### 2) 琵琶湖博物館広報・経営戦略

「琵琶湖博物館広報・経営戦略」および「2010 年度行動計画」に基づき、広報・経営戦略会議を6回開催し、3T戦略 (Timely、Target、Tell/Talk (クチコミ)) による効果的な広報活動を行った。具体的には、広報用チラシ、ポスターの作成・配布、インターネットホームページによる情報発信、広報担当職員による県内外小中学校訪問活動、ホテル・旅館・観光案内所等への広報、報道機関への資料提供を実施した。旅行雑誌等への有料広告は、ターゲットを琵琶湖・淀川流域と名古屋・東海地域の家族連れ等に主眼を置き、ゴールデンウィークと夏休みを中心に旅行雑誌を利用した広報宣伝活動を実施した。びわこビジターズビューローと連携し、中国をはじめとする外国の環境・観光キーパーソンを招待したりするなど誘客につながる企画に積極的に参加した。「イナズマロックフェスティバル」などイベントへの出展や、イオンモール草津など大型集客施設で紹介展示を行うなど、琵琶湖博物館のPRを行った。さらに、博物館の研究成果や事業の実施案内などについて県政記者への資料提供など経費のかからない広報活動に努めた。来年度は、2011 年度の行動計画を策定するとともに、より効果的な広報手段を検討し、一般来館者を確保していく必要がある。

## Ⅲ 2010年度をふり返って

### 1 研究部

琵琶湖博物館中長期基本計画では、琵琶湖博物館ならではの学際的・地域的研究の確立をはかることを研究の柱としてきた。特に、一昨年度から琵琶湖博物館が行う研究課題の内容、位置づけ、方法等の指針作成を作成し、学芸職員全員の科学研究費申請も目標に掲げてきた。

前者は、「琵琶湖博物館が当面行うべき研究の方向性」としてとりまとめ、主に研究の領域、研究の体制、県の施策との関係、琵琶湖博物館での研究機能の4つの視点から検討を行い、さらに具体的な類例や方策、内容についての具体的検討を行い、「【参考】琵琶湖博物館が当面行うべき研究の方向性（補足）」をとりまとめたところである。

また、後者の科学研究費については、都道府県立の博物館としては件数・金額とも2010年度は全国トップとなった。申請書類の内容精査を研究部が中心になって徹底的に行った結果であるが、一方で科研費の経理事務体制が未整備で実態に追いついていない。事務部局を含めた体制の整備が望まれるところである。

今後とも全員申請と採択率の向上という目標に向かって行く必要があるが、ある程度の科研費が得られるようになった現在、採択率は当然のように高くはならない中、科研費申請は研究を本務とする学芸職員の義務という位置づけは継続していきたい。

研究の発信は、途中集計ではあるが学術論文19件、専門分野の著述44件、一般向けの著述38件、学会発表は60件であり、学術論文は前年を数では下回った。こうした論文等による研究成果の発信数には、依然として個人差があるが、少なくとも研究成果の公表や活用はあらゆる媒体や方法を使って行っていきたいし、一昨年から継続している中日新聞連載コラム『湖岸より』や2010年度後半からはじめた毎日新聞連載コラム「ここだけの湖の話」などは、研究の成果をわかりやすく一般の方に伝えるまたとない機会であり、今後ともその充実を図っていきたい。

また、本年度は、一昨年度の新琵琶湖学入門セミナー、昨年度の新琵琶湖学専門セミナーに続き、新琵琶湖学創造セミナーと題したやや専門的な一般向けの講座を開催した。博物館の閑散期にあたる1月から3月まで計6日間にわたって、内部・外部の講師による12本の発表を行う講座で、毎回多くの聴衆を集めるなど好評であった。今後、こうした人々が琵琶湖博物館を支える基礎単位となっていくと考えられ、「地域だれでも・どこでも博物館」を実現するためにも引き続き今後の研究成果公表等の企画が望まれる。

### 2 事業部

#### (1) 展示

第18回企画展示「湖底探検－琵琶湖の底はどんな世界－」（7月17日～11月23日）の入場者数は54,013人（入り口カウント）で、過去10年間の企画展の平均的な入場者数となった。夏休み中は長時間滞在する小学生連れの親子が多数見られ、自由研究の課題として人気があった。一方、未就学児童を連れた親子には敬遠されたようで、これが前年度の企画展より入場者数が少ない原因となったと考えられる。本企画展の開催にあたっては、滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、滋賀県水産試験場が共催となり研究成果や資料など多方面での協力をいただいた。このような研究機関の連携は、展示で取り上げる内容の幅や深さを広げる上で、今後も重要視していく方針である。

今年度のギャラリー展は、企画展示室で行われた5件のすべてに地域の団体が主催者として参加した。また、水族ギャラリー展は琵琶湖・淀川水系流域の博物館など複数の機関が協力して開催した。前述のように、企画展も複数の機関の協力をいただいております、さまざまな人々・機関との連携が、2010年度の企画展やギャラリー展の特徴だったといえる。

展示交流員については国の緊急雇用対策で A 展示室のコレクションギャラリーと C 展示室の回転実験室、WWF・ブリジストンからいただいた寄付で水族展示のふれあい体験室を運営できた。これらの体験コーナーはいずれも当館の人気コーナーである。ただし、今後の県の新たな財政構造改革プログラム次第ではこれらのコーナーは再び閉鎖を余儀なくされる可能性があり、いかにしてサービスを維持していくかは今後の大きな検討課題である。

## (2) 資料の整備・活用

2010年度は、昨年度に引き続き県の財政構造改革プログラムと中長期基本計画に沿って、低経費の収蔵環境整備と資料の活用推進につとめた。その一方で、国による緊急雇用対策の一環として、別途作業人数を増やし、未整理資料の整理、登録・情報公開化にむけての作業を行なった。新規に資料の受入を制限している状態ではあるが、古琵琶湖層群産化石コレクション約 8,500 点や学術専門図書約 290 点などの寄贈資料があり、貴重な資料が収蔵され資料の充実が図れた。

収蔵庫環境については、空調設備の更新工事（冷温水配管の付け替え）に伴い、トラックヤード周辺での機材および工事員の出入りが頻繁にあり、収蔵空間としての環境維持が困難であった。さらに、建物および換気設備の老朽化による結露の流れ漏れや地下排水槽からの逆流による廊下浸水等、収蔵庫空間内でのトラブルが相次いだ。

こういったことから、収蔵環境の整備としては、カビ防御のため、収蔵庫内だけでなく廊下にも扇風機や除湿器を設置し、外気の遮断など空気環境の改善を行った。害虫に関しては、トラックヤード周辺の清掃実施や、大型シャッター下部への隙間テープの貼り付けなどにより、侵入を防ぐ処置を行った。また、温湿度環境のきめ細かい把握を可能にする体制作りを進めるため、温湿度記録計・データロガー等の数量と配置場所の現状把握を行い、収蔵環境のモニタリングの精度の改善を図った。燻蒸については、大型燻蒸庫の老朽化やサビの発生などにより資料への影響が懸念されるため、修理点検工事を実施した。設備の老朽化による突発的なトラブルを除いては、このようにきめ細かい対応により収蔵環境は維持されているが、予算が少ない分職員の負担が増えており、焦点を絞った効率的な事業の実施が必要となっている。この対応にも限界があり、根本的な設備の改善が望まれる。

資料の活用推進としては、2010年度は電子図鑑・資料データベースの新規公開や追加はなかったが、2011年度の公開にむけて、電子図鑑「日本産環境指標ゴミムシ類データベース 里山のゴミムシ」と電子図鑑(仮)「博物館で展示された生き物たち」、および資料目録「居初家文書」の公開準備作業を行った。また、保存よりも活用を優先する「時限保存資料」のうち映像分野では活用冊子を作成し、写真パネルの貸出がスムーズに行えるよう整えた。しかしながら、管理や活用体制、他機関等と資料を相互に利用できる環境整備や情報共有など、積極的な環境整備はまだ今後の課題である。

## (3) 交流・サービス活動

学校サテライト博物館は、昨年度からつづく高島市立青柳小学校での事業展開の継続に加え、甲賀市立佐山小学校から長浜市立永原小学校への移設を行った。本事業は、学校の空き教室および企画展などで作成した展示資料の有効利用に加え、地域の人たちとの連携を強化することを目的に始められた。今年度の移設については、永原小学校から積極的な申し入れがあったことからスムーズに実現したものの、昨今の教育課題の多様化・複雑化に加え、平成23年度より完全実施される新しい学習指導要領への移行などさまざまな要因や、少人数学級や外国語学習の導入により、学校側に受け入れる時間的・人的余裕がなくなっている上に、空き教室の準備もままならなくなっている。このような現状を踏まえ、本事業を「学校」だけに限定することなく、地域の公民館など「学校以外の公共の施設」にも展開していくことを検討する必要がある。

「はしかけ」制度については、2010年度の登録者は300名と昨年度から若干減少した程度ではあったが、活動を休止していた「咽頭歯倶楽部」と「水はしかけ」が解散したため、2010年度末現在で活動しているグル

ープは14となった。「フィールドレポーター」制度では、2010年度2件のアンケート型調査を行い、300件以上の報告を受けた。また、自由交流型調査として恒例となっている蓬莱山山頂におけるアキアカネのマーキング調査などを実施し、活発な活動を行うことができた。ただ、登録者数が95名と昨年度よりかなり減少している。フィールドレポーター制度の知名度を一層高めるとともに、登録者を増やしてゆくための方策を検討する必要がある。

観察会講座等では、ほとんどの観察会・見学会で団体等との協働を実現することができた。また、廃版になった「たいけん・はっけん」に代えて、今年度から「琵琶湖博物館のもよおしもの」というチラシを発行することにした。これにも寄ると思われるが、今年度は参加者数がほぼ一昨年度並に戻ってきた。

ただ、地域との協働あるいは連携というのは、必ずしも観察会や見学会などのいわゆる交流事業に限るものではなく、調査研究や展示活動等々幅広い活動が想定される。今後は、これらの活動も広く視野に入れた形で、地域との協働や連携を考えていく必要がある。

また、今年度より環境政策課内に置かれていた「環境学習支援センター」が、「環境学習センター」と名前を変えて琵琶湖博物館に移管されることとなり、交流担当グループの一部所として活動を始めた。ただ、環境学習支援センター当時と比較すると、環境学習センター所長と専属職員1名、それに環境学習指導員1名と、環境学習支援センター当時とは人的に大幅に縮小された。後に、国の緊急雇用対策事業により、臨時的任用職員が専属として1名配置されたものの、体制としては不十分で、活動内容は縮小せざるをえなかった。そのような中で、環境学習相談の対応や環境学習の交流の場作りなどの活動を行うことができたことは、十分評価できるものと考えている。ただ、環境学習支援センターに於いては、環境問題に対する方向性を持ちながら、それにどう対応するかという形で活動を行ってきた。しかし、博物館では環境というものを多面的にとらえるという視点から、博物館の立場を来館者や参加者に示さないというスタンスで活動を行ってきた。今後は、両者の立場をどううまく融合していくかが課題となるだろう。

### 3 総務部

#### (1) 来館者の状況

2010年度の来館者数は36万人台と過去最低を記録した。2009年度と比べると、有料/無料の別では有料が減少し、個人/団体の別では個人で減少し、また未就学児/小中学生/高校・大学生/一般の別では、未就学児と小中学生が減少している。月別で見ると、特に7・9・1月の落ち込みが顕著だった。

琵琶湖博物館の来館者数は、開館以来減少傾向にあったが、2005・2006年度には琵琶湖博物館広報経営戦略に基づく広報活動の展開、開館10周年の記念イベントや黄色いナマズが相次いで捕獲されるなどの話題性もあり一時的に回復した。しかし、2007年度に再び減少に転じ、それ以降は減少を続けている。

要因としては、2008年秋以来の世界的な大不況の影響による外出控えや料金改定、新型インフルエンザの流行、近郊への大型商業施設の相次いでオープンなどが考えられるが、展示（施設）そのものの魅力が薄れていることが根底にあると考えるのが自然である。

#### (2) 来館者アンケート

2010年度のアンケート調査では、3回行った調査で満足度の平均が81.2%と概ね良い評価を得ている。ただ、2009年度の82.1%と2008年度の85.2%と比較すると、多少減少する傾向にあり、展示の更新など今後検討を要する課題は多い。

全体的傾向として「はじめて」来館された方は減少し、「4回以上」来られているリピーターの方は微増している。特に3月には初めて40%を越え、リピーターが定着していることを物語っている。

2010年3月に湖南地域全戸に琵琶湖博物館のチラシを配布した直後に行った調査では滋賀県在住の方の比率が19.1%（2009年3月）から一気に57.9%に増加した。2011年3月に行った調査では48.4%に減少し、チラシ配布の効果が再確認された。

### (3) 広報・戦略

より効果的で効率的な博物館運営を目指すために、琵琶湖博物館広報・経営戦略会議に基づく2010年度の行動計画を策定して実行した。今年度は、12月末までに、新聞、雑誌に有料広告を14回掲載するほか、県内各市町校長会でのPRや県内・県外小学校個別訪問、旅行者への働きかけ、ホテル・旅館・道の駅等にポスター・チラシの配布、常設展示を利用した体験学習プログラムの開発などを行った。個人向けとしては大型集客施設での企画展示・常設展示の紹介展示設置、移動式看板の設置を行った。また、ホームページ等を広報媒体として活用した広告料収入の確保や常設展示への協賛金の確保など外部資金の導入も積極的に進めた。しかしながら、世界的な大不況、料金改定などの影響もあり、来館者数は目標の42万5千人に達しなかった。限られた予算の中での大々的な広告の掲載など、思い切った広報活動は困難であり、新聞や雑誌などでの広告掲載についてもその効果測定も難しいところではあるが、今後においても、より効果的な広報手段を検討し、来館者の満足度の向上とともに、来館者数の確保・増加に一層の努力が必要である。

### (4) 電子情報発信

最近の継続的な問題になっている端末機器群の運用が財政事情により困難になってきていること、発信情報と双方向情報交換との連携が巧くいかないことの2点については、今年度も大きく変わっていない。後者については、新規質問回答情報の入力作業を継続するなど、状況が許す限りの努力を続けているところである。発信情報自体については、整理作業を一つ一つ順を追って進め、順次成果がまとまっている。

### (5) 施設整備

懸案である空調等に利用する配水管については一部修繕を行い、残余部分も順次修繕を行う予定である。しかし、建築後10数年が経過して施設・設備等の劣化が進んでおり、また補修部品の製造中止が通告されるなど、早急な対応が必要とされる機器もでてきている。

### (6) 来館者サービスの向上

当館の来館者はリピーターの方が多いことから、来館者サービスの向上の一環として、2004年4月から、1年間に何回でも観覧できる年間観覧券（年間パスポート）の販売を始め、2010年度は302人（対前年9人減）に購入いただき、延べ1,268回の入館観覧をしていただいた。このことにより、利用者ニーズに応えることができるとともに顧客の定着化による利用促進が図れた。この効果をさらに高めるため、2009年11月に始めた年間観覧券購入時に常設展観覧券1枚を進呈するサービスを継続している。

また、関西元気文化圏推進協議会・関西広域機構が主催する「関西文化の日」事業に参加し、2009年度に引き続き、常設展示の観覧料を無料とした。11月20・21の両日で3,936人の方が来館された。

### (7) 国際交流活動

JICAからの受託事業として「博物館集中コース」研修を国立民俗学博物館との共催で実施し、6カ国10名の研修生を受け入れた。帰国した研修員からは「はしかけ」や「フィールドレポーター」制度のような地域と博物館をつなぐ組織作りを計画しているとか、琵琶湖博物館で学んだことをベースに学校向けのプログラムを開発しているなどの報告を受けている。

## IV 博物館利用のご案内

■開館時間 午前9時30分から午後5時まで（入館は、午後4時30分まで）

■休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合は開館）

年末年始（12月25日～1月2日）

その他館長が定める日

■観覧料（常設展示）

（2011年4月1日現在）

|         | 個人   | 団体(20名以上) | 年間観覧券  | 共通券(*) |
|---------|------|-----------|--------|--------|
| 高校生・大学生 | 400円 | 320円      | 1,600円 | 520円   |
| 大人      | 750円 | 600円      | 3,000円 | 850円   |

(\*) 草津市立水生植物公園「みずの森」との共通券。団体は取り扱いません

※未就学児、小中学生、障害のある方、県内居住の65歳以上の方は常設展示の観覧は無料です。（詳細についてはご確認ください。）

※年間観覧券は、購入後1年間、常設展示、企画展示を何回でも観覧できます。

※企画展示はそのつど料金を定めます。（開催期間中）

■交通案内

●JR新幹線「京都駅」「米原駅」からJR琵琶湖線に乗り換え「草津駅」「守山駅」で下車。

「草津駅西口」から、近江鉄道バス「烏丸半島」

行きで「琵琶湖博物館前」下車、約25分。

タクシーで約20分。

「守山駅西口」からタクシーで約20分。

●車では、名神高速道路「栗東I.C.」から国道1号線～栗東志那中線～湖周道路を経て約25分。  
または「瀬田西I.C.」から湖周道路を経て約30分

●航路では、琵琶湖汽船シャトルボートで「大津港」、「琵琶湖大橋港」から「草津烏丸半島港」へ（不定期）

\*問い合わせ先：琵琶湖汽船 077-524-5000



■駐車料金（2011年4月1日現在）

| 大型バス   | マイクロバス | 普通車  | 二輪車  |
|--------|--------|------|------|
| 1,700円 | 1,100円 | 550円 | 200円 |

※博物館観覧者が使用する普通車と二輪車は無料扱いとなります。

■問い合わせ

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091番地

滋賀県立琵琶湖博物館

TEL (077) 568-4811 FAX (077) 568-4850

インターネットホームページ <http://www.lbm.go.jp/>

琵琶湖博物館 年報 15号

2010年度

平成23年(2011年)8月発行

編集：滋賀県立琵琶湖博物館

発行：滋賀県立琵琶湖博物館

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091番地

電話 077-568-4811